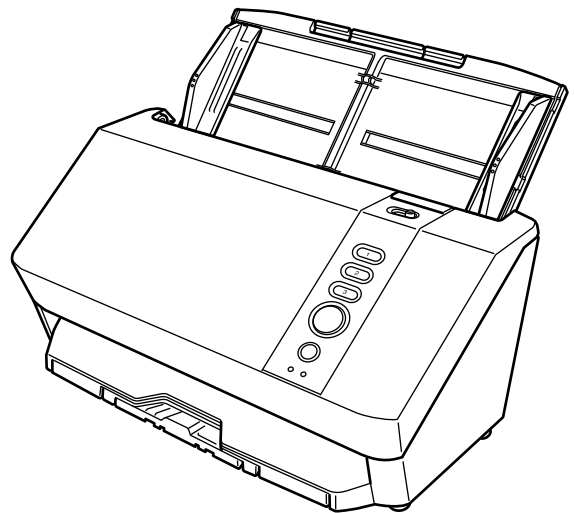


SP-2240N

オペレーターガイド



目次

はじめに	9
マニュアルの種類	9
商標および登録商標	12
開発・販売元	12
発行日・発行責任	12
安全にお使いいただくために	12
本書で使用している記号	13
本書での略記	14
連続する操作の表記	15
本書に掲載している画面	15
ご利用条件	15
スキャナーを返却/廃棄/譲渡するとき	15
スキャナーをお使いになる前に	16
このスキャナーのできること	16
スキャナーの接続形態	18
各部の名称と働き	19
ランプ（LED）の表示内容	25
スキャナーのセットアップを始める	26
ソフトウェアの概要	26
動作環境	29
ソフトウェアのインストール方法	30
基本的なスキャナーの使い方	33
電源の投入/切断	33
電源の投入	33
電源の切断	34
省電力モードへの移行と復帰	35
ADF の開閉	37
ADF の開け方	37
ADF の閉じ方	38
ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定	39

スタッカーの設定	40
基本的な読み取り方	41
画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する	43
スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る	45
Windows のスキャナーのプロパティでボタンを設定する (USB 接続の場合)	48
スキャナーのボタンでジョブを実行する (DirectScan)	51
使用したいボタンの設定を有効にする	52
原稿のセット方法	54
原稿のセット	54
原稿の準備	54
原稿のセット方法	56
読み取りできる原稿	58
原稿のサイズ	58
原稿の種類	58
原稿の厚さ	58
うまく読み取れない場合がある原稿	59
読み取れない原稿	59
原稿とプラスチックカードの注意	60
セットできる原稿の枚数	62
穴を開けてはいけない領域	63
インデックスタブ付き原稿のセット方法	64
原稿の重なり (マルチフィード) を正しく検出するための条件	65
混載条件	67
自動原稿サイズ検出を行うための条件	71
A3 キャリアシートを使用する場合の条件	72
写真キャリアシートを使用する場合の条件	75
いろいろな原稿の読み取り方	77
幅の違う原稿を読み取りたいとき	77
幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき	79
2 つ折りの原稿を読み取りたいとき	82
封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき	84
A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき	86
写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき	88
長尺帳票を読み取りたいとき	90

ジョブを実行して原稿の読み取りと保存・送信を行う (DirectScan)	92
画像ファイルをネットワーク上のフォルダーに保存したいとき	92
画像ファイルをメールで送信したいとき	98
日常のお手入れ	105
清掃用品	105
清掃箇所と清掃頻度	107
スキャナー外部の清掃	108
スキャナー内部 (ADF 内部) の清掃 (クリーニングペーパー)	109
スキャナー内部 (ADF 内部) の清掃 (布)	111
キャリアシートの清掃	117
消耗品の交換	118
消耗品と交換周期	118
ブレイキローラの交換	120
ピックローラの交換	123
困ったときには	128
原稿づまりが発生したときは	128
エラーについて	130
原稿保護	132
原稿づまり/ピックエラー	132
マルチフィード	133
給紙モードスイッチ切り替え検出	133
センサーよごれ	134
ADF オープン	134
光量異常 (ADF)	134
有線 LAN 異常	135
ネットワーク設定異常	135
PaperStream Central Admin 設定異常	135
DirectScan の異常	136
センサー異常	136
メモリー異常/LSI 異常	137
画像メモリー RW エラー	137
ランプ系異常	137
スキャナー内部異常	137

スキャナー内部通信異常	138
原稿の搬送を停止しました	138
ほかで使用	138
読み取り領域指定異常	139
原稿がありません。原稿をセットしてください。	140
トラブルと対処方法	141
電源が投入されない	143
スキャナーとコンピューターを USB で接続できない	144
スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない	145
スキャナーから、IP アドレスで指定したサーバーに接続できない	149
スキャナーから、ホスト名で指定したサーバーに接続できない	151
NTP サーバーに接続できない (DirectScan)	154
読み取りが開始されない (DirectScan)	157
読み取りが開始されない	161
原稿の読み取りに時間がかかる	163
絵や写真を読み取った画像が粗くなる/画像にノイズが発生する	165
文字や線の読み取り結果が良くない	166
画像がゆがむまたは鮮明ではない	168
画像に縦線 (縦筋) が出る	169
頻繁に原稿が重なって搬送される	170
原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる	173
原稿保護のエラーが頻繁に起こる	175
原稿づまり/ピックアップが頻繁に起こる	177
画像が間延びする	179
画像の先端または後端に影がある	180
画像に縞模様が発生する	181
原稿に黒い跡が残る	182
キャリアシートがうまく送られない/つまる	183
キャリアシートで読み取ると画像が欠ける	185
スキャナーの日付および時刻がずれている	186
管理者パスワードを忘れた	187
工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる	187
お問い合わせの前に	188
お問い合わせの前に行うこと	188
お問い合わせの前に確認すること	188
装置ラベルの確認	190
スキャナー設定 (Software Operation Panel)	191
Software Operation Panel の起動	191
Software Operation Panel の閲覧モード設定	193

「閲覧モード」の設定	194
「閲覧モード」の設定解除	196
パスワードの設定	198
パスワードの変更	199
パスワードの設定解除	200
パスワードを紛失したときの対応	201
設定項目	202
装置設定	202
装置設定 2	204
枚数カウンターに関する設定	206
枚数カウンターの確認	206
枚数カウンターのクリア	208
消耗品交換/清掃指示メッセージ	209
スキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定）	210
消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンター）	211
読み取りに関する設定	212
読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整）	212
画像の端にできる影や筋の消去（縁消し(ADF)）	214
指定した色を除いた読み取りの設定（ドロップアウトカラー）	216
給紙のリトライ回数（給紙のリトライ回数）	217
高地で読み取る機能の設定（高地モード）	218
画像に縞模様（干渉縞）が発生するのを抑止する設定（モアレ除去(高度)）	219
原稿を保護する機能の設定（ペーパープロテクション）	220
原稿の重なり（マルチフィード）検出に関する設定	222
原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード）	222
待機時間に関する設定	224
省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）	224
スキャナーとコンピューターの接続に関する設定	226
USB 動作の設定（USB）	226
USB 接続だけでスキャナーを使用する機能の設定（ネットワーク機能）	227
電源投入/切断およびスキャナーの消費電力に関する設定	228
電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御）	228
スキャナーの保守に関する設定	229
ガラスのよごれを通知する設定（ガラスよごれ通知）	229
ネットワーク設定（PaperStream Scanner Admin）	230
PaperStream Scanner Admin の起動	230
設定項目	233

ホーム	235
スキャナー情報	236
基本設定	237
スキャナー名	237
日付/時刻	238
省電力モード	240
ネットワーク	241
有線 LAN	241
CA 証明書	243
プロキシサーバー	244
PaperStream Central Admin	246
DirectScan	247
ボタン割り当て	247
バッチログ	263
DirectScan の初期化	264
SMTP	265
メンテナンス	267
管理者パスワード	267
スキャナー設定情報の移出	268
スキャナー設定情報の移入	269
工場出荷設定に戻す	270
ライセンス	271
付録	272
スキャナー基本仕様	272
設置諸元	274
外形寸法	275
スキャナーのオプション	276
スキャナーのオプションの交換	279
ADF 給紙シュート（フィーダー）の交換	279
スタッカーの交換	281
スタッカーストップの交換	282
ソフトウェアのインストール方法（オフラインの環境）	284
スキャナーのネットワーク接続を確認する方法	289
ソフトウェアのアンインストール手順	290
e-文書法に適合した電子文書の作成	291
スキャナー設定情報の移出の留意事項	293

PaperStream Central Admin からアップデートモジュールを適用するときの留意事項.....	294
ジョブの設定項目の仕様 (DirectScan)	295
ジョブの設定項目の条件と制限	295
バーコードの仕様.....	297
インデックスファイルの仕様.....	303
キャリアシートを使用したときの画像	304
Network Setup Tool の起動方法	306
スキャナー選択ツールの起動方法.....	306
IP アドレス設定ツールの起動方法	307
Button Event Manager の起動方法.....	308
修理・お問い合わせ	309
トラブル対処.....	309
修理サービスのご案内.....	309
お問い合わせ窓口	310
サプライ用品の購入先.....	311

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。
必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
安全上のご注意（紙、PDF）	本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。 本製品をお使いになる前に必ずお読みください。
スタートアップガイド（紙）	スキャナーの梱包品の確認、保護用部材の取り外し、使用前の準備を説明しています。
オペレーターガイド（本書）（HTML）	スキャナーのセットアップ方法、基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法を説明しています。
PaperStream Capture ユーザーズガイド（HTML）	PaperStream Capture の概要、導入方法、設定方法、原稿の読み取り方法、便利な設定、画面項目を説明しています。
PaperStream IP ヘルプ	PaperStream IP ドライバーの使い方や設定方法を説明しています。
Network Setup Tool ヘルプ	スキャナーをネットワークに接続して使用するための各種ツールの使い方を説明しています。
PaperStream ClickScan ヘルプ	PaperStream ClickScan の使い方や設定方法を説明しています。
SP Series Online Update ヘルプ	SP Series Online Update の使い方や設定方法を説明しています。

上記のほかに、使用するソフトウェアに応じて、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
ソフトウェアについては、[ソフトウェアの概要 \(26 ページ\)](#)を参照してください。

● スキャナーをセットアップするときの参照マニュアル

作業		参照先
開梱～使用前の準備		スタートアップガイド
スキャナーのセットアップ	接続形態の確認	オペレーターガイド ● スキャナーの接続形態 (18 ページ) ● ネットワーク設定 (PaperStream Scanner Admin) (230 ページ)

作業		参照先
	ソフトウェアのインストール/ 接続方法の設定	<ul style="list-style-type: none"> • オペレーターガイド <ul style="list-style-type: none"> - スキャナーのセットアップを始める (26 ページ) • Network Setup Tool ヘルプ
サーバーの構築 (必要時)	DNS サーバーの環境設定 (スキャナーやコンピューターをホスト名で検索する場合)	使用している DNS サーバーのマニュアル
	プロキシサーバーの環境設定 (プロキシサーバーを経由する場合)	使用しているプロキシサーバーのマニュアル
	FTP/FTPS サーバー、SFTP サーバーの環境設定 (DirectScan をするときに FTP/FTPS サーバーまたは SFTP サーバーに接続する場合)	使用している FTP/FTPS サーバーまたは SFTP サーバーのマニュアル
	PaperStream Central Admin の導入～運用 (PaperStream Central Admin を使用する場合)	PaperStream Central Admin ユーザーズガイド
読み取り	読み取りの流れ	オペレーターガイド <ul style="list-style-type: none"> • 画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する (43 ページ) • スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (45 ページ) • スキャナーのボタンでジョブを実行する (DirectScan) (51 ページ)
	読み取り設定	<ul style="list-style-type: none"> • スキャナードライバーのヘルプ • 画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプ
	読み取り設定 (DirectScan をする場合)	オペレーターガイド <ul style="list-style-type: none"> • ジョブを実行して原稿の読み取りと保存・送信を行う (DirectScan) (92 ページ) • ボタン割り当て (247 ページ)
スキャナーの動作設定		オペレーターガイド

作業	参照先
	<ul style="list-style-type: none">• スキャナー設定 (Software Operation Panel) (191 ページ)

商標および登録商標

ISIS は、Open Text の商標です。

Intel および Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

Google および Google Chrome は、Google LLC.の商標または登録商標です。

本製品には、製品開発元である株式会社 PFU の著作物のほかに、第三者が作成したオープンソースソフトウェアが含まれています。オープンソースソフトウェアのライセンス条件に関する詳細は、PaperStream Scanner Admin のメニューにある「ライセンス」をクリックして表示される画面を参照してください。

Microsoft、Excel、Internet Explorer、Windows、および Windows Server は、マイクロソフトグループの企業の商標です。

PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒220-8567

神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-5（横浜アイマークプレイス）

発行日・発行責任

発行日 2026年6月

発行責任 株式会社 PFU

Regulatory Model : P3880A

© PFU Limited 2026

安全にお使いいただくために

添付の安全上のご注意には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に安全上のご注意を必ずお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書で使用している記号

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないために、警告表示を使用しています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。次に、警告レベルの記号とその意味について説明します。

**警告**

この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

**注意**

この表示は、取り扱いを誤った場合、軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

また、警告表示とは別に、説明中に次の記号を使用しています。

重要

特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。

ヒント

操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。

本書での略記

本書では、次の名称について省略して記載しています。

名称	本文中の表記
Windows® 10 Home (32/64 ビット) Windows® 10 Pro (32/64 ビット) Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット) Windows® 10 Education (32/64 ビット)	Windows 10 (*1)
Windows® 11 Home (64 ビット) Windows® 11 Pro (64 ビット) Windows® 11 Enterprise (64 ビット) Windows® 11 Education (64 ビット)	Windows 11 (*1)
Windows Server® 2016 Standard (64 ビット)	Windows Server 2016 (*1)
Windows Server® 2019 Standard (64 ビット)	Windows Server 2019 (*1)
Windows Server® 2022 Standard (64 ビット)	Windows Server 2022 (*1)
Windows Server® 2025 Standard (64 ビット)	Windows Server 2025 (*1)
Internet Explorer®	Internet Explorer
Google Chrome™	Google Chrome
Microsoft® Word	Word
Microsoft® Excel®	Excel
PaperStream IP (TWAIN) for SP Series PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series PaperStream IP (ISIS) for SP Series	PaperStream IP ドライバー
A3 キャリアシート 写真キャリアシート	キャリアシート

*1：すべてのオペレーティングシステムを区別しないで説明する場合は、Windows と表記しています。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例：「スタート」メニュー→「コントロールパネル」をクリックします。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。

本書では、Windows 11 の画面を例に説明しています。オペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、ソフトウェアをアップデートすると、本書で掲載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデートするときに提供されるマニュアルを参照してください。

ご利用条件

本書については、次のご利用条件をご確認のうえご利用ください。

- 本書に記載されている機能をすべて使用する場合は、SP シリーズに関連するソフトウェアおよびファームウェアを最新のバージョンにアップデートしてください。
- 本書は、製品を購入または導入いただいたお客様のための資料です。本書について、購入または導入されたお客様以外からのお問い合わせにはお応えできない場合がありますので、ご了承ください。
- 本書の内容は、改善のため予告なく変更、またはサービスを中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の利用、または利用できなかったことにより万一損害が生じても、当社は一切その責任を負いません。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。

スキャナーを返却/廃棄/譲渡するとき

スキャナーには、ユーザー名やメールアドレスを含む各種設定情報が保存されている場合があります。スキャナーを返却、廃棄、または譲渡されるときは、お客様ご自身でスキャナーに保存された情報を削除してください。

削除方法は、次を参照してください。

- PaperStream Scanner Admin (ブラウザ)
 - [工場出荷設定に戻す \(270 ページ\)](#)

スキャナーをお使いになる前に

ここでは、スキャナーを使い始める前に知っておきたい概要について説明します。

このスキャナーでできること

● スキャナーの接続

- スキャナーを USB ケーブルまたは LAN ケーブルで接続できます
 - [スキャナーの接続形態 \(18 ページ\)](#)

● 読み取りの方法

- コンピューターから読み取りを開始できます
 - [画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する \(43 ページ\)](#)
- スキャナーのボタンで読み取りを開始できます
 - [スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る \(45 ページ\)](#)
 - [スキャナーのボタンでジョブを実行する \(DirectScan\) \(51 ページ\)](#)

● 多様な原稿の読み取り

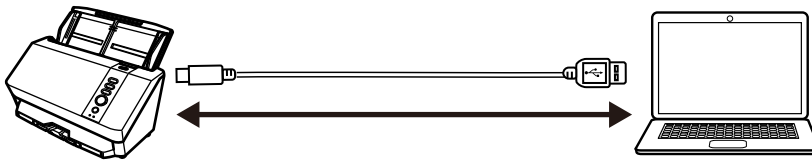
- 読み取りが難しい原稿 (2 つ折りの原稿、封筒、複数枚つづりの転写紙など) も読み取れます
 - [読み取りできる原稿 \(58 ページ\)](#)
 - [幅の違う原稿を読み取りたいとき \(77 ページ\)](#)
 - [封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき \(84 ページ\)](#)
- 厚さやサイズ、種類の異なる原稿をまとめて一度に読み取ります
 - [混載条件 \(67 ページ\)](#)
 - [幅の違う原稿を読み取りたいとき \(77 ページ\)](#)
- 大きいサイズの原稿を読み取ります
 - [A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき \(86 ページ\)](#)
 - [長尺帳票を読み取りたいとき \(90 ページ\)](#)
- 特定のサイズの原稿を読み取ります
 - [幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき \(79 ページ\)](#)
- 大事な原稿、写真や切り抜きを傷つけないよう保護しながら読み取ります
 - [A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき \(86 ページ\)](#)
 - [写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき \(88 ページ\)](#)
 - [A3 キャリアシートを使用する場合の条件 \(72 ページ\)](#)
 - [写真キャリアシートを使用する場合の条件 \(75 ページ\)](#)
- スキャナーのボタンを押すだけで原稿を読み取り、画像ファイルを保存・送信できます
 - [スキャナーのボタンでジョブを実行する \(DirectScan\) \(51 ページ\)](#)

- [ジョブを実行して原稿の読み取りと保存・送信を行う \(DirectScan\) \(92 ページ\)](#)
 - e-文書法の画質要件を満たした電子文書を作成します
 - [e-文書法に適合した電子文書の作成 \(291 ページ\)](#)
 - **スキャナーを集中管理**
 - PaperStream Central Admin を使用すると、PaperStream Central Admin で複数台のスキャナーを集中管理できます
 - [PaperStream Central Admin \(246 ページ\)](#)
- PaperStream Central Admin の詳細は、PaperStream Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

スキャナーの接続形態

● スキャナーを USB で接続する

スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続します。

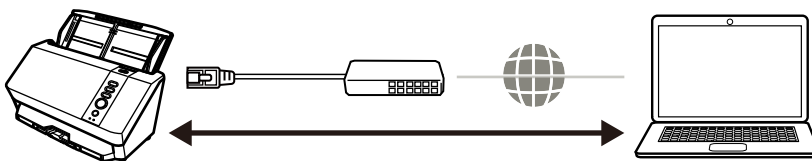


次の方法で読み取りできます。

- コンピューターから読み取る
 - ➔ [画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する \(43 ページ\)](#)
- スキャナーのボタンで読み取る
 - ➔ [スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る \(45 ページ\)](#)

● スキャナーを有線 LAN で接続する

スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）を LAN ケーブルで接続します。コンピューターと接続する場合、同じネットワーク上のコンピューターから使用できます。



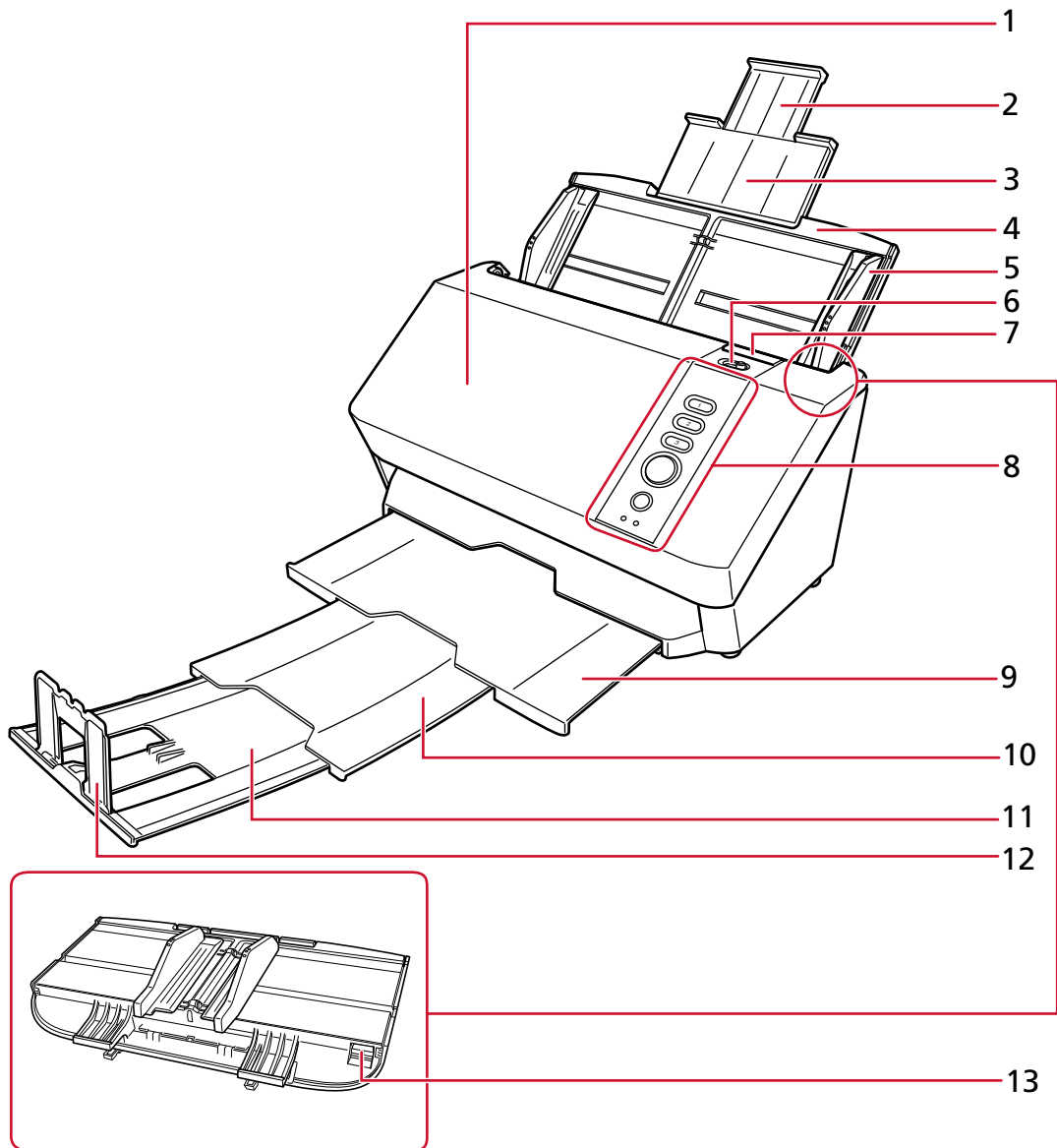
次の方法で読み取りできます。

- コンピューターに接続して使用する場合
 - コンピューターから読み取る
 - ➔ [画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する \(43 ページ\)](#)
 - スキャナーのボタンで読み取る
 - ➔ [スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る \(45 ページ\)](#)
- スキャナー単体で使用する場合（DirectScan）
 - スキャナーのボタンで読み取る
 - ➔ [スキャナーのボタンでジョブを実行する（DirectScan） \(51 ページ\)](#)

各部の名称と働き

スキャナーの各部名称について説明します。

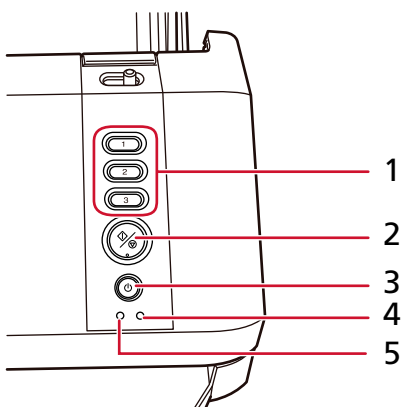
- 前面



No.	名称	働き
1	ADF（自動給紙機構）	ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿を、1枚ずつ引き込んで搬送します。 消耗品の交換や、内部を清掃する場合に開けます。
2	シュートエクステンション 2	読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。
3	シュートエクステンション 1	読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。

No.	名称	働き
4	ADF 給紙シュート (フィーダー)	読み取る原稿をセットするための台です。
5	サイドガイド	ADF 給紙シュート (フィーダー) にセットした原稿の幅に合わせて、原稿の横位置を決めます。 原稿が傾いて搬送されるのを防止します。
6	給紙モードスイッチ	給紙モードスイッチを左にスライドすると、手差し・単送モードに切り替わります。
7	ADF オープンレバー	ADF オープンレバーを手前に引くと、ADF が開きます。
8	操作パネル	スキャナーを操作したり、スキャナーの状態を確認したりできます。 ➔ 操作パネル (20 ページ)
9	スタッカー	引き出して使用します。スタッカーを引き出すと、排出された原稿が積み重ねられます。
10	スタッカーエクステンション 1	読み取る原稿の長さに合わせて、手前にスライドさせて使います。
11	スタッカーエクステンション 2	読み取る原稿の長さに合わせて、手前にスライドさせて使います。
12	スタッカーストッパー	読み取る原稿の長さに合わせて、起こして使います。
13	サイドガイド拡張スイッチ	サイドガイドの可動範囲を広げます。 ➔ 幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき (79 ページ)

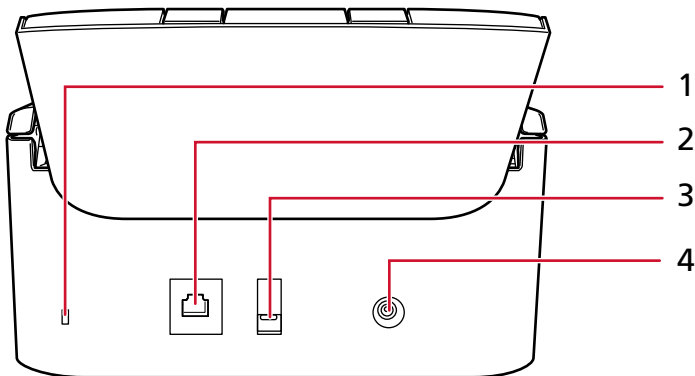
● 操作パネル



No.	名称	働き
1	Send to ボタン	読み取りを開始します。 次のこともできます。

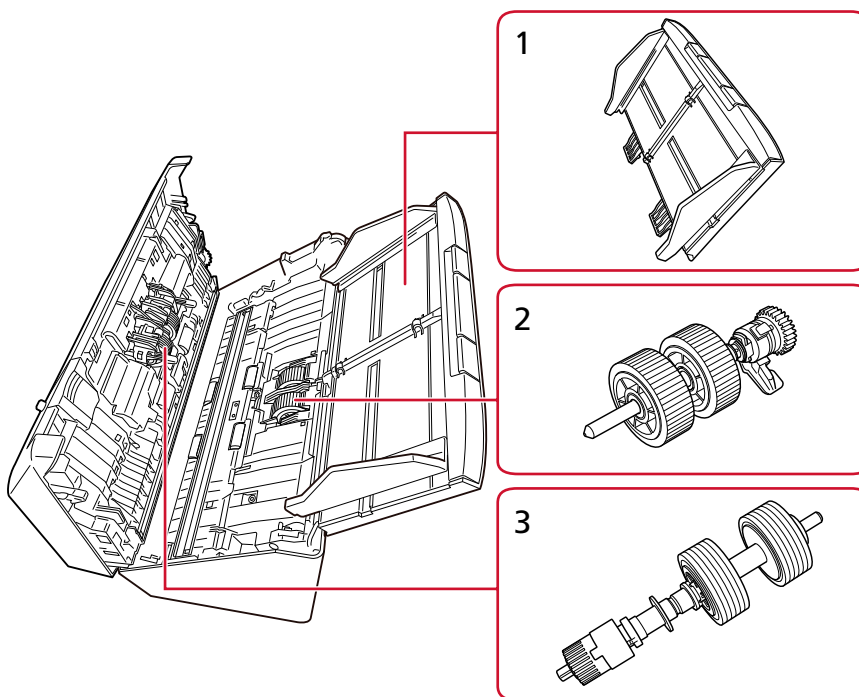
No.	名称	働き
		<ul style="list-style-type: none"> ● 特定の画像読み取り用アプリケーションで読み取りを開始できます。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (45 ページ) ● DirectScan のジョブを実行できます。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ スキャナーのボタンでジョブを実行する (DirectScan) (51 ページ)
2	Scan/Stop ボタン	<p>読み取りを開始します。 また、次のような動作になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 読み取り中にボタンを押すと、原稿の搬送を停止し、継続読み取りが可能 (Power/Check ランプ (LED) が緑色の早い点滅 (0.5 秒点灯 0.5 秒消灯)) になります。 ● 継続読み取りが可能なとき、原稿をセットせずにボタンを押すと、読み取りを完了します。 ● エラー状態 (Power/Check ランプ (LED) が橙色の点灯または点滅) のときにボタンを押すと、エラー状態を解除します。 一時的なエラーの場合は、継続読み取りが可能 (Power/Check ランプ (LED) が緑色の早い点滅 (0.5 秒点灯 0.5 秒消灯)) になります。また、原稿の重なりが検出されたときは、原稿が排出されます。
3	電源ボタン	スキャナーの電源を投入したり、切断したりできます。
4	Power/Check ランプ (LED)	<p>スキャナーの状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➔ ランプ (LED) の表示内容 (25 ページ)
5	LAN ランプ (LED)	<p>LAN の接続状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➔ ランプ (LED) の表示内容 (25 ページ)

● 背面



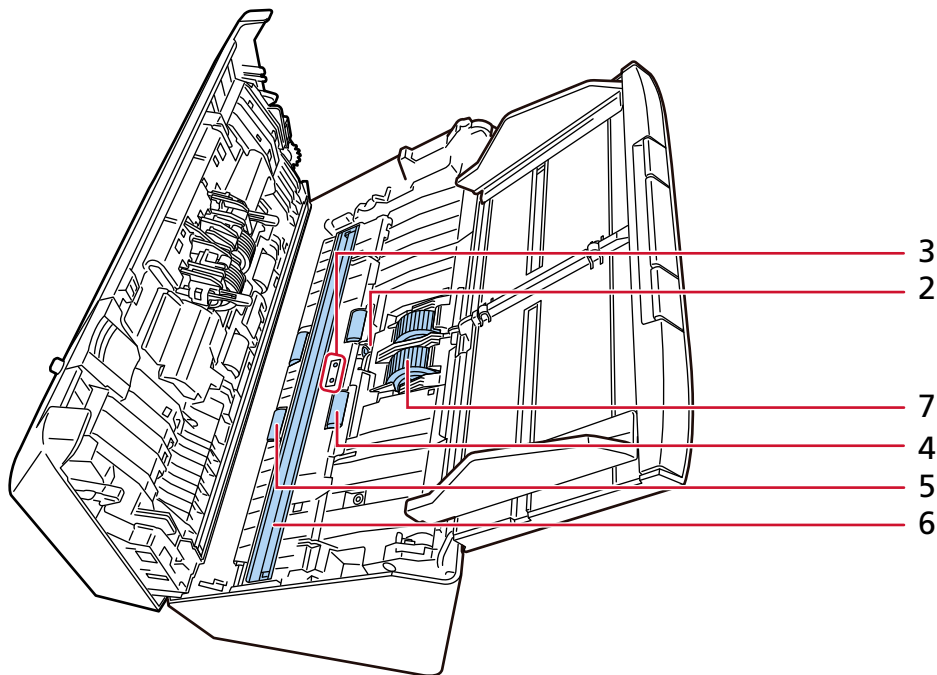
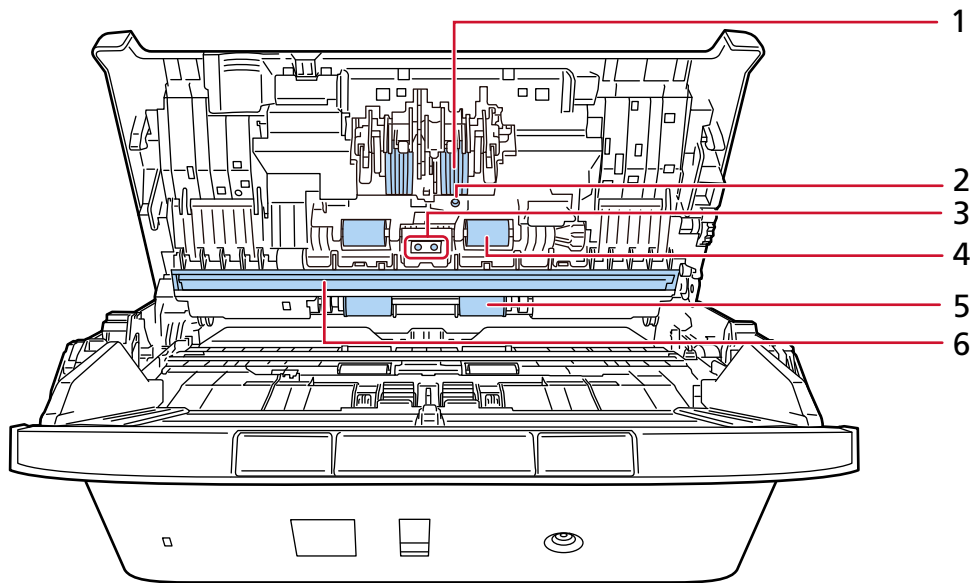
No.	名称	働き
1	セキュリティケーブルスロット	市販のセキュリティケーブル（盗難防止用）を接続します。
2	LAN コネクター	LAN ケーブルを接続します。
3	USB コネクター	USB ケーブルを接続します。
4	電源コネクター	電源ケーブルを接続します。 電源ケーブルは、AC ケーブルと AC アダプターを接続したケーブルのことです。

● 取り外し可能部品



No.	名称	働き
1	ADF 給紙シュート (フィーダー)	読み取る原稿をセットするための台です。
2	ピックアップローラ	ADF 給紙シュート (フィーダー) の原稿から 1 枚だけ分離させ、ADF 内に搬送するローラーです。
3	ブレーキローラ	ADF 内へ複数枚の原稿が搬送されることを防止するローラーです。

● 内部 (ADF)



No.	名称	働き
1	ブレーキローラ (2 か所)	ADF 内へ複数枚の原稿が搬送されることを防止するローラーです。
2	超音波センサー (2 か所)	超音波によって原稿の重なりを検出するセンサーです。原稿を透過する超音波の差異を監視し、原稿の重なりを検出します。
3	原稿検知センサー (2 か所)	原稿の有無を検知するセンサーです。
4	フィードローラー (4 か所)	ADF 内で原稿を搬送するローラーです。
5	排出口ローラー (4 か所)	ADF からスタッカーへ原稿を搬送するローラーです。
6	ガラス (2 か所)	原稿を読み取る面です。
7	ピックローラ (2 か所)	ADF 給紙シュート (フィーダー) の原稿から 1 枚だけ分離させ、ADF 内に搬送するローラーです。

ランプ (LED) の表示内容

● Power/Check ランプ (LED)

表示内容	説明
緑色の点灯	読み取り可能な状態です。 正常に起動したことを意味します。
緑色の遅い点滅 (2 秒点灯 2 秒消灯)	省電力状態であることを意味します。 電源を投入したあと、スキャナーの操作をしないまま、一定時間経過すると、省電力状態になります。
緑色の通常点滅 (1 秒点灯 1 秒消灯)	原稿を読み取り中または画像転送中であることを意味します。 クリーニングモードになったときもこの表示になります。
緑色の早い点滅 (0.5 秒点灯 0.5 秒消灯)	電源を投入したあと、起動中であることを意味します。 原稿の継続読み取りが可能なきもこの表示になります。 次の場合に、継続読み取りが可能になります。 <ul style="list-style-type: none"> 読み取り設定で継続読み取りを有効にしている場合に、セットした原稿がすべて搬送されたあと 読み取り中に発生した一時的なエラー (橙色に点灯または点滅) を解除したあと 読み取り中に Scan/Stop ボタンを押して、原稿の搬送を停止したあと
橙色の点灯	原稿を読み取り中に、一時的なエラーが発生したことを意味します。 ➔ エラーについて (130 ページ)
橙色の点滅	原稿を読み取り中に、装置異常または一時的なエラーが発生したことを意味します。 ➔ エラーについて (130 ページ) 装置異常が発生した場合は、電源を再投入してください。 電源を再投入したあとも引き続き装置異常が発生する場合は、サービスエンジニア、本製品を購入した販社/販売店、または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ) に連絡してください。

● LAN ランプ (LED)

表示内容	説明
緑色の点灯	ネットワークに接続したことを意味します。
緑色の点滅	ネットワークに接続中であることを意味します。
橙色の点灯	ネットワークに接続できなかったことを意味します。

スキャナーのセットアップを始める

ここでは、スキャナーを使用するためのセットアップについて説明します。

スキャナーを使用するには、ダウンロードサイトからインストーラーを取得して、次のセットアップを行います。

- ソフトウェアのインストール
スキャナーと接続するコンピューターに必要なソフトウェアをインストールします。
→ [ソフトウェアのインストール方法 \(30 ページ\)](#)
- スキャナーの接続
スキャナーを USB ケーブルまたは有線 LAN で接続します。
詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。
スキャナーの接続形態については、[スキャナーの接続形態 \(18 ページ\)](#)を参照してください。
そのあと、必要に応じて、次の設定を行います。
- スキャナーの動作設定
→ [スキャナー設定 \(Software Operation Panel\) \(191 ページ\)](#)
- スキャナーのネットワーク設定
→ [ネットワーク設定 \(PaperStream Scanner Admin\) \(230 ページ\)](#)

ソフトウェアの概要

スキャナーと接続するコンピューターに必要なソフトウェアについて説明します。

ソフトウェアは、ダウンロードサイトからインストーラーを取得して一括インストールするか、必要なソフトウェアを個別にインストールします。

ヒント

PaperStream Central Admin を使用する場合は、ダウンロードサイトから個別にインストールします。詳細は、PaperStream Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

- PaperStream IP ドライバー
PaperStream IP ドライバーは、TWAIN/ISIS 規格に準拠したスキャナードライバーです。ネットワークに接続したスキャナーにも対応しています。
PaperStream IP ドライバーには、次の 3 種類があります。
 - PaperStream IP (TWAIN) for SP Series
TWAIN 規格に準拠したスキャナードライバーです。TWAIN 規格に準拠した 32 ビットのアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。
 - PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series
TWAIN 規格に準拠したスキャナードライバーです。TWAIN 規格に準拠した 64 ビットのアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。
オペレーティングシステムに関係なく、32 ビットの画像読み取り用アプリケーションを使用する場合は、PaperStream IP (TWAIN) for SP Series を使用してください。
 - PaperStream IP (ISIS) for SP Series

ISIS 規格に準拠したスキャナードライバーです。ISIS 規格に準拠したアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。

詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

- Network Setup Tool

次のアプリケーションが含まれています。

スキャナーをネットワークに接続して使用できるようにする場合に必要なアプリケーションです。

- スキャナー選択ツール

ネットワークに接続しているスキャナーをコンピューターで使用できるようにするアプリケーションです。

- IP アドレス設定ツール

スキャナーの IP アドレスおよびスキャナー名を設定するアプリケーションです。

- Button Event Manager

ネットワーク接続の場合に、スキャナーのボタンから起動する画像読み取り用アプリケーションを設定するアプリケーションです。

詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

- Software Operation Panel

原稿を読み取る際の動作や消耗品の管理などの設定ができます。

PaperStream IP ドライバーと同時にインストールされます。

➔ [スキャナー設定 \(Software Operation Panel\) \(191 ページ\)](#)

- Error Recovery Guide

スキャナーのエラーが発生した場合に、スキャナーの状態と対処方法を表示するアプリケーションです。

PaperStream IP ドライバーと同時にインストールされます。

対処方法は、[困ったときには \(128 ページ\)](#)でも参照できます。

- Error Recovery Guide (マニュアル)

Error Recovery Guide が通知するエラーの対処方法が記載されたマニュアルです。

- PaperStream ClickScan

PaperStream IP (TWAIN) for SP Series に対応した 32 ビットの画像読み取り用アプリケーションです。

シンプルな設定と操作だけで読み取りできます。

コンピューターにログインすると同時に自動で起動し、タスクバーの通知領域に常駐します。

詳細は、PaperStream ClickScan のヘルプを参照してください。

- PaperStream ClickScan Searchable PDF Option

画像を検索可能な PDF、Word (*1)、Excel (*1) などの形式で出力するためのアプリケーションです。

PaperStream ClickScan で使用できます。

詳細は、PaperStream ClickScan のヘルプを参照してください。

- PaperStream Capture

PaperStream IP (TWAIN) for SP Series/PaperStream IP (ISIS) for SP Series に対応した 32 ビットの画像読み取り用アプリケーションです。

スキャナーの読み取り処理の設定をジョブに定義し、業務内容に応じた読み取り処理を実行できます。

なお、PaperStream Capture には有償の PaperStream Capture Pro/PaperStream Capture Pro Premium があり、評価版で PaperStream Capture Pro Premium の機能を体験できます。詳細は、PaperStream Capture ユーザーズガイドを参照してください。

- マニュアル

安全上のご注意およびオペレーターガイドがインストールされます。

- SP Series Online Update

次の最新アップデートプログラムを確認し、アップデートするアプリケーションです。

- コンピューターにインストールされているソフトウェア
- コンピューターと接続しているスキャナーのファームウェア

詳細は、SP Series Online Update のヘルプを参照してください。

*1 : Microsoft® Office 製品がインストールされている必要があります。

動作環境

ソフトウェアをインストールするコンピューターの動作環境は、次のとおりです。

オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows® 10 Home (32/64 ビット) (*1) ● Windows® 10 Pro (32/64 ビット) (*1) ● Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット) (*1) ● Windows® 10 Education (32/64 ビット) (*1) ● Windows® 11 Home (64 ビット) (*1) ● Windows® 11 Pro (64 ビット) (*1) ● Windows® 11 Enterprise (64 ビット) (*1) ● Windows® 11 Education (64 ビット) (*1) ● Windows Server® 2016 Standard (64 ビット) (*1) ● Windows Server® 2019 Standard (64 ビット) (*1) ● Windows Server® 2022 Standard (64 ビット) (*1) ● Windows Server® 2025 Standard (64 ビット) (*1)
CPU	Intel または Intel 互換プロセッサ
ディスプレイ解像度	1024×768 ピクセル以上、65536 色以上が表示可能なディスプレイ (*2)
ディスク容量	12GB 以上の空き容量が必要 (*3)
インターフェイス	USB3.2 Gen 1x1/USB3.0/USB2.0/USB1.1
ブラウザ (*4)	<ul style="list-style-type: none"> ● Google Chrome ● Microsoft Edge

*1：添付ソフトウェアは、デスクトップアプリケーションとして動作します。

*2：PaperStream Scanner Admin を使用する場合は、1280×768 ピクセル以上のディスプレイを使用してください。

PaperStream Capture を使用する場合は、1280×800 ピクセル以上、65536 色以上表示可能なディスプレイを使用してください。

*3：原稿を読み取るときは、保存されるファイルサイズに応じたディスク容量が必要となります。

*4：PaperStream Scanner Admin で、スキャナーのネットワークの設定をする場合に必要となります。Microsoft Edge の Internet Explorer モードは未サポートです。

ソフトウェアのインストール方法

スキャナーを接続するコンピューターに、必要なソフトウェアをインストールする方法を説明します。

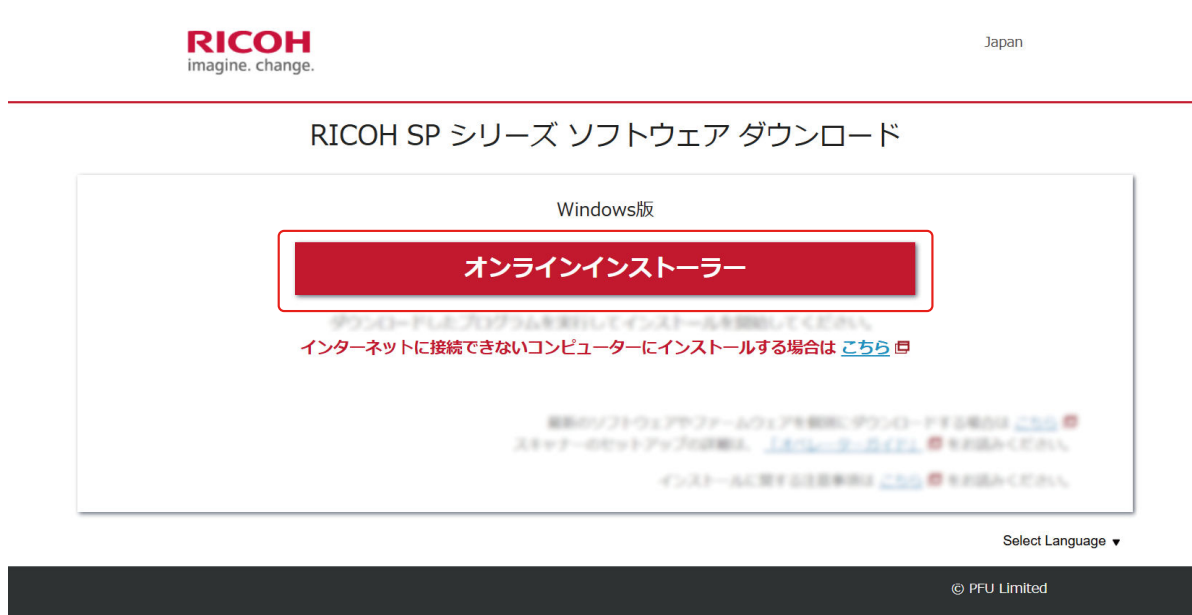
コンピューターをインターネットに接続する必要があります。

スキャナーを接続するコンピューターがインターネットに接続できない場合は、[ソフトウェアのインストール方法（オフラインの環境）（284 ページ）](#)を参照してインストールしてください。

重要

- 旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。
→ [ソフトウェアのアンインストール手順（290 ページ）](#)
- 本インストーラーに同梱している Network Setup Tool は、Network Setup Tool for fi Series の後継製品になります。Network Setup Tool for fi Series がすでにインストールされている場合は、Network Setup Tool をインストールする前にアンインストールしてください。

- 1 コンピューターの管理者権限を持つユーザーで Windows にサインインします。
- 2 ダウンロードサイトに接続します。
<https://www.pfu.ricoh.com/sp/d/>
- 3 「オンラインインストーラー」をクリックします。



- 4 使用許諾契約の画面で、内容を確認して【同意してダウンロード】ボタンをクリックします。
オンラインインストーラーのダウンロードが開始されます。
- 5 ダウンロードしたオンラインインストーラー「Online Installer SP Series.exe」をダブルクリックします。
- 6 おすすめインストールまたはカスタムインストールのどちらかを選択します。

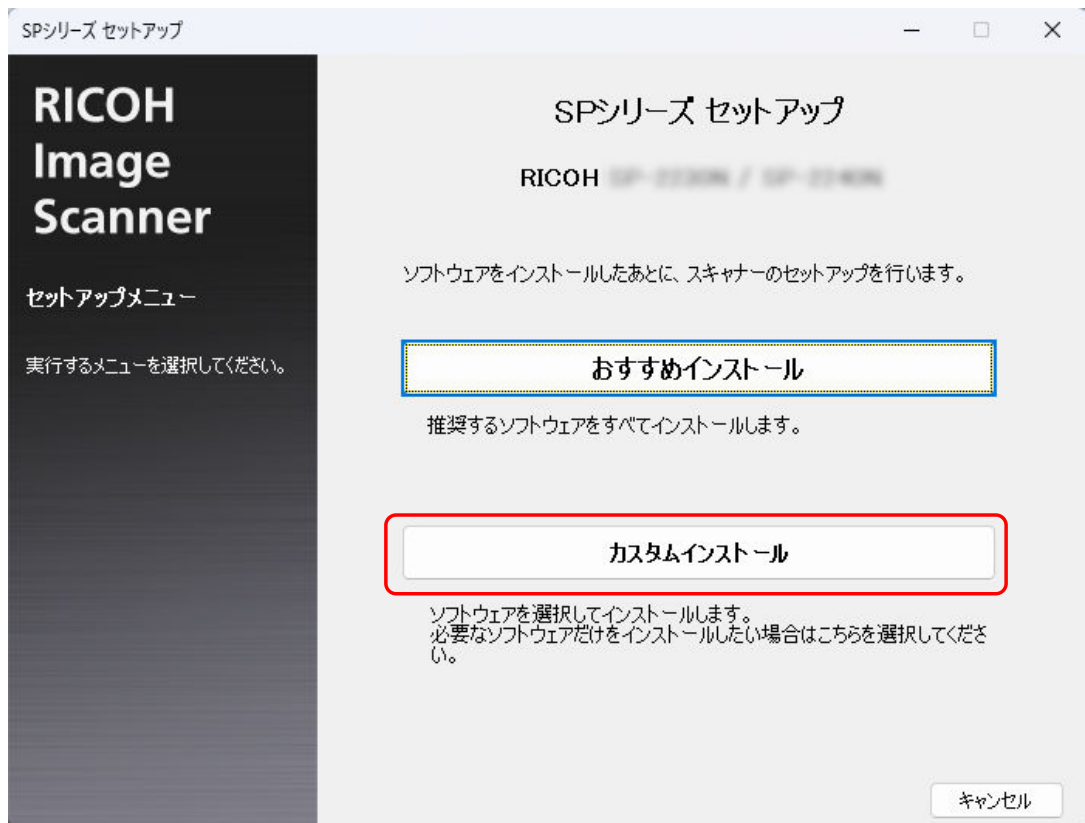
- おすすめインストール
次のソフトウェアがインストールされます。
 - PaperStream IP (TWAIN) SP Series
次も同時にインストールされます。
 - Software Operation Panel
 - Error Recovery Guide
 - PaperStream Capture
 - PaperStream ClickScan
 - Network Setup Tool
 - Error Recovery Guide (マニュアル)
 - SP Series Online Update
 - マニュアル (安全上のご注意、オペレーターガイド)

a [おすすめインストール] ボタンをクリックします。



- カスタムインストール
必要なソフトウェアを選択してインストールします。

- a [カスタムインストール] ボタンをクリックします。



- b インストールするソフトウェアのチェックボックスにチェックを付けて、[次へ] ボタンをクリックします。
スキャナーをネットワークに接続する場合、Network Setup Tool をインストールしてください。

7 表示される画面の指示に従ってインストールします。

ファームウェアのアップデートがある場合、ファームウェアをアップデートするかどかの画面が表示されます。
アップデートするかどうかを指定して、操作を進めてください。

8 スキャナーの接続方法を選択する画面が表示されたら、接続方法を選択し、画面の指示に従って操作を進めます。

詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
「スタート」メニュー→「Network Setup Tool」→「Network Setup Tool ヘルプ」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Network Setup Tool」→「Network Setup Tool ヘルプ」をクリックします。

基本的なスキャナーの使い方

ここでは、基本的な操作方法について説明します。

電源の投入/切断

スキャナーの電源の投入/切断方法を、次のどれかに設定できます。

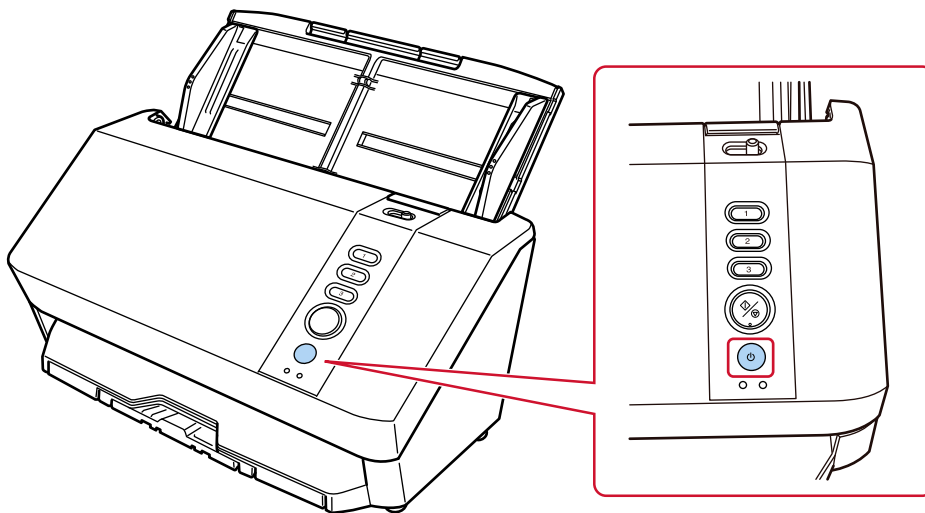
- スキャナーの電源ボタンでスキャナーの電源を投入/切断する
- スキャナーのネットワーク機能が無効の場合に、コンピューターの電源の投入/切断と連動してスキャナーの電源を投入/切断する

➔ [電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御）（228 ページ）](#)

ここでは、スキャナーの電源ボタンでスキャナーの電源を投入/切断する設定した場合を例に説明します。

電源の投入

- 1 スキャナーの電源ボタンを押します。



電源が投入されます。

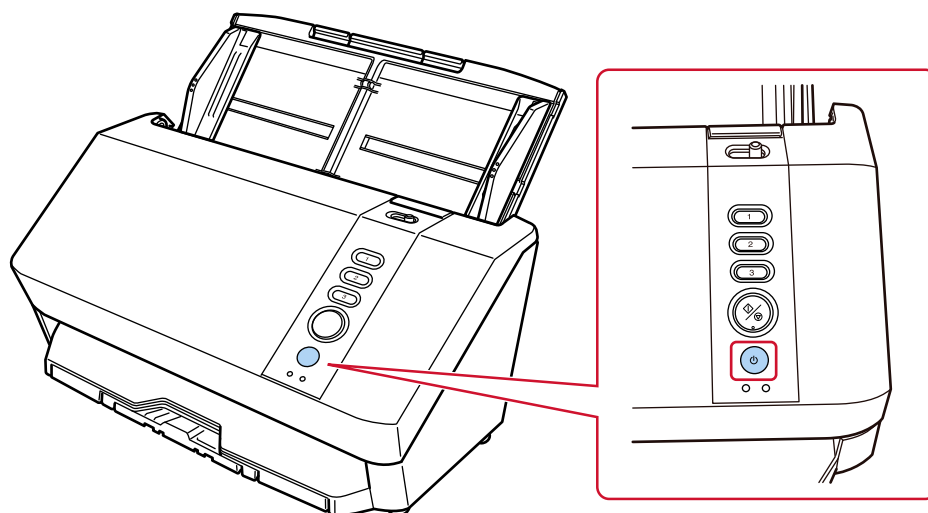
スキャナーが起動し、読み取り可能な状態になります。

起動中：Power/Check ランプ（LED）は緑色の早い点滅（0.5 秒点灯 0.5 秒消灯）

読み取り可能：Power/Check ランプ（LED）は緑色の点灯

電源の切断

- 1 スキャナーの電源ボタンを2秒以上押します。



電源が切断されます。

省電力モードへの移行と復帰

スキャナーの電源を投入したまま、一定時間操作されないと、省電力モードに移行します。

省電力モードとは、電源が投入されたスキャナーが一定時間操作されない場合に、消費電力を低い状態に保つことです。

省電力モードには、次の2つの設定があります。

● 省電力

スキャナーの電源を投入したまま10分（工場出荷設定値）以上何も操作しないと、自動的に省電力状態に切り替わります。

省電力状態に切り替わると、Power/Check ランプ（LED）は緑色の遅い点滅（2秒点灯2秒消灯）となります。

省電力状態から復帰するためには、次のどれかの操作を行います。

- ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする
- スキャナーの Send to ボタンまたは Scan/Stop ボタンを押す
- スキャナーの電源ボタンを押す
- スキャナーの給紙モードスイッチを操作する
- スキャナーを使用できる画像読み取り用アプリケーションから読み取る
- ADF が開いているときに、ADF を閉じる
- スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続する
- 設定変更のためにソフトウェアからスキャナーへアクセスする

● 自動電源切断

スキャナーの電源を投入したまま一定時間（工場出荷設定は20分後）何も操作しないと、自動的にスキャナーの電源が切断されます。

自動的にスキャナーの電源が切断された場合に、再度スキャナーの電源を投入するには、電源ボタンを押します。

→ [電源の投入 \(33 ページ\)](#)

重要

- 搬送路上に原稿が残されたままになっていると、省電力状態に移行しないことがあります。[原稿づまりが発生したときは \(128 ページ\)](#)を参照して、原稿を取り除いてください。
- 使用する画像読み取り用アプリケーションによっては、「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスにチェックを付けても、スキャナーの電源が切断されない場合があります。
- 画像読み取り用アプリケーションを使用中にスキャナーの電源が自動的に切断された場合は、画像読み取り用アプリケーションを終了してから、スキャナーの電源を再投入してください。

ヒント

Software Operation Panel で、次の設定ができます。

- 省電力状態に切り替わるまでの時間

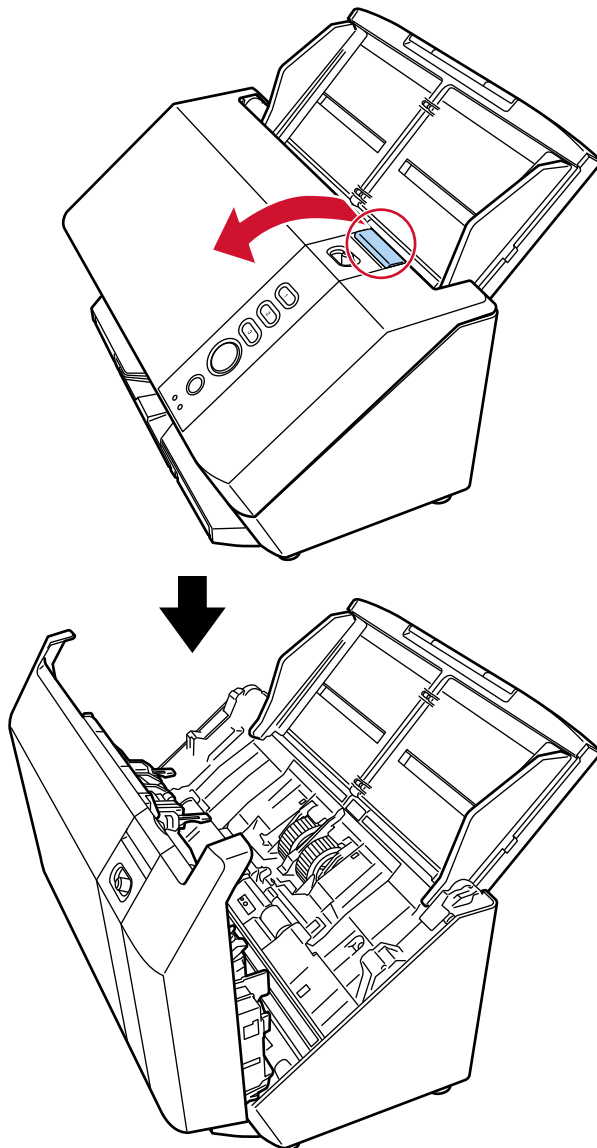
- 自動的にスキャナーの電源が切断されないようにする
- 省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）（224 ページ）

ADF の開閉

ADF の開閉について説明します。

ADF の開け方

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上に原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
- 2 ADF オープンレバーを手前に引いて、ADF を開けます。

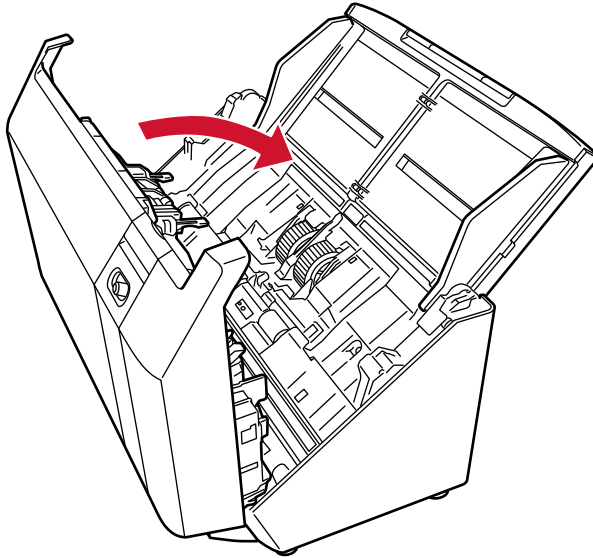


注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

ADF の閉じ方

- 1 異物が ADF 内にはさまれていないことを確認します。
- 2 ADF を閉じます。
「カチッ」という音がするまで、ADF の中央を押し込んでください。



注意

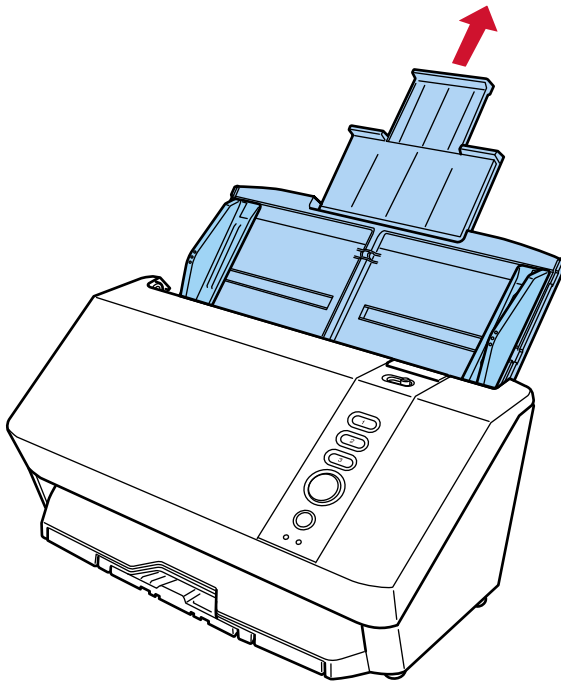
ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りを開始すると、順次 ADF に搬送されていきます。

A4 サイズなどの長さのある原稿を読み取る場合は、次の手順のように、シュートエクステンション 1 やシュートエクステンション 2 を使用して原稿を支えることによって、原稿が搬送されやすくなります。

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）を押さえながら、シュートエクステンション 1、シュートエクステンション 2 をまっすぐに引き上げます。

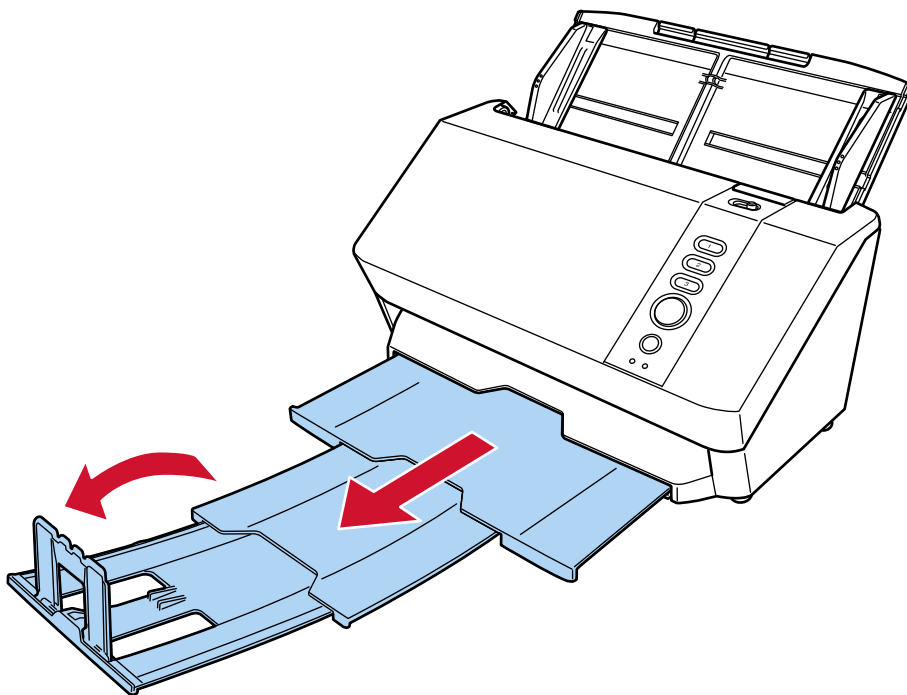


スタッカーの設定

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りすると、順次スタッカーに排出されて積み重ねられていきます。

A4 サイズなどの長さのある原稿を読み取る場合は、次の手順のように、スタッカー、スタッカーエクステンション 1、スタッカーエクステンション 2、スタッカーストッパーを使用して原稿を支えることによって、原稿がきれいに積み重ねられます。

- 1 スタッカー、スタッカーエクステンション 1、スタッカーエクステンション 2 を手前に引き出して、スタッカーストッパーを起こします。



重要

- スタッカーストッパーを無理に 90 度以上起こすと、破損するおそれがあります。
- 209g/m² (180kg/連) を超える厚みの原稿を読み取る場合は、スタッカーを引き出さないでください。
厚い原稿はスタッカーに引っかかり、画像が傾く場合があります。

ヒント

排出された原稿がきれいに積み重ならない場合は、原稿とスタッカーストッパーの間の隙間を小さくすることで (10mm 程度)、よりきれいにそろえられます。

基本的な読み取り方

ここでは、基本的な原稿の読み取り方について説明します。

重要

スキャナーの使用方法に応じて、USB ケーブルまたは LAN ケーブルだけを接続してください。両方のケーブルを同時に接続しないでください。

● コンピューターに接続して使用する場合

スキャナーと接続しているコンピューター、またはスキャナーのボタンから、画像読み取り用アプリケーションを起動して、原稿を読み取ります。

● USB 接続

- コンピューターから読み取る

➔ [画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する \(43 ページ\)](#)

- スキャナーの Scan/Stop ボタンまたは Send to ボタンで読み取る

➔ [スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る \(45 ページ\)](#)

関連ソフトウェア：Windows のスキャナーのプロパティ画面（イベント）

● 有線 LAN 接続

- コンピューターから読み取る

➔ [画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する \(43 ページ\)](#)

関連ソフトウェア：スキャナー選択ツール

➔ [スキャナー選択ツールの起動方法 \(306 ページ\)](#)

- スキャナーの Scan/Stop ボタンまたは Send to ボタンで読み取る

➔ [スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る \(45 ページ\)](#)

関連ソフトウェア：スキャナー選択ツール、Button Event Manager

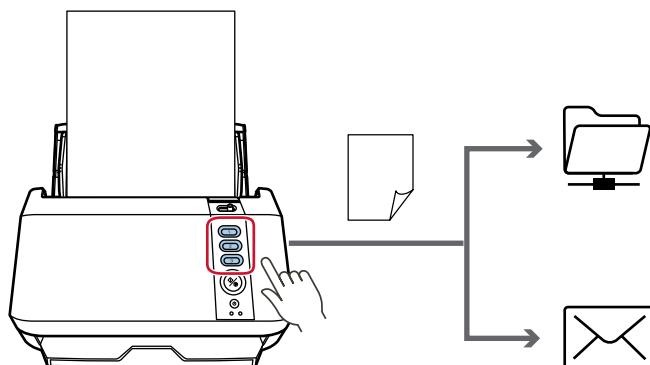
➔ [スキャナー選択ツールの起動方法 \(306 ページ\)](#)

➔ [Button Event Manager の起動方法 \(308 ページ\)](#)

● スキャナー単体で使用する場合（DirectScan）

PaperStream Scanner Admin でスキャナーの Send to ボタンにジョブを割り当てると使用できます。スキャナーのボタンを押すだけで、コンピューターを使用せずに、原稿の読み取りおよび画像ファイルの保存・送信を実行できます。

ジョブには、原稿の読み取り設定や画像ファイルの送信先を指定します。



DirectScan

- 有線 LAN 接続

- スキャナーの Send to ボタンで読み取る

- [スキャナーのボタンでジョブを実行する \(DirectScan\) \(51 ページ\)](#)

- 関連ソフトウェア：PaperStream Scanner Admin

- [ボタン割り当て \(247 ページ\)](#)

スキャナーの使用方法に応じて、ボタンに異なる設定を割り当てられます。複数の方法を併用する場合は、使用したい設定が有効になるようにしてください。

- [使用したいボタンの設定を有効にする \(52 ページ\)](#)

画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する

コンピューターの画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する場合の、基本的な読み取り操作の流れを説明します。

この場合、コンピューターにスキャナードライバーと、そのスキャナードライバーに対応した画像読み取り用アプリケーションが必要です。

- スキャナードライバー
 - PaperStream IP ドライバー
- 画像読み取り用アプリケーション
 - PaperStream Capture

スキャナーを有線 LAN で接続する場合、次が必要です。

- Network Setup Tool
- PaperStream Scanner Admin

→ ソフトウェアの概要 (26 ページ)

スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションによっては、読み取り手順や操作、読み取り条件の設定項目が若干異なります。

詳細は、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

1 スキャナーの電源を投入します。

→ [電源の投入 \(33 ページ\)](#)

2 スキャナーをコンピューターに接続します。

- USB 接続の場合
スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続します。
- 有線 LAN 接続の場合
スキャナーをネットワークに接続し、スキャナー選択ツールでスキャナーを選択します。
 - [ネットワーク \(241 ページ\)](#)
 - [IP アドレス設定ツールの起動方法 \(307 ページ\)](#)
DHCP 環境でない場合は、IP アドレス設定ツールが必要です。
 - [スキャナー選択ツールの起動方法 \(306 ページ\)](#)

3 ADF 給紙シュート (フィーダー) に原稿をセットします。

→ [原稿のセット方法 \(56 ページ\)](#)

4 画像読み取り用アプリケーションを起動します。

5 読み取りに使用するスキャナードライバーを指定します。

画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーを指定しなくてもよい場合があります。

6 読み取りに使用するスキャナーを指定します。

スキャナードライバーおよびスキャナーの接続方法によって、スキャナー名が異なります。詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナーを指定しなくてもよい場合もあります。

7 スキャナードライバーの設定画面で、スキャナーの読み取り条件を設定します。

画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーの設定画面を表示しない場合もあります。

8 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

重要

読み取り中に、次のような操作をしないでください。

読み取りが中止されます。

- USB ケーブルを抜く
- LAN ケーブルを抜く
- ネットワークを切断する
- Windows からサインアウトする

スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る

スキャナーのボタンを押してコンピューターの画像読み取り用アプリケーションを起動し、原稿の読み取りを開始する場合の、事前設定と読み取り操作の流れを説明します。

この場合、コンピューターにスキャナードライバーと、そのスキャナードライバーに対応した画像読み取り用アプリケーションが必要です。

- スキャナードライバー
 - PaperStream IP ドライバー
- 画像読み取り用アプリケーション
 - PaperStream Capture

スキャナーを有線 LAN で接続する場合、次が必要です。

- Network Setup Tool
- PaperStream Scanner Admin

➔ [ソフトウェアの概要 \(26 ページ\)](#)

ヒント

- PaperStream Capture がインストールされている場合、PaperStream Capture の起動時に、スキャナーのボタンに対して PaperStream Capture のボタン設定が割り当てられます。
- PaperStream ClickScan と PaperStream Capture がインストールされている場合、PaperStream ClickScan が常駐しているかどうかで、スキャナーの Scan/Stop ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションが異なります。
 - 常駐している場合
PaperStream ClickScan が起動します。
 - 常駐していない場合
PaperStream Capture が起動します。
- スキャナーのボタンの設定を PaperStream Capture から変更した場合は、変更した画像読み取り用アプリケーションが起動します。
PaperStream Capture でスキャナーを占有する設定をしている場合は、設定を無効にしてください。

1 スキャナーの電源を投入します。

➔ [電源の投入 \(33 ページ\)](#)

2 スキャナーをコンピューターに接続します。

- USB 接続の場合
スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続します。
- 有線 LAN 接続の場合
スキャナーをネットワークに接続し、スキャナー選択ツールでスキャナーを選択します。
 - ➔ [ネットワーク \(241 ページ\)](#)
 - ➔ [IP アドレス設定ツールの起動方法 \(307 ページ\)](#)
DHCP 環境でない場合は、IP アドレス設定ツールが必要です。

→ [スキャナー選択ツールの起動方法 \(306 ページ\)](#)

3 画像読み取り用アプリケーションで読み取り設定をします。

→ [画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始する \(43 ページ\)](#)

4 コンピューターで、スキャナーのボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを設定します。

スキャナーの接続方法によって、ボタンの設定方法が異なります。

- USB で接続する場合

Windows の「デバイスとプリンター」を設定する画面を表示して、スキャナーの「スキャン プロパティ」でボタンを設定します。

→ [Windows のスキャナーのプロパティでボタンを設定する \(USB 接続の場合\) \(48 ページ\)](#)

- 有線 LAN で接続する場合

Button Event Manager で設定します。

Button Event Manager の詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

→ [Button Event Manager の起動方法 \(308 ページ\)](#)

5 必要に応じて、起動する画像読み取り用アプリケーションでの設定をします。

起動する画像読み取り用アプリケーションによっては、画像読み取り用アプリケーションでも設定が必要な場合があります。

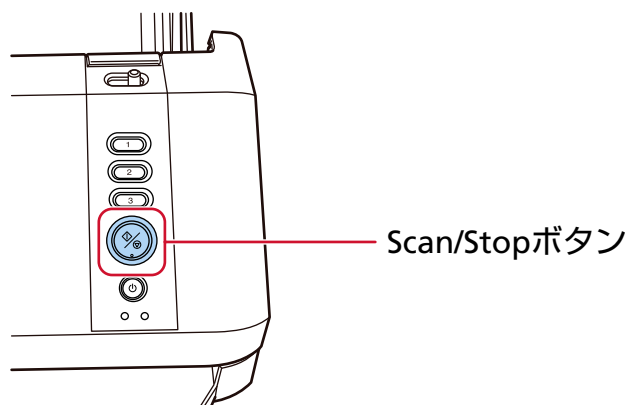
詳細は、起動する画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

6 ADF 給紙シュート (フィーダー) に原稿をセットします。

→ [原稿のセット方法 \(56 ページ\)](#)

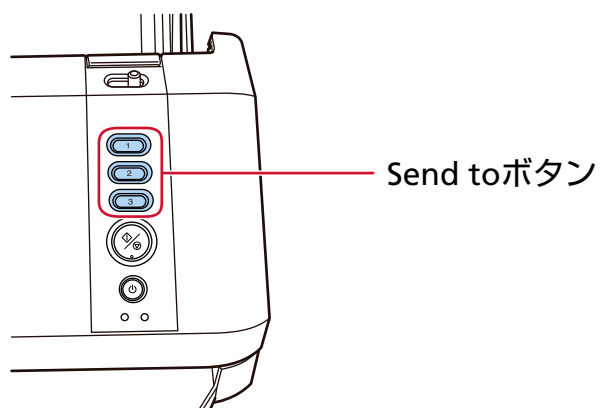
7 スキャナーのボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

- 手順 4 で、「Scan Button」に画像読み取りアプリケーションを設定した場合
スキャナーの Scan/Stop ボタンを押します。



- 手順 4 で、「Send to 01」～「Send to 03」に画像読み取りアプリケーションを設定した場合

スキャナーの Send to ボタンを押します。



ボタンに設定されている画像読み取り用アプリケーションが起動します。

8 必要に応じて、画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

重要

読み取り中に、次のような操作をしないでください。
読み取りが中止されます。

- USB ケーブルを抜く
- LAN ケーブルを抜く
- ネットワークを切断する
- Windows からサインアウトする

関連項目

[使用したいボタンの設定を有効にする \(52 ページ\)](#)

Windows のスキャナーのプロパティでボタンを設定する (USB 接続の場合)

スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定します。

ボタンには、ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションを設定します。

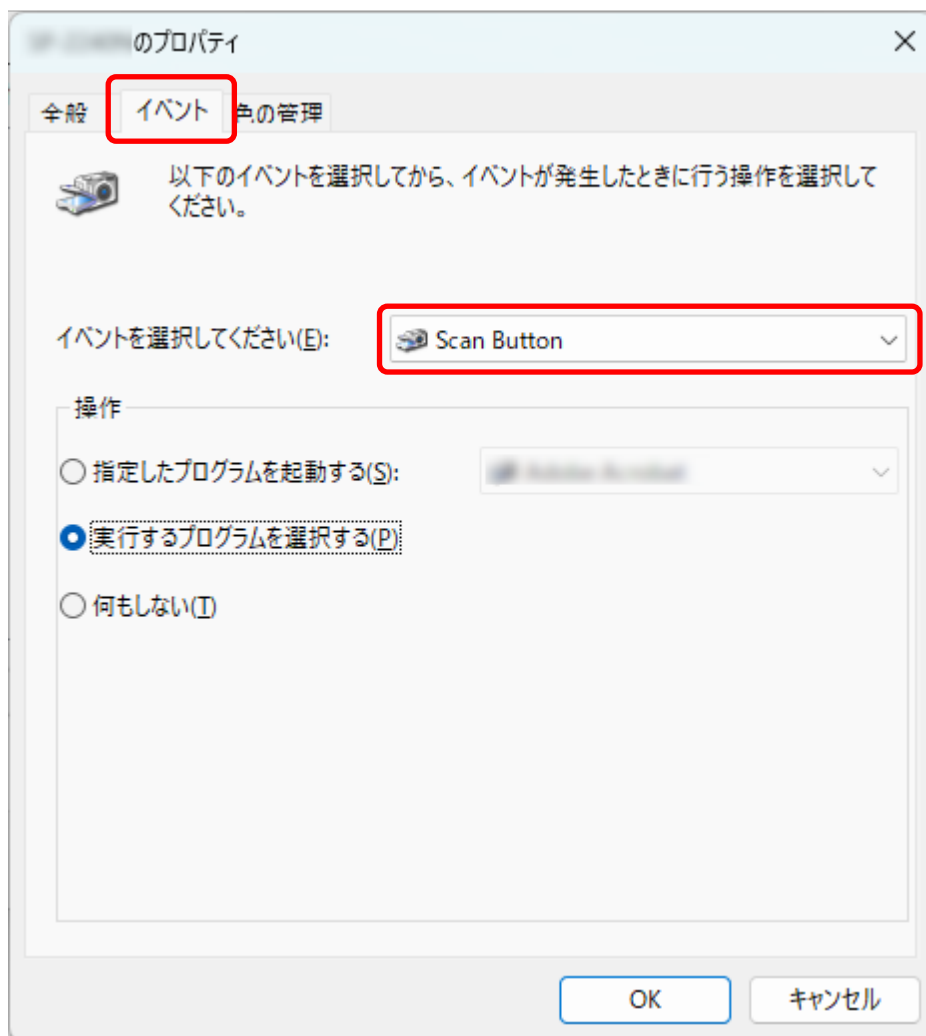
- 1 スキャナーの電源を投入します。
→ [電源の投入 \(33 ページ\)](#)
- 2 スキャナーとコンピューターが USB ケーブルで接続されていることを確認します。
- 3 Windows の「設定」画面を表示します。
- 4 「Bluetooth とデバイス」をクリックします。
- 5 「プリンターとスキャナー」をクリックします。
- 6 「SP-2240N」をクリックします。
- 7 「スキャナーのプロパティ」をクリックします。
「スキャナーとカメラ」画面が表示されます。
- 8 スキャナーのアイコンをクリックして、[プロパティ] ボタンをクリックします。

重要

PaperStream ClickScan が常駐していると、スキャナーのプロパティ画面を表示できません。スキャナーのプロパティ画面を表示するときは、PaperStream ClickScan を終了してください。

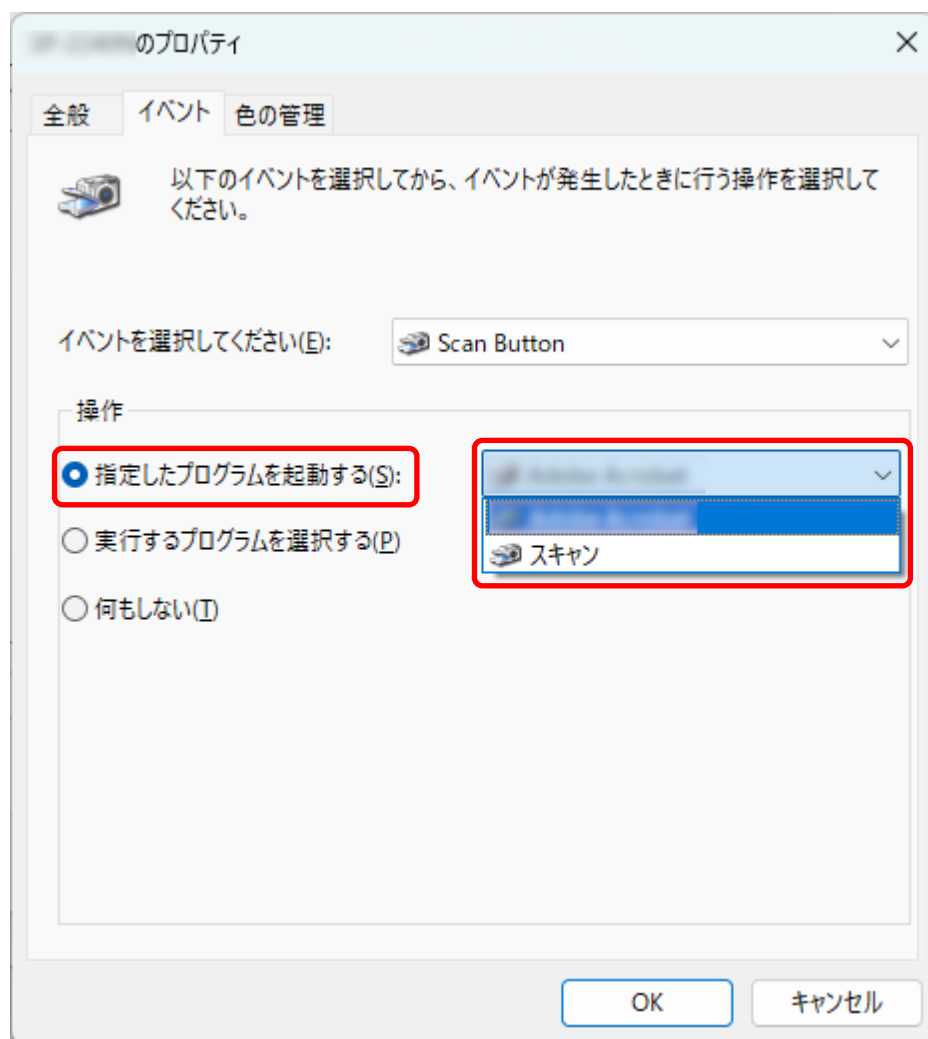
- 9 「イベント」タブの「イベントを選択してください」で、設定するボタンを選択します。
 - 「Scan Button」
スキャナーの Scan/Stop ボタンの動作を設定します。
 - 「Send to 01」～ 「Send to 03」

スキャナーの Send to ボタンの動作を設定します。



10 選択したボタンを押したときに起動する、画像読み取り用アプリケーションを選択します。

「指定したプログラムを起動する」をクリックして、プログラム一覧から画像読み取り用アプリケーションを選択します。



複数のボタンを設定する場合は、手順 9～10 を繰り返します。

11 [OK] ボタンをクリックします。

関連項目

[使用したいボタンの設定を有効にする \(52 ページ\)](#)

スキャナーのボタンでジョブを実行する (DirectScan)

スキャナーの Send to ボタンでジョブを実行して、原稿の読み取りおよび画像ファイルの保存・送信を開始する場合の、基本的な操作の流れを説明します。

事前に、Send to ボタンにジョブを割り当てておく必要があります。

→ [ジョブを実行して原稿の読み取りと保存・送信を行う \(DirectScan\) \(92 ページ\)](#)

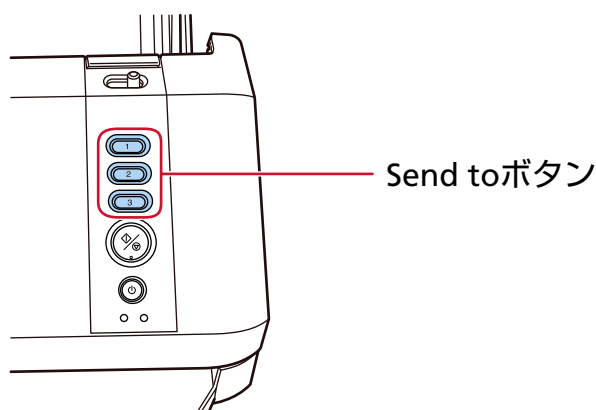
1 スキャナーの電源を投入します。

→ [電源の投入 \(33 ページ\)](#)

2 ADF 給紙シュート (フィーダー) に原稿をセットします。

→ [原稿のセット方法 \(56 ページ\)](#)

3 スキャナーの Send to ボタンを押して、ジョブを実行します。



関連項目

[使用したいボタンの設定を有効にする \(52 ページ\)](#)

使用したいボタンの設定を有効にする

複数の使用方法を併用してボタンの設定をしている場合、使用する設定を1つだけ有効にし、そのほかの設定は無効にしてください。

● コンピューターに接続して使用する場合

● Scan/Stop ボタン

スキャナーの接続方法	使用したいボタンの設定	無効にするほかの設定
USB	<ul style="list-style-type: none"> Windows のスキャナーのプロパティ画面（イベント）イベントに操作を設定する 	次のどちらも行います。 <ul style="list-style-type: none"> Button Event Manager 「ボタンを監視する」のチェックを外す PaperStream ClickScan を終了する
有線 LAN	<ul style="list-style-type: none"> Button Event Manager 「ボタンを監視する」にチェックを付ける 	PaperStream ClickScan を終了する

● Send to ボタン

スキャナーの接続方法	使用したいボタンの設定	無効にするほかの設定
USB	<ul style="list-style-type: none"> Windows のスキャナーのプロパティ画面（イベント）イベントに操作を設定する 	次のどちらも行います。 <ul style="list-style-type: none"> PaperStream Scanner Admin 「ボタン割り当て」を無効にする Button Event Manager 「ボタンを監視する」のチェックを外す PaperStream ClickScan を終了する
有線 LAN	<ul style="list-style-type: none"> Button Event Manager 「ボタンを監視する」にチェックを付ける 	PaperStream ClickScan を終了する

ヒント

- PaperStream Capture がインストールされている場合、PaperStream Capture の起動時に、スキャナーのボタンに対して PaperStream Capture のボタン設定が割り当てられます。
- PaperStream ClickScan と PaperStream Capture がインストールされている場合、PaperStream ClickScan が常駐しているかどうかで、スキャナーの Scan/Stop ボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションが異なります。
 - 常駐している場合

PaperStream ClickScan が起動します。

- 常駐していない場合
PaperStream Capture が起動します。
- スキャナーのボタンの設定を PaperStream Capture から変更した場合は、変更した画像読み取り用アプリケーションが起動します。
PaperStream Capture でスキャナーを占有する設定をしている場合は、設定を無効にしてください。

● **スキャナー単体で使用する場合 (DirectScan)**

- Send to ボタン

スキャナーの接続方法	使用したいボタンの設定	無効にするほかの設定
有線 LAN	<ul style="list-style-type: none"> ● PaperStream Scanner Admin 「ボタン割り当て」を有効にする 	<ul style="list-style-type: none"> ● Button Event Manager 「ボタンを監視する」のチェックを外す

原稿のセット方法

ここでは、原稿をスキャナーにセットする方法について説明します。

原稿のセット

書類のような普通紙の原稿をセットする方法について説明します。

原稿の準備

1 原稿を確認します。

a スキャナーで読み取れる原稿のサイズと原稿の紙質を確認します。

→ [読み取りできる原稿 \(58 ページ\)](#)

b セットする原稿の幅がすべて同じか、異なるかを確認します。

原稿の幅が同じか異なるかによって、原稿のセット方法が異なります。

原稿の幅が異なる場合は、[混載条件 \(67 ページ\)](#)および[幅の違う原稿を読み取りたいとき \(77 ページ\)](#)を参照してください。

c 原稿の枚数を確認します。

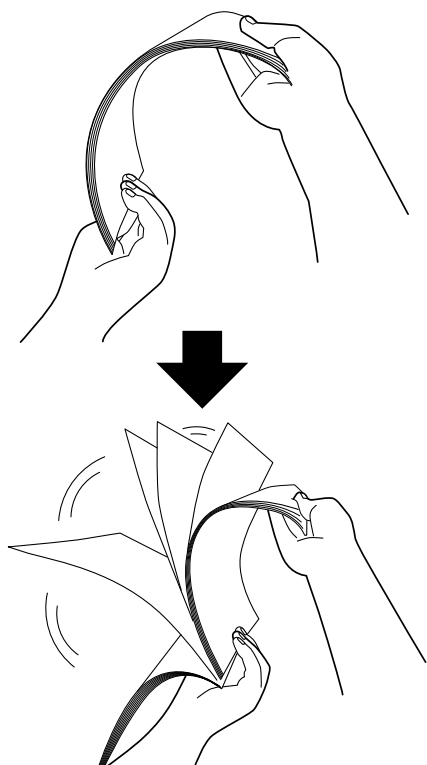
セットできる原稿枚数は 80 枚までです (厚さ 80g/m² (69kg/連) の原稿、原稿の総厚みが 8mm 以下)。

→ [セットできる原稿の枚数 \(62 ページ\)](#)

2 原稿をさばきます。

a 原稿を 8mm 以下の厚みで取り出します。

b 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2~3回さばきます。



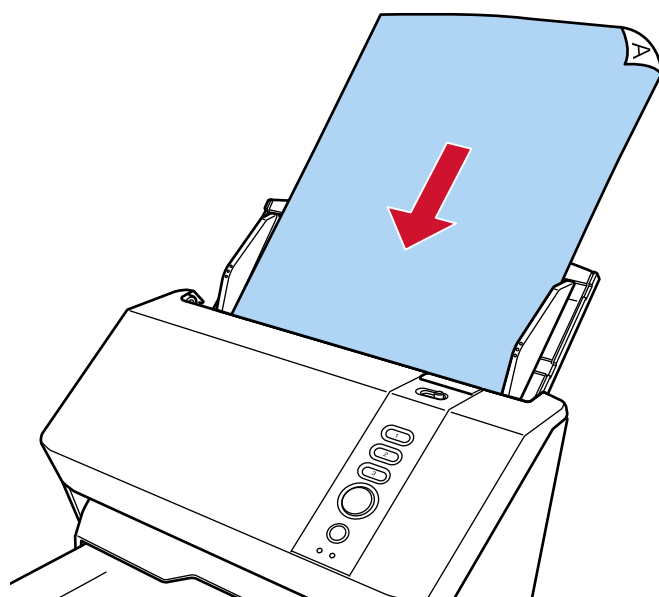
c 原稿の向きを90度回転し、同じようにさばきます。

d すべての原稿に対して、手順 a~c を行います。

e 原稿の先端をそろえます。

原稿のセット方法

- 1 原稿の長さに合わせて、シュートエクステンション1やシュートエクステンション2を引き上げます。
→ [ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 \(39 ページ\)](#)
- 2 原稿の長さに合わせて、スタッカーを設定します。
→ [スタッカーの設定 \(40 ページ\)](#)
- 3 原稿の表面（読み取り面）が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるように、原稿をセットします。

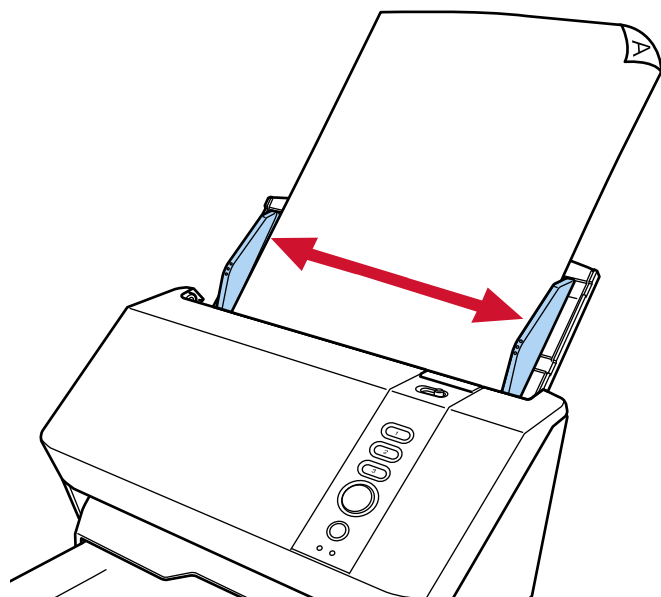


重要

- クリップ、ステーブルは取り除いてください。
- 原稿が搬送されなかったり、原稿が重なって搬送されたりする場合は、原稿の分量を減らしてください。

- 4 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。
サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。

サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が傾いて搬送されることがあります。



読み取りできる原稿

原稿のサイズ

読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

最大サイズ（幅×長さ）（*1）	<ul style="list-style-type: none"> ● A4 縦（210×297mm） ● リーガル縦（8.5×14 インチ） ● 長尺帳票（*2）（215.9×863.6mm、215.9×6,096mm）
最小サイズ（幅×長さ）	<ul style="list-style-type: none"> ● 50.8×50.8mm

*1：ADF 給紙シュート（フィーダー）のサイドガイド拡張スイッチを操作すると、最大の幅 240mm までセットできます。

→ [幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき \(79 ページ\)](#)

*2：スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションの読み取り設定によっては、メモリーが不足して読み取りができない場合があります。

長尺帳票を読み取る場合は、読み取り解像度を 200dpi 以下にすると、最大の長さ 6,096mm（240 インチ）まで読み取りできます。

なお、条件に応じて、次の解像度を指定する必要があります。

- 863.6mm より大きく 2,700mm 以下の場合
600dpi 以下
- 2,700mm より大きく 4,064mm 以下の場合
400dpi 以下
- 4,064mm より大きく 5,461mm 以下の場合
300dpi 以下
- 5,461mm より大きく 6,096mm 以下の場合
200dpi 以下

原稿の種類

原稿の種類は次のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙
- PPC 用紙（再生紙）
- プラスチックカード

上記以外の種類の原稿を読み取る場合には、事前に読み取りができるかどうかを同質の原稿で確認してください。

原稿の厚さ

読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。

- 27～413g/m² (23～355kg/連)
- A8 サイズは 128～209g/m² (110～180kg/連)
- プラスチックカードは 1.4mm 以下 (エンボス付き可 (ISO7810 ID-1 タイプ準拠))

うまく読み取れない場合がある原稿

次の原稿はうまく読み取れない場合があります。

- 厚さが一定していない原稿 (封筒、写真を貼り付けた原稿など)
- しわが寄っているまたはカールしている原稿
- 折れたり、裂けたりしている原稿
- トレーシングペーパー
- コート紙
- カーボン紙
- 感光紙
- 端にミシン目のある原稿
- 四角形ではない原稿
- 非常に厚さが薄い原稿
- 写真 (印画紙)

ヒント

うまく読み取れない場合がある原稿は、キャリアシートを使用することで読み取れます。また、しわが寄っている、カールしている原稿、折れている原稿は、まっすぐに矯正することでも読み取れます。

読み取れない原稿

次の原稿は読み取らないでください。

- クリップまたはステープルが付いた原稿
- インクが乾いていない原稿
- 50.8×50.8mm より小さい原稿
- 幅が 240mm (9.5 インチ) より大きい原稿
- 紙/プラスチックカード以外のもの (布、金属箔、OHP フィルムなど)
- 証書や金券など、媒体が傷ついたりよごれたりしてはならない重要書類

重要

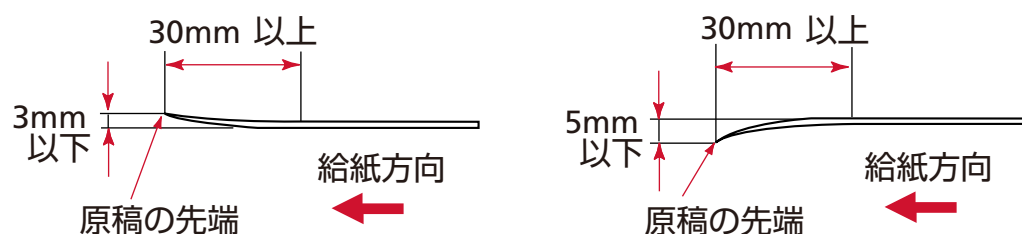
ノーカーボン紙には、ブレーキローラなどのローラーを劣化させる化学物質を含んでいるため、スキャナーが故障する可能性があります。

原稿とプラスチックカードの注意

● 原稿の注意

読み取る原稿によっては、次のことに注意してください。

- ノーカーボン紙には、ブレーキローラなどのローラーを劣化させる化学物質を含んでいるため、次のことに注意してください。
 - 清掃
原稿づまりが頻繁に起きるときは、ブレーキローラとピックアップローラを清掃してください。
 - ➔ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)
 - 部品の交換
ブレーキローラとピックアップローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなる場合があります。
- 中質紙の原稿を読み取った場合、ブレーキローラとピックアップローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなる場合があります。
- 原稿に貼り付けられた写真やメモ用紙が、原稿を読み取るときにブレーキローラやピックアップローラに接触すると、ブレーキローラやピックアップローラが傷つく可能性があります。
- 写真などの光沢紙を読み取った場合、原稿の表面が傷つく可能性があります。
原稿を傷つけない場合は、オプションのキャリアシートを使用してください。
- 光沢のある原稿を読み取った場合、LED 光源の輝点が見えることがあります。
- 半透明の原稿を読み取るときは、裏写りを防止するためにスキャナードライバーで「明るさ」を明るめに設定してください。
- 鉛筆書きの原稿を読み取るときは、原稿に黒い跡が転写されてよごれる可能性があります、原稿送り不良の原因となります。
できる限り頻繁に各ローラーを清掃してください。
- ➔ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)
- 原稿が搬送されなかったり、原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが頻繁に発生したりする場合は、[トラブルと対処方法 \(141 ページ\)](#)を参照してください。
- すべての原稿は先端が平らでなければなりません。
原稿先端のカーブは次の数値を満たしている必要があります。

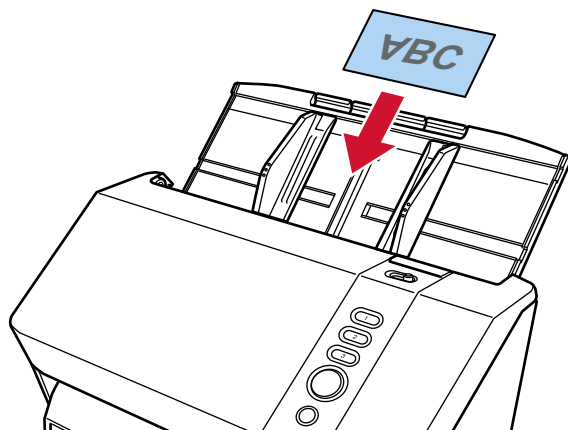


● プラスチックカードの注意

プラスチックカードを読み取る場合は、次のことに注意してください。

- 次の仕様のプラスチックカードを使用し、事前に搬送できることを確認してください。

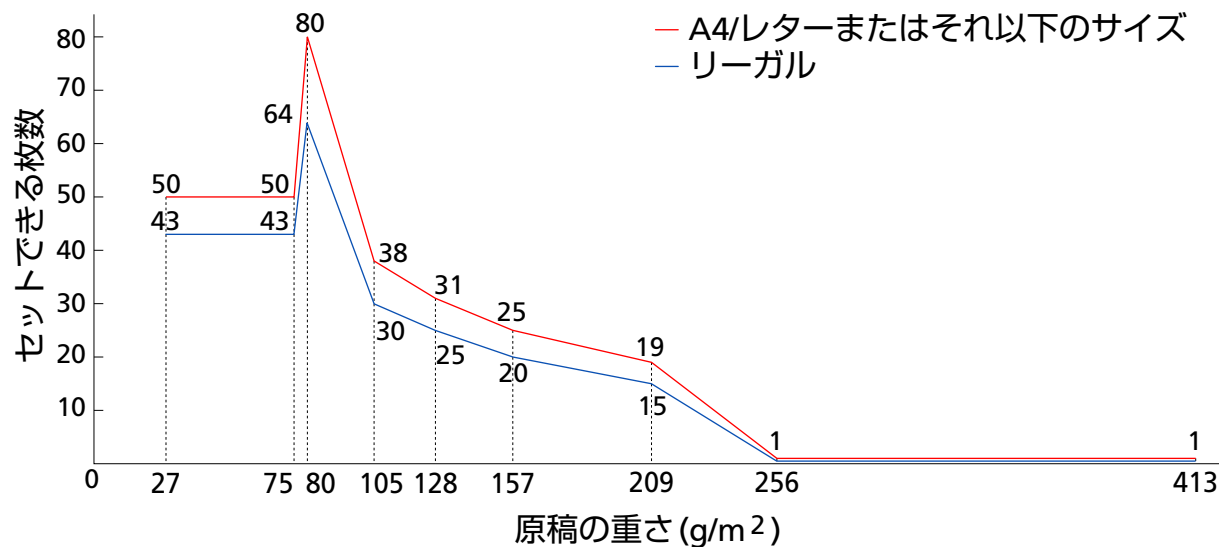
- タイプ：ISO7810 ID-1 タイプに準拠
- サイズ：85.6×53.98mm
- 厚さ：1.4mm 以下（エンボス付き可）
- 素材：ポリ塩化ビニル（PVC）またはポリ塩化酢酸ビニル（PVCA）
- プラスチックカードは ADF 給紙シュート（フィーダー）に 1 枚ずつセットしてください。



- プラスチックカードの表面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにセットすることを推奨します。
- エンボスがあるプラスチックカードは、エンボス面を ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）にして、横にセットすることを推奨します。
- 硬くて曲がりにくいプラスチックカードは、うまく搬送されない場合があります。
- プラスチックカードの表面が油（手の脂）などでよごれている場合は、よごれをふき取ってから読み取ってください。
- プラスチックカードのような厚い原稿を読み取ると、常に原稿の重なりが検出されます。このような場合は、次のどちらかの設定で読み取ってください。
 - 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
 - 手差し・単送モードで読み取る。

セットできる原稿の枚数

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットできる原稿の枚数は原稿のサイズと厚さで決まります。次のグラフを参照してください。



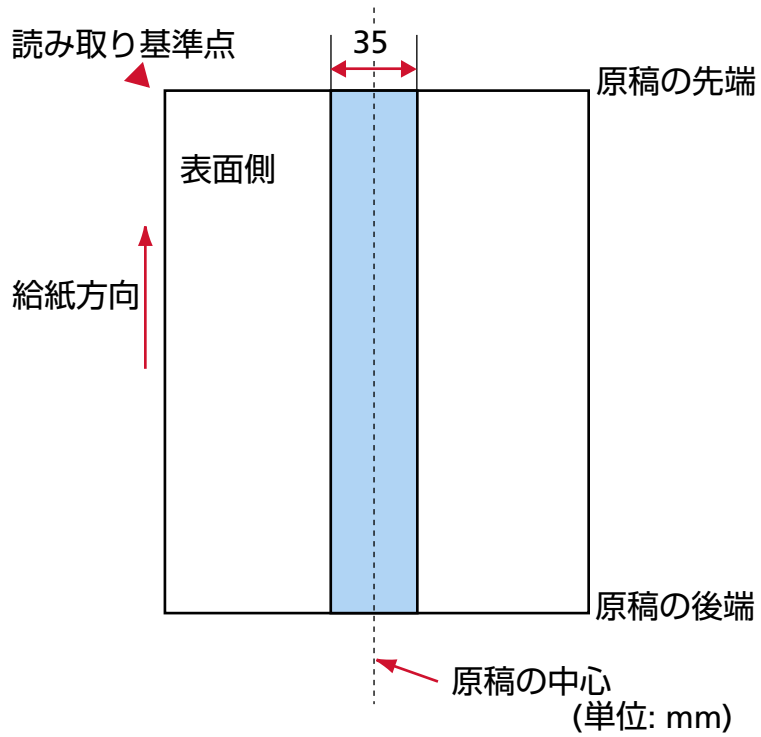
厚さの単位	g/m ² (坪量)	lb	kg/連 (連量) (*1)
変換表	27	7.2	23
	75	20	65
	80	21	69
	105	28	90
	128	34	110
	157	42	135
	209	56	180
	256	68	220
	413	110	355

*1：四六判連量

穴を開けてはいけない領域

次の図にある水色の領域に穴があると、エラーの原因となる場合があります。

この条件は、原稿がピックアップの幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。



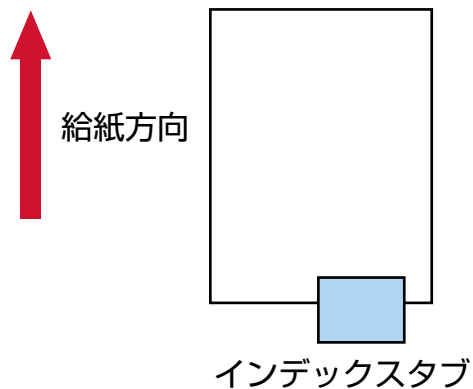
ヒント

原稿の中央 35mm の領域については、原稿セット位置を左右にずらすことによって回避できます。

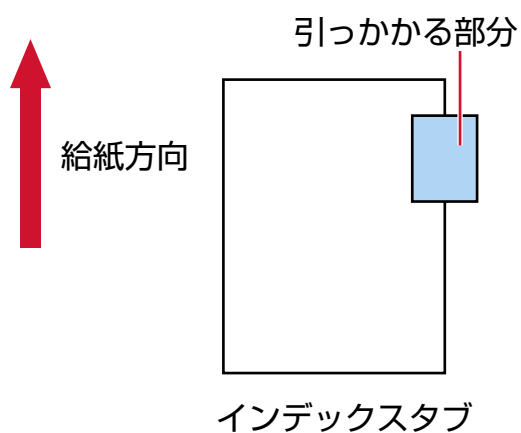
インデックスタブ付き原稿のセット方法

インデックスタブ付き原稿を読み取る場合は、搬送中に原稿が引っかからない方向にセットしてください。

良い例



悪い例



重要

原稿を悪い例のようにセットして読み取ると、搬送中に原稿が引っかかり、傾いて読み取られたり、原稿づまりが発生して原稿が破損したりするおそれがあります。

原稿の重なり（マルチフィード）を正しく検出するための条件

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なって搬送される現象のことです。原稿の重なりは、超音波センサーや原稿の長さの違いで検出します。セットした原稿の重なりを正しく検出するには、次に示す条件が必要です。この条件は、原稿がピックアップの幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提です。

超音波センサーで原稿の重なりを検出する場合

- 原稿の厚さ：27～413g/m²（23～355kg/連）
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、穴を開けないでください。
→ [穴を開けてはいけない領域 \(63 ページ\)](#)の図
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、のりなどの接着剤でほかの原稿を貼り付けしないでください。原稿の重なりが誤って検出される場合があります。
→ [穴を開けてはいけない領域 \(63 ページ\)](#)の図

原稿の長さの違いで原稿の重なりを検出する場合

- 同じ長さの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。
- 原稿の長さのばらつき：1%以下
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、穴を開けないでください。
→ [穴を開けてはいけない領域 \(63 ページ\)](#)の図

超音波センサーと原稿の長さの違いの両方で、原稿の重なりを検出する場合

- 同じ長さの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。
- 原稿の厚さ：27～413g/m²（23～355kg/連）
- 原稿の長さのばらつき：1%以下
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、穴を開けないでください。
→ [穴を開けてはいけない領域 \(63 ページ\)](#)の図
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、のりなどの接着剤でほかの原稿を貼り付けしないでください。原稿の重なりが誤って検出される場合があります。
→ [穴を開けてはいけない領域 \(63 ページ\)](#)の図

重要

超音波センサーで原稿の重なりを検出する場合、プラスチックカードのような厚い原稿を読み取ると、常に原稿の重なりが検出されます。

このような場合は、次のどちらかの設定で読み取ってください。

- 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
- 手差し・単送モードで読み取る。

ヒント

- 原稿によっては、原稿の重なるの検出精度が低下する場合があります。
搬送方向で、原稿の先端から約 30mm は、原稿の重なりを検出できません。
- 長さの異なる原稿を混載して読み取るときに、原稿の重なりを検出する場合は、原稿の長さの違いによる検出方法を設定しないでください。

混載条件

厚み/摩擦係数/サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、次の制限があります。
 なお、原稿を混載して読み取る場合は、必ず、事前に搬送性能の確認を行ってください。
 読み取り方法については、[幅の違う原稿を読み取りたいとき \(77 ページ\)](#)を参照してください。

原稿の向き

原稿のスキ目方向（紙の繊維の並んだ方向）を、搬送方向に合わせてください。

原稿の厚さ

厚さの異なる原稿を混載する場合、読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。

40～209g/m² (34.5～180kg/連)

原稿の摩擦係数

原稿の用紙は、同一メーカーの同一銘柄のものを推奨します。

いろいろな用紙メーカー/銘柄が混載されると、摩擦係数の差が大きくなり、搬送性能に影響をおよぼす場合があります。

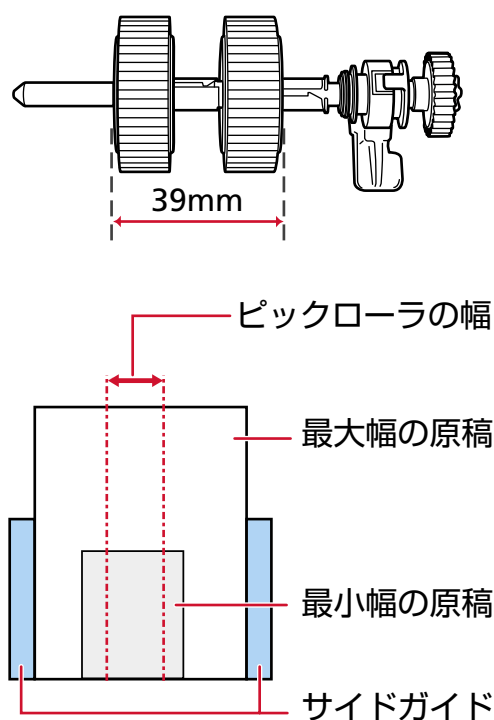
推奨摩擦係数は次のとおりです。

0.35～0.60（紙間摩擦係数参考値）

原稿のセット位置

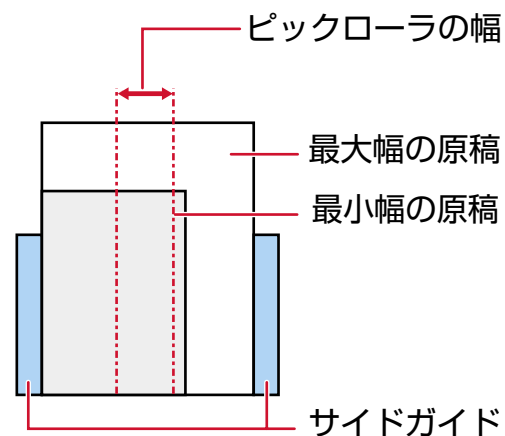
すべての原稿が、ピックアップラの幅（約 39mm）にかかるように原稿をセットしてください。

異なるサイズの原稿を組み合わせるときの目安は、[原稿のサイズ \(68 ページ\)](#)の定型サイズの混載での組み合わせ ([69 ページ](#))を参照してください。



ヒント

最小幅の原稿が、下図のように、片側に寄せてセットしてもピックアップの幅にかかるサイズの場合は、原稿を片側に寄せてセットしてください。原稿が傾いて搬送されにくくなります。

**原稿のサイズ**

異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、原稿が傾いて搬送されると、画像欠けや原稿づまりなどのトラブルが発生することがあります。

原稿が大きく傾いて搬送されたときには、読み取られた画像を確認することを推奨します。

重要

異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、すべての原稿に対してサイドガイドが機能しないため、原稿が傾いて搬送されやすくなります。

定型サイズの混載での組み合わせ

次の範囲が混載可能な組み合わせの目安です。

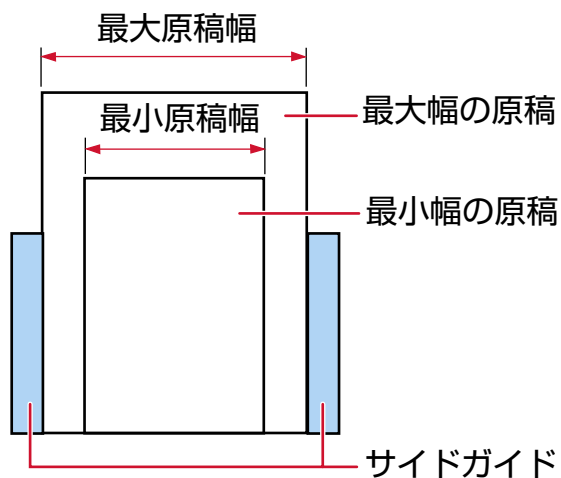
原稿サイズ 幅 (mm) (*1)			最大原稿サイズ										
			LTR縦 A3-CS	A4縦 A5横	B5縦 B6横	A5縦 A6横	B6縦 B7横	A6縦 A7横	B7縦 B8横	A7縦 A8横	B8縦	A8縦	
			216	210	182	149	129	105	91	74.3	64.3	52.5	
最小原稿サイズ	LTR縦 A3-CS	216											
	A4縦 A5横	210											
	B5縦 B6横	182											
	A5縦 A6横	149											
	B6縦 B7横	129											
	A6縦 A7横	105											
	B7縦 B8横	91											
	A7縦 A8横	74.3											
	B8縦	64.3											
	A8縦	52.5											

■ 混載可能範囲

LTR： レターサイズ

A3-CS： A3 キャリアシート

*1： 最大原稿幅と最小原稿幅と原稿のセット位置との関係図を次に示します。



重要

B8 縦または A8 縦は、ほかのサイズ of 原稿と組み合わせて混載できません。

混載できない原稿

次の原稿は混載して読み取れません。

- ノーカーボン紙
- ボンド紙
- 端にミシン目のある原稿
- 感熱紙
- 裏カーボン紙
- OHP 紙
- トレーシングペーパー

自動原稿サイズ検出を行うための条件

次のような原稿の場合、原稿サイズを検出できません。

- 長方形ではない原稿

また、次のような原稿の場合、原稿サイズを検出できないことがあります。

- 厚さが 52g/m^2 (45kg/連) 以下の薄い原稿
- 原稿端が光沢のある白い原稿
- 原稿端が薄暗い（グレー色）の原稿

A3 キャリアシートを使用する場合の条件

● 原稿のサイズ

読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

- A3 キャリアシートサイズ (216×297mm)
- A3 (297×420mm) (*1)
- A4 (210×297mm)
- A5 (148×210mm)
- A6 (105×148mm)
- B4 (257×364mm) (*1)
- B5 (182×257mm)
- B6 (128×182mm)
- はがき (100×148mm) (*2)
- 名刺 (91×55mm、55×91mm) (*2)
- ビジネスカード (51×89mm) (*3)
- レター (8.5×11 インチ、216×279.4mm)
- ダブルレター (11×17 インチ、279.4×431.8mm) (*1)
- 写真 E 版 (83×117mm、117×83mm) (*2)
- 写真 L 版 (89×127mm、127×89mm) (*2)
- 写真 LL 版 (127×178mm、178×127mm) (*2)
- カスタムサイズ
 - 幅
25.4～216mm (1～8.5 インチ)
 - 長さ
25.4～297mm (1～11.69 インチ)

*1：原稿の幅が 216mm (8.5 インチ) を超える場合は、2 つ折りにして読み取ります。

*2：スキャナードライバーが PaperStream IP (TWAIN) for SP Series/PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series の場合、または DirectScan の場合に読み取りができます。

*3：スキャナードライバーが PaperStream IP (ISIS) for SP Series の場合に読み取りができます。

● 原稿の紙質

原稿の種類

原稿の種類は次のとおりです。

- 一般的なオフィス用紙
- A4 サイズより大きい原稿

- 傷つけない写真などの原稿
- 紙づまりの可能性のある切り抜きなどの原稿

原稿の厚さ

読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。

- 209g/m² まで（180kg/連まで）
2つ折りにして読み取る場合、読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。
- 105g/m² まで（90kg/連まで）

● A3 キャリアシートを使用/保管するときの注意

A3 キャリアシートを使用するときの注意

- A3 キャリアシートは、同時に最大3枚までセットできます。
- A3 キャリアシートで「見開き」読み取りをするときに、高解像度で読み取ると、使用する画像読み取り用アプリケーションによっては、メモリーが不足して読み取りができない場合があります。このような場合は解像度を低くして読み取ってください。
- A3 キャリアシートの先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、よごしたり、切り取ったりしないでください。
A3 キャリアシートが正しく認識できなくなります。
- A3 キャリアシートの上下を逆向きにして、スキャナーにセットしないでください。
原稿づまりが発生して、A3 キャリアシートおよび A3 キャリアシート内の原稿が破損するおそれがあります。
→ [A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき \(86 ページ\)](#)
- A3 キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、A3 キャリアシートの表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。
そのまま使い続けると、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合がありますので、定期的に清掃してください。
→ [キャリアシートの清掃 \(117 ページ\)](#)
清掃しても改善されない場合は、A3 キャリアシートを交換してください。
- A3 キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損した A3 キャリアシートは使用しないでください。
スキャナーが破損または故障する可能性があります。
- A3 キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。
指を切るおそれがあります。
- 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続搬送したあとに、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。
PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。
- A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取ると、原稿づまりが発生する可能性があります。
A3 キャリアシートには、1 枚ずつ原稿をセットして読み取ることを推奨します。
- A3 キャリアシートに冊子（パスポートなど）をセットして読み取らないでください。

原稿づまりが発生する可能性があります。

- A3 キャリアシートは高温環境下で使用しないでください。

A3 キャリアシートを保管するときの注意

- 原稿を、A3 キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。
印刷のインクが A3 キャリアシートに転写する場合があります。
- A3 キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。
A3 キャリアシートが変形するおそれがあります。
- A3 キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。

写真キャリアシートを使用する場合の条件

● 原稿のサイズ

読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

- 写真キャリアシートサイズ (178×127mm)
- A6 (105×148mm)
- はがき (100×148mm) (*1)
- 名刺 (91×55mm、55×91mm) (*1)
- ビジネスカード (51×89mm) (*2)
- 写真 E 版 (83×117mm、117×83mm) (*1)
- 写真 L 版 (89×127mm、127×89mm) (*1)
- 写真 LL 版 (127×178mm、178×127mm) (*1)
- カスタムサイズ
 - 幅
25.4～178mm (1～7 インチ)
 - 長さ
25.4～127mm (1～5 インチ)

*1：スキャナードライバーが PaperStream IP (TWAIN) for SP Series/PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series の場合、または DirectScan の場合に読み取りができます。

*2：スキャナードライバーが PaperStream IP (ISIS) for SP Series の場合に読み取りができます。

● 原稿の紙質

原稿の種類

原稿の種類は次のとおりです。

- 傷つけたくない写真などの原稿
- 紙づまりの可能性がある切り抜きなどの原稿

原稿の厚さ

読み取れる原稿の厚さは次のとおりです。

- 209g/m² まで (180kg/連まで)

● 写真キャリアシートを使用/保管するときの注意

写真キャリアシートを使用するときの注意

- 写真キャリアシートは、同時に最大 3 枚までセットできます。
- 写真キャリアシートの先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、よごしたり、切り取ったりしないでください。
写真キャリアシートが正しく認識できなくなります。

- 写真キャリアシートの上下を逆向きにして、スキャナーにセットしないでください。
原稿づまりが発生して、写真キャリアシートおよび写真キャリアシート内の原稿が破損するおそれがあります。
→ [写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき \(88 ページ\)](#)
- 写真キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、写真キャリアシートの表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。
そのまま使い続けると、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合がありますので、定期的に清掃してください。
→ [キャリアシートの清掃 \(117 ページ\)](#)
清掃しても改善されない場合は、写真キャリアシートを交換してください。
- 写真キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損した写真キャリアシートは使用しないでください。
スキャナーが破損または故障する可能性があります。
- 写真キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。
指を切るおそれがあります。
- 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続搬送したあとに、写真キャリアシートの読み取りを行ってください。
PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。
- 画像を見開きにする設定にしても、表面の画像だけが出力されます。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
DirectScan の場合は、[キャリアシートを使用したときの画像 \(304 ページ\)](#)を参照してください。
- 写真キャリアシートに冊子（パスポートなど）をセットして読み取らないでください。
原稿づまりが発生する可能性があります。
- 写真キャリアシートは高温環境下で使用しないでください。

写真キャリアシートを保管するときの注意

- 原稿を、写真キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。
印刷のインクが写真キャリアシートに転写する場合があります。
- 写真キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。
写真キャリアシートが変形するおそれがあります。
- 写真キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。

いろいろな原稿の読み取り方

ここでは、コンピューターに接続して使用する場合を例にして、スキャナーの動作や読み取り条件を設定して、いろいろな原稿を読み取る方法について説明します。

ここに記載のない原稿の読み取り方については、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

幅の違う原稿を読み取りたいとき

重要

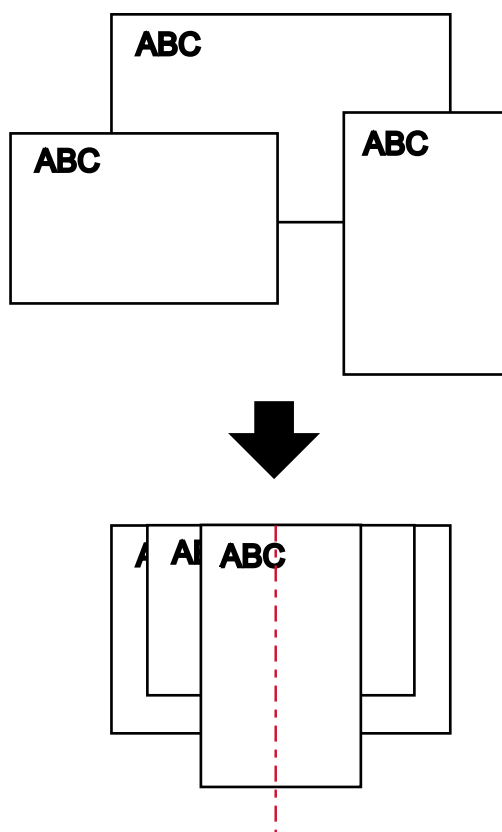
幅の違う原稿を一度にまとめて読み取ると、原稿幅の小さな原稿が傾いて搬送されるまたは搬送されないことがあります。

うまく読み取れない場合は、同じ幅の原稿ごとに分けて、別々に読み取ってください。

1 原稿を混載して読み取る場合の原稿の条件を確認します。

→ [混載条件 \(67 ページ\)](#)

2 原稿の先端をそろえます。

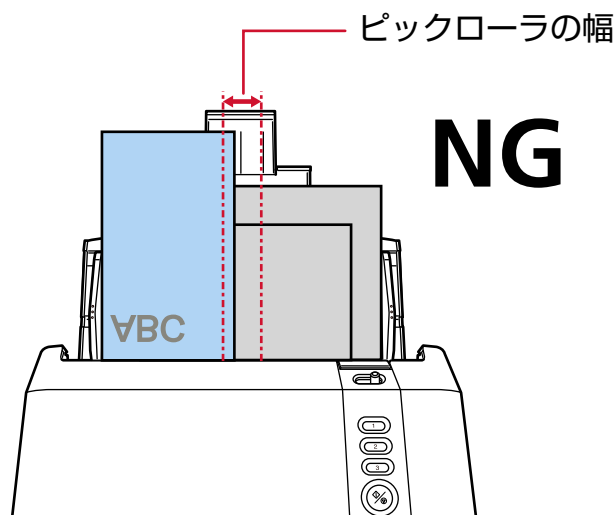
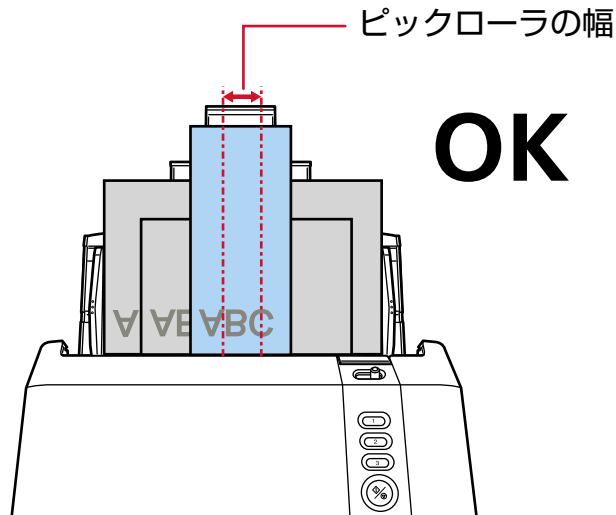


3 ADF 給紙シュート (フィーダー) の中央に原稿をセットし、最も幅の広い原稿の両側がサイドガイドに接するようにサイドガイドを移動します。

→ [原稿のセット方法 \(56 ページ\)](#)

重要

すべての原稿がピックアップローラ（中央）にかかるようにセットしてください。ピックアップローラから外れた位置に原稿があると、原稿が傾いて搬送されるまたは搬送されないことがあります。



- 4 スキャナードライバーで、原稿サイズを自動的に検出する読み取り条件を設定します。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 5 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取りたいとき

ADF 給紙シュート（フィーダー）のサイドガイド拡張スイッチを操作したときだけ、幅が 220mm 以上 240mm 以下の原稿を読み取れます。

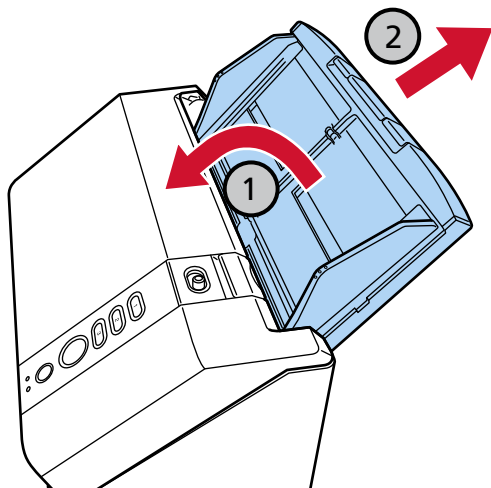
ヒント

幅が 215.9mm（8.5 インチ）を超える画像は出力できません。出力できる画像のサイズは、スキャナーで読み取れる原稿のサイズに従います。

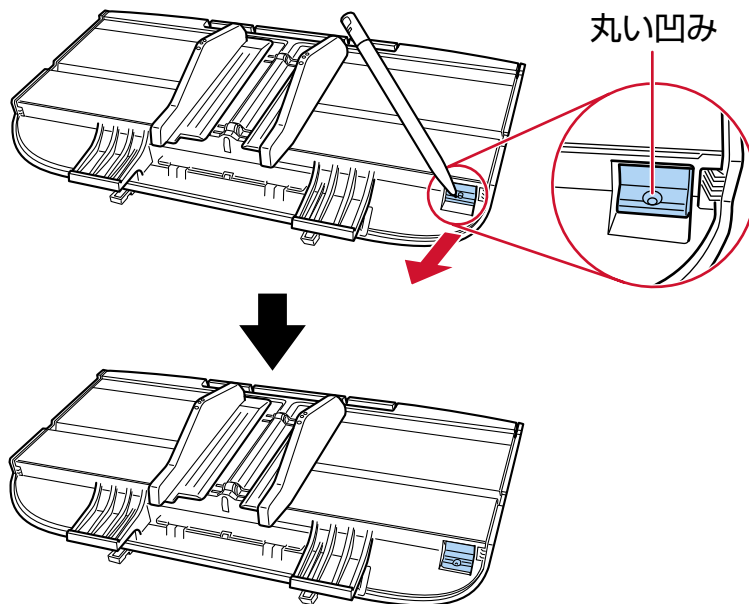
→ [原稿のサイズ \(58 ページ\)](#)

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。
- 2 ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外します。

ADF 給紙シュート（フィーダー）の両端を持って、①の矢印方向に持ち上げながら、②の矢印方向に引き上げます。

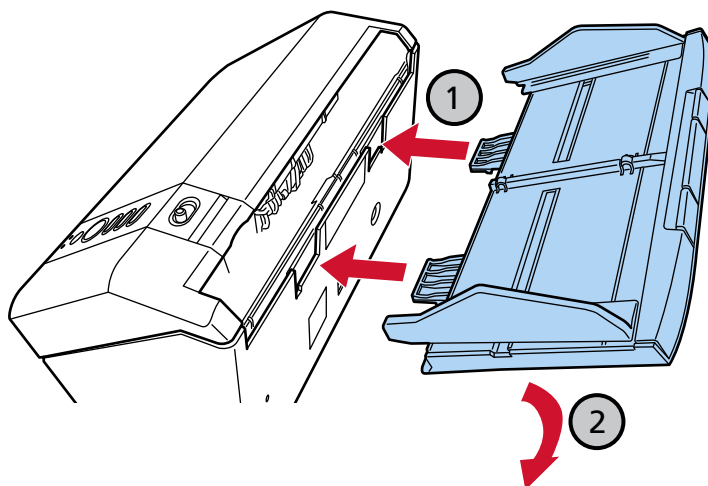


- 3 ADF 給紙シュート（フィーダー）のサイドガイド拡張スイッチの丸い凹みに、ボールペンなどの先の先を差して、サイドガイド拡張スイッチを手前に引き出します。



- 4 ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り付けます。

スキャナー背面にある穴に ADF 給紙シュート（フィーダー）のツメが入るように、①の矢印方向に差し込み、②の矢印方向に引き下げてしっかり固定します。サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。



重要

ADF 給紙シュート（フィーダー）はスキャナーとの隙間がないようにしっかり差し込んでください。

- 5 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

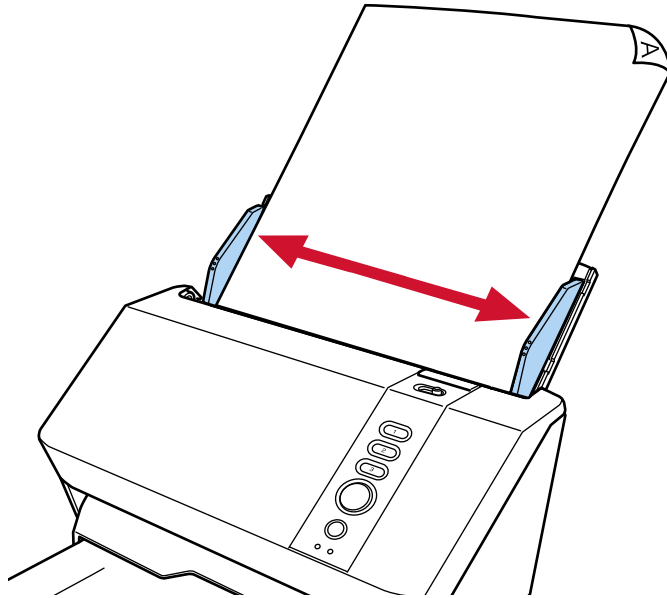
→ [原稿のセット方法 \(56 ページ\)](#)

6 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドは 220mm 以上 240mm 以下の原稿の幅に合わせてられます。

サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。

サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が傾いて搬送されることがあります。



7 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

2つ折りの原稿を読み取りたいとき

給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードに切り替えると、2つに折り曲げた原稿（A3サイズ、ダブルレターサイズの2つ折りまで）をそのまま読み取れます。
手差し・単送モードに切り替えると、読み取り速度が遅くなります。

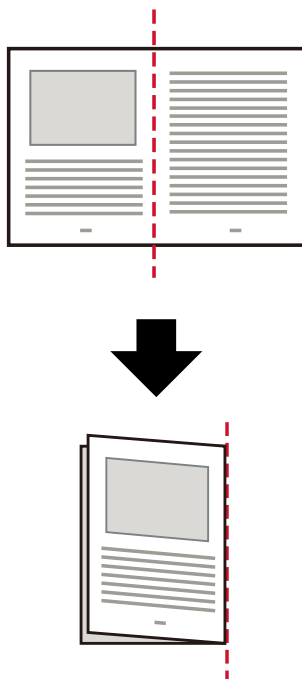
重要

- 原稿の厚みによって原稿の折り曲げ部分がふくらんでいると、原稿が傾いて搬送されることがあります。
- 手差し・単送モードは、2つ折りの原稿や封筒のような複数枚の紙が重なっている原稿を読み取るための機能です。
そのため、原稿の重なりを検出する設定をしていますが、原稿の重なりを検出しません。
→ [原稿の重なりを検出する方法の設定（マルチフィード）（222 ページ）](#)

1 読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から2つに折り曲げます。

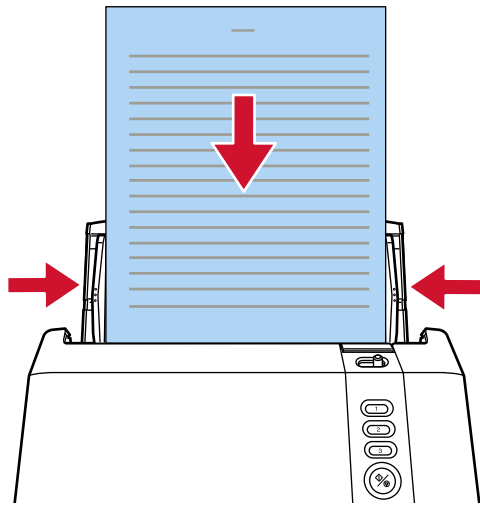
原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。
折り曲げ部分がふくらんだまま読み取ると、傾いて搬送され、画像の傾きの原因となります。

例

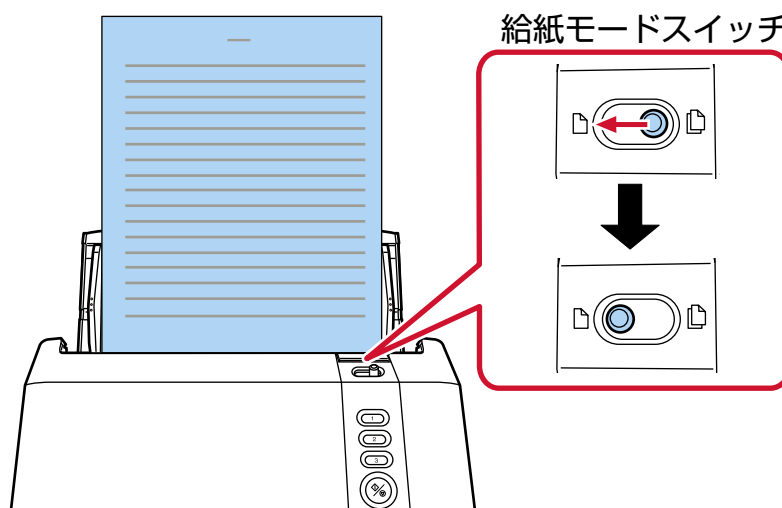


2 2つ折りの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。

→ 原稿のセット方法 (56 ページ)



3 給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードにします。



4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

ヒント

次の場合に、原稿がセットされるまで最大 10 秒間待機します。

- 原稿をセットせずに、画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始した場合
- 原稿を 1 枚搬送したあと
待機中に Scan/Stop ボタンを押すと、読み取りが完了します。

封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき

給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードに切り替えると、封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取れます。

手差し・単送モードに切り替えると、読み取り速度が遅くなります。

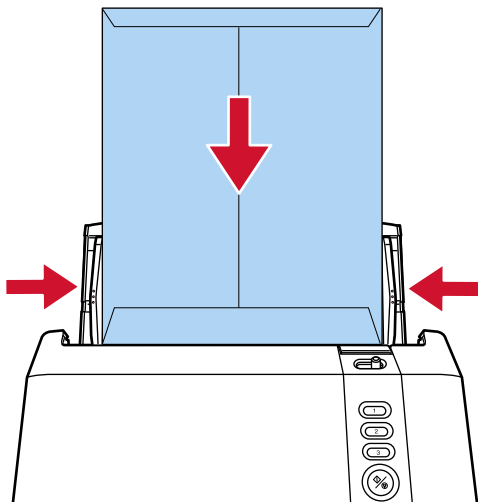
重要

- 読み取れる原稿の厚さは、[読み取りできる原稿 \(58 ページ\)](#)を参照してください。
- 手差し・単送モードは、2つ折りの原稿や封筒のような複数枚の紙が重なっている原稿を読み取るための機能です。
そのため、原稿の重なりを検出する設定をしていますが、原稿の重なりを検出しません。
→ [原稿の重なりを検出する方法の設定 \(マルチフィード\) \(222 ページ\)](#)

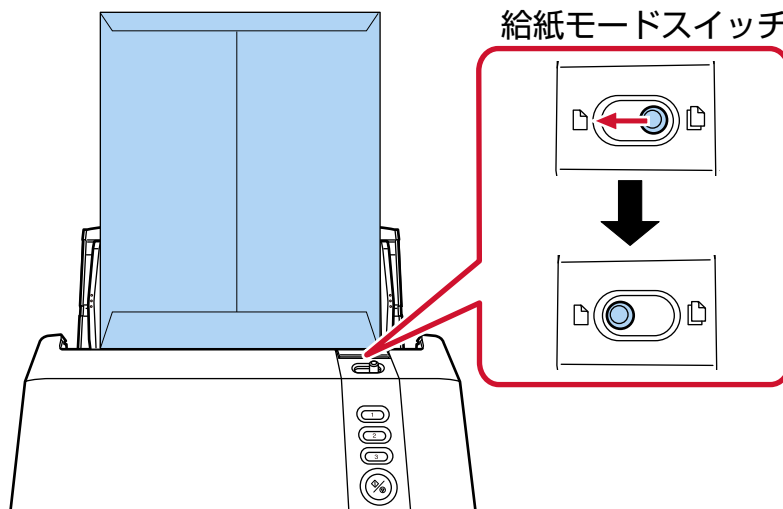
1 ADF 給紙シュート (フィーダー) に原稿をセットします。

複数枚つづりの複写紙の場合は、つづられている側を下にしてセットします。

→ [原稿のセット方法 \(56 ページ\)](#)



2 給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードにします。



3 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

ヒント

次の場合に、原稿がセットされるまで最大 10 秒間待機します。

- 原稿をセットせずに、画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始した場合
- 原稿を 1 枚搬送したあと

待機中に Scan/Stop ボタンを押すと、読み取りが完了します。

A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき

オプションの A3 キャリアシートを使用すると、A3 や B4 などの A4 サイズより大きい原稿を読み取れます。原稿は 2 つ折りにして、A3 キャリアシートにはさみます。

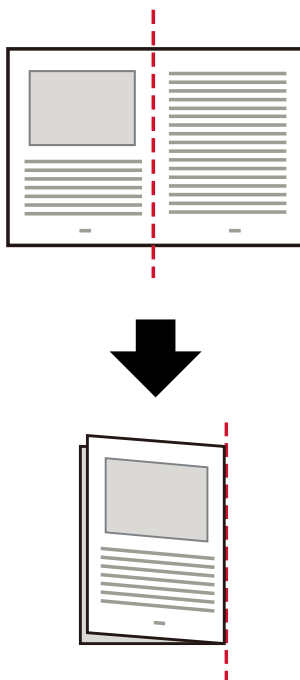
1 A3 キャリアシートに原稿をセットします。

a 読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から 2 つに折り曲げます。

原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。

原稿の厚みによって原稿の折り曲げ部分がふくらんでいると、原稿が傾いて搬送されることがあります。

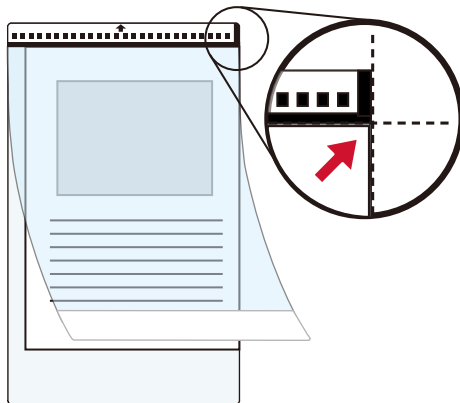
例



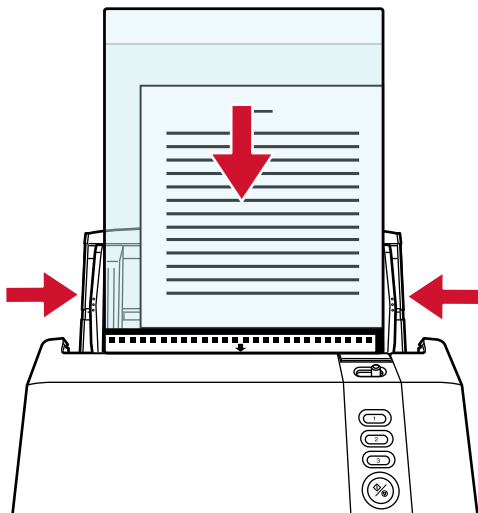
b A3 キャリアシートの表面を開けて、原稿をはさみます。

A3 キャリアシートの表面は、白黒のパターンを上にしたときに、右端に縦線のある面です。

原稿の上端と折り目を、A3 キャリアシートの右上部分の上端と右端に、隙間ができないようにしっかりと合わせます。



- 2 A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下にし、原稿の読み取り面が ADF 給紙シート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シート（フィーダー）にセットします。A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



- 3 スキャナードライバーで、A3 キャリアシート用の読み取り条件を設定します。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

重要

キャリアシートを使用した場合の画像の切り出し方法/出力方法については、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

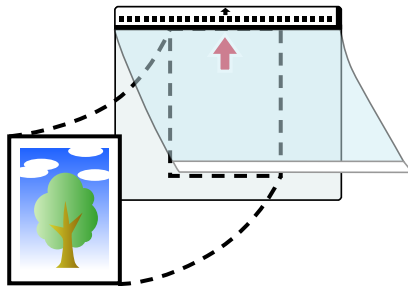
写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき

オプションの A3 キャリアシートまたは写真キャリアシートを使用すると、写真や、資料の切り抜きのような非定型サイズの原稿を傷つけずに読み取れます。

ここでは、写真キャリアシートを使用する場合を例に説明します。

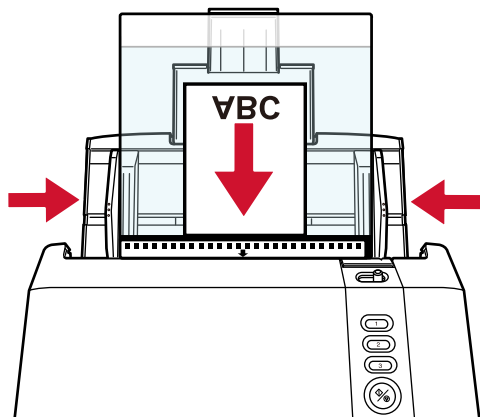
1 写真キャリアシートに原稿をセットします。

写真キャリアシートを開けて、原稿を写真キャリアシートの幅方向に対して中央に置き、原稿の上端を写真キャリアシートの上端に突き当ててはさんでください。



2 写真キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下にし、原稿の読み取り面が ADF 給紙シュート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。

写真キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



3 スキャナードライバーで、写真キャリアシート用の読み取り条件を設定します。

詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

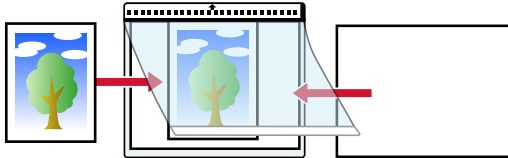
重要

キャリアシートを使用した場合の画像の切り出し方法/出力方法については、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

ヒント

次のような現象が発生する場合は、原稿のうしろに白紙をはさんでください。

- スキャナードライバーの「用紙サイズ」に「自動」が指定されている場合、画像が原稿と同じサイズで出力されない。
- 画像に原稿の端の影が入る。
- 特殊な形に切り抜いた原稿を写真キャリアシートにはさんだ場合、画像に原稿の形をした黒線が入る。
- 画像に原稿の外側の画像が含まれる。



長尺帳票を読み取りたいとき

給紙方向（長さ方向）が 6,096mm（240 インチ）までの原稿を読み取りできます。

読み取り解像度の設定や、画像読み取り用アプリケーションによっては、読み取りできる原稿サイズが異なります。

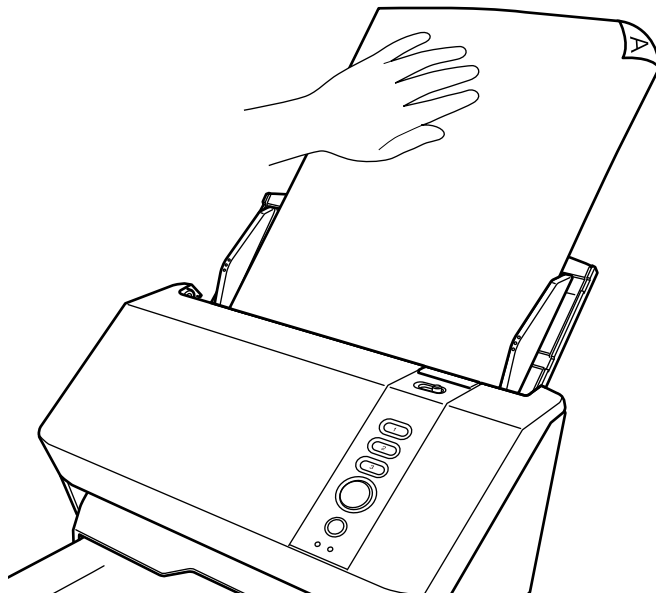
詳細は、[原稿のサイズ \(58 ページ\)](#)、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿を 1 枚セットします。

→ [原稿のセット方法 \(56 ページ\)](#)

- 2 セットした原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から落ちないように、手で支えます。

原稿を手で支えるときは、原稿の縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。



- 3 スキャナードライバーで、長尺帳票用の読み取り条件を設定します。

詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

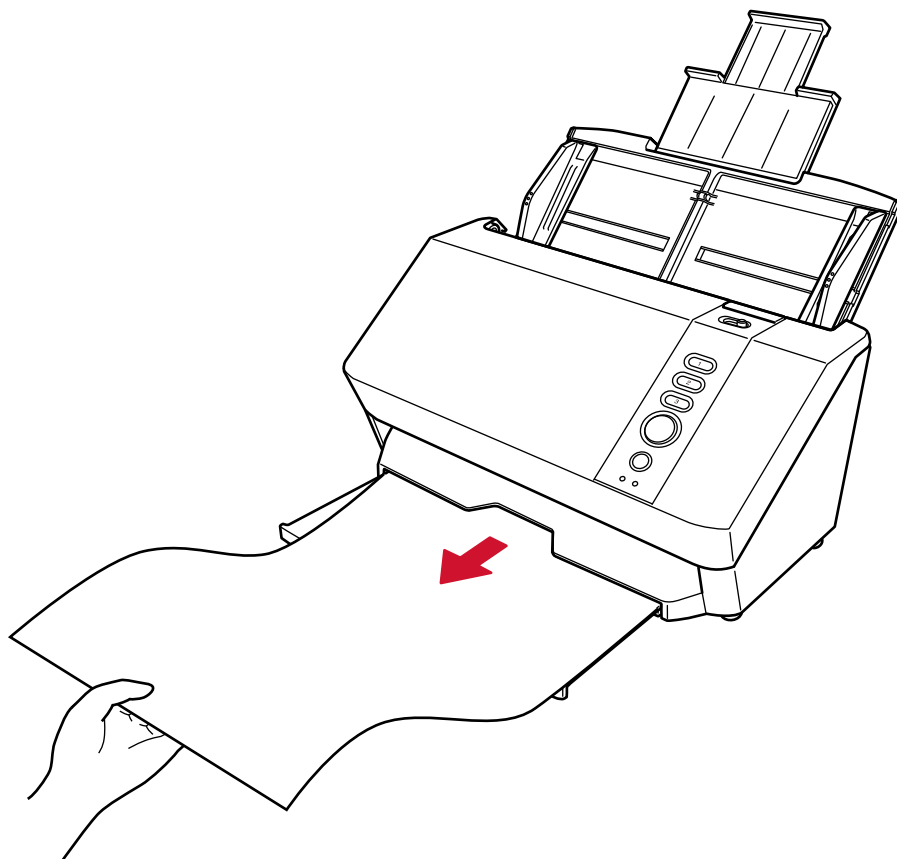
画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーの設定画面を表示しない場合もあります。

- 4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

- 5 スタッカー側に十分なスペースを設け、排出した原稿がスタッカーから落ちないように、手で受け取ります。

原稿を手で受け取る時は、原稿の縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。



ジョブを実行して原稿の読み取りと保存・送信を行う (DirectScan)

DirectScan は、スキャナーの Send to ボタンからジョブを実行し、原稿を読み取って画像ファイルを保存・送信する機能です。

ここでは、スキャナーの Send to ボタンにジョブを設定し、そのジョブを実行するまでの流れを説明します。

画像ファイルをネットワーク上のフォルダーに保存したいとき

スキャナーの Send to ボタンに、次の処理をまとめて実行するジョブを割り当てます。

- 原稿を読み取る
- 画像ファイルをネットワーク共有フォルダーや FTP/SFTP サーバーに保存する

1 PaperStream Scanner Admin を起動します。

→ [PaperStream Scanner Admin の起動 \(230 ページ\)](#)

2 「DirectScan」の「ボタン割り当て」をクリックし、スキャナーの Send to ボタンにジョブを割り当てます。

a ジョブを割り当てるボタンを有効にします。

b 【ジョブ設定】 ボタンをクリックします。

SP Series ログアウト

メニュー ボタン割り当て

すべて展開

3つのボタンにジョブを設定します。ボタンを有効にしている場合、USB接続時のスキャンプロパティのイベント設定は無効になります。DirectScanをするには、「基本設定」の「日付/時刻」を設定する必要があります。

1 Send to 01	a 有効 <input checked="" type="checkbox"/>	b ジョブ設定
ジョブ名 : Send to Button 01		
出力先種別 : ネットワーク共有フォルダー (SMB)		
2 Send to 02	無効 <input type="checkbox"/>	ジョブ設定
ジョブ名 :		
出力先種別 : ⚠ ネットワーク共有フォルダー (SMB)		
3 Send to 03	無効 <input type="checkbox"/>	ジョブ設定
ジョブ名 :		
出力先種別 : ⚠ ネットワーク共有フォルダー (SMB)		

スキャナーに反映

3 「表示名」にジョブの名前を入力します。

The screenshot shows the 'ジョブの編集' (Job Editing) screen in the SP Series software. At the top, there's a 'メニュー' (Menu) button and a 'ログアウト' (Logout) button. The main area is titled 'ジョブの編集' and contains a message: 'ジョブの設定をします。「スキャナーに反映」ボタンをクリックすると、「ボタン割り当て」の設定もスキャナーに反映されます。' (Set the job. Clicking the 'Reflect on Scanner' button will also reflect the 'Button Assignment' settings to the scanner.)

Below the message, there's a '表示名' (Display Name) field with a red border, containing the text 'ScanJob-001'. To the right of this field is a '読み取り設定' (Scanning Settings) section with the following options:

- e-文書モード : 無効
- 画像タイプ : カラー/モノクロ自動判別 (二値白黒/カラー)
- 読み取り面 : 両面
- 解像度 (dpi) : 200
- 用紙サイズ : 自動
- 継続読み取り : 無効

At the bottom of the settings section, there is a '詳細設定' (Detailed Settings) button. Below the entire settings area, there are two buttons: 'スキャナーに反映' (Reflect on Scanner) and 'キャンセル' (Cancel).

4 「読み取り設定」をクリックし、どのように原稿を読み取るかを設定します。

- a 各項目を設定します。

b 読み取り設定を詳細に行う場合、【詳細設定】 ボタンをクリックして、各項目を設定します。

SP Series ログアウト

メニュー ジョブの編集

すべて展開

ホーム

スキャナー情報

基本設定

ネットワーク

DirectScan

ボタン割り当て

ジョブ設定

DirectScanの初期化

スキャナーの接続

ジョブの編集

ジョブの設定をします。「スキャナーに反映」ボタンをクリックすると、「ボタン割り当て」の設定もスキャナーに反映されます。

表示名 :

読み取り設定 読み取り設定

ファイル設定

出力先設定

インデックスファイル

a e-文書モード : 無効

画像タイプ : カラー/モノクロ自動判別 (二値白黒/カラー)

読み取り面 : 両面

解像度 (dpi) : 200

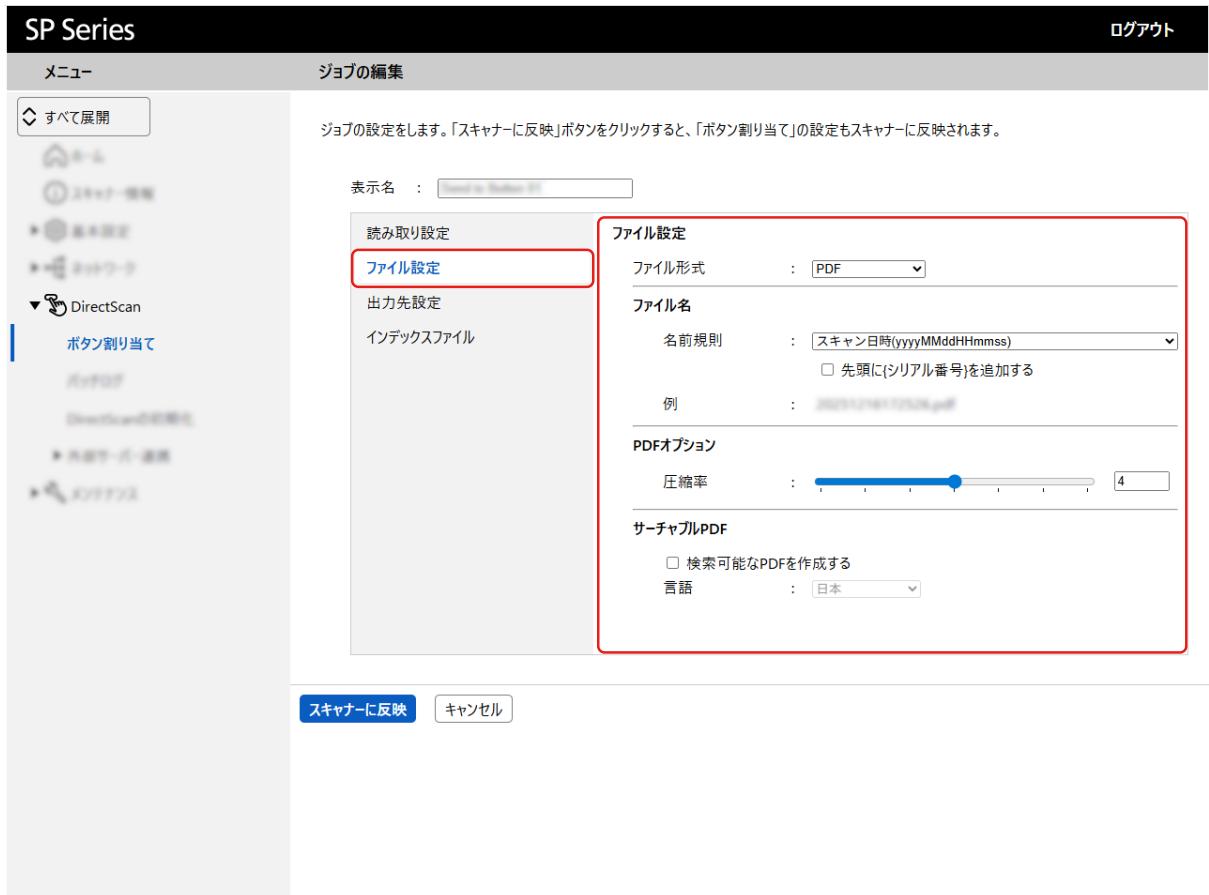
用紙サイズ : 自動

継続読み取り : 無効

b **詳細設定**

スキャナーに反映 キャンセル

5 「ファイル設定」をクリックし、画像ファイルの形式や名前を設定します。

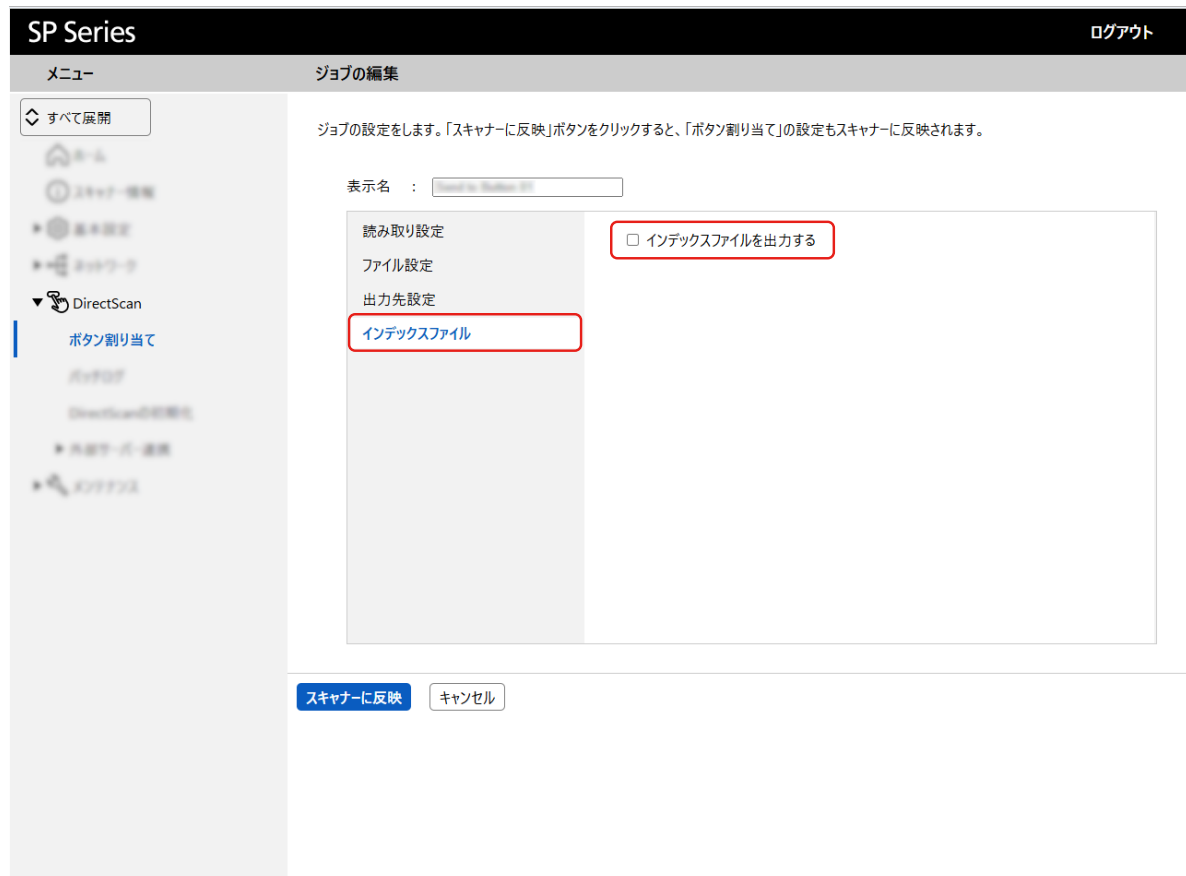


6 「出力先設定」をクリックし、画像ファイルの保存先を設定します。

a 「出力先種別」で、画像ファイルの保存先を次から選択します。

- ネットワーク共有フォルダー (SMB)
- ファイル転送 (FTP)
- SSH ファイル送信 (SFTP)

「読み取り設定」でバーコード検出を有効にした場合はインデックスファイルが作成されるため、チェックボックスにチェックが付いています。



8 **【スキャナーに反映】 ボタンをクリックします。**

9 **スキャナーの Send to ボタンを押して、ジョブを実行します。**

→ [スキャナーのボタンでジョブを実行する \(DirectScan\) \(51 ページ\)](#)

ジョブの実行中にエラーが発生した場合は、PaperStream Scanner Admin の「バッチログ」でエラーの内容を確認できます。

→ [バッチログ \(263 ページ\)](#)

関連項目

[ボタン割り当て \(247 ページ\)](#)

画像ファイルをメールで送信したいとき

スキャナーの Send to ボタンに、次の処理をまとめて実行するジョブを割り当てます。

- 原稿を読み取る
- 画像ファイルをメールで送信する

1 PaperStream Scanner Admin を起動します。

→ [PaperStream Scanner Admin の起動 \(230 ページ\)](#)

2 「DirectScan」の「外部サーバー連携」→「SMTP」をクリックし、メールの送信に使用する SMTP サーバーを設定して「スキャナーに反映」ボタンをクリックします。

→ [SMTP \(265 ページ\)](#)

The screenshot shows the 'SMTP' configuration page in the PaperStream Scanner Admin interface. The left sidebar is expanded to show 'DirectScan' and '外部サーバー連携' (External Server Connection), with 'SMTP' selected. The main content area contains the following configuration options:

- 認証方式 (Authentication Method): 基本認証 (Basic Authentication)
- SMTPサーバー (SMTP Server): [Empty text box]
- 暗号化方式 (Encryption Method): 使用する (SMTPS) (Use)
- ポート番号 (Port Number): 465
- 差出人 (Sender): [Empty text box]
- ユーザー名 (Username): [Empty text box]
- パスワード (Password): [Empty text box]
- メールサイズ上限 (MB) (Email Size Limit (MB)): 5

Additional options include a checked checkbox for 'サーバー証明書の検証を行う' (Verify server certificate) and an unchecked checkbox for '入力文字を表示する' (Show input characters). A blue button labeled 'スキャナーに反映' (Reflect to scanner) is located at the bottom of the configuration area.

3 「DirectScan」の「ボタン割り当て」をクリックし、スキャナーの Send to ボタンにジョブを割り当てます。

- ジョブを割り当てるボタンを有効にします。

b 【ジョブ設定】 ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'ボタン割り当て' (Button Assignment) screen for the SP Series. The left sidebar has 'DirectScan' expanded, with 'ボタン割り当て' (Button Assignment) selected. The main area shows three job settings:

- 1 Send to 01**: Status is '有効' (Active), indicated by a blue toggle switch. A red box labeled 'a' highlights the toggle, and another red box labeled 'b' highlights the 'ジョブ設定' (Job Settings) button. The job name is 'Send to Button 01' and the output destination is 'ネットワーク共有フォルダー (SMB)'. A physical button on the right is labeled '1'.
- 2 Send to 02**: Status is '無効' (Inactive), indicated by a grey toggle switch. The job name is empty and the output destination is 'ネットワーク共有フォルダー (SMB)' with a warning icon. A physical button on the right is labeled '2'.
- 3 Send to 03**: Status is '無効' (Inactive), indicated by a grey toggle switch. The job name is empty and the output destination is 'ネットワーク共有フォルダー (SMB)' with a warning icon. A physical button on the right is labeled '3'.

At the bottom, there is a 'スキャナーに反映' (Reflect to Scanner) button.

4 「表示名」にジョブの名前を入力します。

The screenshot shows the 'ジョブの編集' (Job Edit) screen in the SP Series software. At the top, there's a 'メニュー' (Menu) button and a 'ログアウト' (Logout) button. The main area is titled 'ジョブの編集' and contains a message: 'ジョブの設定をします。「スキャナーに反映」ボタンをクリックすると、「ボタン割り当て」の設定もスキャナーに反映されます。' (Set the job. Clicking the 'Reflect on Scanner' button will also reflect the 'Button Assignment' settings to the scanner.)

Below the message, there's a '表示名' (Display Name) field with a red border, containing the text 'ScanJob-001'. To the right of this field is a '読み取り設定' (Scanning Settings) section with the following options:

- e-文書モード : 無効
- 画像タイプ : カラー/モノクロ自動判別 (二値白黒/カラー)
- 読み取り面 : 両面
- 解像度 (dpi) : 200
- 用紙サイズ : 自動
- 継続読み取り : 無効

At the bottom of the settings section, there is a '詳細設定' (Detailed Settings) button. Below the entire settings area, there are two buttons: 'スキャナーに反映' (Reflect on Scanner) and 'キャンセル' (Cancel).

5 「読み取り設定」をクリックし、どのように原稿を読み取るかを設定します。

- a 各項目を設定します。

b 読み取り設定を詳細に行う場合、【詳細設定】 ボタンをクリックして、各項目を設定します。

SP Series ログアウト

メニュー ジョブの編集

すべて展開

ホーム

スキャナー情報

基本設定

ネットワーク

DirectScan

ボタン割り当て

ジョブ設定

DirectScanの初期化

スキャナーの接続

ソフトウェア

ジョブの設定をします。「スキャナーに反映」ボタンをクリックすると、「ボタン割り当て」の設定もスキャナーに反映されます。

表示名 :

読み取り設定 読み取り設定

ファイル設定

出力先設定

インデックスファイル

a e-文書モード : 無効

画像タイプ : カラー/モノクロ自動判別 (二値白黒/カラー)

読み取り面 : 両面

解像度 (dpi) : 200

用紙サイズ : 自動

継続読み取り : 無効

b **詳細設定**

スキャナーに反映 キャンセル

6 「ファイル設定」をクリックし、画像ファイルの形式や名前を設定します。

The screenshot shows the 'SP Series' software interface. The top bar contains 'メニュー' and 'ログアウト'. Below it, 'メニュー' and 'ジョブの編集' are visible. The left sidebar has a 'すべて展開' button and several menu items, with 'DirectScan' expanded to show 'ボタン割り当て'. The main area displays 'ジョブの設定をします。' and a '表示名' field. A '読み取り設定' sidebar contains 'ファイル設定' (highlighted with a red box), '出力先設定', and 'インデックスファイル'. The 'ファイル設定' panel includes:

- ファイル形式: PDF
- ファイル名: 名前規則 (スキャン日時/yyyyMMddHHmmss) with an option to add a serial number.
- 例: 20251218172528.pdf
- PDFオプション: 圧縮率 slider set to 4.
- サーチャブルPDF: 検索可能なPDFを作成する (unchecked) and 言語: 日本.

 At the bottom, there are 'スキャナーに反映' and 'キャンセル' buttons.

7 「出力先設定」をクリックし、画像ファイルをメールで送信する設定をします。

- a 「出力先種別」で、「メール送信 (SMTP)」を選択します。
- b 宛先のメールアドレス、件名、本文を入力します。

[サーバー設定] ボタンで、SMTP サーバーの設定を確認/変更できます。

SP Series ログアウト

メニュー ジョブの編集

すべて展開

ジョブの設定をします。「スキャナーに反映」ボタンをクリックすると、「ボタン割り当て」の設定もスキャナーに反映されます。

表示名 :

読み取り設定

ファイル設定

出力先設定

インデックスファイル

出力先設定

出力先種別 : メール送信 (SMTP) サーバー設定

宛先 :

件名 :

本文 :

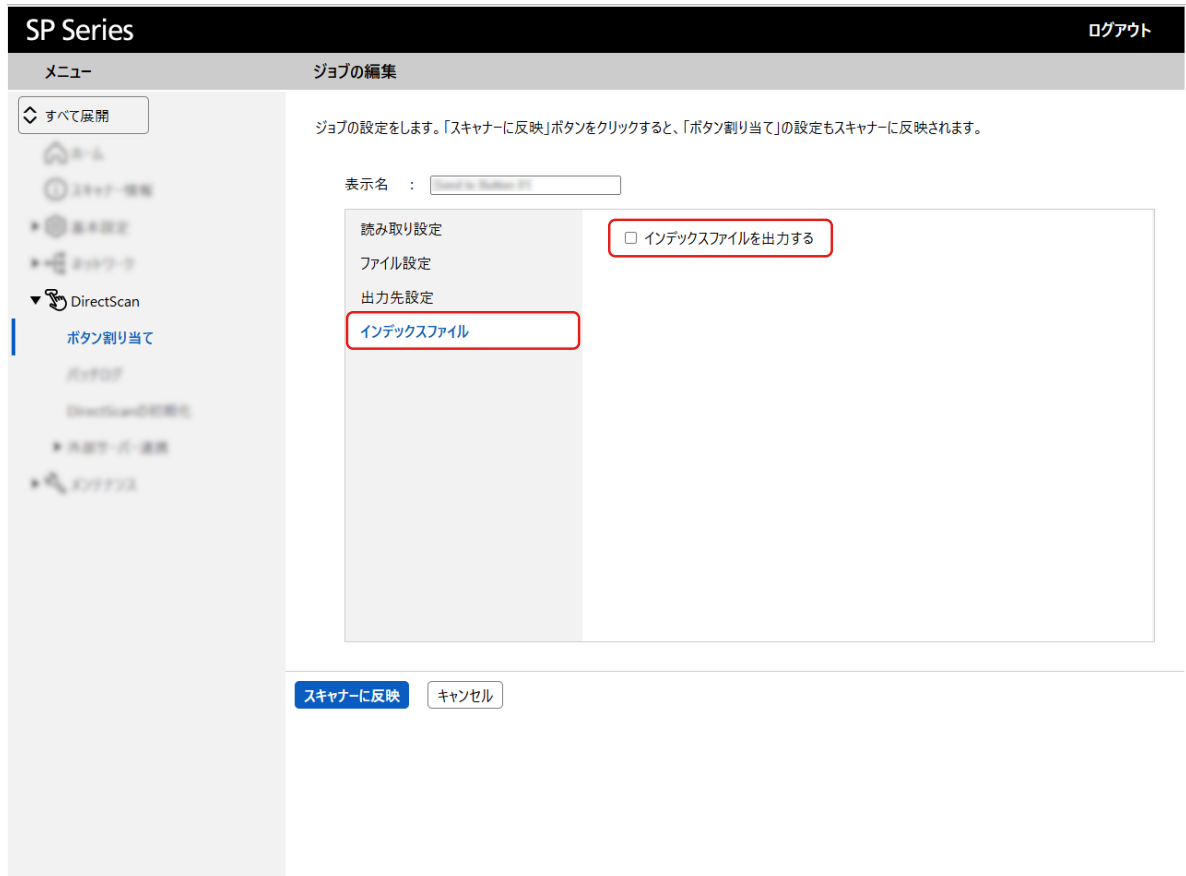
スキャナーに反映
キャンセル

8 「インデックスファイル」をクリックし、インデックスファイル (.xml) を作成してメールに添付するかどうかを設定します。

インデックスファイルには、原稿の読み取り開始日時などの情報が記録されます。

➔ [インデックスファイルの仕様 \(303 ページ\)](#)

「読み取り設定」でバーコード検出を有効にした場合はインデックスファイルが作成されるため、チェックボックスにチェックが付いています。



9 **【スキャナーに反映】 ボタンをクリックします。**

10 **スキャナーの Send to ボタンを押して、ジョブを実行します。**

→ [スキャナーのボタンでジョブを実行する \(DirectScan\) \(51 ページ\)](#)

ジョブの実行中にエラーが発生した場合は、PaperStream Scanner Admin の「バッチログ」でエラーの内容を確認できます。

→ [バッチログ \(263 ページ\)](#)

関連項目

[ボタン割り当て \(247 ページ\)](#)




日常のお手入れ

ここでは、スキャナーの清掃方法について説明します。

注意

- エアスプレーおよびアルコールを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、紙粉やほこりがスキャナー内部に侵入し、故障や装置異常の原因となることがあります。
また、静電気によるスパーク（火花）によって引火するおそれがあります。
- スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。
ADF 内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて15分以上待って、ADF 内部の温度が下がってから清掃してください。

清掃用品

品名	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1	1本（100ml） よごれを落とすためのクリーナー液です。
クリーニングペーパー 	FI-C100CP	1パック（10枚入り） スキャナーの内部を簡易的に清掃できます。 クリーナ F1 を吹き付けて、原稿と同じようにスキャナーで読み取って使用します。
クリーニングワイブ 	FI-C100CW	1箱（24袋入り） クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナーです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用できます。
綿棒	市販のもの	超音波センサーなどの細かい箇所の清掃に使用します。
乾いた布		よごれをふき取るための布です。少量のクリーナ F1 をしみこませて使用します。
ScanAid (*1)	FI-224SA	-

*1：ScanAidの詳細は、[スキャナーのオプション \(276 ページ\)](#)を参照してください。

重要

清掃用品を正しく安全に使用していただくために、清掃用品に記載されている注意事項をよくお読みください。

清掃用品の詳細は、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクト (311 ページ)にお問い合わせください。

清掃箇所と清掃頻度

清掃箇所		清掃頻度
スキャナー内部（ADF 内部）	ブレーキローラ	3,000 枚の読み取りごとに清掃してください。
	ピックアップローラ	
	フィードローラー	
	排出ローラー	
	ガラス	
	超音波センサー	
	原稿検知センサー	

スキャナー内部（ADF 内部）は、読み取り枚数ごとに定期的な清掃が必要です。スキャナーでは、読み取った原稿の枚数が記録されているので、前回清掃してからの読み取り枚数を確認できます。Software Operation Panel で、読み取り枚数を確認できます。

➔ [枚数カウンターの確認 \(206 ページ\)](#)

重要

原稿の状態によっては、清掃周期が短くなる場合があります。また、次のような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃する必要があります。

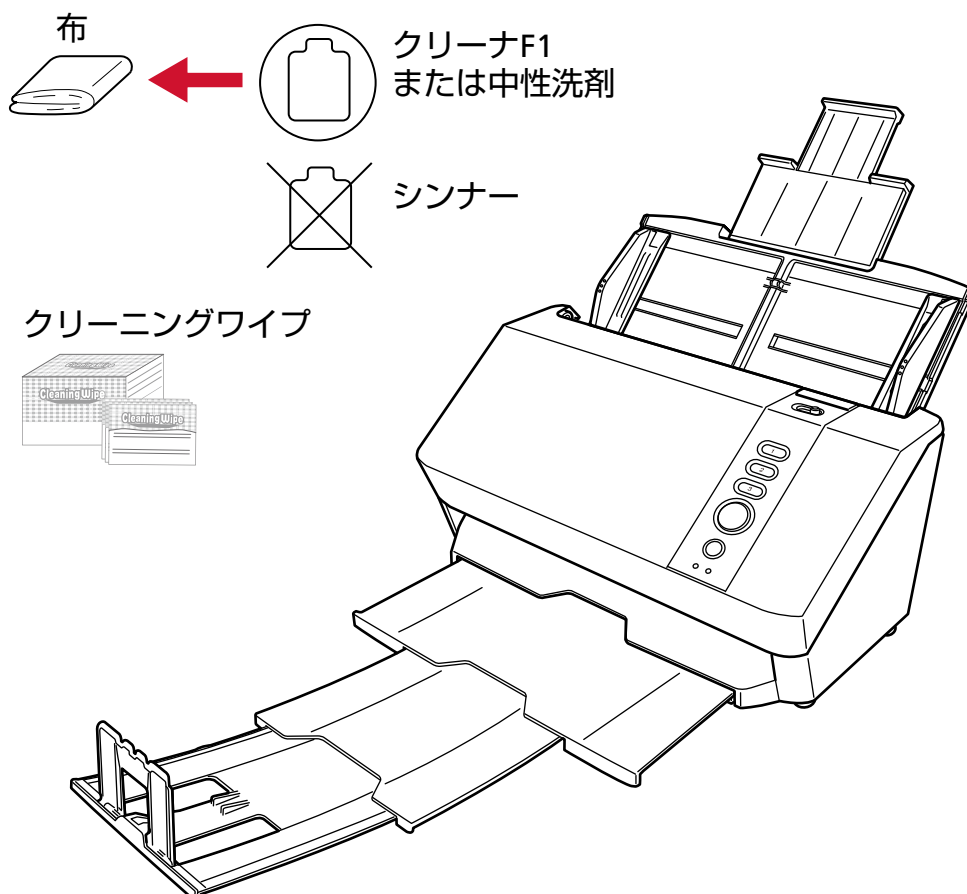
- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷してある原稿
- ノーカーボン紙のように特殊加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿
- トナーが十分定着していない原稿

スキャナー外部の清掃

スキャナー本体（ADF 給紙シュート（フィーダー）、スタッカーなど）は、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

重要

- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 清掃中に、スキャナー内部に水分が入らないように注意してください。
- クリーナ F1 または中性洗剤を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。



スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（クリーニングペーパー）

ADF 内部は、クリーナ F1 を吹き付けたクリーニングペーパーで清掃します。

原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりがたまり、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があります。ADF 内部の清掃は、目安として、原稿を 3,000 枚読み取るごとに行ってください。ただし、この目安は、読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

重要

- ADF 内部を清掃するときは、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量をクリーニングペーパーにしみこませて使用してください。

1 スキャナーの電源を投入します。

→ [電源の投入 \(33 ページ\)](#)

2 クリーナ F1 をクリーニングペーパーに吹き付けます。

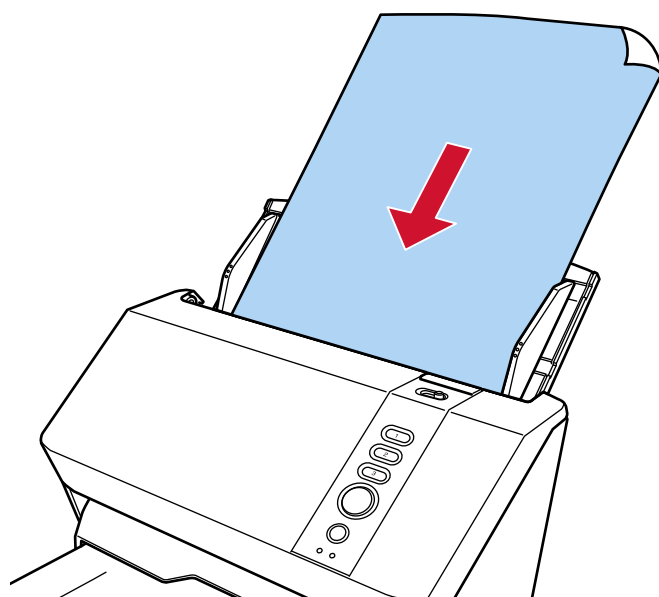
3 クリーニングペーパーの長さに合わせて、シュートエクステンション 1 やシュートエクステンション 2 を引き上げます。

→ [ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 \(39 ページ\)](#)

4 クリーニングペーパーの長さに合わせて、スタッカーを設定します。

→ [スタッカーの設定 \(40 ページ\)](#)

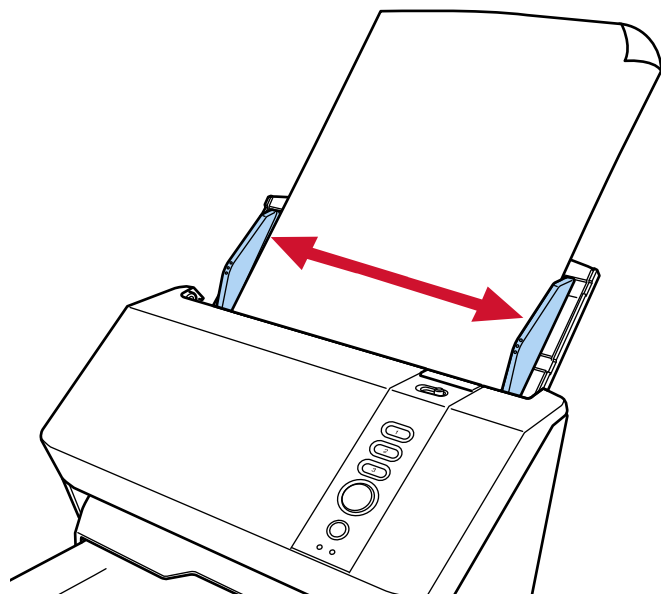
5 ADF 給紙シュート（フィーダー）にクリーニングペーパーをセットします。



6 クリーニングペーパーの幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドを動かして、サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間ができないようにします。

サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間があると、クリーニングペーパーが傾いて搬送されることがあります。



7 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始して、クリーニングペーパーを読み取ります。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのヘルプを参照してください。
クリーニングペーパーが搬送され、スタッカーに排出されます。

8 Software Operation Panel で、清掃のカウンターをクリアします。

→ [枚数カウンターのクリア \(208 ページ\)](#)

スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布）

ADF 内部は、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりがたまり、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合があります。ADF 内部の清掃は、目安として、原稿を 3,000 枚読み取るごとに行ってください。ただし、この目安は、読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。



注意

スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。

ADF 内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って、温度が下がってから清掃してください。

重要

- ADF 内部を清掃するときは、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

1 スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて、ADF 内部の温度が下がるまで 15 分以上待ちます。

→ [電源の切断 \(34 ページ\)](#)

2 ADF を開けます。

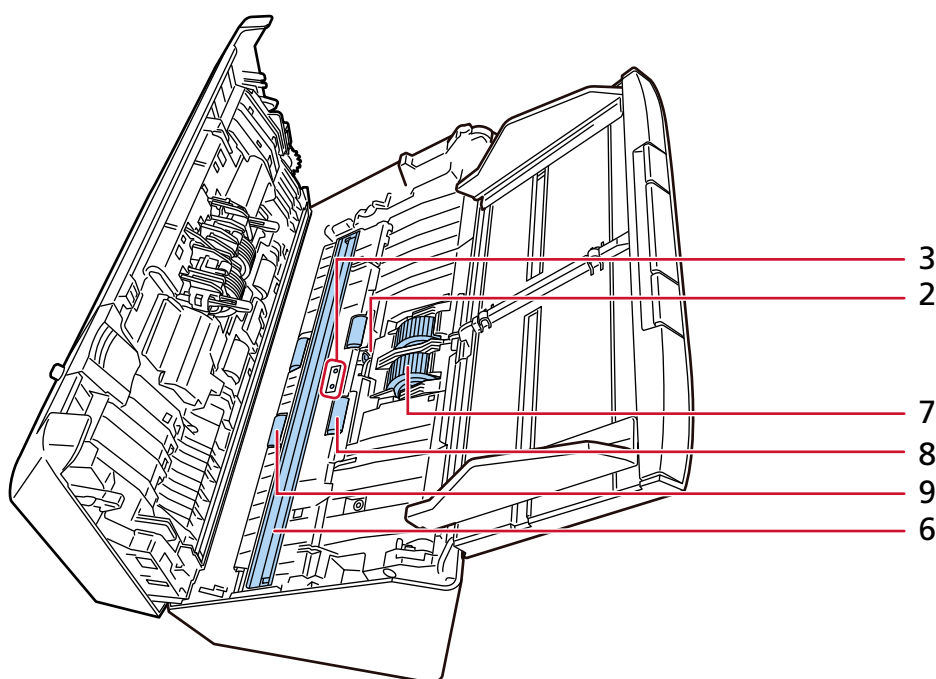
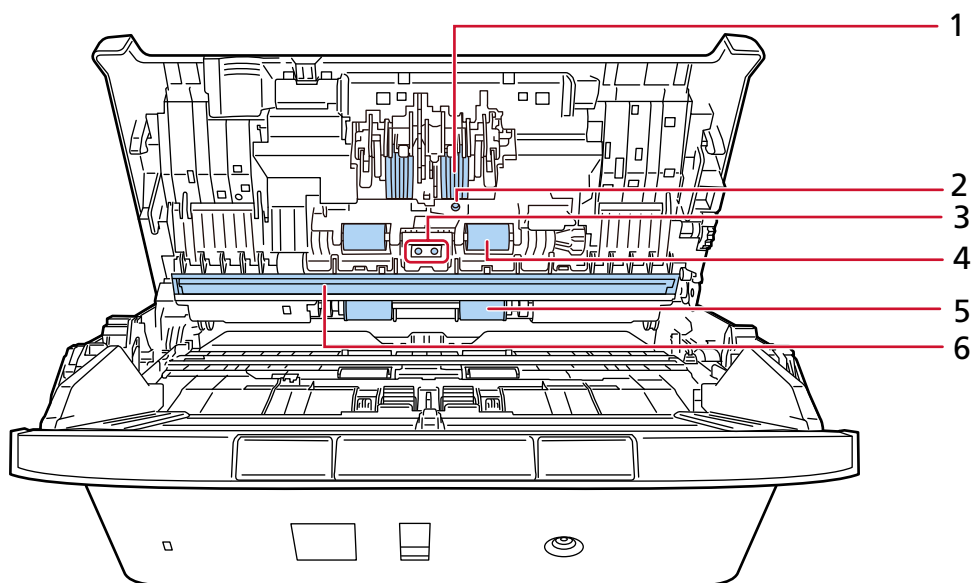
→ [ADF の開け方 \(37 ページ\)](#)



注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

3 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで、次の箇所を清掃します。



No.	清掃箇所
1	ブレーキローラ (2 か所)
2	超音波センサー (2 か所)
3	原稿検知センサー (2 か所)
4	手で回転させながら清掃するフィードローラ (2 か所)
5	手で回転させながら清掃する排出ローラ (2 か所)

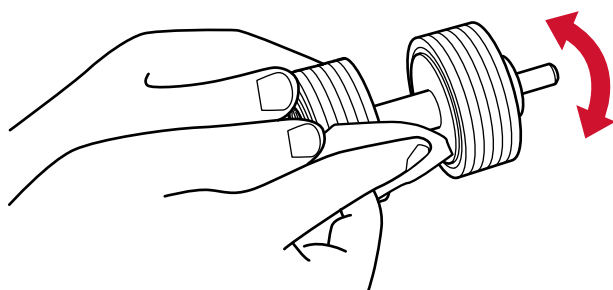
No.	清掃箇所
6	ガラス (2 か所)
7	ピックアップローラ (2 か所)
8	電源を投入して回転させながら清掃するフィードローラ (2 か所)
9	電源を投入して回転させながら清掃する排出ローラ (2 か所)

1 ブレーキローラ (2 か所)

ブレーキローラはスキャナーから取り外して清掃します。

ブレーキローラの取り外し方法は、[ブレーキローラの交換 \(120 ページ\)](#)を参照してください。

ローラの表面をいためないように、ローラ表面の溝に沿ってよごれやほこりを軽くふき取ります。



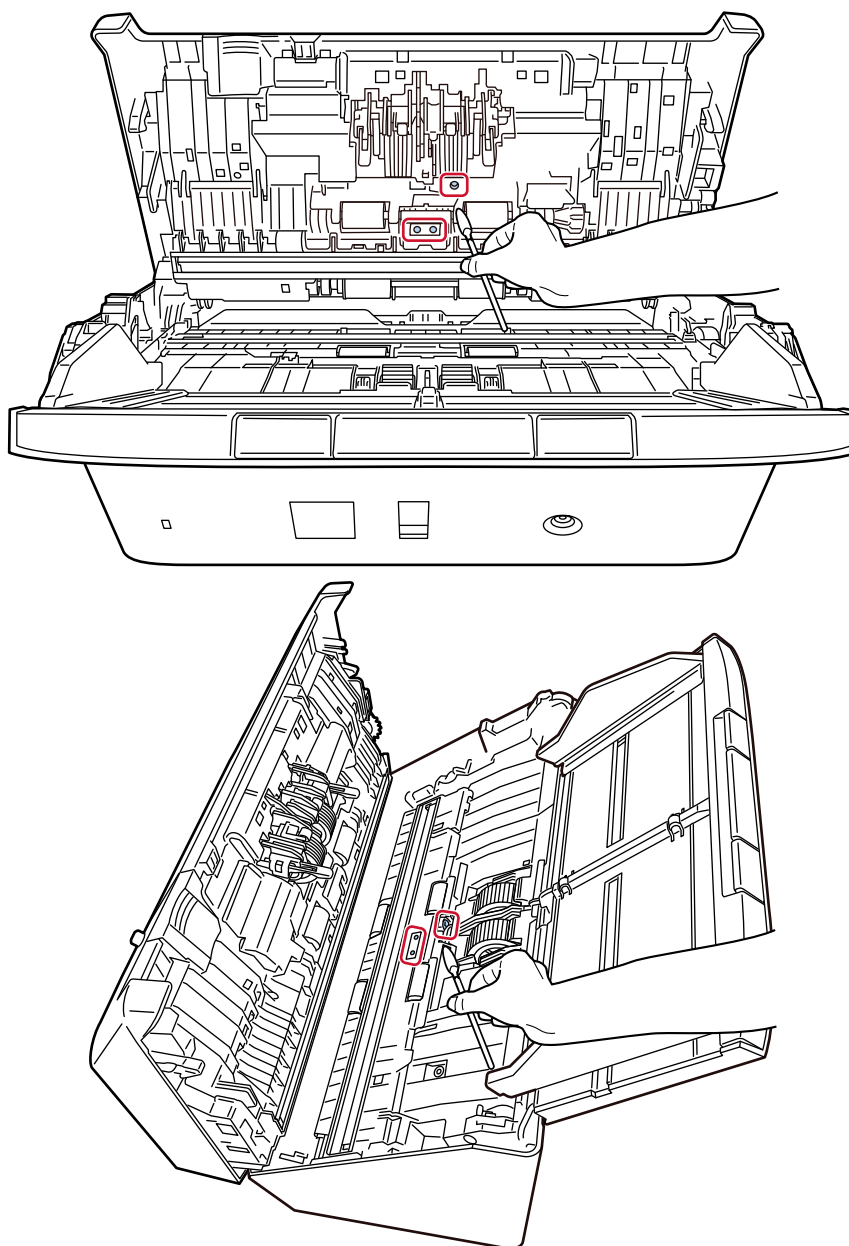
2 超音波センサー (2 か所)

3 原稿検知センサー (2 か所)

超音波センサー/原稿検知センサーの表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

ヒント

ふき取りにくい場合は、綿棒を使用して清掃してください。



4 手で回転させながら清掃するフィードローラー (2 か所)

5 手で回転させながら清掃する排出ローラー (2 か所)

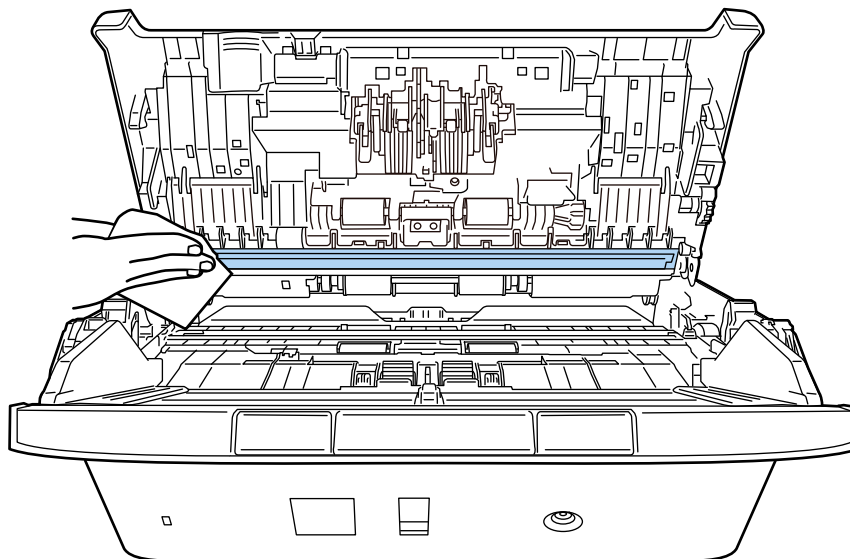
ローラーの表面をいためないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。

6 ガラス (2 か所)

ガラス面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

重要

- ガラス面がよごれていると、画像に縦線（縦筋）が出る場合があります。
- ガラス面上部の突起物に手が触れないように、スキャナーの向きを変えてガラス面を正面にし、その状態でガラス面をふいてください。



7 ピックローラ (2 か所)

手で回転させながら、ローラの表面をいためないように、ローラ表面の溝に沿ってよごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。

8 電源を投入して回転させながら清掃するフィードローラ (2 か所)

9 電源を投入して回転させながら清掃する排出ローラ (2 か所)

フィードローラ/排出ローラは、電源を投入して回転させながら清掃します。

- a 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。

➔ [電源の投入 \(33 ページ\)](#)

- b ADF を開けます。

➔ [ADF の開け方 \(37 ページ\)](#)



注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

- c Scan/Stop ボタンを 3 秒以上押して、クリーニングモードにします。

クリーニングモードになると、ランプ (LED) が緑色に点滅 (1 秒点灯 1 秒消灯) します。

- d フィードローラー/排出ローラー表面に目立つよごれがある場合、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで拭き取ります。
- e Scan/Stop ボタンを押します。
フィードローラー/排出ローラーが、同時に一定量回転します。
目安として、Scan/Stop ボタンを 7 回押すと、フィードローラー/排出ローラーが 1 回転します。
- f 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプを、回転しているフィードローラー/排出ローラー表面に押し当てて左右にこすり、ローラー全域のよごれやほこりをふき取ります。
特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。



注意

回転中のローラーに直接手が触れないように、注意してください。

4 ADF を閉じます。

→ [ADF の閉じ方 \(38 ページ\)](#)



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。

5 Software Operation Panel で、清掃のカウンターをクリアします。

→ [枚数カウンターのクリア \(208 ページ\)](#)

キャリアシートの清掃

キャリアシートは、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

キャリアシートの表面や内部のよごれやほこりを、軽くふき取ります。

キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、キャリアシートの表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。

そのまま使い続けると、画像に影響が出たり、読み取り不良の原因となったりする場合がありますので、定期的に清掃してください。

重要

- キャリアシートに折り目が付かないよう注意してください。
- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 強くこすらないでください。キャリアシートが傷ついたり、変形したりするおそれがあります。
- キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃したあとは、十分乾かしてからキャリアシートを閉じてください。
- キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。
ただし、この目安は、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって変わります。
キャリアシートの購入については、[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(311 ページ\)](#)にお問い合わせください。

消耗品の交換

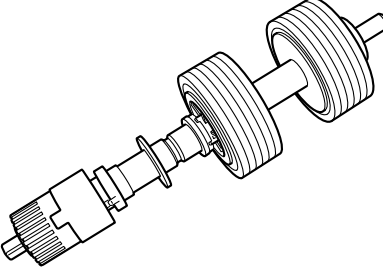
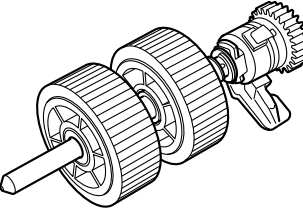
ここでは、スキャナーの消耗品の交換について説明します。



注意

スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。
消耗品を交換する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って、温度が下がってから交換してください。

消耗品と交換周期

品名	型名	交換周期（目安）
ブレーキローラ 	FI-C224BR	200,000 枚ごとに交換
ピックローラ 	FI-C224PR	200,000 枚ごとに交換
ScanAid (*1)	FI-224SA	-

*1：ScanAid の詳細は、[スキャナーのオプション \(276 ページ\)](#)を参照してください。

消耗品は定期的な交換が必要です。寿命前に消耗品を準備することを推奨します。また、スキャナーには、消耗品（ブレーキローラおよびピックローラ）ごとに、読み取った原稿の枚数が記録されているので、消耗品の交換時期を確認できます。

Software Operation Panel で、読み取った原稿の枚数を確認できます。

➔ [枚数カウンターの確認 \(206 ページ\)](#)

交換周期は、A4 原稿 80g/m² (69kg/連) の上質紙または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度・環境、および清掃の頻度によって異なります。

重要

当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品の購入については、[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(311 ページ\)](#)にお問い合わせください。

ブレーキローラの交換

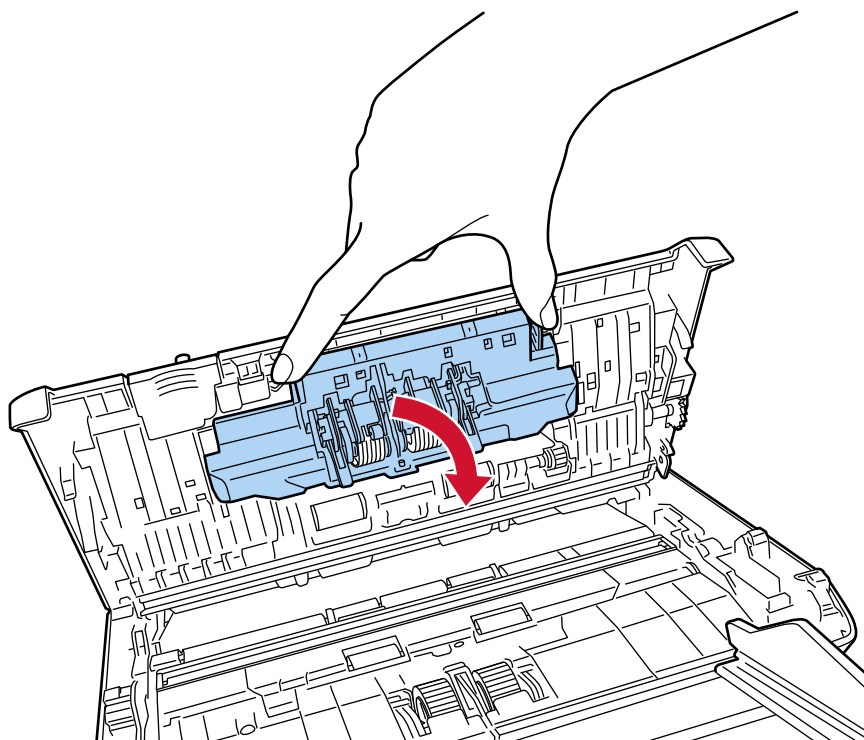
- 1 スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて、ADF 内部の温度が下がるまで 15 分以上待ちます。
→ [電源の切断 \(34 ページ\)](#)
- 2 ADF 給紙シュート (フィーダー) の上にある原稿を取り除きます。
- 3 ADF を開けます。
→ [ADF の開け方 \(37 ページ\)](#)



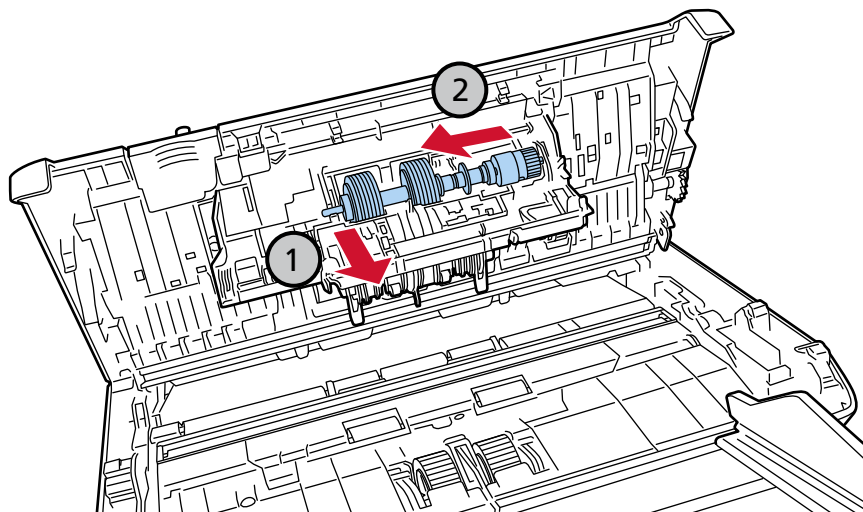
注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

- 4 ブレーキローラを取り外します。
 - a ブレーキローラのカバーの左右側面をつまんで、矢印の方向に開けます。

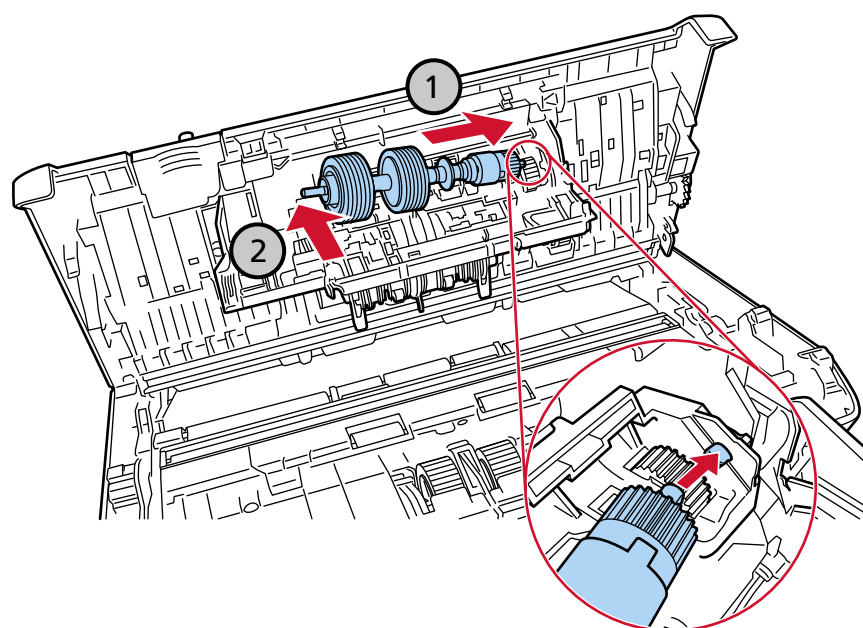


- b ブレーキローラを手前に軽く引き出してローラー側の軸を外し (①)、反対側の軸を穴から抜き取ります (②)。



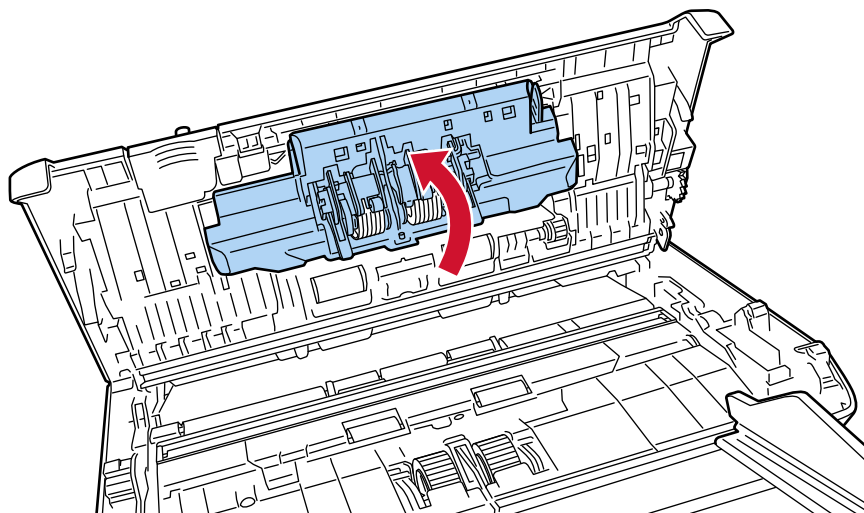
5 新しいブレーキローラを取り付けます。

- a ブレーキローラの先端を、穴の形状に合わせて差し込んでから (①)、ローラー側の軸を取り付けます (②)。



ブレーキローラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりを起こすおそれがあります。

b ブレーキローラのカバーを閉じます。



6 ADF を閉じます。

→ [ADF の閉じ方 \(38 ページ\)](#)



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

7 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。

→ [電源の投入 \(33 ページ\)](#)

8 Software Operation Panel で、ブレーキローラのカウンターをクリアします。

→ [枚数カウンターのクリア \(208 ページ\)](#)

ピックアップローラの交換

1 スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて、ADF 内部の温度が下がるまで 15 分以上待ちます。

→ 電源の切断 (34 ページ)

2 ADF 給紙シュート (フィーダー) の上にある原稿を取り除きます。

3 ADF を開けます。

→ ADF の開け方 (37 ページ)

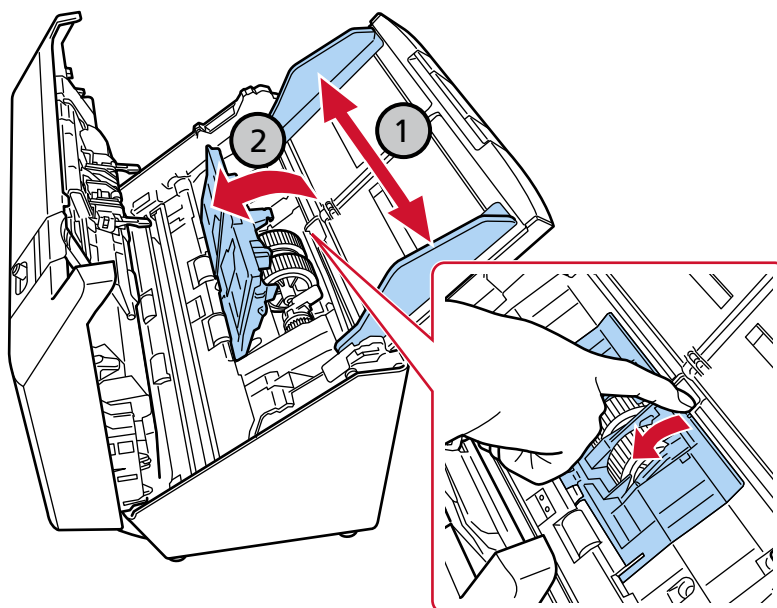


注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

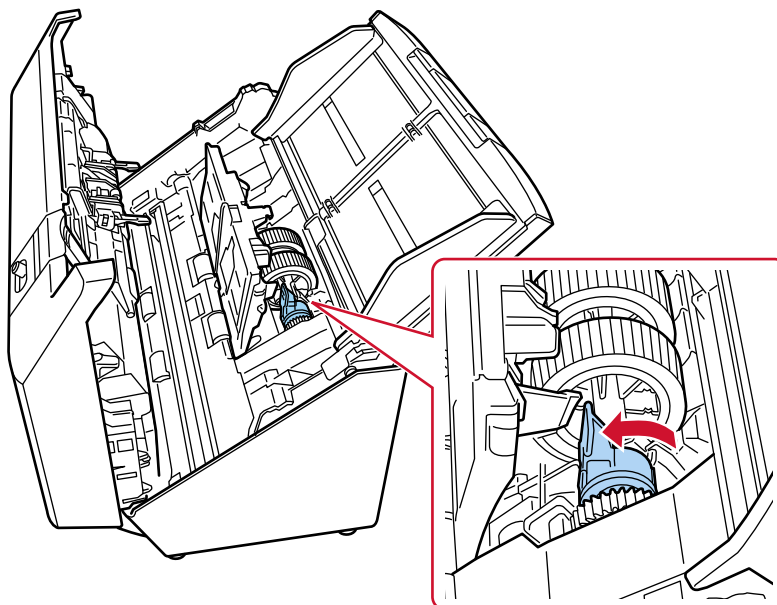
4 ピックローラを取り外します。

- a サイドガイドを左右いっぱいに開いてから (1)、シートガイドの上にある凹みに指を入れて、シートガイドを手前に開きます (2)。

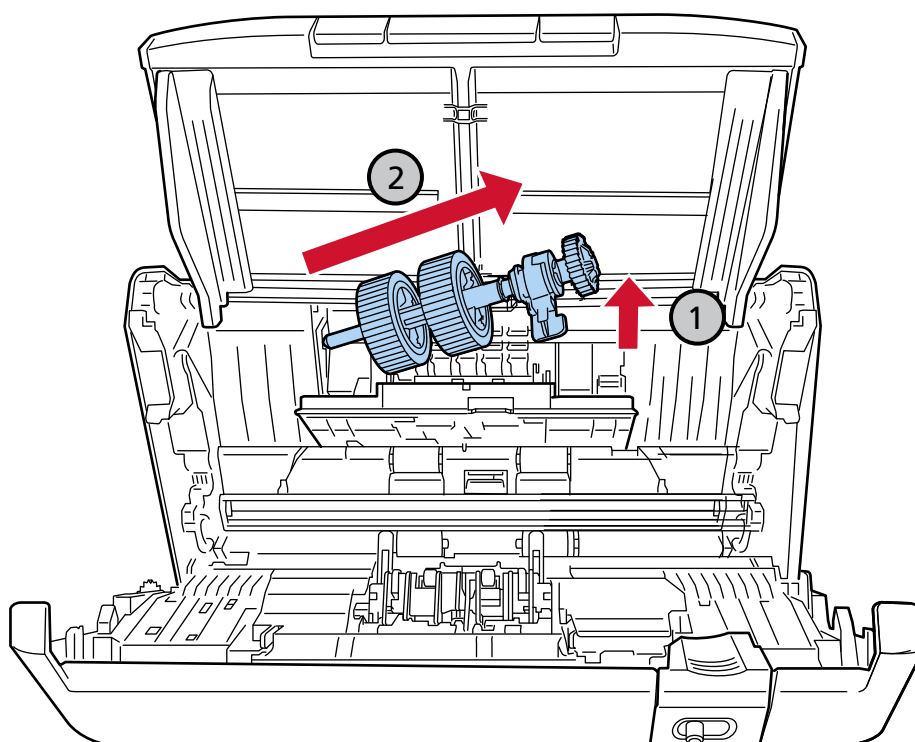


- b ピックローラのレバーを起こします。

ピックローラのレバーのそばにあるギヤにはグリース（油）が付いています。触らないように注意してください。

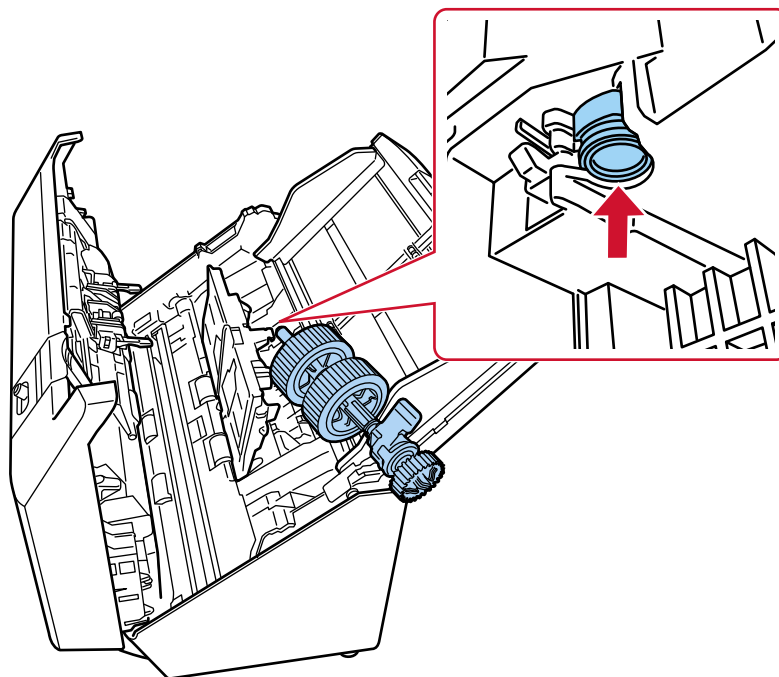


- c ピックローラのレバーを軽く引き上げ (1)、ピックローラの軸の先端を穴から抜き取ります (2)。

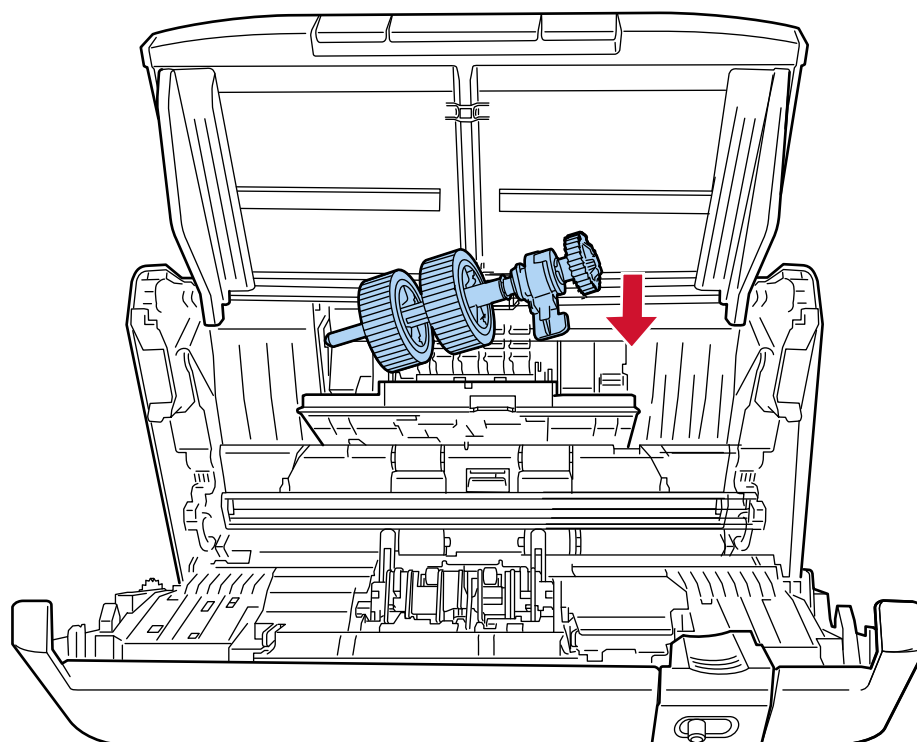


5 新しいピックローラを取り付けます。

a ピックローラのリバーを持ち、先端を穴にはめます。

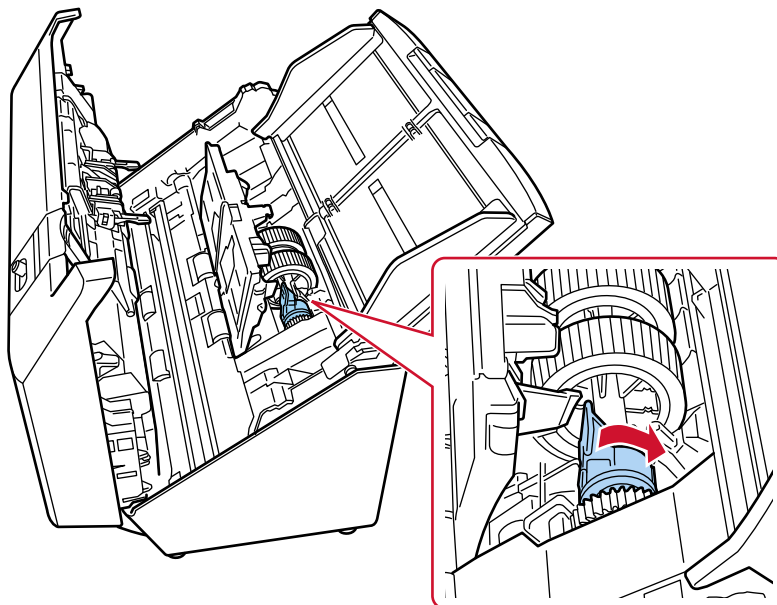


b 浮いているピックローラのリバー側を下げて全体をはめ込みます。

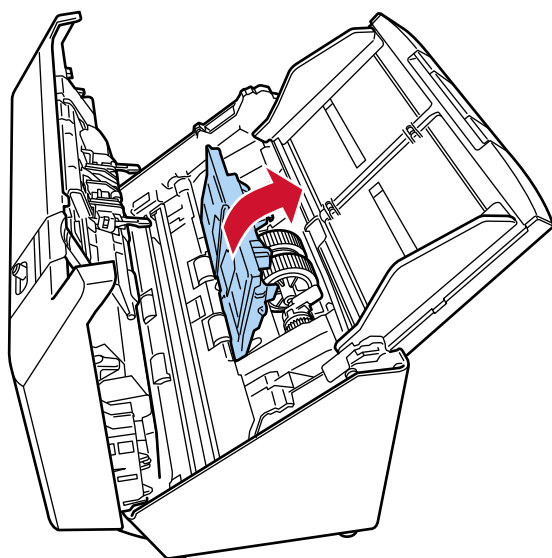


ピックローラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりを起こすおそれがあります。

c ピックローラのリバーを倒して固定します。



d シートガイドを閉じます。



6 ADF を閉じます。

→ [ADF の閉じ方 \(38 ページ\)](#)



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

7 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。

→ [電源の投入 \(33 ページ\)](#)

8 Software Operation Panel で、ピックアップのカウンターをクリアします。

→ [枚数カウンターのクリア \(208 ページ\)](#)

困ったときには

ここでは、原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、お問い合わせの前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。

重要

記載されている内容以外のトラブルおよびエラーの詳細は、スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

原稿づまりが発生したときは

次の手順に従い ADF 内部に残った原稿を取り除いてください。



注意

- つまった原稿は無理に引き抜かず、ADF を開けてから取り除いてください。
- つまった原稿を取り除くときは、鋭利な部分に触れないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイ、ネックレス、髪などのスキャナー内部に巻き込まれる可能性のあるものに注意してください。
- ADF 内部が高温になっている場合があります。やけどに注意してください。

1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。

2 ADF を開けます。

→ [ADF の開け方 \(37 ページ\)](#)



注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

3 つまっている原稿を取り除きます。

重要

- ステープルやクリップなどの金属物は原稿づまりの原因となるため、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。
- ステープルやクリップなどの金属物が付いた原稿を取り除くときに、ガラスやガイドを傷つけるおそれがあるため注意してください。

4 ADF を閉じます。

→ [ADF の閉じ方 \(38 ページ\)](#)



ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

- ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。
- 読み取りを終了したりキャンセルしたときに、エラーメッセージが表示されずに原稿が ADF 内部に残る場合があります。その場合は、上記の手順 1～4 に従って取り除いてください。
- 読み取りを継続するときは、再開ページを確認のうえ、原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に再度セットしてください。

エラーについて

● エラーの表示

スキャナーにエラーが発生すると、スキャナーの Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

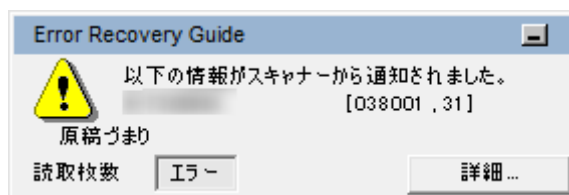
- 一時的なエラー
 橙色に点灯または点滅します。
- 装置異常
 橙色に点滅します。

一時的なエラーは、お客様による復旧が可能です。装置異常は、サービスエンジニアによる復旧作業が必要となる場合があります。

ヒント

スキャナーのエラーが発生した場合、次の方法でエラーの内容や対処方法を確認できます。

- コンピューターに接続して使用するとき
 Error Recovery Guide で確認できます。
 Windows にサインインしたときに、Error Recovery Guide が起動され、タスクバーの通知領域に Error Recovery Guide のアイコンが表示されます。
 アイコンが表示されない場合は、Error Recovery Guide を起動してください。
 - Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
 「スタート」メニュー → 「SP Series」 → 「Error Recovery Guide」をクリックします。
 - Windows 11/Windows Server 2025 の場合
 「スタート」メニュー → 「すべてのアプリ」 → 「SP Series」 → 「Error Recovery Guide」をクリックします。
 画面に表示されるエラーの名称やコード番号を書きとめて、[詳細] ボタンから対処方法を確認してください。



- スキャナー単体で使用する時 (DirectScan)
 PaperStream Scanner Admin の「バッチログ」で確認できます。
 → [PaperStream Scanner Admin の起動 \(230 ページ\)](#)

● エラー一覧

Power/Check ランプ (LED)	エラーの種類	エラーの内容	参照先
点灯 (橙)	一時的なエラー (*1)	原稿保護(原稿の傾き)	原稿保護 (132 ページ)

Power/Check ランプ (LED)	エラーの種類	エラーの内容	参照先
		原稿づまり	原稿づまり/ピックエラー (132 ページ)
		ピックエラー	
		マルチフィード (重なり検出)	マルチフィード (133 ページ)
		マルチフィード (長さ検出)	
		給紙モードスイッチ切り替え検出	給紙モードスイッチ切り替え検出 (133 ページ)
		センサーよごれ	センサーよごれ (134 ページ)
		ADF オープン	ADF オープン (134 ページ)
点滅 (橙) 2 回	装置異常 (*2)	光量異常 (ADF 表面)	光量異常 (ADF) (134 ページ)
点滅 (橙) 3 回	装置異常 (*2)	光量異常 (ADF 裏面)	
点滅 (橙) 4 回	装置異常 (*2)	有線 LAN 異常	有線 LAN 異常 (135 ページ)
	一時的なエラー (*2)	ネットワーク設定異常	ネットワーク設定異常 (135 ページ)
	一時的なエラー (*2)	PaperStream Central Admin 設定異常	PaperStream Central Admin 設定異常 (135 ページ)
	一時的なエラー (*2)	DirectScan の異常	DirectScan の異常 (136 ページ)
点滅 (橙) 5 回	装置異常 (*2)	センサー異常	センサー異常 (136 ページ)
点滅 (橙) 6 回	装置異常 (*2)	メモリー異常(表)	メモリー異常/LSI 異常 (137 ページ)
		メモリー異常(裏)	
		LSI 異常(表)	
		LSI 異常(裏)	
		画像メモリー RW エラー(表)	画像メモリー RW エラー (137 ページ)
		画像メモリー RW エラー(裏)	
点滅 (橙) 7 回	装置異常 (*2)	ランプ系異常	ランプ系異常 (137 ページ)
点滅 (橙) 8 回	装置異常 (*2)	スキャナー内部異常	スキャナー内部異常 (137 ページ)
点滅 (橙) 9 回	装置異常 (*2)	スキャナー内部通信異常	スキャナー内部通信異常 (138 ページ)

Power/Check ランプ (LED)	エラーの種類	エラーの内容	参照先
早い点滅 (緑) (0.5 秒点灯 0.5 秒消灯)	—	原稿の搬送を停止しました	原稿の搬送を停止しました (138 ページ)
—	一時的なエラー	ほかで使用	ほかで使用 (138 ページ)
—	一時的なエラー	読み取り領域指定異常	読み取り領域指定異常 (139 ページ)
—	一時的なエラー	原稿がありません。原稿をセットしてください。	原稿がありません。原稿をセットしてください。 (140 ページ)

*1：エラーが発生しているときに、次のどちらかの操作を行うと、Power/Check ランプ (LED) が緑色の早い点滅 (0.5 秒点灯 0.5 秒消灯) になり、原稿が読み取れる状態に戻ります。

- スキャナーの Scan/Stop ボタンを押す
スキャナー内部に原稿が残っている場合は、原稿を取り除いてください。
- スキャナー内部に残っている原稿を取り除く

*2：エラーが発生しているときに、スキャナーの Scan/Stop ボタンを押すと、Power/Check ランプ (LED) が緑色の点灯になります。エラーの対処を行ってください。

原稿保護

原稿を保護する機能 (ペーパープロテクション) が働くと、原稿の搬送が中止され、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点灯 (橙)	原稿保護(原稿の傾き)

次の対処をしてください。

- スキャナー内部につまった場合、[原稿づまりが発生したときは \(128 ページ\)](#)を参照して原稿を取り除きます。
- 原稿が読み取りに適しているかを、[読み取りできる原稿 \(58 ページ\)](#)を参照して確認してください。
- 原稿づまりが頻繁に発生する場合は、[原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる \(177 ページ\)](#)を参照して対処してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した弊社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター ([310 ページ](#))に連絡してください。

原稿づまり/ピックエラー

原稿づまり/ピックエラーが発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点灯 (橙)	原稿づまり
	ピックアップエラー

次の対処をしてください。

- スキャナー内部につまった場合、[原稿づまりが発生したときは \(128 ページ\)](#)を参照して原稿を取り除きます。
- 原稿が読み取りに適しているかを、[読み取りできる原稿 \(58 ページ\)](#)を参照して確認してください。
- 原稿づまりが頻繁に発生する場合は、[原稿づまり/ピックアップミスが頻繁に起こる \(177 ページ\)](#)を参照して対処してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター ([310 ページ](#))に連絡してください。

マルチフィード

原稿が重なって搬送されると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点灯 (橙)	マルチフィード (重なり検出)
点灯 (橙)	マルチフィード (長さ検出)

スキャナー内部に原稿が残っている場合は、[原稿づまりが発生したときは \(128 ページ\)](#)を参照して原稿を取り除きます。

頻繁に原稿が重なって搬送される場合は、[頻繁に原稿が重なって搬送される \(170 ページ\)](#)を参照して対処してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター ([310 ページ](#))に連絡してください。

給紙モードスイッチ切り替え検出

読み取り中に給紙モードスイッチを切り替えると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点灯 (橙)	給紙モードスイッチ切り替え検出

給紙モードスイッチの位置を確認してください。

ADF 内部に原稿が残っている場合は、[原稿づまりが発生したときは \(128 ページ\)](#)を参照して原稿を取り除いてください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター ([310 ページ](#))に連絡してください。

センサーよごれ

センサーがよごれている場合や、スキャナー内部に原稿がはさまった状態で電源を投入して読み取った場合は、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点灯 (橙)	センサーよごれ

センサーがよごれている場合は、次の対処をしてください。

- スキャナー内部 (ADF 内部) の清掃 (布) (111 ページ) を参照して原稿検知センサーを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

スキャナー内部に原稿がはさまった状態で電源を投入して読み取った場合は、ADF を開けて原稿を取り除いてから、ADF を閉じてください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ) に連絡してください。

ADF オープン

読み取り中に ADF を開けると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点灯 (橙)	ADF オープン

原稿を取り除いて、ADF を閉じてください。

ADF が確実に閉じていることを確認してください。

ADF の開閉については、[ADF の開閉 \(37 ページ\)](#)を参照してください。

光量異常 (ADF)

ADF で光量異常が発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅 (橙) 2 回	光量異常 (ADF 表面)
点滅 (橙) 3 回	光量異常 (ADF 裏面)

次の対処をしてください。

- スキャナー内部 (ADF 内部) の清掃 (布) (111 ページ) を参照して、ガラスを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ) に連絡してください。

有線 LAN 異常

モジュールに異常が発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅 (橙) 4 回	—

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(310 ページ\)](#)に連絡してください。

ネットワーク設定異常

ネットワーク設定異常が発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅 (橙) 4 回	—

ネットワークの接続を確認してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(310 ページ\)](#)に連絡してください。

PaperStream Central Admin 設定異常

PaperStream Scanner Admin 側の設定に異常が発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅 (橙) 4 回	—

PaperStream Scanner Admin の「バッチログ」に表示されたメッセージを確認して、次の設定を見直してください。

➔ [バッチログ \(263 ページ\)](#)

- スキャナー側 (PaperStream Scanner Admin) の「PaperStream Central Admin」の設定
 - ➔ [PaperStream Central Admin \(246 ページ\)](#)

- PaperStream Central Admin 側の設定

スキャナーのネットワークの設定は、PaperStream Scanner Admin で確認してください。

➔ [ネットワーク設定 \(PaperStream Scanner Admin\) \(230 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(310 ページ\)](#)に連絡してください。

DirectScan の異常

DirectScan の異常が発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅 (橙) 4 回	—

PaperStream Scanner Admin の「バッチログ」を確認してください。

➔ バッチログ (263 ページ)

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(310 ページ\)](#)に連絡してください。

センサー異常

センサーに異常が発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅 (橙) 5 回	センサー異常

次の対処をしてください。

- [スキャナー内部 \(ADF 内部\) の清掃 \(布\) \(111 ページ\)](#)を参照して超音波センサーを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(310 ページ\)](#)に連絡してください。

メモリー異常/LSI 異常

メモリー/LSI に異常が発生すると、Power/Check ランプ（LED）が次のようになります。

Power/Check ランプ（LED）	Error Recovery Guide 表示
点滅（橙）6回	メモリー異常(表)
	メモリー異常(裏)
	LSI 異常(表)
	LSI 異常(裏)

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ（LED）の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に（188ページ）](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（310ページ）](#)に連絡してください。

画像メモリー RW エラー

画像メモリーからデータを読み出したり、画像メモリーにデータを書き込んだりするときにエラーが発生すると、Power/Check ランプ（LED）が次のようになります。

Power/Check ランプ（LED）	Error Recovery Guide 表示
点滅（橙）6回	画像メモリー RW エラー(表)
	画像メモリー RW エラー(裏)

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ（LED）の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に（188ページ）](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（310ページ）](#)に連絡してください。

ランプ系異常

ランプ回路異常が発生すると、Power/Check ランプ（LED）が次のようになります。

Power/Check ランプ（LED）	Error Recovery Guide 表示
点滅（橙）7回	ランプ系異常(表)
	ランプ系異常(裏)

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ（LED）の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に（188ページ）](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（310ページ）](#)に連絡してください。

スキャナー内部異常

スキャナー内部異常が発生すると、Power/Check ランプ（LED）が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅 (橙) 8 回	スキャナー内部異常

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(310 ページ\)](#)に連絡してください。

スキャナー内部通信異常

スキャナー内部で通信異常が発生すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
点滅 (橙) 9 回	—

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、Power/Check ランプ (LED) の状態を記録のうえ、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認してから、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(310 ページ\)](#)に連絡してください。

原稿の搬送を停止しました

原稿の搬送を停止すると、Power/Check ランプ (LED) が次のようになります。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
早い点滅 (緑) (0.5 秒点灯 0.5 秒消灯)	—

読み取り中にスキャナーの Scan/Stop ボタンを押すと、原稿の搬送が停止します。

スキャナー内部に原稿が残っている場合は、原稿を取り除いてください。

継続読み取りする場合、原稿をセットして、Scan/Stop ボタンを押してください。

読み取りを完了する場合、原稿をセットせずに、Scan/Stop ボタンを押してください。

ほかで使用

スキャナーがすでに使用されています。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
—	ほかで使用

- スキャナーがほかのアプリケーションで使用されていないかを確認してください。
- スキャナーの接続方法が正しいかを確認してください。
- スキャナーがコンピューターの常駐アプリケーションで使用されていないかを確認してください。
例えば、次のアプリケーションがスキャナーを占有している場合があります。
 - PaperStream Capture

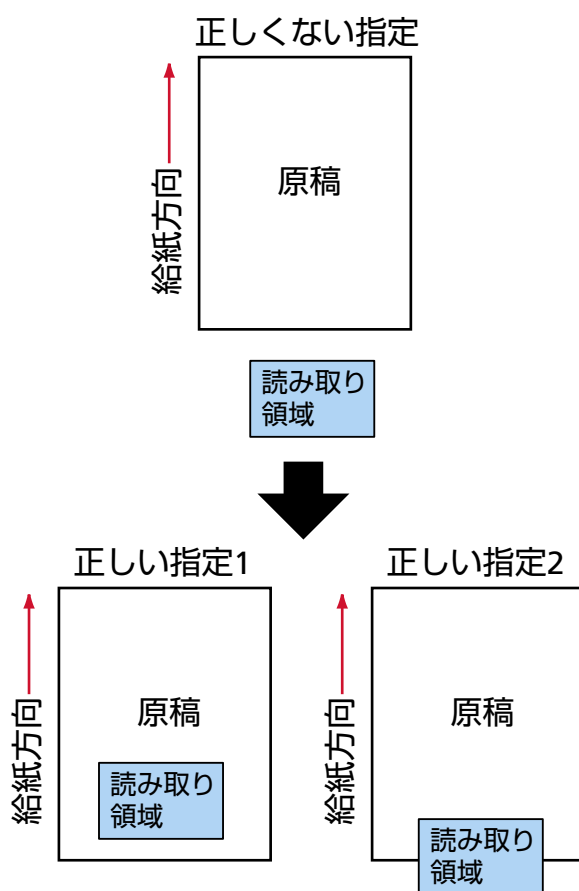
- PaperStream ClickScan
- Button Event Manager (「ボタンを監視する」が有効になっている)

読み取り領域指定異常

ADF で読み取りを開始したときに、指定された領域を読み取る前に、原稿の後端が検出されると原稿づまりが発生します。

Power/Check ランプ (LED)	Error Recovery Guide 表示
—	読み取り領域指定異常

例：



読み取った原稿が指定された原稿サイズよりも短かったため、読み取り領域が原稿の外部になってしまった可能性があります。

この場合、次のどちらかの対処をして、再度読み取りを開始してください。

- 指定した原稿サイズの原稿を ADF 給紙シュート (フィーダー) にセットする。
- 読み取り領域が原稿の範囲内になるように、読み取り条件を設定し直す。

重要

読み取り領域の指定方法は、スキャナードライバーや画像読み取り用アプリケーションによって異なります。詳細は、スキャナードライバーのヘルプや画像読み取り用アプリケーションのマニュアル/ヘルプを参照してください。

原稿がありません。原稿をセットしてください。

原稿がセットされていません。

ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットしてください。

トラブルと対処方法

スキャナーの使用中に発生するトラブル事例とその対処方法について説明します。

修理を依頼される前に、トラブル事例とその対処方法を確認し対処をしてください。

症状が改善しない場合は、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター ([310 ページ](#))に連絡してください。

● スキャナーの電源

- [電源が投入されない \(143 ページ\)](#)

● スキャナーの接続

USB

- [スキャナーとコンピューターを USB で接続できない \(144 ページ\)](#)

有線 LAN

- [スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない \(145 ページ\)](#)

サーバー/ネットワーク上のフォルダー

- [スキャナーから、IP アドレスで指定したサーバーに接続できない \(149 ページ\)](#)
- [スキャナーから、ホスト名で指定したサーバーに接続できない \(151 ページ\)](#)
- [NTP サーバーに接続できない \(DirectScan\) \(154 ページ\)](#)
- [読み取りが開始されない \(DirectScan\) \(157 ページ\)](#)

● 読み取り操作

- [読み取りが開始されない \(161 ページ\)](#)
- [原稿の読み取りに時間がかかる \(163 ページ\)](#)
- [頻繁に原稿が重なって搬送される \(170 ページ\)](#)
- [原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる \(173 ページ\)](#)
- [原稿保護のエラーが頻繁に起こる \(175 ページ\)](#)
- [原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる \(177 ページ\)](#)

● 読み取り結果

- [絵や写真を読み取った画像が粗くなる/画像にノイズが発生する \(165 ページ\)](#)
- [文字や線の読み取り結果が良くない \(166 ページ\)](#)
- [画像がゆがむまたは鮮明ではない \(168 ページ\)](#)
- [画像に縦線 \(縦筋\) が出る \(169 ページ\)](#)
- [画像が間延びする \(179 ページ\)](#)
- [画像の先端または後端に影がある \(180 ページ\)](#)

- 原稿に黒い跡が残る (182 ページ)
- **キャリアシート**
 - キャリアシートがうまく送られない/つまる (183 ページ)
 - キャリアシートで読み取ると画像が欠ける (185 ページ)
- **スキャナーの設定**
 - スキャナーの日付および時刻がずれている (186 ページ)
- **パスワード**
 - 管理者パスワードを忘れた (187 ページ)
 - 工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる (187 ページ)

電源が投入されない

ここをお調べください

- [電源ケーブルが正しく接続されていますか？ \(143 ページ\)](#)
- [スキャナーの電源ボタンを押しましたか？ \(143 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した
販売店/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に
連絡してください。

- **電源ケーブルが正しく接続されていますか？**

対処方法

電源ケーブルを正しく接続してください。

→ [スキャナーのセットアップを始める \(26 ページ\)](#)

- **スキャナーの電源ボタンを押しましたか？**

対処方法

スキャナーの電源ボタンを押してください。

→ [電源の投入 \(33 ページ\)](#)

スキャナーとコンピューターを USB で接続できない

ここをお調べください

- USB ケーブルは正しく接続されていますか？ (144 ページ)
- USB ケーブルのコネクターが壊れていますか？ (144 ページ)
- スキャナードライバーは最新になっていますか？ (144 ページ)
- スキャナーの USB の設定に「自動」を設定していますか？ (144 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

- USB ケーブルは正しく接続されていますか？

対処方法

添付の USB ケーブルを使用してください。

スキャナーとコンピューターが USB ケーブルで接続されていることを確認してください。

➔ [スキャナーのセットアップを始める \(26 ページ\)](#)

- USB ケーブルのコネクターが壊れていますか？

対処方法

新しい USB ケーブルを使用して、正しく接続してください。

- スキャナードライバーは最新になっていますか？

対処方法

最新のスキャナードライバーにアップデートしてください。

- スキャナーの USB の設定に「自動」を設定していますか？

対処方法

スキャナーの USB の設定に「自動」を設定している場合、一部のコンピューターでスキャナーが接続できないことがあります。

Software Operation Panel で、「USB」を「USB 2.0」に変更してください。

スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない

ここをお調べください

- スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）が LAN ケーブルで接続されていますか？ (145 ページ)
- ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）の電源が入っていますか？ (145 ページ)
- ネットワーク機器のファームウェアバージョンが最新になっていますか？ (146 ページ)
- コンピューターをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に接続しましたか？ (146 ページ)
- ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で通信条件に関する設定を行っていませんか？ (146 ページ)
- ネットワークにセキュリティの制限はありませんか？ (146 ページ)
- ネットワークの状態は安定していますか？ (146 ページ)
- コンピューターにセキュリティの制限が設定されていませんか？ (147 ページ)
- コンピューターを有線 LAN に接続していますか？ (147 ページ)
- スキャナーがほかのコンピューターから接続されていませんか？ (147 ページ)
- スキャナーの IP アドレスは正しいですか？ (147 ページ)
- スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？ (147 ページ)
- スキャナードライバーは最新になっていますか？ (148 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

- **スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）が LAN ケーブルで接続されていますか？**

対処方法

スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）は LAN ケーブルで接続してください。また、LAN ケーブルを正しく接続してください。

LAN ケーブルが正しく接続されている場合は、次の対処をしてください。

- LAN ケーブルを交換する。
- ネットワーク機器に接続している LAN ケーブルの接続先ポートを変更する。
- ネットワーク機器の速度と伝送方法を「自動」に変更する。
ネットワーク機器の設定で「手動」しか設定できない場合は、伝送方法を「半二重」にする。

- **ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）の電源が入っていますか？**

対処方法

ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）の電源を入れてください。また、ネットワーク機器に異常や故障が発生していないかを確認してください。

ネットワーク機器の異常については、使用しているネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

- **ネットワーク機器のファームウェアバージョンが最新になっていますか？**

対処方法

ネットワーク機器のファームウェアバージョンが古い場合、予期しない動作をする場合があります。ネットワーク管理者に確認のうえ、最新バージョンへアップデートすることを検討してください。ネットワーク機器のファームウェアのアップデートについては、使用しているネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

- **コンピューターをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に接続しましたか？**

対処方法

コンピューターをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に接続してください。詳細は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

- **ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で通信条件に関する設定を行っていませんか？**

対処方法

ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で次の設定をしている場合、設定に応じて対処してください。

- プロトコルフィルター機能を設定している。
通信で使用するプロトコルを許可してください。
- MAC アドレスフィルタリングを設定している。
スキャナーの MAC アドレスをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に設定してください。
ネットワーク機器の設定方法については、使用しているネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

- **ネットワークにセキュリティの制限はありませんか？**

対処方法

ネットワークにユーザーのアクセス制限が設定されている場合があります。詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- **ネットワークの状態は安定していますか？**

対処方法

ネットワークが安定してから接続してください。
ネットワークが不安定になる原因には、次のような事象が考えられます。

- ネットワークモニタープログラムが動作している。
- ファイル転送が行われている。
ネットワークが不安定な場合は、ほかの通信への影響がないことを確認してから、ネットワーク機器を再起動してください。ネットワーク機器の動作が不安定になっている場合があります。

- **コンピューターにセキュリティの制限が設定されていませんか？**

対処方法

Windows またはセキュリティソフトのファイアウォールの設定で、次のソフトウェアが使用するポート番号の通信のブロックを解除してください。

- スキャナー選択ツール
ポート番号: 52217

解除方法は、使用しているコンピューターまたはセキュリティソフトのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

- **コンピューターを有線 LAN に接続していますか？**

対処方法

コンピューターの接続状態を確認してください。

→ [スキャナーのネットワーク接続を確認する方法 \(289 ページ\)](#)

- **スキャナーがほかのコンピューターから接続されていませんか？**

対処方法

スキャナーが一度に接続できるコンピューターは 1 台です。ほかのコンピューターからの接続が切断されるのを待ってから、再度接続してください。

- **スキャナーの IP アドレスは正しいですか？**

対処方法

スキャナーの IP アドレスを確認してください。

IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。

詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

IP アドレス設定ツールの起動方法は、[IP アドレス設定ツールの起動方法 \(307 ページ\)](#)を参照してください。

IP アドレスを手動で設定している場合は、正しい IP アドレスを設定してください。

IP アドレスを自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。

DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

- **スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？**

対処方法

同じネットワーク内に、IP アドレスが重複している通信機器が存在すると、正しく通信できません。IP アドレスが重複しないように対処してください。

- **スキャナードライバーは最新になっていますか？**

対処方法

最新のスキャナードライバーにアップデートしてください。

スキャナーから、IP アドレスで指定したサーバーに接続できない

ここをお調べください

- サーバーの IP アドレスは正しいですか？ (149 ページ)
- スキャナーとサーバーがネットワークに接続されていますか？ (149 ページ)
- スキャナーの IP アドレスは正しいですか？ (149 ページ)
- スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？ (150 ページ)
- 過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？ (150 ページ)
- スキャナーとサーバーの間にファイアウォール装置が設置されていませんか？ (150 ページ)
- スキャナー側で、接続先のサーバーが正しく設定されていますか？ (150 ページ)
- サーバー側の設定は正しいですか？ (150 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した
販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

● サーバーの IP アドレスは正しいですか？

対処方法

サーバーの IP アドレスを確認してください。

PaperStream Scanner Admin で、サーバーの IP アドレスを確認/設定できます。

→ ネットワーク設定 (PaperStream Scanner Admin) (230 ページ)

● スキャナーとサーバーがネットワークに接続されていますか？

対処方法

スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない (145 ページ)を参照して対処してください。

● スキャナーの IP アドレスは正しいですか？

対処方法

スキャナーの IP アドレスを確認してください。

IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。

詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

IP アドレス設定ツールの起動方法は、[IP アドレス設定ツールの起動方法 \(307 ページ\)](#)を参照してください。

IP アドレスを手動で設定している場合は、正しい IP アドレスを設定してください。

IP アドレスを自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。

DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

- **スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？**

対処方法

同じネットワーク内に、IP アドレスが重複している通信機器が存在すると、正しく通信できません。IP アドレスが重複しないように対処してください。

- **過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？**

対処方法

スキャナーと同じ IP アドレスを使用していた別の機器の情報がサーバーに残っていて、スキャナーを認識できないため、サーバーを再起動してください。

- **スキャナーとサーバーの間にファイアウォール装置が設置されていませんか？**

対処方法

ファイアウォール装置でスキャナーからのアクセスが禁止されていないかを確認してください。

- **スキャナー側で、接続先のサーバーが正しく設定されていますか？**

対処方法

PaperStream Scanner Admin で設定したサーバーが正しいか確認してください。

→ [ネットワーク設定 \(PaperStream Scanner Admin\) \(230 ページ\)](#)

- **サーバー側の設定は正しいですか？**

対処方法

使用しているサーバーのマニュアルを参照して、設定内容を確認してください。

スキャナーから、ホスト名で指定したサーバーに接続できない

ここをお調べください

- [サーバーのホスト名は正しいですか？ \(151 ページ\)](#)
- [スキャナー側で、DNS サーバーが正しく設定されていますか？ \(151 ページ\)](#)
- [DNS サーバーが正常に動作していますか？ \(152 ページ\)](#)
- [スキャナーとサーバーがネットワークに接続されていますか？ \(152 ページ\)](#)
- [スキャナーの IP アドレスは正しいですか？ \(152 ページ\)](#)
- [スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？ \(152 ページ\)](#)
- [過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？ \(152 ページ\)](#)
- [スキャナーとサーバーの間にファイアウォール装置が設置されていませんか？ \(152 ページ\)](#)
- [スキャナー側で、接続先のサーバーが正しく設定されていますか？ \(153 ページ\)](#)
- [サーバー側の設定は正しいですか？ \(153 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

● サーバーのホスト名は正しいですか？

対処方法

サーバーのホスト名を確認してください。

PaperStream Scanner Admin で、サーバーのホスト名を確認/設定できます。

→ [ネットワーク設定 \(PaperStream Scanner Admin\) \(230 ページ\)](#)

● スキャナー側で、DNS サーバーが正しく設定されていますか？

対処方法

接続先のサーバーをホスト名で指定している場合、次の対処をしてください。

- スキャナーの DNS サーバーの情報を確認してください。
PaperStream Scanner Admin の「スキャナー情報」→「ネットワーク」で確認します。
- スキャナーの DNS サーバーの情報を設定してください。
PaperStream Scanner Admin の「ネットワーク」→「有線 LAN」で設定します。
DNS サーバーの情報を手動で設定している場合は、正しい DNS サーバーの情報を設定してください。
DNS サーバーの情報を自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。
DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

→ [ネットワーク設定 \(PaperStream Scanner Admin\) \(230 ページ\)](#)

- **DNS サーバーが正常に動作していますか？**

対処方法

接続先のサーバーをホスト名で指定している場合、DNS サーバーが正常に動作しているかを確認してください。

→ [スキャナーのネットワーク接続を確認する方法 \(289 ページ\)](#)

動作していない場合は、DNS サーバーの管理者に連絡してください。

- **スキャナーとサーバーがネットワークに接続されていますか？**

対処方法

[スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない \(145 ページ\)](#)を参照して対処してください。

- **スキャナーの IP アドレスは正しいですか？**

対処方法

スキャナーの IP アドレスを確認してください。

IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。

詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

IP アドレス設定ツールの起動方法は、[IP アドレス設定ツールの起動方法 \(307 ページ\)](#)を参照してください。

IP アドレスを手動で設定している場合は、正しい IP アドレスを設定してください。

IP アドレスを自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。

DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

- **スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？**

対処方法

同じネットワーク内に、IP アドレスが重複している通信機器が存在すると、正しく通信できません。IP アドレスが重複しないように対処してください。

- **過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？**

対処方法

スキャナーと同じ IP アドレスを使用していた別の機器の情報がサーバーに残っていて、スキャナーを認識できないため、サーバーを再起動してください。

- **スキャナーとサーバーの間にファイアウォール装置が設置されていませんか？**

対処方法

ファイアウォール装置でスキャナーからのアクセスが禁止されていないかを確認してください。

- **スキャナー側で、接続先のサーバーが正しく設定されていますか？**

対処方法

PaperStream Scanner Admin で設定したサーバーが正しいか確認してください。

→ [ネットワーク設定 \(PaperStream Scanner Admin\) \(230 ページ\)](#)

- **サーバー側の設定は正しいですか？**

対処方法

使用しているサーバーのマニュアルを参照して、設定内容を確認してください。

NTP サーバーに接続できない (DirectScan)

ここをお調べください

- NTP サーバーと同期していますか？ (154 ページ)
- スキャナーの IP アドレスは正しいですか？ (154 ページ)
- スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？ (155 ページ)
- スキャナーと NTP サーバーは通信可能な状態ですか？ (155 ページ)
- NTP サーバーは正しく動作していますか？ (155 ページ)
- スキャナーとサーバーの間にファイアウォール装置が設置されていませんか？ (155 ページ)
- スキャナーの電源を入れ直しましたか？ (155 ページ)
- スキャナー側で、DNS サーバーが正しく設定されていますか？ (156 ページ)
- DNS サーバーが正常に動作していますか？ (156 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した
弊社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に
連絡してください。

● NTP サーバーと同期していますか？

対処方法

NTP サーバーへの接続は、アクセスが集中してタイムアウトになる場合があります。
少し時間をおいて、次の手順で、再度 NTP サーバーに接続してください。

- 1 PaperStream Scanner Admin で、「基本設定」 → 「日付/時刻」をクリックします。
- 2 設定内容が正しいか確認します。
- 3 [スキャナーに反映] をクリックします。

● スキャナーの IP アドレスは正しいですか？

対処方法

スキャナーの IP アドレスを確認してください。

IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。

詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

IP アドレス設定ツールの起動方法は、[IP アドレス設定ツールの起動方法 \(307 ページ\)](#)を参照してください。

IP アドレスを手動で設定している場合は、正しい IP アドレスを設定してください。

IP アドレスを自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。

DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

- **スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？**

対処方法

同じネットワーク内に、IP アドレスが重複している通信機器が存在すると、正しく通信できません。IP アドレスが重複しないように対処してください。

- **スキャナーと NTP サーバーは通信可能な状態ですか？**

対処方法

スキャナーと同一サブネットワーク内に存在するコンピューターでコマンドプロンプトを起動し、tracert コマンドで NTP サーバーの IP アドレスを指定して通信状態を確認してください。通信ができていない場合、次を確認してください。

- ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で、ケーブルが問題なく接続されていることを確認ください。
- ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で、MAC アドレスフィルタリングを設定している場合は、スキャナーの MAC アドレスを許可するよう設定してください。スキャナーの MAC アドレスは、次の手順で確認できます。PaperStream Scanner Admin で、「スキャナー情報」→「ネットワーク」→「MAC アドレス」をクリックします。
- ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で、プロトコルフィルター機能を設定している場合は、通信で使用する UDP プロトコルを許可してください。
- ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で、接続機器間の通信を禁止している場合（例:ネットワーク分離機能）は、許可するようにしてください。ネットワーク機器の設定方法については、使用しているネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

- **NTP サーバーは正しく動作していますか？**

対処方法

NTP サーバーからのレスポンスがない場合があります。NTP サーバーを手動で指定している場合、指定した NTP サーバーが正常に動作しているか確認してください。

- **スキャナーとサーバーの間にファイアウォール装置が設置されていませんか？**

対処方法

ファイアウォール装置でスキャナーからのアクセスが禁止されていないかを確認してください。

- **スキャナーの電源を入れ直しましたか？**

対処方法

スキャナーの電源を一度切断してから、再度電源を投入してください。電源を切断してから、再度電源を投入するまでは、5 秒以上空けてください。

→ [電源の投入 \(33 ページ\)](#)

- スキャナー側で、DNS サーバーが正しく設定されていますか？

対処方法

接続先のサーバーをホスト名で指定している場合、次の対処をしてください。

- スキャナーの DNS サーバーの情報を確認してください。
PaperStream Scanner Admin の「スキャナー情報」→「ネットワーク」で確認します。
- スキャナーの DNS サーバーの情報を設定してください。
PaperStream Scanner Admin の「ネットワーク」→「有線 LAN」で設定します。
DNS サーバーの情報を手動で設定している場合は、正しい DNS サーバーの情報を設定してください。
DNS サーバーの情報を自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。
DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

→ [ネットワーク設定 \(PaperStream Scanner Admin\) \(230 ページ\)](#)

- DNS サーバーが正常に動作していますか？

対処方法

接続先のサーバーをホスト名で指定している場合、DNS サーバーが正常に動作しているかを確認してください。

→ [スキャナーのネットワーク接続を確認する方法 \(289 ページ\)](#)

動作していない場合は、DNS サーバーの管理者に連絡してください。

読み取りが開始されない (DirectScan)

ここをお調べください

- FTPS サーバーが正しく設定されていますか？ (157 ページ)
- ネットワーク共有フォルダーの暗号化設定は正しいですか？ (157 ページ)
- スキャナー側で、DNS サーバーが正しく設定されていますか？ (157 ページ)
- DNS サーバーが正常に動作していますか？ (158 ページ)
- スキャナーと画像ファイルの送信先がネットワークに接続されていますか？ (158 ページ)
- スキャナーの IP アドレスは正しいですか？ (158 ページ)
- スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？ (158 ページ)
- 過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？ (159 ページ)
- スキャナーとサーバーの間にファイアウォール装置が設置されていませんか？ (159 ページ)
- スキャナーで設定するプロキシサーバーの設定内容は正しいですか？ (159 ページ)
- ジョブの設定で、SMTP サーバーを正しく設定していますか？ (159 ページ)
- ジョブの設定で、画像ファイルの送信先を正しく設定していますか？ (159 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

● FTPS サーバーが正しく設定されていますか？

対処方法

送信先に FTPS サーバーを指定している場合、FTPS サーバーで次のどちらかの対処をしてください。

- TLS1.3 を使用せず、TLS1.2 を使用してください。
- サーバーの設定で TLS セッションの再利用をしていると処理に失敗する場合があります。再利用を無効にしてください。

● ネットワーク共有フォルダーの暗号化設定は正しいですか？

対処方法

送信先にネットワーク共有フォルダーを指定している場合、共有フォルダー側で AES 暗号方式が AES-128-GCM または AES-128-CCM になっているかを確認してください。
AES-128-GCM および AES-128-CCM のみサポートしています。

● スキャナー側で、DNS サーバーが正しく設定されていますか？

対処方法

接続先のサーバーをホスト名で指定している場合、次の対処をしてください。

- スキャナーの DNS サーバーの情報を確認してください。
PaperStream Scanner Admin の「スキャナー情報」→「ネットワーク」で確認します。
- スキャナーの DNS サーバーの情報を設定してください。

PaperStream Scanner Admin の「ネットワーク」→「有線 LAN」で設定します。
DNS サーバーの情報を手動で設定している場合は、正しい DNS サーバーの情報を設定してください。

DNS サーバーの情報を自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。

DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

→ [ネットワーク設定 \(PaperStream Scanner Admin\) \(230 ページ\)](#)

● DNS サーバーが正常に動作していますか？

対処方法

接続先のサーバーをホスト名で指定している場合、DNS サーバーが正常に動作しているかを確認してください。

→ [スキャナーのネットワーク接続を確認する方法 \(289 ページ\)](#)

動作していない場合は、DNS サーバーの管理者に連絡してください。

● スキャナーと画像ファイルの送信先がネットワークに接続されていますか？

対処方法

● サーバー側の設定が正しいかを確認してください。

● [スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない \(145 ページ\)](#)を参照して対処してください。

● スキャナーの IP アドレスは正しいですか？

対処方法

スキャナーの IP アドレスを確認してください。

IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。

詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

IP アドレス設定ツールの起動方法は、[IP アドレス設定ツールの起動方法 \(307 ページ\)](#)を参照してください。

IP アドレスを手動で設定している場合は、正しい IP アドレスを設定してください。

IP アドレスを自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。

DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

● スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？

対処方法

同じネットワーク内に、IP アドレスが重複している通信機器が存在すると、正しく通信できません。IP アドレスが重複しないように対処してください。

- 過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？

対処方法

スキャナーと同じ IP アドレスを使用していた別の機器の情報がサーバーに残っていて、スキャナーを認識できないため、サーバーを再起動してください。

- スキャナーとサーバーの間にファイアウォール装置が設置されていませんか？

対処方法

ファイアウォール装置でスキャナーからのアクセスが禁止されていないかを確認してください。

- スキャナーで設定するプロキシサーバーの設定内容は正しいですか？

対処方法

次の手順で、サーバーの設定項目を確認してください。

- 1 PaperStream Scanner Admin で、「ネットワーク」→「外部サーバー連携」→「プロキシサーバー」をクリックします。
- 2 設定項目を確認します。
 - 「プロキシサーバー」の設定が正しいか。
 - 「使用する」の場合は、次の設定が正しいか。
 - 「ホスト名/IP アドレス」、「ポート番号」が正しいか。

- ジョブの設定で、SMTP サーバーを正しく設定していますか？

対処方法

画像ファイルをメールで送信する場合、次の手順で、サーバーの設定項目を確認してください。

- 1 PaperStream Scanner Admin で、「DirectScan」→「外部サーバー連携」→「SMTP」をクリックします。
- 2 設定項目を確認します。
 - SMTP サーバーの情報が正しいか。
 - ポート番号が正しいか。
 - 暗号化方式の設定が正しいか。
 - 「使用する (SMTPS)」の場合は、次の設定が正しいか。
 - 「サーバー証明書の検証を行う」の設定が正しいか。チェックボックスにチェックを付けた場合、正しい証明書が登録されているか。
 - ユーザー名およびパスワードは正しいか。

- ジョブの設定で、画像ファイルの送信先を正しく設定していますか？

対処方法

- PaperStream Scanner Admin で、ジョブの送信先の設定が正しいかを確認してください。

- 次の送信先の設定が、送信先側とスキャナー側で同じかどうかを確認してください。
 - 送信先の種別
 - 保存先パス/メールアドレス
 - ユーザー名/パスワード
 - 接続モード[アクティブモード/パッシブモード] (FTP/FTPS サーバーの場合)
- また、次の送信先の環境を確認してください。
- 送信先のファイル数が超過していないか、容量が不足していないか、データサイズ制限を超えていないか
 - 送信先が存在するか
 - アクセス権があるか
 - CA 証明書が正しいか
 - 送信先のセキュリティ通信に問題がないか
 - SSL/TLS のバージョンは TLS1.2 または TLS1.3 か (TLS1.0/1.1 は未サポート)
 - SFTP のバージョンはプロトコルバージョン 3 か

読み取りが開始されない

ここをお調べください

- スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定しましたか？ (161 ページ)
- ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿が正しくセットされていますか？ (161 ページ)
- ADF は完全に閉じていますか？ (161 ページ)
- スキャナーとコンピューターは正常に接続されていますか？ (161 ページ)
- コンピューターで WinHTTP プロキシが設定されていますか？ (161 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

- **スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定しましたか？**

対処方法

スキャナーの読み取りを開始するボタンを設定してください。

→ スキャナーのボタンで画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (45 ページ)

- **ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿が正しくセットされていますか？**

対処方法

原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットし直してください。

- **ADF は完全に閉じていますか？**

対処方法

ADF をしっかり閉じてください。

ADF に原稿がはさまっている場合は、原稿を取り除き、ADF を閉じてください。

- **スキャナーとコンピューターは正常に接続されていますか？**

対処方法

- 有線 LAN の場合

スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続してください。有線 LAN で接続できない場合は、[スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない \(145 ページ\)](#)を参照してください。

- USB の場合

USB ケーブルを正しく接続してください。

- **コンピューターで WinHTTP プロキシが設定されていますか？**

スキャナー選択ツールでスキャナーを選択していても、コンピューターのプロキシサーバーの設定によって、スキャナーと接続できなかつたり、スキャナーの接続が遅くなつたりする場合があります。

対処方法

次の手順で WinHTTP プロキシの設定を変更してください。

- 1 コンピューターのコマンドプロンプトを管理者として起動します。
- 2 次のコマンドを実行し、プロキシサーバー名と使用ポート番号を確認します。

```
netsh winhttp show proxy
```

次のように表示されます。

"プロキシサーバー名:ポート番号"

- 3 次のどれかのコマンドを実行します。

- プロキシサーバーが設定されている場合
プロキシサーバーを経由しないように設定します。

```
netsh winhttp set proxy proxy-server="XXXXXX:YYYY" bypass-list=ZZZ.ZZZ.ZZZ.ZZZ
```

XXXXXX：プロキシサーバー名

YYYY：使用ポート番号

ZZZ.ZZZ.ZZZ.ZZZ：スキャナーの IP アドレス (*1)

- プロキシサーバーが設定されていない場合
設定をリセットすると、コンピューターからスキャナーにアクセスできるようになる場合があります。

```
netsh winhttp reset proxy
```

*1：スキャナーの IP アドレスは、PaperStream Scanner Admin の「スキャナー情報」→「ネットワーク」で確認できます。

原稿の読み取りに時間がかかる

ここをお調べください

- USB 接続の場合、USB ケーブルをコンピューターの USB1.1 の USB ポートに接続していませんか？ (163 ページ)
- コンピューター起動直後やサインイン直後などの、コンピューターが安定していない状態のときに読み取りを開始していませんか？ (163 ページ)
- 各ローラーはきれいですか？ (163 ページ)
- コンピューターは、測定環境の条件を満たしていますか？ (163 ページ)
- モアレ除去(高度)の設定が画質優先になっていますか？ (163 ページ)
- 手差し・単送モードで原稿を読み取っていますか？ (164 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

- USB 接続の場合、USB ケーブルをコンピューターの USB1.1 の USB ポートに接続していませんか？

対処方法

USB 接続の場合、USB ケーブルを USB3.2 Gen 1x1 (USB3.0) / USB2.0 の USB ポートに接続してください。

- コンピューター起動直後やサインイン直後などの、コンピューターが安定していない状態のときに読み取りを開始していませんか？

対処方法

コンピューターの起動直後やサインイン直後は、しばらく待ってから原稿の読み取りを開始してください。

- 各ローラーはきれいですか？

対処方法

各ローラーを清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

- コンピューターは、測定環境の条件を満たしていますか？

対処方法

[スキャナー基本仕様 \(272 ページ\)](#)に記載している測定環境の CPU やメモリー容量の条件を満たしていない場合は、条件を満たしているコンピューターでのご利用をお試しください。

- モアレ除去(高度)の設定が画質優先になっていますか？

対処方法

モアレ除去(高度)が画質を優先する設定になっている場合、読み取り速度が遅くなります。

必要に応じて、次のどちらかの方法で、モアレ除去(高度)の設定を変更してください。

- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- Software Operation Panel
 - ➔ 画像に縞模様（干渉縞）が発生するのを抑止する設定（モアレ除去(高度)）（219 ページ）

ヒント

コンピューターに接続して読み取る場合は、スキャナードライバーの設定が優先されます。

● 手差し・単送モードで原稿を読み取っていますか？

手差し・単送モードで原稿を読み取ると、読み取り速度が遅くなります。

- ➔ 2つ折りの原稿を読み取りたいとき（82 ページ）
- ➔ 封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき（84 ページ）

絵や写真を読み取った画像が粗くなる/画像にノイズが発生する

ここをお調べください

- [読み取り設定で、二値白黒を設定して読み取っていますか？ \(165 ページ\)](#)
- [読み取り設定で、読み取り解像度を低く設定して読み取っていますか？ \(165 ページ\)](#)
- [ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ \(165 ページ\)](#)

また、コンピューターに接続して読み取る場合は、スキャナードライバーのヘルプの「画像の出力」を参照して対処してください。

症状が改善しない場合は、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター ([310 ページ](#))に連絡してください。

- **読み取り設定で、二値白黒を設定して読み取っていますか？**

対処方法

絵や写真を二値白黒で読み取ると、画像がオリジナルと著しく異なることがあります。次の読み取り設定で、カラーまたはグレースケールを設定してください。

- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- DirectScan のジョブ (PaperStream Scanner Admin)
→ [ボタン割り当て \(247 ページ\)](#)

- **読み取り設定で、読み取り解像度を低く設定して読み取っていますか？**

対処方法

網点印刷された原稿を読み取った場合、画像に周期的なノイズ（モアレ）が発生することがあります。

次の読み取り設定で、解像度の設定を高くしてください。

- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- DirectScan のジョブ (PaperStream Scanner Admin)
→ [ボタン割り当て \(247 ページ\)](#)

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

- [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

文字や線の読み取り結果が良くない

ここをお調べください

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (166 ページ)
- 解像度は適切ですか？ (166 ページ)
- 読み取り設定で、グレースケール、カラーを設定して読み取っていますか？ (166 ページ)
- 原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？ (166 ページ)

また、コンピューターに接続して読み取る場合は、スキャナードライバーのヘルプの「画像の出力」を参照して対処してください。

症状が改善しない場合は、**お問い合わせの前に (188 ページ)**の各項目を確認して、本製品を購入した**販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)**に連絡してください。

- **ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？**

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

- **解像度は適切ですか？**

対処方法

次の読み取り設定で、読み取り解像度の設定を高くしてください。

- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- DirectScan のジョブ (PaperStream Scanner Admin)
→ [ボタン割り当て \(247 ページ\)](#)

- **読み取り設定で、グレースケール、カラーを設定して読み取っていますか？**

対処方法

次の読み取り設定で、二値白黒を設定してください。

- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- DirectScan のジョブ (PaperStream Scanner Admin)
→ [ボタン割り当て \(247 ページ\)](#)

グレースケールまたはカラーで読み取ると、文字や線画の読み取り結果が鮮明ではないことがあります。

- **原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？**

対処方法

原稿に付着している異物を取り除いてください。

原稿に異物が付着していると、ADF 内部のガラスに異物が付着して、よごれの原因となる場合があります。

画像がゆがむまたは鮮明ではない

ここをお調べください

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (168 ページ)
- ADF で読み取り中に、ADF の上部を押さえつけていますか？または上に重いものを置いていますか？ (168 ページ)
- 不安定な場所、振動がある場所で読み取っていますか？ (168 ページ)
- スキャナーは水平で平らな面に置かれていますか？またはスキャナーのゴム足は付いていますか？ (168 ページ)
- 原稿にしわ/カールはありますか？ (168 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

- ADF で読み取り中に、ADF の上部を押さえつけていますか？または上に重いものを置いていますか？

対処方法

ADF の上部を押さえつけたり、上に重いものを置いたりしないでください。

- 不安定な場所、振動がある場所で読み取っていますか？

対処方法

安定した場所、振動がない場所で読み取ってください。

- スキャナーは水平で平らな面に置かれていますか？またはスキャナーのゴム足は付いていますか？

対処方法

スキャナーを水平で平らな面に置いてください。

または、ゴム足を取り付けてください。

- 原稿にしわ/カールはありますか？

対処方法

原稿のしわ/カールをのばしてください。

画像に縦線（縦筋）が出る

ここをお調べください

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (169 ページ)
- 解像度を低く設定すると、縦線は消えますか？ (169 ページ)
- 原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？ (169 ページ)
- 読み取り設定で、縦筋軽減の設定を有効にして読み取っていますか？ (169 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

- 解像度を低く設定すると、縦線は消えますか？

対処方法

解像度を低く設定して、原稿を読み取ってください。

- 原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？

対処方法

原稿に付着している異物を取り除いてください。

原稿に異物が付着していると、ADF 内部のガラスに異物が付着して、よごれの原因となる場合があります。

- 読み取り設定で、縦筋軽減の設定を有効にして読み取っていますか？

対処方法

次の読み取り設定で、縦筋軽減の設定を有効にしてください。

- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- DirectScan のジョブ (PaperStream Scanner Admin)
→ [ボタン割り当て \(247 ページ\)](#)

ただし、縦筋軽減の設定を有効にした場合、縦筋の太さや場所によっては縦筋が軽減できず、文字や罫線に色にじみが発生する可能性があります。

頻繁に原稿が重なって搬送される

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (170 ページ)
 - キャリアシートを使用していますか？ (170 ページ)
 - 原稿の重なりを検出する設定が有効になっているとき、原稿の重なりを正しく検出するための条件を満たしていますか？ (171 ページ)
 - プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？ (171 ページ)
 - 原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？ (171 ページ)
 - 原稿は、コピー機またはレーザープリンターで印刷したばかりですか？ (171 ページ)
 - 原稿の束の高さは 8mm 未満ですか？ (171 ページ)
 - ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (171 ページ)
 - ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (171 ページ)
 - ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (172 ページ)
 - 標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用していますか？ (172 ページ)
- 症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

● 原稿の状態は条件を満たしていますか？

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。

→ [読み取りできる原稿 \(58 ページ\)](#)

● キャリアシートを使用していますか？

対処方法

次の読み取り設定で、キャリアシートの設定を有効にしてください。

- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- DirectScan のジョブ (PaperStream Scanner Admin)
→ [ボタン割り当て \(247 ページ\)](#)

キャリアシートを使用した読み取りについては、次を参照してください。

- [A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき \(86 ページ\)](#)
- [写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき \(88 ページ\)](#)

原稿の重なりを検出する設定が有効になっているとき、キャリアシートが傾いて搬送されると、原稿の重なりとして検出されます。

キャリアシートをセットするときは、サイドガイドをキャリアシートの幅にしっかり合わせてください。

- **原稿の重なりを検出する設定が有効になっているとき、原稿の重なりを正しく検出するための条件を満たしていますか？**

対処方法

原稿によっては、原稿の重なりが誤って検出される場合があります。

→ [原稿の重なり（マルチフィード）を正しく検出するための条件（65 ページ）](#)

- **プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？**

対処方法

次のどちらかの設定で読み取ってください。

- 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
- 手差し・単送モードで読み取る。

- **原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？**

対処方法

原稿をセットする前に、原稿をさばいてください。

→ [原稿の準備（54 ページ）](#)

- **原稿は、コピー機またはレーザープリンターで印刷したばかりですか？**

対処方法

3、4 回さばいて、原稿にたまっている静電気の電荷を取り除いてください。

→ [原稿の準備（54 ページ）](#)

- **原稿の束の高さは 8mm 未満ですか？**

対処方法

原稿は 8mm の高さまでセットできます。原稿の束の高さが 8mm 未満になるように、原稿の分量を減らしてください。

- **ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。

→ [ブレーキローラの交換（120 ページ）](#)

→ [ピックローラの交換（123 ページ）](#)

- **ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。

→ [日常のお手入れ（105 ページ）](#)

- **ブレーキローラおよびピックアップローラが擦り減っていますか？**

対処方法

Software Operation Panel で、消耗品のカウンターを確認してください。

→ [枚数カウンターのクリア \(208 ページ\)](#)

必要に応じてブレーキローラおよびピックアップローラを交換してください。

→ [ブレーキローラの交換 \(120 ページ\)](#)

→ [ピックアップローラの交換 \(123 ページ\)](#)

- **標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用していますか？**

対処方法

標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用しているときは、Software Operation Panel で、「高地モード」を有効にしてください。

ヒント

標高 2,000m 未満の平地で、「高地モード」を有効に設定してスキャナーを使用すると、原稿の重なりが検出されないことがあります。

標高 2,000m 未満の平地でスキャナーを使用するときは、「高地モード」を無効にしてください。

原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (173 ページ)
- 原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？ (173 ページ)
- ブレーキローラおよびピックアップローラは正しく取り付けられていますか？ (173 ページ)
- ブレーキローラおよびピックアップローラはきれいですか？ (173 ページ)
- ブレーキローラおよびピックアップローラが擦り減っていますか？ (173 ページ)
- プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？ (174 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した
弊社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に
連絡してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。

→ [読み取りできる原稿 \(58 ページ\)](#)

- **原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？**

対処方法

原稿をセットする前に、原稿をさばいてください。

→ [原稿の準備 \(54 ページ\)](#)

- **ブレーキローラおよびピックアップローラは正しく取り付けられていますか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックアップローラを正しく取り付けてください。

→ [ブレーキローラの交換 \(120 ページ\)](#)

→ [ピックアップローラの交換 \(123 ページ\)](#)

- **ブレーキローラおよびピックアップローラはきれいですか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックアップローラを清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

- **ブレーキローラおよびピックアップローラが擦り減っていますか？**

対処方法

Software Operation Panel で、消耗品のカウンターを確認してください。

→ [枚数カウンターのクリア \(208 ページ\)](#)

必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。

→ [ブレーキローラの交換 \(120 ページ\)](#)

→ [ピックローラの交換 \(123 ページ\)](#)

● **プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？**

対処方法

次のどちらかの設定で読み取ってください。

- 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
- 手差し・単送モードで読み取る。

原稿保護のエラーが頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿をセットするときに、サイドガイドを原稿の幅に合わせていますか？ (175 ページ)
- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (175 ページ)
- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (175 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (175 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (175 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (176 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

- **原稿をセットするときに、サイドガイドを原稿の幅に合わせていますか？**

対処方法

原稿をセットするときに、サイドガイドと原稿の間に隙間がないことを確認してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。

→ [読み取りできる原稿 \(58 ページ\)](#)

- **ADF 内部に異物が入り込んでいますか？**

対処方法

ADF を清掃してください。

または、ADF から異物を取り除いてください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

- **ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。

→ [ブレーキローラの交換 \(120 ページ\)](#)

→ [ピックローラの交換 \(123 ページ\)](#)

- **ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

- **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

対処方法

Software Operation Panel で、消耗品のカウンターを確認してください。

→ [枚数カウンターのクリア \(208 ページ\)](#)

必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。

→ [ブレーキローラの交換 \(120 ページ\)](#)

→ [ピックローラの交換 \(123 ページ\)](#)

原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (177 ページ)
- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (177 ページ)
- ADF 内部に原稿が残っていますか？ (177 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (177 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (177 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (178 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した
販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に
連絡してください。

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。

→ [読み取りできる原稿 \(58 ページ\)](#)

- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？

対処方法

ADF を清掃してください。

または、ADF から異物を取り除いてください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

- ADF 内部に原稿が残っていますか？

対処方法

ADF から原稿を取り除いてください。

→ [原稿づまりが発生したときは \(128 ページ\)](#)

- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。

→ [ブレーキローラの交換 \(120 ページ\)](#)

→ [ピックローラの交換 \(123 ページ\)](#)

- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

● **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

対処方法

Software Operation Panel で、消耗品のカウンターを確認してください。

→ [枚数カウンターのクリア \(208 ページ\)](#)

必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。

→ [ブレーキローラの交換 \(120 ページ\)](#)

→ [ピックローラの交換 \(123 ページ\)](#)

画像が間延びする

ここをお調べください

- [各ローラーはきれいですか？ \(179 ページ\)](#)
- [原稿の状態は条件を満たしていますか？ \(179 ページ\)](#)
- [ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ \(179 ページ\)](#)
- [読み取り倍率を調整しましたか？ \(179 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

● [各ローラーはきれいですか？](#)

対処方法

各ローラーを清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

● [原稿の状態は条件を満たしていますか？](#)

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。

→ [読み取りできる原稿 \(58 ページ\)](#)

● [ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？](#)

対処方法

Software Operation Panel で、消耗品のカウンターを確認してください。

→ [枚数カウンターのクリア \(208 ページ\)](#)

必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。

→ [ブレーキローラの交換 \(120 ページ\)](#)

→ [ピックローラの交換 \(123 ページ\)](#)

● [読み取り倍率を調整しましたか？](#)

対処方法

Software Operation Panel で、搬送方向の読み取り倍率を調整してください。

→ [読み取り開始位置の調整 \(オフセット設定/倍率調整\) \(212 ページ\)](#)

画像の先端または後端に影がある

ここをお調べください

- オフセット（原稿の読み取り開始位置）を調整しましたか？（180 ページ）
- 縁消し機能を使用して原稿端にできる影を塗りつぶしていますか？（180 ページ）
症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に（188 ページ）の各項目を確認して、本製品を購入した
販売店/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（310 ページ）に
連絡してください。

● オフセット（原稿の読み取り開始位置）を調整しましたか？

対処方法

Software Operation Panel で、副走査方向のオフセットを調整してください。

→ [読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整）](#)（212 ページ）

● 縁消し機能を使用して原稿端にできる影を塗りつぶしていますか？

対処方法

次のどれかの方法で、原稿端にできる影を塗りつぶしてください。

- Software Operation Panel
 - [画像の端にできる影や筋の消去（縁消し\(ADF\)）](#)（214 ページ）
- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
Software Operation Panel の設定で縁消しされた画像に対して、縁消し処理が行われます。
- DirectScan のジョブ（PaperStream Scanner Admin）
読み取り設定で「エッジ補正」を設定してください。
Software Operation Panel の設定で縁消しされた画像に対して、縁消し処理が行われます。
 - [ボタン割り当て](#)（247 ページ）

画像に縞模様が発生する

ここをお調べください

- [モアレ除去\(高度\)の設定が画質優先になっていますか？ \(181 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に [\(188 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した
販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター [\(310 ページ\)](#)に
連絡してください。

- **モアレ除去(高度)の設定が画質優先になっていますか？**

対処方法

次のどちらかの方法で、モアレ除去(高度)の設定を画質優先にしてください。

- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- Software Operation Panel
→ [画像に縞模様（干渉縞）が発生するのを抑止する設定（モアレ除去\(高度\)） \(219 ページ\)](#)

ヒント

スキャナードライバーの設定が優先されます。

原稿に黒い跡が残る

ここをお調べください

- 鉛筆書きの原稿またはカーボン紙を読み取っていますか？ (182 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (182 ページ)

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した
販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

- 鉛筆書きの原稿またはカーボン紙を読み取っていますか？

対処方法

鉛筆書きの原稿を読み取る時は、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、こまめに各ローラーを清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

キャリアシートがうまく送られない/つまる

ここをお調べください

- キャリアシートだけを連続して読み取りましたか？ (183 ページ)
 - キャリアシートはきれいですか？ (183 ページ)
 - ADF 給紙シュート（フィーダー）にキャリアシートをセットしてから、読み取りを開始しましたか？ (183 ページ)
 - ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (184 ページ)
 - ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (184 ページ)
 - ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (184 ページ)
 - 厚みのある原稿をキャリアシートにはさんでいますか？ (184 ページ)
- 症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に (188 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販売店/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)に連絡してください。

● キャリアシートだけを連続して読み取りましたか？

対処方法

PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続搬送したあとに、キャリアシートを読み取ってください。
PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。

● キャリアシートはきれいですか？

対処方法

次のどちらかを行って、対処してください。

- キャリアシートを清掃してください。
 - ➔ [キャリアシートの清掃 \(117 ページ\)](#)
- 新しいキャリアシートに交換してください。
キャリアシートの購入については、[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(311 ページ\)](#)にお問い合わせください。

● ADF 給紙シュート（フィーダー）にキャリアシートをセットしてから、読み取りを開始しましたか？

対処方法

ADF 給紙シュート（フィーダー）にキャリアシートをセットしてから、読み取りを開始してください。

- ➔ [A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき \(86 ページ\)](#)
- ➔ [写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき \(88 ページ\)](#)

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

- ブレーキローラおよびピックアップローラが擦り減っていますか？

対処方法

Software Operation Panel で、消耗品のカウンターを確認してください。

→ [枚数カウンターのクリア \(208 ページ\)](#)

必要に応じてブレーキローラおよびピックアップローラを交換してください。

→ [ブレーキローラの交換 \(120 ページ\)](#)

→ [ピックアップローラの交換 \(123 ページ\)](#)

- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？

対処方法

ADF を清掃してください。

または、ADF から異物を取り除いてください。

→ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)

- 厚みのある原稿をキャリアシートにはさんでいますか？

対処方法

厚みのある原稿をキャリアシートにはさんで読み取れません。

条件を満たしている原稿を使用してください。

→ [A3 キャリアシートを使用する場合の条件 \(72 ページ\)](#)

→ [写真キャリアシートを使用する場合の条件 \(75 ページ\)](#)

キャリアシートで読み取ると画像が欠ける

ここをお調べください

- キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取りましたか？（185 ページ）
- 原稿の折り目が A3 キャリアシートからはみ出ていますか？（185 ページ）

症状が改善しない場合は、お問い合わせの前に（188 ページ）の各項目を確認して、本製品を購入した販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（310 ページ）に連絡してください。

- キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取りましたか？

対処方法

キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を 1 枚ずつはさんで読み取ってください。

- 原稿の折り目が A3 キャリアシートからはみ出ていますか？

対処方法

2 つ折りにした原稿の折り曲げ部分が A3 キャリアシートからはみ出ていると、原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。

A3 キャリアシートに原稿をはさむときは、原稿の折り曲げ部分を A3 キャリアシートの端から 1mm ほど内側にずらしてはさんでください。

スキャナーの日付および時刻がずれている

次の場合は、スキャナーの日付および時刻がずれることがあります。

- スキャナーの電源を切断したあとに AC ケーブルを抜く
- NTP サーバーが稼働していない
- スキャナーを使用するコンピューターの日付および時刻がずれている

対処方法

PaperStream Scanner Admin でのスキャナーの日付および時刻の設定方法に応じて、次の対処をしてください。

- 設定方法が「手動」の場合
日付および時刻を再設定してください。
 - 設定方法が「自動」の場合
NTP サーバーと同期している場合は、NTP サーバーが稼働しているかどうか確認してください。
NTP サーバーが構築されていない環境の場合は、スキャナーを使用するコンピューターの日付および時刻を確認してください。
- [ネットワーク設定 \(PaperStream Scanner Admin\) \(230 ページ\)](#)の日付/時刻 (238 ページ)

管理者パスワードを忘れた

対処方法

工場出荷設定の管理者パスワードについては、[管理者パスワード \(267 ページ\)](#)を参照してください。変更したパスワードを忘れた場合は、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(310 ページ\)](#)に連絡してください。

工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる

ここをお調べください

- [入力した工場出荷設定のパスワードは正しいですか? \(187 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、[お問い合わせの前に \(188 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(310 ページ\)](#)に連絡してください。

- **入力した工場出荷設定のパスワードは正しいですか？**

対処方法

工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルで確認できます。ラベルの詳細は、[装置ラベルの確認 \(190 ページ\)](#)を参照してください。

お問い合わせの前に

当社のサービスセンター（株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ)）に連絡する前に、行うことや確認する項目について説明します。

お問い合わせの前に行うこと

スキャナーの使用中になんらかのエラーやトラブルが発生したときは、お問い合わせの前に、次の対処をしてください。

- 電源不足がないか確認してください。延長ケーブルは使用しないでください。
- 添付の AC ケーブルおよび AC アダプターを使用してください。
- [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)を参照して、スキャナー内部を清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、[お問い合わせの前に確認すること \(188 ページ\)](#)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (310 ページ) に連絡してください。

お問い合わせの前に確認すること

- 概要

調べる項目	調査結果
機種名	例：SP-2240N → 装置ラベルの確認 (190 ページ)
シリアル番号	例：XXXX000001 → 装置ラベルの確認 (190 ページ)
製造年月	例：20XX-01（20XX 年 01 月） → 装置ラベルの確認 (190 ページ)
購入年月日	
症状	
発生頻度	例：常時/間欠
保証書の有無	
使用しているオプション品名	例：A3 キャリアシート → スキャナーのオプション (276 ページ)

- エラーの状況

コンピューター接続時の問題

調べる項目	調査結果
オペレーティングシステム (Windows) の種類	
画面のエラーメッセージ	
インターフェイスの種類	例：USB インターフェイス
インターフェイスコントローラーの種類	例：LAN ボード使用
接続形態	例：USB、有線 LAN

搬送系の問題

調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	
消耗品の交換年月日	

画像系の問題

調べる項目	調査結果
スキャナードライバーの種類と版数	
インターフェイスコントローラーの種類	例：LAN ボード使用
オペレーティングシステム (Windows) の種類	
アプリケーションの種類	例：PaperStream ClickScan
読み取り面	例：表面、裏面、両面
読み取り解像度	例：600dpi、75dpi
読み取り色	例：カラー、グレースケール、二値白黒

そのほか

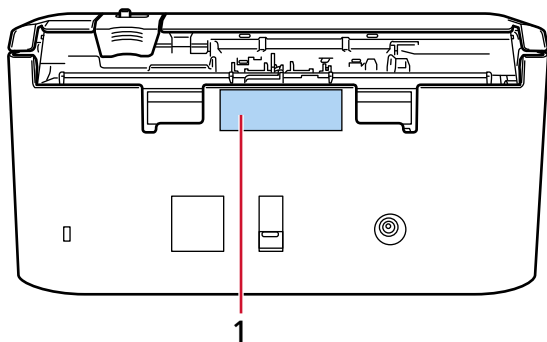
可能であれば、原稿の状態がわかる写真と出力結果を、E-Mail で送付してください。

装置ラベルの確認

ラベルの確認方法について説明します。
ラベルは、スキャナーの背面と底面に貼付されています。

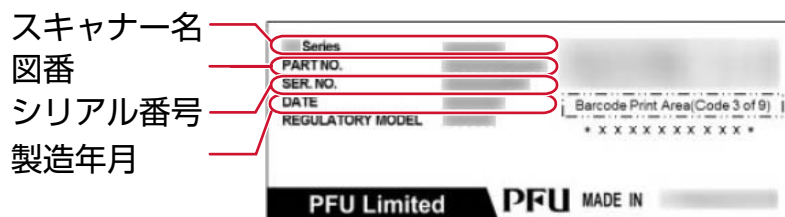
● 装置背面

ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外して、確認してください。

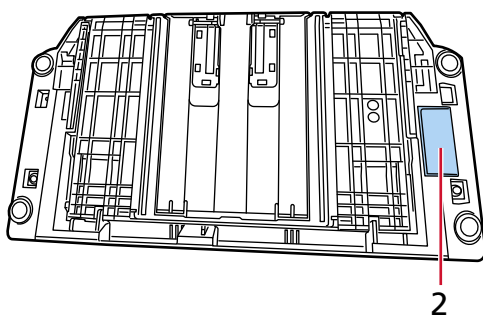


1のラベル例

スキャナーの情報を示しています。

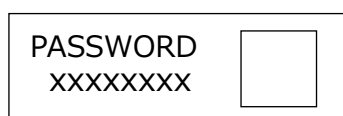


● 装置底面



2のラベル例

工場出荷設定の管理者パスワードを示しています。xxxxxxx部分（8桁の数字）がパスワードです。



スキャナー設定 (Software Operation Panel)

ここでは、Software Operation Panel を使ったスキャナーの設定方法について説明します。
Software Operation Panel は、コンピューターに接続して使用する場合に利用できます。
Software Operation Panel を利用すると、スキャナーの動作や消耗品の管理などの設定ができます。

Software Operation Panel の起動

重要

- 読み取り中に、Software Operation Panel を起動しないでください。
- PaperStream ClickScan で読み取りする場合は、Software Operation Panel を終了してください。
- スキャナードライバーの画面を表示しているときに、Software Operation Panel の設定を変更した場合、変更した設定がすぐに反映されない場合があります。その場合は、スキャナードライバーの画面を開き直してください。
- PaperStream ClickScan を起動している場合、Software Operation Panel を起動すると、PaperStream ClickScan が無効になります。

1 コンピューターにスキャナーが接続されていることを確認します。

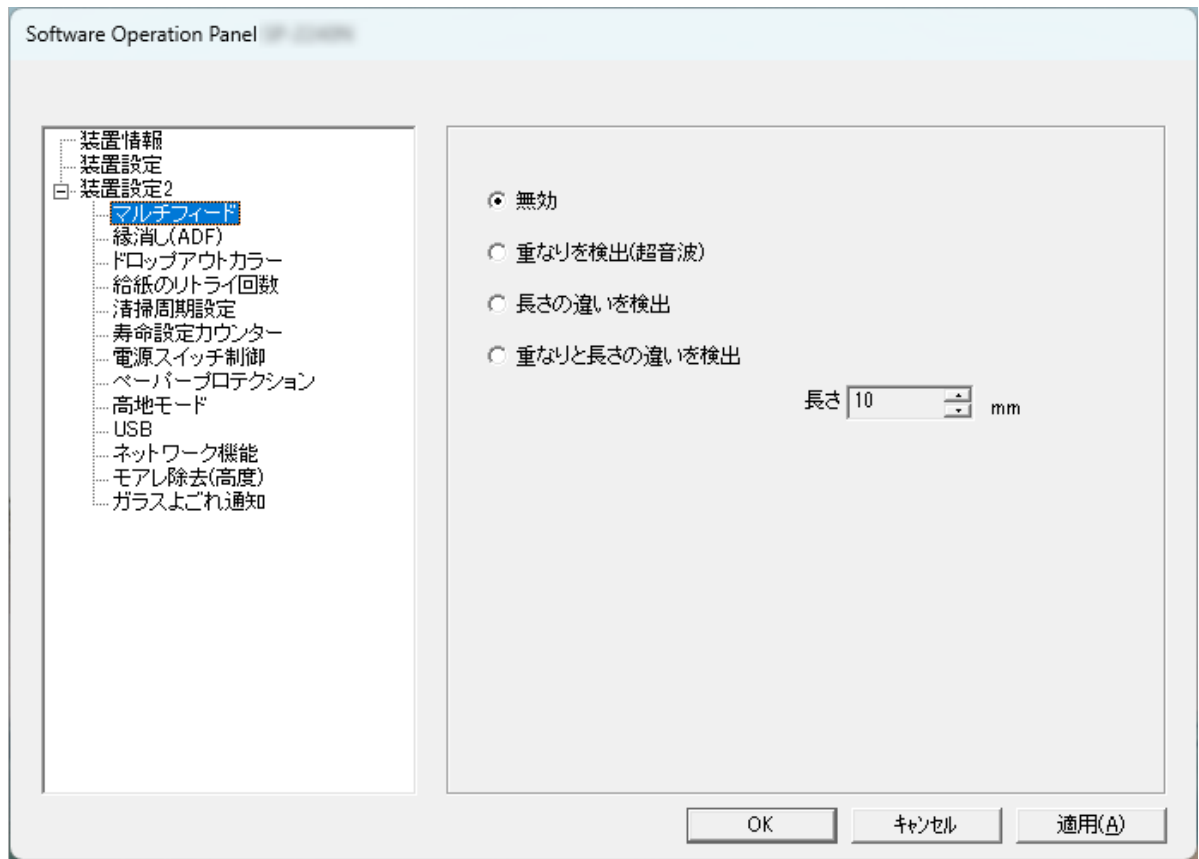
- USB 接続の場合
スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続します。
- 有線 LAN 接続の場合
スキャナーをネットワークに接続し、スキャナー選択ツールでスキャナーを選択します。
 - ➔ [ネットワーク \(241 ページ\)](#)
 - ➔ [IP アドレス設定ツールの起動方法 \(307 ページ\)](#)
DHCP 環境でない場合は、IP アドレス設定ツールが必要です。
 - ➔ [スキャナー選択ツールの起動方法 \(306 ページ\)](#)


2 Software Operation Panel を起動します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
「スタート」メニュー → 「SP Series」 → 「Software Operation Panel」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
「スタート」メニュー → 「すべてのアプリ」 → 「SP Series」 → 「Software Operation Panel」をクリックします。

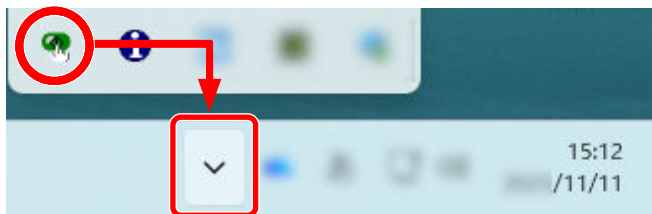
スキャナーの選択画面が表示された場合は、Software Operation Panel を起動したいスキャナーを選択して、[選択] ボタンをクリックします。

Software Operation Panel の画面が表示されます。



タスクバーの通知領域にある  をクリックして表示されるメニューに、Software Operation Panel のアイコンが表示されます。

通知領域に Software Operation Panel のアイコンを常に表示させるには、アイコンを通知領域にドラッグ&ドロップしてください。



Software Operation Panel の閲覧モード設定

Software Operation Panel にパスワードを設定すると、スキャナーの設定内容を閲覧だけできる「閲覧モード」として起動できます。

パスワードを設定していない状態では、スキャナーの設定が可能なモードとして起動します。

パスワードを設定して操作を制限すると、不用意な設定変更を防止できます。

「閲覧モード」の設定

Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定します。

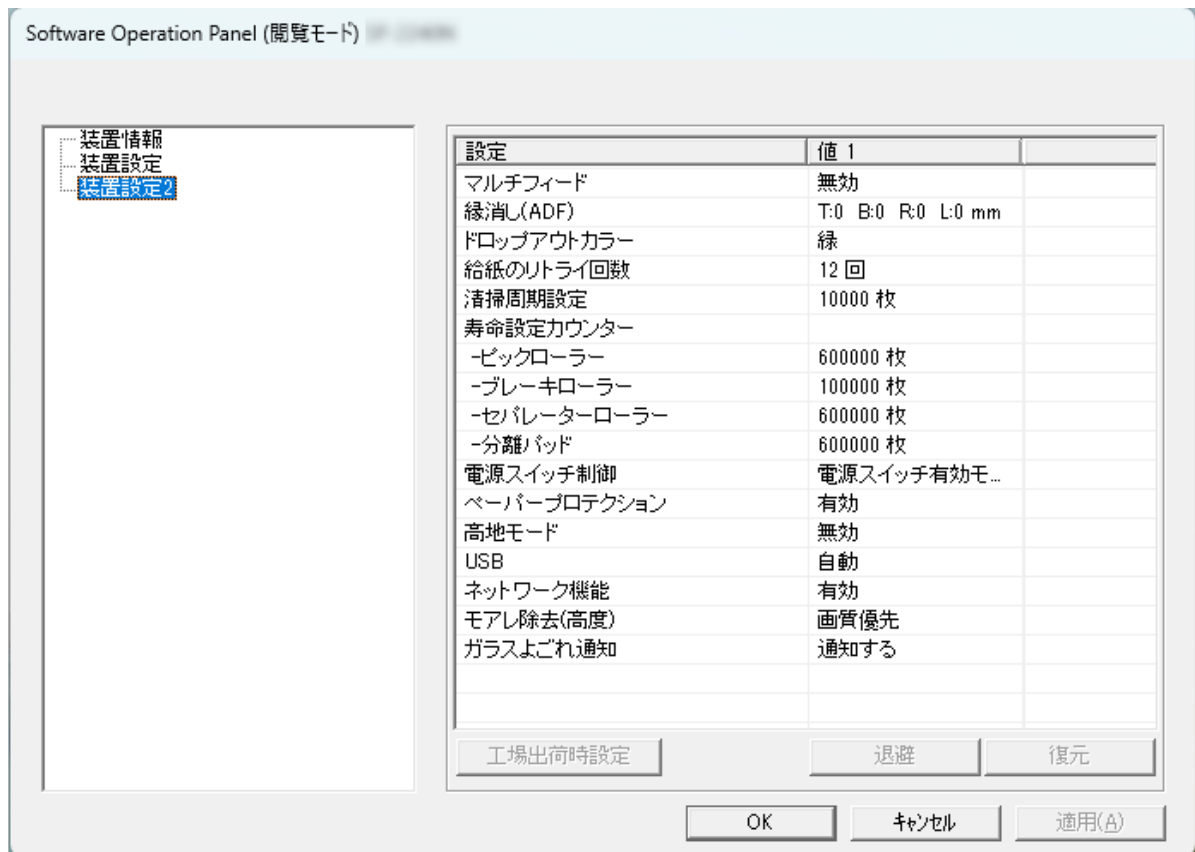
1 パスワードを設定します。

→ [パスワードの設定 \(198 ページ\)](#)

2 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。



Software Operation Panel が「閲覧モード」で起動されます。



ヒント

Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の横にチェックマークが表示されます。



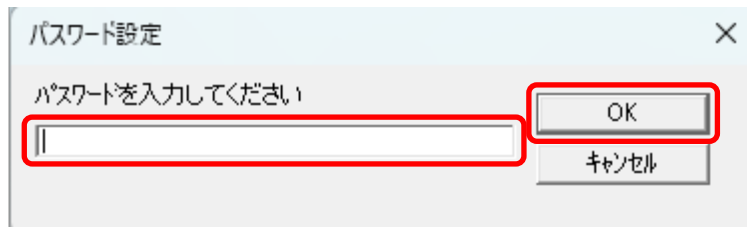
「閲覧モード」の設定解除

Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除します。

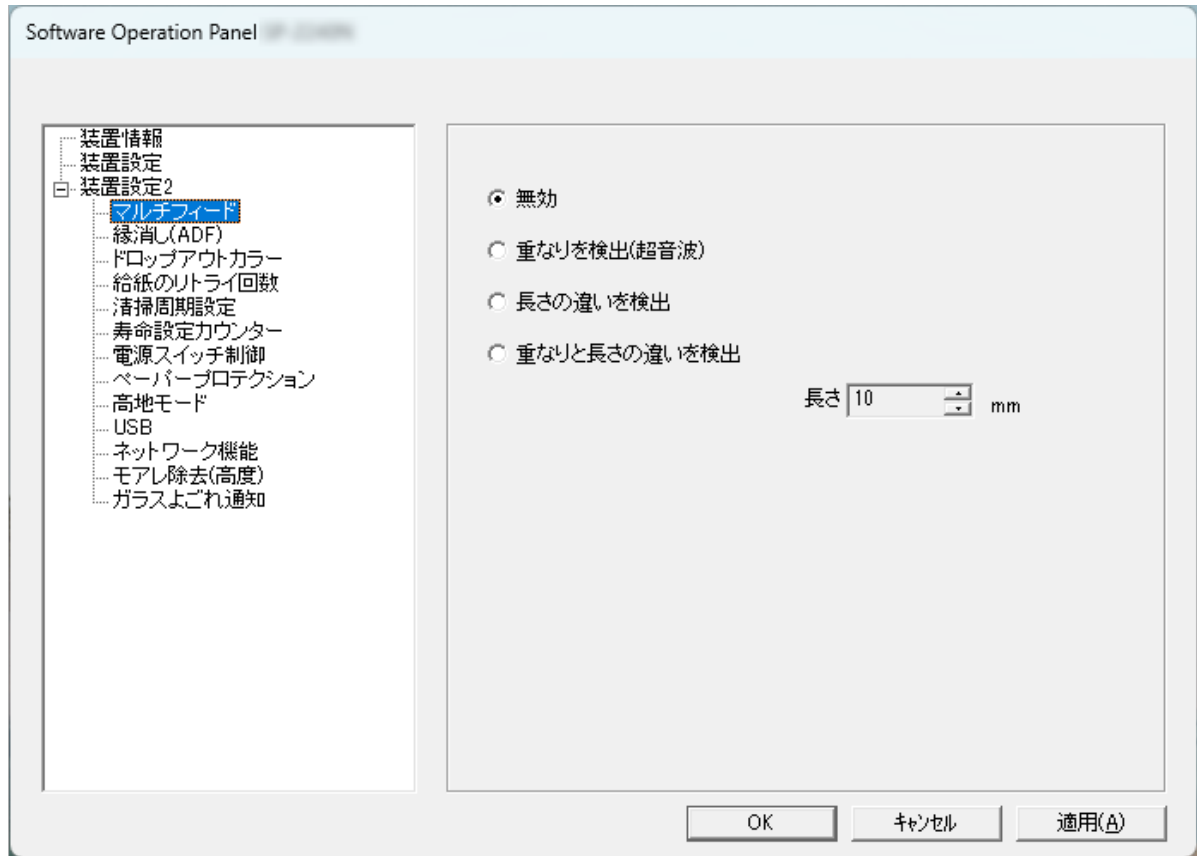
- 1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。



- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



「閲覧モード」の設定が解除され、Software Operation Panel がスキャナー設定可能なモードで起動されます。



ヒント

Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の横のチェックマークが非表示となります。



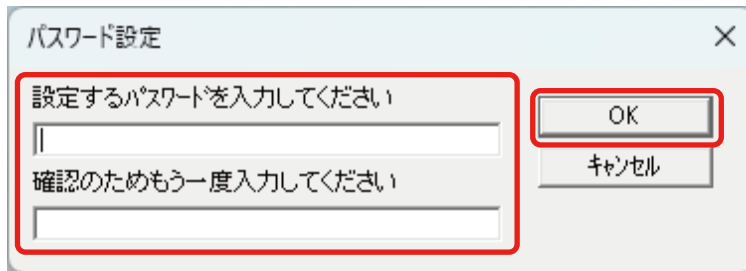
パスワードの設定

Software Operation Panel にパスワードを設定します。

- 1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



- 2 パスワードを 2 回入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 最大 32 文字
- 半角英数字 (a~z、A~Z、0~9)

メッセージ画面が表示されます。

- 3 [OK] ボタンをクリックします。

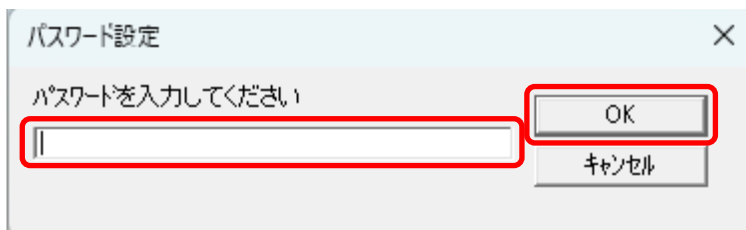
パスワードが設定されます。

パスワードの変更

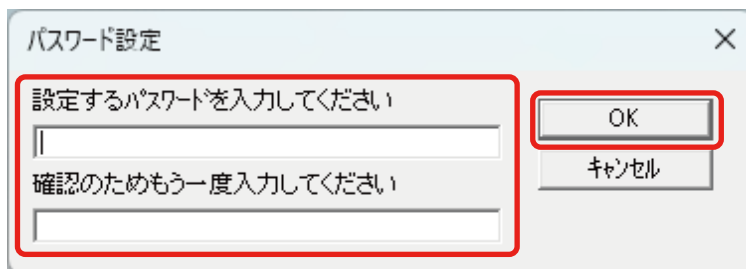
- 1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 3 変更後のパスワードを2回入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 最大 32 文字
 - 半角英数字 (a~z、A~Z、0~9)
- メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。

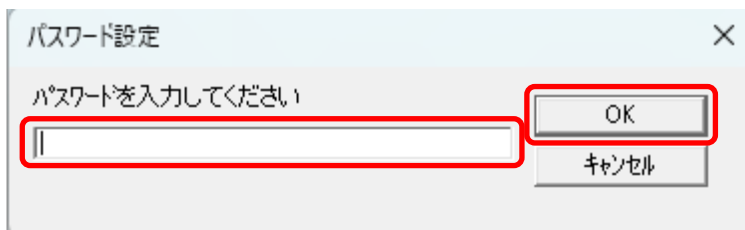
パスワードが変更されます。

パスワードの設定解除

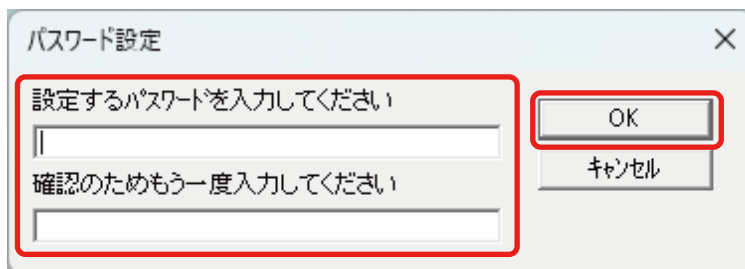
- 1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 3 設定するパスワードと確認用パスワードを空欄にし、[OK] ボタンをクリックします。



メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。
パスワードの設定が解除されます。

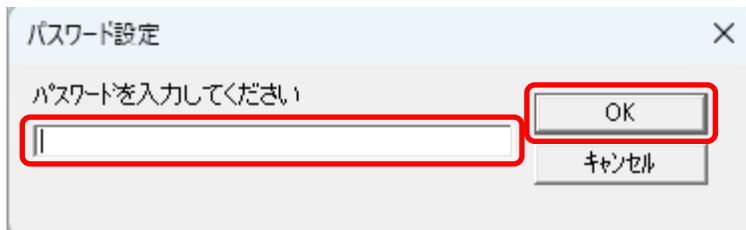
パスワードを紛失したときの対応

パスワードを紛失した場合は、パスワードを再設定します。

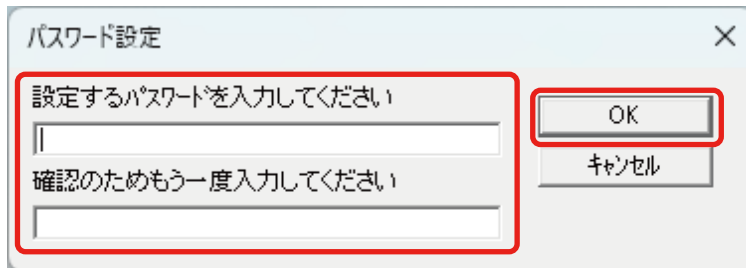
- 1 タスクバーの通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



- 2 工場出荷設定のパスワード「fi-scanner」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 3 変更後のパスワードを2回入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- 最大 32 文字
- 半角英数字 (a~z、A~Z、0~9)

メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。

パスワードが再設定されます。

設定項目

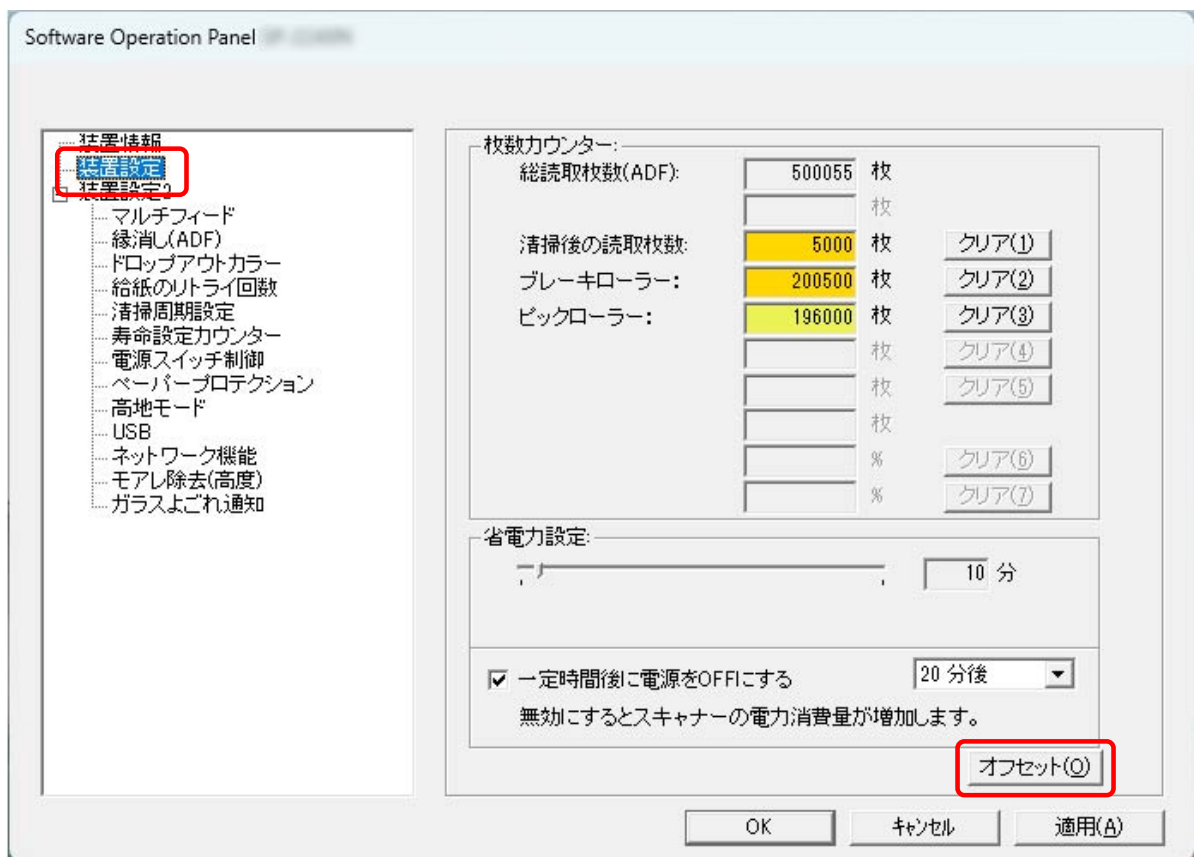
Software Operation Panel では、スキャナーに対して原稿を読み取るときの動作や消耗品の管理などの設定ができます。

設定は、次のリストで行います。

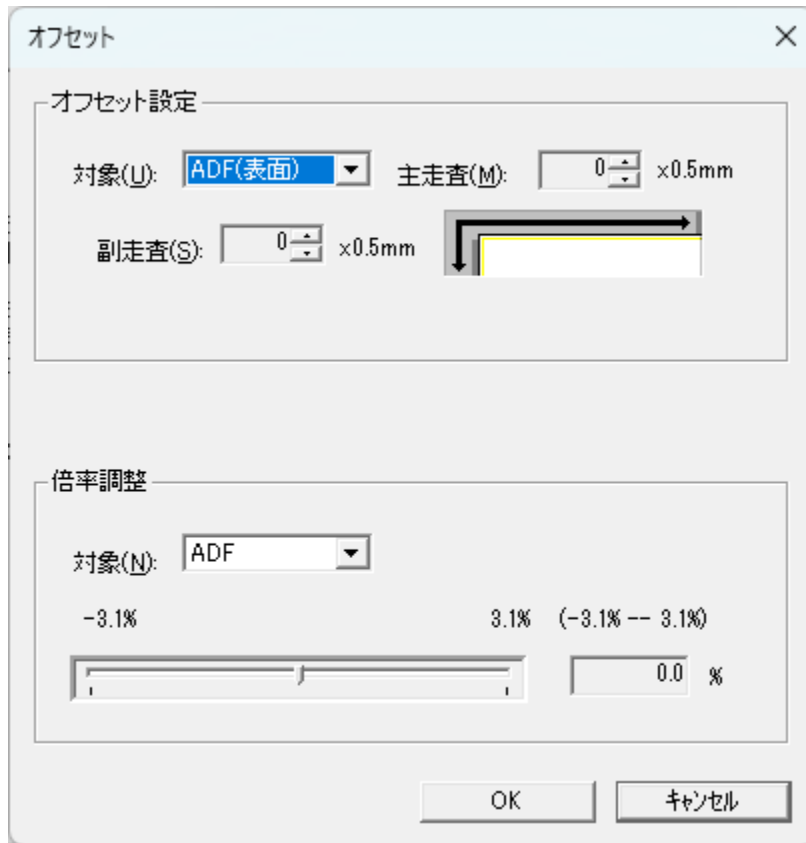
- 装置設定
読み取り枚数や消耗品の管理の設定ができます。また、スキャナーの電源管理、原稿の読み取り開始位置の設定もできます。
- 装置設定 2
原稿を読み取るときの動作に関する設定ができます。

装置設定

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定」をクリックして、[オフセット] ボタンをクリックします。



「オフセット」画面が表示されます。



これらの画面で設定できる項目を次に示します。

設定項目	説明
枚数カウンター (確認/クリア)	消耗品の交換時期や清掃時期を確認できます。 消耗品を交換した場合または清掃した場合は、該当するカウンターをクリアします。
省電力設定	省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。
オフセット設定	原稿の読み取り開始位置を設定します。
倍率調整	搬送方向の読み取り倍率を設定します。

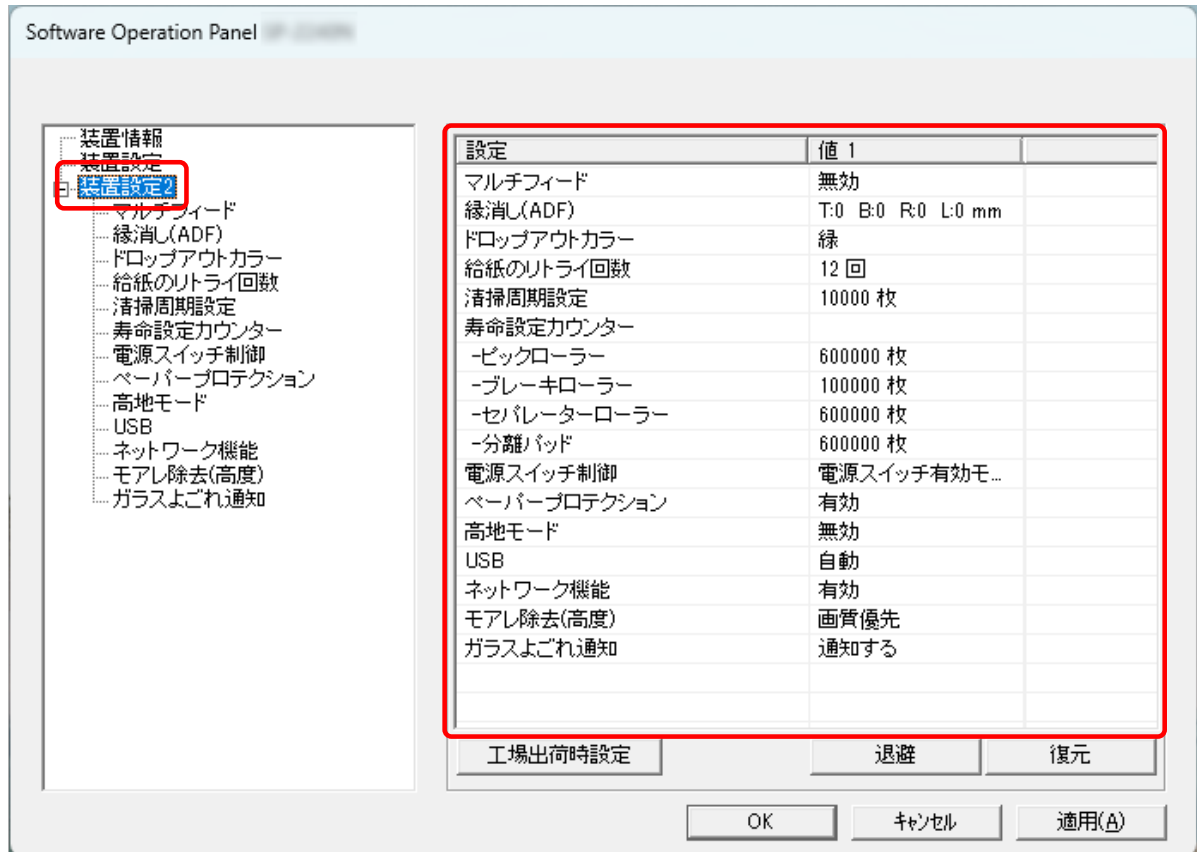
装置設定 2

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)

2 画面のリストから「装置設定 2」をクリックします。

「装置設定 2」で設定されている内容が一覧表示されます。



ヒント

- Software Operation Panel の設定内容を工場出荷の設定に戻せます。
工場出荷の設定に戻すには、[工場出荷時設定] ボタンをクリックしてください。メッセージ画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックしてください。
変更した設定内容がクリアされるので、注意してください。
- Software Operation Panel の「装置設定 2」の設定内容をバックアップとして、退避できます。
「装置設定 2」の設定内容を退避するには、[退避] ボタンをクリックして表示される画面で、ファイル名を指定し、[保存] ボタンをクリックしてファイルに退避してください。
- Software Operation Panel の「装置設定 2」の設定内容を退避したファイルを使用して、同種のスキャナーに同じ設定内容を復元できます。
復元するには、[復元] ボタンをクリックして表示される画面で、退避したファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックして復元してください。メッセージ画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックしてください。
なお、異なる機種のスキャナーには復元できません。

設定できる項目を次に示します。

設定項目	説明
マルチフィード	原稿を読み取り中に、原稿の重なりを検出する設定をします。
縁消し(ADF)	画像の端に発生する黒い筋(原稿の影)を塗りつぶすための設定をします。
ドロップアウトカラー	二値白黒およびグレースケールの画像を出力する場合、赤・緑・青(光の三原色)のどれかの色を取り除いて原稿を読み取る設定をします。
給紙のリトライ回数	原稿が ADF 給紙シュート(フィーダー)から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。
清掃周期設定	スキャナー内部の清掃周期を設定します。
寿命設定カウンター	消耗品の交換周期を設定します。
電源スイッチ制御	スキャナーの電源の投入/切断に関する設定をします。
ペーパープロテクション	原稿の搬送異常を検出する設定をします。
高地モード	標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用する場合に設定します。
USB	コンピューターで通信エラーが発生する場合に、USB の設定を変更します。 スキャナーを有線 LAN で接続している場合は設定できません。
ネットワーク機能	USB 接続だけでスキャナーを使用する場合に設定します。 スキャナーを有線 LAN で接続している場合は設定できません。
モアレ除去(高度)	原稿(雑誌や写真など)を読み取るときの画質を調整して、縞模様(干渉縞)の発生を抑止します。
ガラスよごれ通知	ガラスのよごれを通知する設定をします。

枚数カウンターに関する設定

枚数カウンターの確認

消耗品の交換時期や清掃時期を確認できます。

消耗品の交換時期、清掃が必要な時期が近づくと、カウンターの背景色が変わります。

各カウンターの背景色が変わるタイミングを次に示します。

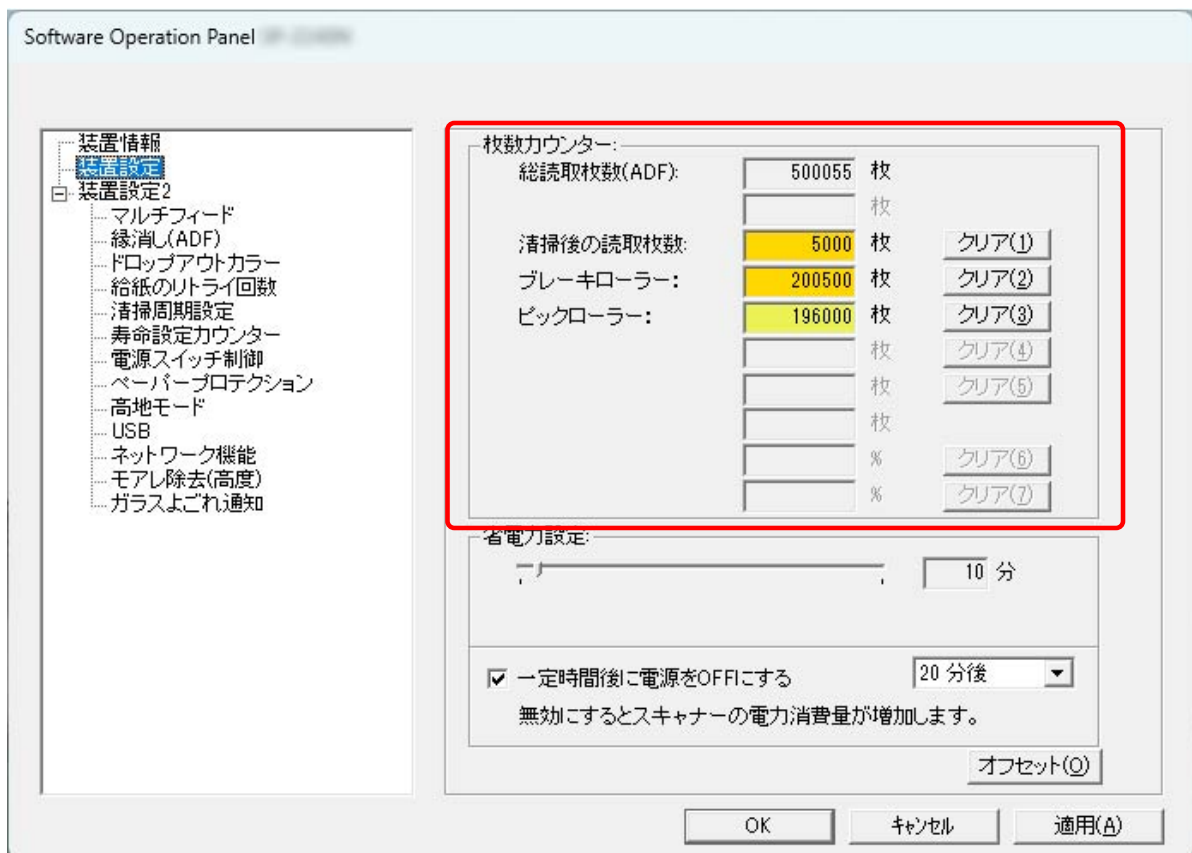
- ブレーキローラ/ピックアップローラのカウンター
消耗品交換後の読み取り枚数が、Software Operation Panel の消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンター）（211 ページ）で設定した値の 95%以上になった場合にカウンターの背景色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。
- 清掃のカウンター
清掃後の読み取り枚数が、Software Operation Panel のスキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定）（210 ページ）で設定した値以上になった場合にカウンターの背景色が黄色に変わります。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)

2 画面のリストから「装置設定」をクリックします。

3 枚数カウンターを確認します。



総読取枚数(ADF)

ADF でこれまでに読み取った原稿の枚数 (1 枚単位で表示)

清掃後の読取枚数

清掃してからこれまでに読み取った原稿の枚数 (1 枚単位で表示)

ブレーキローラー

ブレーキローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数 (500 枚単位で表示)

ピックアップローラー

ピックアップローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数 (500 枚単位で表示)

各枚数カウンターの工場出荷設定は「0」です。

重要

電源ケーブルを抜いて電源を切断した場合は、「総読取枚数」のカウンターが反映されないことがあります。

枚数カウンターのクリア

消耗品を交換した場合または清掃した場合は、該当するカウンターをクリアします。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)

2 画面のリストから「装置設定」をクリックします。

3 消耗品を交換した場合は交換した消耗品の【クリア】ボタン、清掃した場合は「清掃後の読取枚数」の【クリア】ボタンをクリックします。

カウンター値が0になります。

4 [OK] ボタンをクリックします。

メッセージ画面が表示されます。

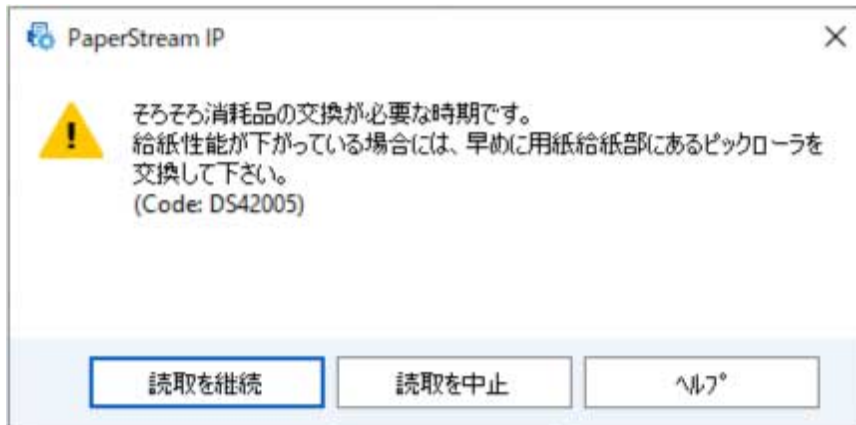
5 [OK] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

消耗品交換/清掃指示メッセージ

スキャナーを使用していると、次のようなメッセージがコンピューターに表示されることがあります。

例：消耗品交換メッセージ



例：清掃指示メッセージ



表示されるメッセージに従って、次の対処をしてください。

- 消耗品交換メッセージが表示された場合
 - 表示内容を確認し消耗品を交換してください。
 - 「読取を継続」ボタンをクリックすると、消耗品交換メッセージが消えて、読み取りが続けられます。できるだけ早くメッセージに表示された消耗品を交換してください。
 - 読み取りを中止して消耗品を交換する場合は、「読取を中止」ボタンをクリックします。
 - 消耗品の交換方法は、次を参照してください。
 - [ブレイキローラの交換 \(120 ページ\)](#)
 - [ピックアップの交換 \(123 ページ\)](#)
 - 清掃指示メッセージが表示された場合
 - 表示内容を確認し清掃してください。
 - 清掃方法は、[日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)を参照してください。
- DirectScan をする場合は、消耗品交換や清掃指示のメッセージは通知されません。読み取りや画像に異常が発生した場合は、ブレイキローラおよびピックアップの状態を確認し、スキャナー内部の清掃をしてください。
- ➔ [日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)
 - ➔ [消耗品の交換 \(118 ページ\)](#)

スキャナーの清掃周期の設定 (清掃周期設定)

スキャナー内部の清掃周期を設定します。

清掃後の読み取り枚数が、ここで設定する枚数以上になった場合に「装置設定」の「清掃後の読取枚数」のカウンターの背景色が黄色に変わります。

また、[消耗品交換/清掃指示メッセージ \(209 ページ\)](#)の清掃指示メッセージを表示することができます。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)

2 画面のリストから「装置設定 2」→「清掃周期設定」をクリックします。

3 清掃周期のカウント値を設定します。

1,000 枚から 255,000 枚まで、1,000 枚単位で設定できます。

工場出荷設定：3

4 清掃指示メッセージを表示するかどうかを設定します。

工場出荷設定は「清掃指示メッセージを表示する」チェックボックスのチェックが外れています。

消耗品の交換周期の設定 (寿命設定カウンター)

消耗品の交換周期を設定します。

消耗品交換後の読み取り枚数が、ここで設定する値の95%以上になった場合に「装置設定」の「ブレーキローラー」または「ピックアップローラー」のカウンターの背景色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。

また、[消耗品交換/清掃指示メッセージ \(209 ページ\)](#)の消耗品交換メッセージを表示することができます。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)

2 画面のリストから「装置設定 2」→「寿命設定カウンター」をクリックします。

3 各ローラーの寿命設定カウンター値を設定します。

10,000 枚から 2,550,000 枚まで、10,000 枚単位で設定できます。

工場出荷設定：20

読み取りに関する設定

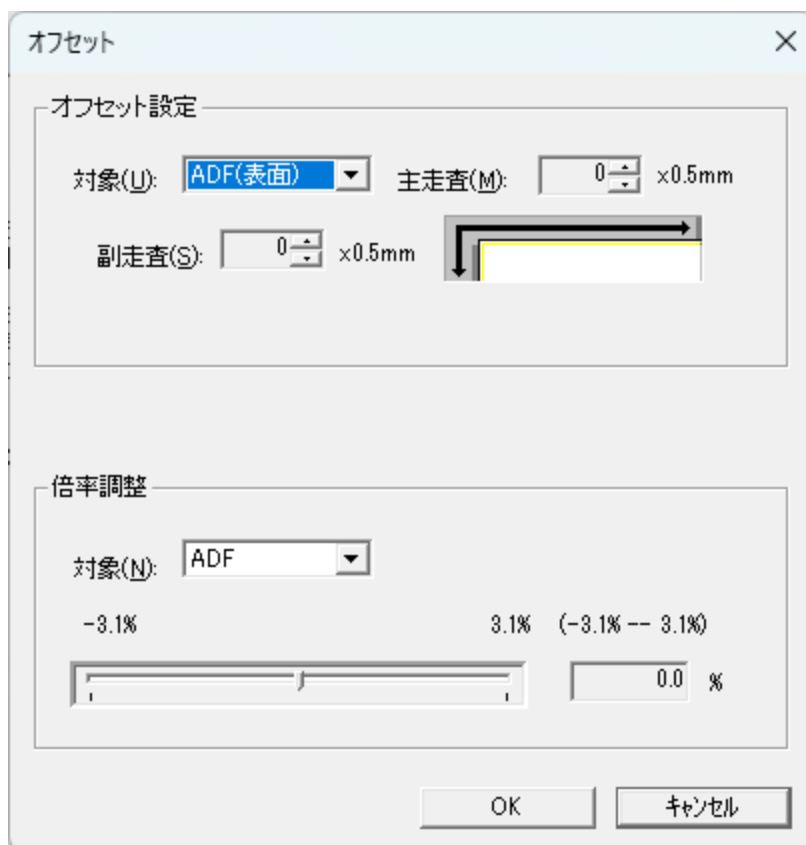
読み取り開始位置の調整 (オフセット設定/倍率調整)

読み取った原稿に対して、画像の出力位置がずれたり、画像が縦方向につぶれたり間延びしたりして見える場合は、オフセット調整および副走査方向の倍率調整を行います。

重要

工場出荷のときに調整されているので、通常は設定する必要はありません。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定」をクリックし、[オフセット] ボタンをクリックします。
- 3 必要に応じてオフセット/副走査方向の倍率を調整します。



オフセット設定

対象

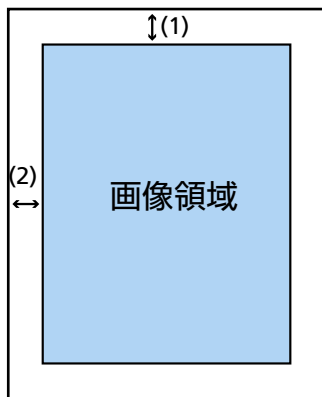
オフセット調整を行う対象を、「ADF(表面)」、「ADF(裏面)」から選択します。

主走査

主走査（幅）方向のオフセットを指定します。
-2～+2mm の範囲で 0.5mm 刻みの指定ができます。
工場出荷設定：0

副走査

副走査（長さ）方向の上端のオフセットを指定します。
-2～+2mm の範囲で 0.5mm 刻みの指定ができます。
工場出荷設定：0



- (1)：主走査=-2～2mm
(2)：副走査=-2～2mm
(0.5mm 刻み)

倍率調整**対象**

倍率調整を行う対象は「ADF」固定です。

倍率調整

副走査（長さ）方向の倍率を指定します。
-3.1～+3.1%の範囲で 0.1%刻みの指定ができます。
工場出荷設定：0.0

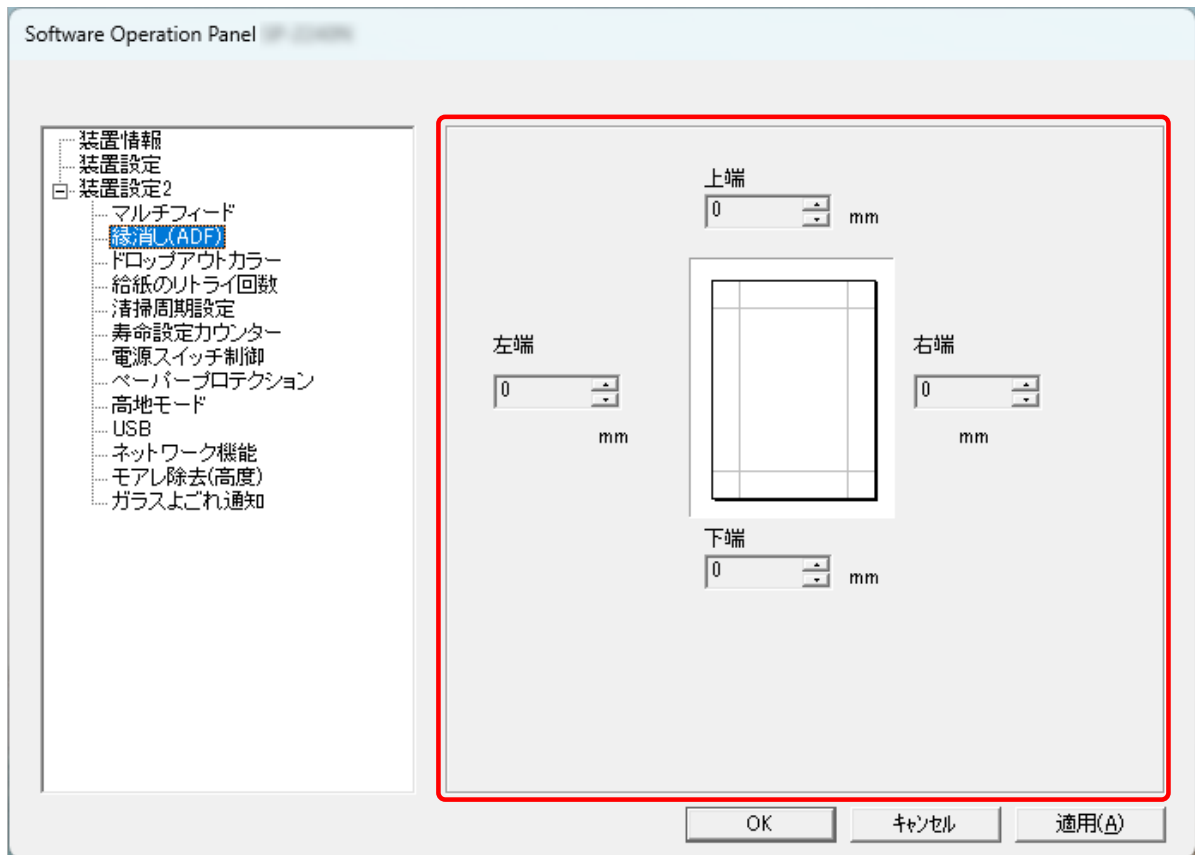
画像の端にできる影や筋の消去 (縁消し(ADF))

画像の端に発生する黒い筋 (原稿の影) を塗りつぶすための設定をします。

読み取る原稿の状態によっては、画像の端に原稿の影が入って、黒い筋が発生する場合があります。

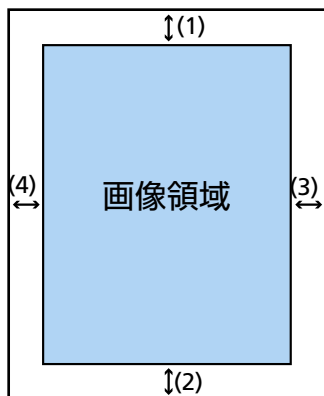
このような場合に、原稿の端を塗りつぶして、黒い筋を消去します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
 - [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定 2」→「縁消し(ADF)」をクリックします。
- 3 上端/下端/右端/左端の塗りつぶす幅を設定します。



工場出荷設定 : 0

設定した範囲を、白色で塗りつぶします。



- (1) : 上端=0~15mm
 - (2) : 下端=-7~7mm
 - (3) : 右端=0~15mm
 - (4) : 左端=0~15mm
- (1mm 刻み)

重要

原稿の端に文字が書かれた原稿は、縁消し領域を広く取ると、端の文字が消えてしまうことがあるので注意してください。

ヒント

- 「縁消し(ADF)」 の下端の設定に応じて、縁消し機能は次のように動作します。
 - 1 ~ 7mm
画像の下端から内側に向かって、指定した範囲を背景色で塗りつぶします。
 - -1 ~ -7mm
画像の下端から外側に向かって、指定した範囲を背景色で塗りつぶさずに出力します (スキャナードライバーで「後端検出」を指定しているときは、指定した範囲分多く画像を出力します)。
 - 次の読み取り設定でも設定できます。Software Operation Panel の設定で縁消しされた画像に対して、縁消し処理が行われます。
 - スキャナードライバー
白色または黒色で塗りつぶせます。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
 - DirectScan のジョブ (PaperStream Scanner Admin)
読み取り設定で「エッジ補正」を設定してください。
- ➔ [ボタン割り当て \(247 ページ\)](#)

指定した色を除いた読み取りの設定 (ドロップアウトカラー)

二値白黒およびグレースケールの画像を出力する場合、赤・緑・青 (光の三原色) のどれかの色を取り除いて原稿を読み取る設定をします。

例えば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の場合、ドロップアウトカラーを緑に設定すると、原稿の黒い文字部分だけを読み取ります。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)

2 画面のリストから「装置設定 2」→「ドロップアウトカラー」をクリックします。

3 取り除きたい色を選択します。

赤、緑、青

選択した色を取り除きます。

工場出荷設定：緑

なし

どの色も取り除きません。

重要

取り除く部分が濃い色の場合は、取り除けないことがあります。

ヒント

次の読み取り設定で、赤、緑、青以外の色も設定できます。Software Operation Panel の設定よりも優先されます。

- スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- DirectScan のジョブ (PaperStream Scanner Admin)
→ [ボタン割り当て \(247 ページ\)](#)

給紙のリトライ回数の設定 (給紙のリトライ回数)

原稿が ADF 給紙シュート (フィーダー) から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定 2」→「給紙のリトライ回数」をクリックします。
- 3 給紙のリトライ回数を選択します。
1～12 回の範囲で選択できます。
工場出荷設定：4 回

高地で読み取る機能の設定 (高地モード)

標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用する場合に設定します。

高地では気圧が低いため、超音波センサーによる原稿の重なりを検出する精度が低下する場合があります。

高地モードを「有効」に設定すると、原稿の重なりを検出する精度が向上します。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)

2 画面のリストから「装置設定 2」→「高地モード」をクリックします。

3 「有効」を選択します。

工場出荷設定：無効

画像に縞模様（干渉縞）が発生するのを抑止する設定（モアレ除去(高度)）

原稿（雑誌や写真など）を読み取るときの画質を調整して、縞模様（干渉縞）の発生を抑止します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定 2」→「モアレ除去(高度)」をクリックします。
- 3 抑止方法を選択します。

速度優先

縞模様（干渉縞）の発生を抑止します。
工場出荷設定です。

画質優先

「速度優先」よりも、縞模様（干渉縞）の発生を抑止します。
読み取り速度が遅くなります。

ヒント

スキャナードライバーでも設定できます。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。

原稿を保護する機能の設定 (ペーパープロテクション)

原稿の搬送異常を検出する設定をします。

原稿を読み取り中に搬送異常が発生すると、原稿づまりによって大切な原稿が折れ曲がったり破れたりしてしまう可能性があります。

原稿の搬送異常を検知して搬送を停止すれば、原稿の破損を防げます。

本機能は、薄紙のようなコシの弱い原稿など、搬送性の悪い原稿を読み取るときに効果があります。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「ペーパープロテクション」をクリックします。

3 検知方法を選択します。

無効

原稿の搬送異常を検出しません。

原稿の傾きを検知

原稿の搬送中に、原稿の異常な傾きを検知した時点で、搬送を停止します。
工場出荷設定です。

重要

原稿保護機能は、原稿の破損を防ぐための機能ですが、必ずしもすべての原稿の破損防止を保証するものではありません。

ヒント

- 「ペーパープロテクション」を有効にすると、次のような場合、正常に原稿を搬送しているときでも、搬送が停止されることがあります。
 - しわが多く寄っている原稿を読み取った場合
 - 四角形ではない原稿を読み取った場合
 - 地色が暗い原稿を読み取った場合
 - 原稿の縁まで文字や模様が印刷されている原稿を読み取った場合
- 原稿保護機能によって、原稿の搬送が頻繁に停止される場合は、[原稿保護のエラーが頻繁に起こる \(175 ページ\)](#)を参照して対処してください。
- 次の場合、原稿保護機能 (ペーパープロテクション) は無効になります。
 - 次の読み取り設定で、キャリアシートの設定を有効にしているとき
 - スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
 - DirectScan のジョブ (PaperStream Scanner Admin)
→ [ボタン割り当て \(247 ページ\)](#)

- 手差し・単送モードのとき
 - ➔ 2つ折りの原稿を読み取りたいとき (82 ページ)
 - ➔ 封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき (84 ページ)
- 次の読み取り設定でも設定できます。Software Operation Panel の設定よりも優先されます。
 - スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
 - DirectScan のジョブ (PaperStream Scanner Admin)
 - ➔ ボタン割り当て (247 ページ)

原稿の重なり (マルチフィード) 検出に関する設定

原稿の重なりを検出する方法の設定 (マルチフィード)

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なって搬送される現象のことです。

原稿を読み取り中に、原稿の重なりを検出する設定をします。

原稿の重なりは、超音波センサーや原稿の長さの違いで検出します。

原稿の重なりを検出すると、エラーメッセージを表示して、読み取りを中断します。ただし、搬送方向で、原稿の先端から約30mmの範囲に原稿が重なっていても、重なりは検出されません。

重要

スキャナーの搬送モードが「手差し・単送」の場合は、原稿の重なりを検出しません。

手差し・単送モードは、2つ折りの原稿や封筒のような複数枚の紙が重なっている原稿を読み取るための機能です。このため、原稿の重なりを検出する設定にしても、原稿の重なりは検出されません。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)

2 画面のリストから「装置設定 2」→「マルチフィード」をクリックします。

3 検出方法を選択します。

無効

原稿の重なりを検出しません。

重なりを検出(超音波)

超音波センサーで原稿の重なりを検出します。

工場出荷設定です。

長さの違いを検出

原稿の長さの違いで原稿の重なりを検出します。

同じ長さの原稿を読み取る場合に設定してください。

重要

長さの異なる原稿を混載して読み取る場合は、原稿の重なりを正しく検出できません。

重なりと長さの違いを検出

「重なりを検出(超音波)」と「長さの違いを検出」によって、原稿の重なりを検出します。

重要

長さの異なる原稿を混載して読み取る場合は、原稿の重なりを正しく検出できません。

長さ

「長さの違いを検出」または「重なりと長さの違いを検出」を設定した場合に設定します。
重なりと判断する原稿の長さの差を設定します。

原稿の長さの差が設定した長さよりも長い場合に、長さの違いによる重なりを検出します。
選択された長さ以下は、誤差とみなされて、原稿の重なりを検出しません。

工場出荷設定：10

重要

- 長さの異なる原稿を読み取る場合は、「重なりを検出(超音波)」を選択してください。
- 原稿の上に付箋紙、伝票、写真などの紙片が貼り付けてある場合は、「重なりを検出(超音波)」を選択すると、紙片が貼ってある部分を重なりと検出する場合があります。このような場合は、「長さの違いを検出」を選択してください。

ヒント

スキャナードライバーまたは PaperStream Scanner Admin (DirectScan の場合) でも設定できます。

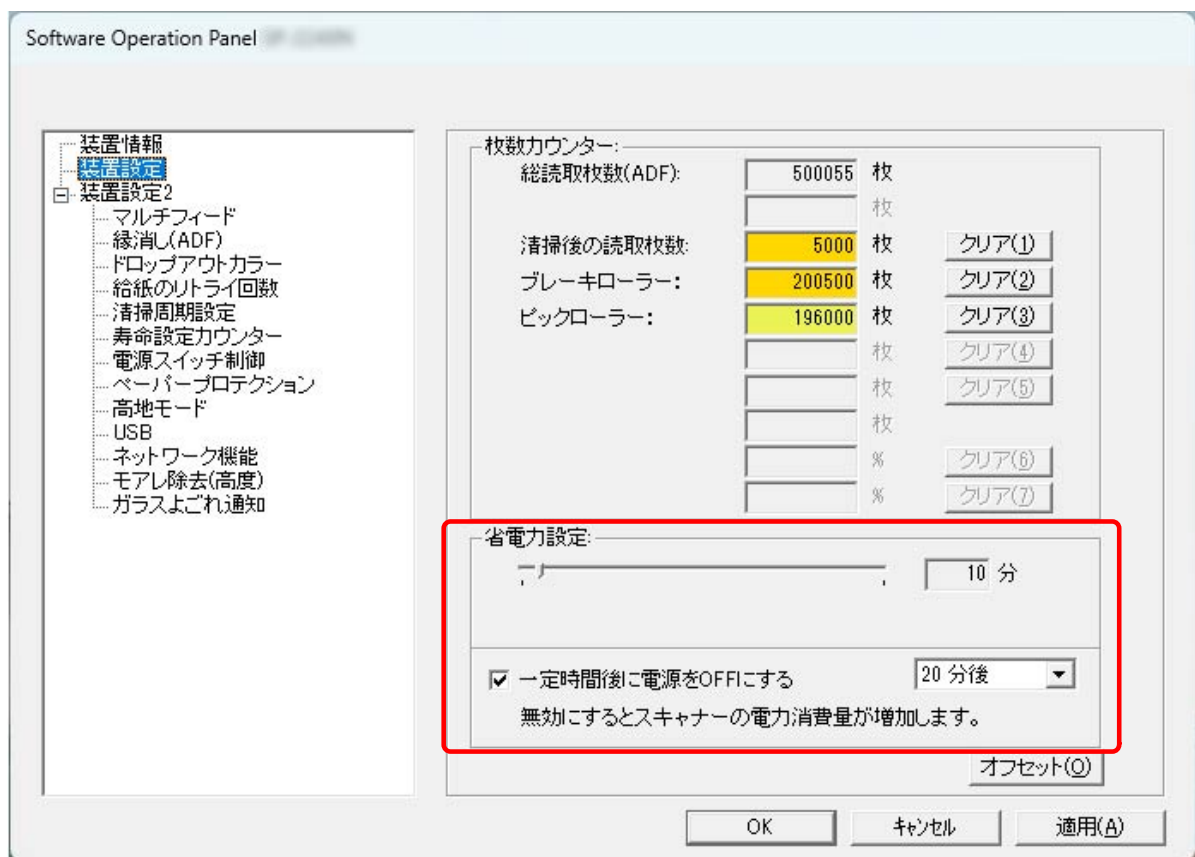
この場合、スキャナードライバーまたは PaperStream Scanner Admin の設定が優先されます。

待機時間に関する設定

省電力モードの待機時間の設定 (省電力設定)

省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定」をクリックします。
- 3 省電力モードの待機時間を設定します。



省電力設定

省電力状態に移行するまでの時間を、スライダーを使って、5～115 分の範囲で設定（5 分刻みで設定）します。

工場出荷設定：10

「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックス

自動でスキャナーの電源を切断する場合にチェックを付けます。

チェックを付けると、スキャナーの電源を投入したままで一定時間何も操作しなかったときに、自動でスキャナーの電源が切断されます。

工場出荷設定はチェックが付いています。

自動でスキャナーの電源が切断されるまでの時間は、ドロップダウンリストから選択します。
工場出荷設定：20 分後

ヒント

「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスのチェックを外すと、スキャナーの電力消費量が増加します。

スキャナーとコンピューターの接続に関する設定

USB 動作の設定 (USB)

コンピューターで通信エラーが発生する場合に、USB の設定を変更します。
スキャナーを有線 LAN で接続している場合は設定できません。
設定を変更するとスキャナーが再起動します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」 → 「USB」をクリックします。
- 3 USB の動作を設定します。

自動

接続環境に従って動作します。工場出荷設定です。

USB 2.0

USB 2.0 で動作します。

USB 接続だけでスキャナーを使用する機能の設定 (ネットワーク機能)

スキャナーの工場出荷設定では、USB 接続と有線 LAN 接続の両方でスキャナーを使用できます。
次に示す理由から USB 接続だけでスキャナーを使用する場合に、有線 LAN 接続を無効にする設定をします。

- 消費電力を抑えたい
- セキュリティを強化したい
- 「USB-電源連動モード」で運用したい
 - [電源投入/切断方法の設定 \(電源スイッチ制御\) \(228 ページ\)](#)

スキャナーを有線 LAN で接続している場合は設定できません。

設定を変更するとスキャナーが再起動します。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「ネットワーク機能」をクリックします。

ネットワーク機能は、スキャナーを USB ケーブルで接続している場合に表示されます。

3 「無効」を選択します。

工場出荷設定：有効

電源投入/切断およびスキャナーの消費電力に関する設定

電源投入/切断方法の設定 (電源スイッチ制御)

スキャナーの電源の投入/切断に関する設定をします。

ネットワーク機能を無効にしている場合、スキャナーの電源ボタンのほかに、スキャナーの電源を投入/切断する方法を設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)
- 2 画面のリストから「装置設定 2」→「電源スイッチ制御」をクリックします。
- 3 スキャナーの電源の投入/切断を、ほかの操作に連動させるかどうかを設定します。

USB-電源連動

「装置設定 2」の「ネットワーク機能」が「無効」の場合に有効になります。

スキャナーの電源ボタンのほかに、次の操作と連動して、スキャナーの電源を投入または切断できるようにするかどうかを設定します。

- コンピューターの電源を投入または切断する
- USB ケーブルを抜き差しする

重要

コンピューターや USB ハブの種類によって、コンピューターの電源を切断しても USB バスに電源を供給し続けるものがあります。

そのような環境では、「USB-電源連動」が正しく機能しない場合があります。

スキャナーの保守に関する設定

ガラスのよごれを通知する設定 (ガラスよごれ通知)

ガラスのよごれを通知する設定をします。

ガラスがよごれていると、画像に縦筋が発生することがあります。

ガラスのよごれを通知する設定にすると、画像に縦筋が発生する可能性がある場合に、次のタイミングでメッセージが通知されます。

- ADF を開閉したとき
- 読み取りを終了したとき
- ADF 給紙シュート (フィーダー) に原稿をセットしたとき
- 省電力モードから復帰したとき

スキャナーを接続しているコンピューターの Error Recovery Guide にメッセージが通知されます。縦筋の発生を防ぐために、メッセージを確認して、ガラスを清掃してください。

なお、DirectScan をする場合は、ガラスよごれのメッセージは通知されません。画像に異常が発生した場合は、スキャナー内部の清掃をしてください。

清掃方法は、[日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)を参照してください。

1 Software Operation Panel を起動します。

→ [Software Operation Panel の起動 \(191 ページ\)](#)

2 画面のリストから「装置設定 2」→「ガラスよごれ通知」をクリックします。

3 ガラスのよごれを通知するかどうかを選択します。

「通知する」を選択すると、ガラスのよごれを通知します。

工場出荷設定：通知する

ヒント

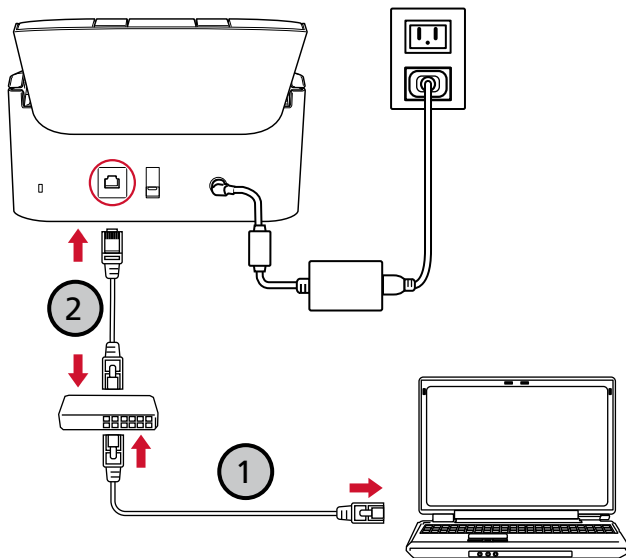
ガラスのよごれを通知する機能は、必ずしもすべてのよごれを通知するものではありません。画像に縦線 (縦筋) が発生する場合は、[画像に縦線 \(縦筋\) が出る \(169 ページ\)](#)を参照して対処してください。

ネットワーク設定 (PaperStream Scanner Admin)

ここでは、PaperStream Scanner Admin を使ったネットワークの設定方法について説明します。
PaperStream Scanner Admin を使用すると、コンピューターのブラウザで、スキャナーのネットワークの設定ができます。

PaperStream Scanner Admin の起動

1 次のようにスキャナーとコンピューターを接続します。



- a コンピューターとネットワーク機器を有線 LAN で接続します (1)。
コンピューターをネットワークに接続する方法は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。
- b スキャナーとネットワーク機器を有線 LAN で接続します (2)。

2 スキャナーの IP アドレスを確認します。

IP アドレス設定ツールで、スキャナーの IP アドレスを確認できます。

詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

IP アドレス設定ツールの起動方法は、[IP アドレス設定ツールの起動方法 \(307 ページ\)](#)を参照してください。

3 スキャナーがネットワークに接続していることを確認します。

→ [スキャナーのネットワーク接続を確認する方法 \(289 ページ\)](#)

4 コンピューターでブラウザを起動して、URL 入力域に次の URL を入力してスキャナーに接続します。

スキャナーの IP アドレスまたは FQDN

例

IPv4 アドレス

xxx.xxx.xxx.xxx/ (xxx は、0~255 の値)

5 管理者パスワードを入力して、[ログイン] ボタンをクリックします。管理者パスワードの詳細は、[管理者パスワード \(267 ページ\)](#)を参照してください。

PaperStream Scanner Admin の画面が表示されます。

6 各メニューをクリックして設定します。

- [ホーム \(235 ページ\)](#)
- [スキャナー情報 \(236 ページ\)](#)
- [基本設定 \(237 ページ\)](#)
- [ネットワーク \(241 ページ\)](#)
- [DirectScan \(247 ページ\)](#)
- [メンテナンス \(267 ページ\)](#)

**重要**

画面を正常に動作させるには、ブラウザーの設定で、次のような設定になっていることを確認してください。

- Cookie が有効

- JavaScript が有効

設定項目

ここでは、PaperStream Scanner Admin の画面で設定できる項目を一覧で示します。

重要

PaperStream Scanner Admin を使用するには、管理者パスワードが必要です。
工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルで確認できます。
ラベルの詳細は、[装置ラベルの確認 \(190 ページ\)](#)を参照してください。
管理者以外による設定の変更を防止するために、管理者パスワードを変更してください。
また、管理者パスワードは、定期的に見直してください。
管理者パスワードは、「メンテナンス」の「管理者パスワード」で表示される画面で設定できます。

● ホーム

設定項目	説明
ホーム (235 ページ)	メニューのカテゴリとその説明が表示されます。

● スキャナー情報

設定項目	説明
スキャナー情報 (236 ページ)	スキャナー本体の情報や設定内容が表示されます。

● 基本設定

設定項目	説明
スキャナー名 (237 ページ)	スキャナーの名前を設定します。
日付/時刻 (238 ページ)	スキャナーの日付および時刻を設定します。
省電力モード (240 ページ)	スキャナーが省電力状態に移行するまで、および自動で電源を切断するまでの待機時間を設定します。

● ネットワーク

設定項目	説明
有線 LAN (241 ページ)	スキャナーに IPv4 アドレスを設定します。
CA 証明書 (243 ページ)	DirectScan で、スキャナーが FTPS サーバーや SMTP サーバーと通信するときに使用する CA 証明書を登録します。
プロキシサーバー (244 ページ)	外部のサーバーに接続する場合、プロキシサーバーを経由するときに設定します。
PaperStream Central Admin (246 ページ)	PaperStream Central Admin でスキャナーを管理するときに設定します。

- DirectScan

設定項目	説明
ボタン割り当て (247 ページ)	DirectScan で実行するジョブをスキャナーの Send to ボタンに割り当てます。
バッチログ (263 ページ)	DirectScan で実行したジョブの履歴が一覧で表示されます。読み取り中にエラーが発生した場合は、その内容と対処方法が表示されます。
DirectScan の初期化 (264 ページ)	DirectScan の設定を初期化して、工場出荷設定に戻します。
SMTP (265 ページ)	DirectScan のメールの送信に使用する SMTP サーバーを設定します。

- メンテナンス

設定項目	説明
管理者パスワード (267 ページ)	管理者パスワードを変更します。
スキャナー設定情報の移出 (268 ページ)	スキャナーの設定情報をファイルに移出します。
スキャナー設定情報の移入 (269 ページ)	スキャナーの設定情報を移入します。
工場出荷設定に戻す (270 ページ)	スキャナーの設定を、工場出荷設定に戻します。
ライセンス (271 ページ)	ライセンス情報が表示されます。

ホーム

メニューのカテゴリとその説明が表示されます。
「ホーム」をクリックして画面を表示します。

スキャナー情報

スキャナー本体の情報や設定内容が表示されます。
「スキャナー情報」をクリックして画面を表示します。

基本設定

スキャナー名

スキャナーの名前を設定します。

「基本設定」→「スキャナー名」をクリックして画面を表示します。

スキャナー名

スキャナー名を 64 文字以内で入力します。

スキャナー名に使用できる文字は、次のとおりです。

- 半角英数字
- 半角スペース
先頭と末尾のスペースは削除されます。
- 半角記号

-
工場出荷設定: "SP-2240N-"+スキャナーのシリアル番号

【スキャナーに反映】 ボタン

設定した内容を反映します。

ヒント

- スキャナーのシリアル番号は装置ラベルで確認できます。
→ [装置ラベルの確認 \(190 ページ\)](#)
- 「ダイナミック DNS」を有効にする場合は、スキャナー名を 63 文字以内で入力します。
また、スキャナー名を DNS サーバーに登録するときに、次の半角文字は「-」に変換されるため、使用しないことを推奨します。
 - アンダースコア (_)
 - スペース
→ [有線 LAN \(241 ページ\)](#)

日付/時刻

スキャナーの日付および時刻を設定します。
「基本設定」 → 「日付/時刻」 をクリックして画面を表示します。

設定方法

日付および時刻の設定方法を設定します。
工場出荷設定：自動
「設定方法」を「手動」にした場合は、次の項目も設定します。

日付

現在の日付を設定します。

時刻

現在の時刻を設定します。

重要

- DirectScan をするには、現在の日付および時刻を正しく設定する必要があります。
- 「手動」の場合、時計は徐々にずれるため、定期的に時刻を合わせてください。
また、AC ケーブルを抜くと時計が停止します。AC ケーブルを接続して電源を入れたあとは、時刻を合わせ直してください。

「設定方法」を「自動」にした場合は、次の項目も設定します。

NTP サーバー

重要

DirectScan をするには、現在の日付および時刻を正しく設定する必要があります。NTP サーバーと同期することをおすすめします。
なお、同期するときに認証が必要な NTP サーバーには接続できません。

取得方法

現在の日付および時刻を取得する NTP サーバーを設定します。
工場出荷設定：自動で取得 (DHCP / デフォルトゲートウェイ)

- 自動で取得 (DHCP / デフォルトゲートウェイ)

重要

次のどちらかである必要があります。

- DHCP サーバーから取得する情報に、NTP サーバーの情報が含まれている
- デフォルトゲートウェイ上で、NTP サーバーが有効になっている

- 公開サーバーから取得
「pool.ntp.org」の NTP サーバーに接続します。

- 手動で設定
次の項目も設定します。
 - プライマリー
 - セカンダリー

ヒント

次の場合、スキャナーの電源を投入したあと、最初にスキャナーを使用したコンピューターから日付および時刻を取得します。

- 「手動」の場合
AC ケーブルが抜かれていたスキャナーの電源を投入した
- 「自動」の場合
スキャナーを設置する環境に NTP サーバーが構築されていない

タイムゾーン

スキャナーを使用する地域のタイムゾーンを設定します。
工場出荷設定：リストから設定する

サマータイム

サマータイムを有効にするかどうかを設定します。
工場出荷設定：無効

【スキャナーに反映】 ボタン

設定した内容を反映します。
「設定方法」が「自動」の場合、NTP サーバーと同期すると、画面上に日付と時刻が表示されます。NTP サーバーと同期できなかった場合、メッセージを確認して対処してください。

省電力モード

スキャナーが省電力状態に移行するまで、および自動で電源を切断するまでの待機時間を設定します。
「基本設定」 → 「電源管理」 → 「省電力モード」をクリックして画面を表示します。

省電力 (分)

省電力状態に移行するまでの時間 (分) を、5～115 分の範囲で設定 (5 分刻みで設定) します。
工場出荷設定：10

自動電源切断

自動でスキャナーの電源を切断する時間を設定します。
工場出荷設定：20 分後

【スキャナーに反映】 ボタン

設定した内容を反映します。

ネットワーク

有線 LAN

スキャナーに IPv4 アドレスを設定します。

「ネットワーク」→「有線 LAN」をクリックして画面を表示します。

IPv4 構成

スキャナーの IPv4 アドレスを設定します。

工場出荷設定：自動

「手動」を選択した場合は、次の項目も設定します。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ

DNS サーバー

DNS サーバーを設定します。

工場出荷設定：自動

「手動」を選択した場合は、次の項目も設定します。

- プライマリー DNS
- セカンダリー DNS

ダイナミック DNS

スキャナーの IP アドレスを自動で取得する場合に設定します。

工場出荷設定：無効

有効にした場合、スキャナーがネットワークに接続したときに、DNS サーバーにスキャナー名（ホスト名）と IP アドレスを自動で登録します。

DNS サーバーに登録するスキャナー名（ホスト名）は、「スキャナー名」で設定できます。

→ [スキャナー名 \(237 ページ\)](#)

ヒント

- DNS サーバーが設定されている必要があります。
- 「スキャナー名」に半角空白や"_"が含まれている場合は、該当文字を"-"に変換して、DNS サーバーに登録します。
なお、DNS サーバーに登録できるホスト名は 63 文字までです。

DNS サーバーにスキャナー名（ホスト名）が登録されている場合、DHCP サーバーから割り当てられる IP アドレスが変更されても、スキャナー選択ツールでスキャナー名（ホスト名）を指定してスキャナーを検索できます。

スキャナーの検索については、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

スキャナー選択ツールの起動方法は、[スキャナー選択ツールの起動方法 \(306 ページ\)](#)を参照してください。

【スキャナーに反映】 ボタン

設定した内容を反映します。

CA 証明書

DirectScan で、スキャナーが FTPS サーバーや SMTP サーバーと通信するときに使用する CA 証明書を登録します。

登録した CA 証明書が一覧で表示されます。

「ネットワーク」 → 「証明書」 → 「CA 証明書」 をクリックして画面を表示します。

【登録】 ボタン

CA 証明書を登録します。「CA 証明書の登録」画面が表示されます。

CA 証明書は、最大 10 件まで追加できます。

次の拡張子のファイルを登録できます。

.cer、.crt、.der、.pem

【削除】 ボタン

CA 証明書を削除します。

- 「CA 証明書の登録」画面

【ファイル選択】 ボタン

登録する CA 証明書のファイルを選択します。

【スキャナーに反映】 ボタン

設定した内容を反映します。

プロキシサーバー

外部のサーバーに接続する場合、プロキシサーバーを経由するときに設定します。
「ネットワーク」→「外部サーバー連携」→「プロキシサーバー」をクリックして画面を表示します。

プロキシサーバー

プロキシサーバーを経由するかどうかを設定します。
工場出荷設定：使用しない
「使用する」にした場合は、次の項目も設定します。

通信プロトコル

ネットワークの通信データを暗号化するかしないかを設定します。
工場出荷設定：HTTPS

ホスト名/IP アドレス

ホスト名、FQDN、または IP アドレスで設定できます。
先頭と末尾のスペースは削除されます。

重要

ホスト名を入力する場合は、DNS サーバーが設定されている必要があります。

→ [有線 LAN \(241 ページ\)](#)

ポート番号

1～65535 の範囲で指定します。
工場出荷設定：8080

ユーザー名

プロキシサーバーに接続するときのユーザー名を入力します。
先頭と末尾のスペースは削除されます。

パスワード

プロキシサーバーに接続するときのユーザー名に対するパスワードを入力します。
先頭と末尾のスペースは削除されません。

「入力文字を表示する」チェックボックス

パスワードの文字を表示する場合は、チェックボックスにチェックを付けます。
工場出荷設定はチェックが外れています。

例外

プロキシサーバーを経由せずに接続するサーバーを 2,064 文字以内で入力します。
ホスト名、ドメイン名、FQDN、IP アドレス、IP アドレス範囲で設定できます。

● IP アドレス範囲の例

「10.0.0.0/8」のように、IP アドレスのうしろに「/」で区切ってサブネットマスクを指定できます。

- ドメイン名の例
特定ドメイン配下をすべて除外する場合は「.example.co.jp」のように指定してください。ただし、「.」だけ（ドット単体）は指定できません。
使用できる文字は、次のとおりです。
- 半角英数字
- 半角記号（「*」を除く）
複数指定する場合、「,」、「;」、または改行で区切ります。
【スキャナーに反映】ボタンで設定内容を保存すると、指定した区切り文字は、すべて「;」に変換されます。
先頭と末尾のスペースは削除されます。

重要

ホスト名を入力する場合は、DNS サーバーが設定されている必要があります。

→ [有線 LAN \(241 ページ\)](#)

【スキャナーに反映】 ボタン

設定した内容を反映します。

PaperStream Central Admin

PaperStream Central Admin でスキャナーを管理するときに設定します。

PaperStream Central Admin と連携するときの留意事項については、[PaperStream Central Admin からアップデートモジュールを適用するときの留意事項 \(294 ページ\)](#)を参照してください。

「ネットワーク」→「外部サーバー連携」→「PaperStream Central Admin」をクリックして画面を表示します。

PaperStream Central Admin

PaperStream Central Admin でスキャナーを管理するかどうかを設定します。

工場出荷設定：連携しない

「連携する」にした場合は、次の項目も設定します。

通信プロトコル

ネットワークの通信データを暗号化するかしないかを設定します。

工場出荷設定：HTTPS

ホスト名/IP アドレス

ホスト名、FQDN、または IP アドレスで設定できます。

先頭と末尾のスペースは削除されます。

重要

ホスト名を入力する場合は、DNS サーバーが設定されている必要があります。

→ [有線 LAN \(241 ページ\)](#)

ポート番号

1～65535 の範囲で指定します。

工場出荷設定：20444

【接続確認】 ボタン

PaperStream Central Admin に接続できるかどうかを確認できます。

【スキャナーに反映】 ボタン

設定した内容を反映します。

DirectScan

DirectScan をする場合に設定できます。

ボタン割り当て

DirectScan で実行するジョブをスキャナーの Send to ボタンに割り当てます。
「DirectScan」 → 「ボタン割り当て」 をクリックして画面を表示します。

無効、有効

スキャナーの Send to ボタンでジョブを実行して読み取る場合に、有効にします。
工場出荷設定：無効

【ジョブ設定】 ボタン

スキャナーの Send to ボタンに割り当てるジョブを設定します。
「ジョブの編集」画面が表示されます。
ジョブを設定すると、ジョブ名と画像の出力先が画面に表示されます。

【スキャナーに反映】 ボタン

設定した内容を反映します。

● 「ジョブの編集」画面

画像の利用目的に応じて、原稿の読み取り設定やスキャナーから画像ファイルを送信する方法を設定します。

重要

設定項目によっては、設定や動作に条件や制限があります。

→ [ジョブの設定項目の条件と制限 \(295 ページ\)](#)

表示名

ジョブの表示名を 48 文字以内で入力します。
すでに登録されている表示名と同じ名前は、設定できません。
先頭と末尾のスペースは削除されます。

- [読み取り設定 \(247 ページ\)](#)
- [ファイル設定 \(257 ページ\)](#)
- [出力先設定 \(258 ページ\)](#)
- [インデックスファイル \(262 ページ\)](#)

読み取り設定

スキャナーで原稿を読み取る時の読み取り設定を設定します。

e-文書モード

e-文書法に適合した電子文書を作成するかどうかを設定します。

工場出荷設定：無効

画像タイプ

画像の色の種類を設定します。

工場出荷設定：カラー / モノクロ自動判別

読み取り面

原稿の読み取り面を設定します。

工場出荷設定：両面

解像度 (dpi)

画像の解像度を指定します。

工場出荷設定：200

用紙サイズ

読み取る原稿の原稿サイズを設定します。

「キャリアシート」を有効にしている場合、出力する画像のサイズを設定します。

工場出荷設定：自動

継続読み取り

スキャナーにセットした原稿がすべて読み取られたあとに、原稿を追加して読み取りを継続するかどうかを設定します。

工場出荷設定：オフ

- オフ

継続読み取りしません。

スキャナーにセットした原稿を読み終わったら、読み取りを終了します。

- 手動

スキャナーにセットした原稿を読み終わったら、待機状態になります。

読み取りを続ける場合は、原稿をセットしてスキャナーの Scan/Stop ボタンを押します。

終了する場合は、原稿をセットせずに、Scan/Stop ボタンを押します。

- 自動

スキャナーにセットした原稿を読み終わったら、待機状態になります。

読み取りを続ける場合は、原稿をセットすると自動で読み取りが開始されます。

終了する場合は、原稿をセットせずに、Scan/Stop ボタンを押します。

【詳細設定】 ボタン

スキャナーで原稿を読み取る時の読み取り設定を詳細に設定します。

【詳細設定】 ボタンをクリックすると、次の項目を設定できます。

- [基本 \(249 ページ\)](#)
- [画像 \(250 ページ\)](#)
- [ページ \(251 ページ\)](#)

- [用紙搬送 \(255 ページ\)](#)
- [バッチ \(256 ページ\)](#)
- [メンテナンス \(256 ページ\)](#)

基本

次の項目は、「読み取り設定」でも設定できます。どちらかで変更した設定値は、もう一方にも反映されます。

項目の詳細は「読み取り設定」を参照してください。

- [e-文書モード \(248 ページ\)](#)
- [画像タイプ \(248 ページ\)](#)
- [読み取り面 \(248 ページ\)](#)
- [解像度 \(dpi\) \(248 ページ\)](#)
- [用紙サイズ \(248 ページ\)](#)

キャリアシート

キャリアシートの読み取り方法を設定します。

工場出荷設定：無効

- 無効
キャリアシートを使用しません。
- 見開き
キャリアシートにはさんだ 2 つ折りの原稿を、表面と裏面の画像を自動的につないで、見開き状態の 1 つの画像として出力します。
- 切り出し (表面)
キャリアシートにはさんだ原稿の表面だけを読み取ります。
- 切り出し (裏面)
キャリアシートにはさんだ原稿の裏面だけを読み取ります。
- 切り出し (両面)
キャリアシートにはさんだ原稿の両面を読み取ります。

ヒント

- キャリアシートに原稿をセットする方法は、次を参照してください。
 - [A4 サイズより大きい原稿を読み取りたいとき \(86 ページ\)](#)
 - [写真や切り抜きなどの原稿を保護して読み取りたいとき \(88 ページ\)](#)
- 表面と裏面の読み取り条件は共通になります。
- 使用するキャリアシートによって、画像の切り出し方法が異なります。
 - ➔ [キャリアシートを使用したときの画像 \(304 ページ\)](#)

- キャリアシートとキャリアシートを使用しない原稿を混載して読み取れます。その場合、キャリアシートを使用しない原稿は、原稿と同じサイズの画像を切り出して出力します。

画像

ほかの項目の設定内容によって、表示される項目が異なります。画面に従って設定してください。

二値化の方法 (iDTC)

原稿を白黒の画像に変換するときの感度を調整します。

-50～+50 の範囲で指定できます。

感度を高くすると、細部の表現力が上がります。小さくするとノイズの発生を抑えられます。

感度を変えても画像の明暗はほとんど変化しません。

カラー調整

画像の色を調整します。

色再現

色の再現方法を選択します。

工場出荷設定：色合い優先

- コントラスト優先

色の明暗をはっきりさせることで、くっきりした画像を出力します。

- 色合い優先

色の違いをはっきりさせることで、滑らかな画像を出力します。

クリーンアップ

画像タイプが「二値白黒」の場合に、画像の文字や線、背景を補正します。

文字の太さ

画像の文字や線の太さを調整します。

-5～+5 の範囲で指定できます。

工場出荷設定：0

かすれ補正

画像の文字や線のかすれを補正します。

0～+5 の範囲で指定できます。

工場出荷設定：0

ごみ取り指定

画像のノイズ（背景のドット状のごみ）を取り除きます。

0～+20 の範囲で指定できます。

工場出荷設定：0

ヒント

値を大きくすると、文字や文字の一部が削除される可能性があります。
このような場合は、値を小さくするか、「0」にしてください。

地紋除去

文字認識 (OCR) の精度を向上させるために、画像の背景にある小さい文字や、薄い模様などのパターン (地紋) を取り除くかどうかを設定します。
工場出荷設定：有効

重要

地紋除去機能を著作物に対して使用することは禁止されています。
本機能は、文字認識 (OCR) の精度を向上させることを目的としており、それ以外の目的での使用は法律に違反するおそれがあります。

縦筋軽減

画像に付く縦線を目立たなくするかどうかを設定します。
スキャナーの内部を清掃しても画像の縦線が目立つ場合は、有効にしてください。
工場出荷設定：無効

ドロップアウトカラー

二値白黒およびグレースケールの画像を出力する場合、赤・緑・青・白のどれかの色を取り除いて原稿を読み取る設定をします。
例えば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の場合、ドロップアウトカラーを緑に設定すると、原稿の黒い文字部分だけを読み取ります。
どの色も取り除かずに原稿を読み取る場合は、「なし」を設定します。
工場出荷設定：緑

重要

取り除く部分が濃い色の場合、取り除けないことがあります。

ヒント

「画像タイプ」が「カラー / モノクロ自動判別」の場合に、カラーと判別されたときは無効になります。

ページ**回転**

画像の回転方向を設定します。
工場出荷設定：自動

エッジ補正

画像の端を塗りつぶして、画像全体の見栄えをよくします。

エッジ補修

次のような原稿の画像の欠けている部分を、周辺の色に近い色で塗りつぶすかどうかを設定します。

- 原稿の端が折れている
- 原稿の端が破れている
- 原稿の端がゆがんでいる

工場出荷設定は、装置ラベルに記載されている「PART NO.」によって次のように異なります。

- PA03880-B001 / PA03880-B101 の場合
有効
- PA03880-B001 / PA03880-B101 以外の場合
無効

装置ラベルについては、[装置ラベルの確認 \(190 ページ\)](#)を参照してください。

重要

- 原稿の折れや破れは、十分に補修されない場合があります。
- タブインデックスが付いている原稿は、折れや破れなどがあっても補修されません。
タブインデックスの画像の出力については、[タブインデックス \(255 ページ\)](#)を参照してください。

縁消し

画像の端から一定の幅を、白色または黒色で塗りつぶします。

読み取る原稿の状態によっては、画像の端に原稿の影が入って、黒い筋が発生する場合があります。

このような場合に、原稿の端を塗りつぶして、黒い筋を消去します。

工場出荷設定：無効

「有効」にした場合は、次の項目も設定します。

塗りつぶす色

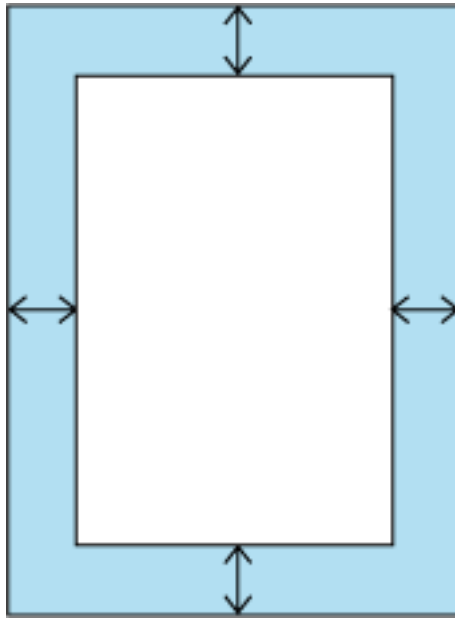
塗りつぶす色を指定します。

工場出荷設定：白

塗りつぶす領域

画像の端からの塗りつぶし幅を指定します。

0～10.0mm (0～0.394 インチ) の範囲で指定します。



工場出荷設定は、装置ラベルに記載されている「PART NO.」によって次のように異なります。

- PA03880-B001 / PA03880-B101 の場合
0.051 インチ
- PA03880-B001 / PA03880-B101 以外の場合
1.3mm

装置ラベルについては、[装置ラベルの確認 \(190 ページ\)](#)を参照してください。

パンチ穴除去

原稿にパンチ穴がある場合、画像のパンチ穴の部分を周辺の色にあわせて塗りつぶします。

工場出荷設定は、装置ラベルに記載されている「PART NO.」によって次のように異なります。

- PA03880-B001 / PA03880-B101 の場合
有効
- PA03880-B001 / PA03880-B101 以外の場合
無効

装置ラベルについては、[装置ラベルの確認 \(190 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

- 次のような原稿は、パンチ穴を塗りつぶせないことがあります。
 - 原稿端に文字、絵柄が存在する原稿
 - とじ穴の大きさ、間隔が揃っていない原稿
 - 原稿の形状が長方形でない原稿
 - 「用紙サイズ」で指定したサイズと異なるサイズの原稿

- 原稿の画像に縦筋が発生していると、パンチ穴が塗りつぶせないことがあります。次の対応を行うと、改善されることがあります。
 - 「縦筋軽減」を有効にする
 - スキャナー内部を清掃する
- 原稿をセットしたときに、給紙方向に対してパンチ穴が横に並んでいる場合、パンチ穴を塗りつぶせないことがあります。この場合は、原稿の向きを変えて、パンチ穴が縦に並ぶようにすると改善されることがあります。

白紙削除

白紙ページを検出して、削除するかどうかを設定します。

工場出荷設定：有効

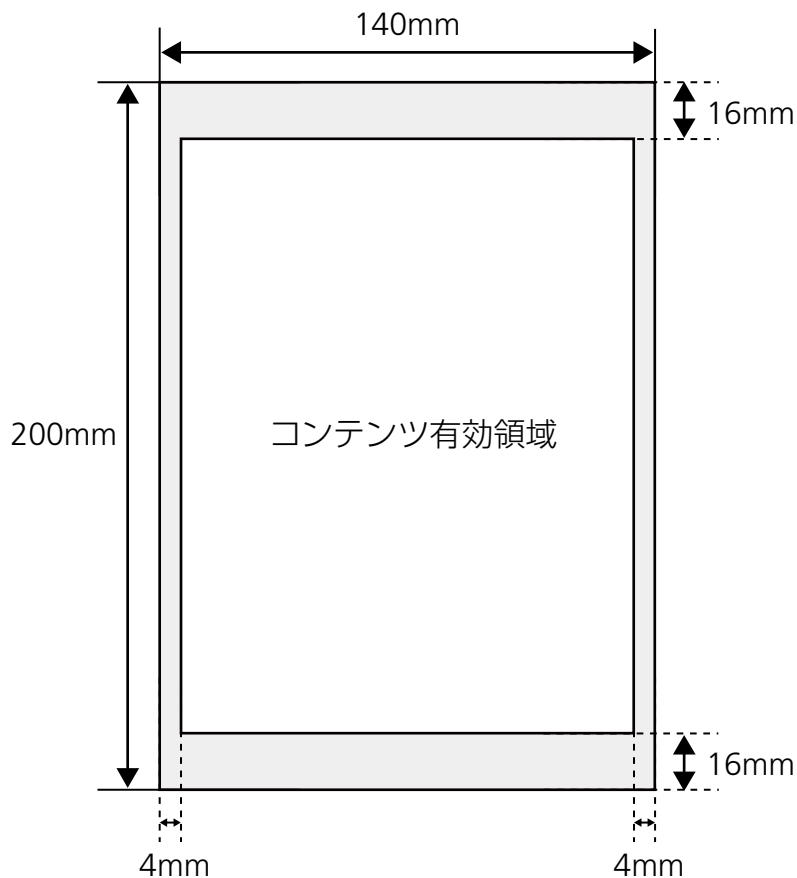
次のコンテンツ有効領域に文字や絵がない場合に、白紙ページとして検出されます。

画像の辺の長さによって、判定の対象にしない縁の幅が異なります。

辺の長さが 158mm 以上の場合：16mm まで

辺の長さが 158mm 未満の場合：4mm まで

例えば、原稿の長さが 200mm、幅が 140mm の場合は、下図のコンテンツ有効領域が判定対象になります。



次の原稿は、白紙ページとして削除されない場合があります。

- 折り目のある原稿

- パンチ穴のある原稿
- 原稿の影で発生する黒い筋がコンテンツ有効領域にある

クロッピング

タブインデックス

タブインデックスが付いている原稿を読み取るときに、タブインデックスを出力するかどうかを指定します。

工場出荷設定：無効

ヒント

原稿をセットしたときに、タブインデックスが原稿の先端または後端にあると、タブインデックスとして認識されないことがあります。

その場合は、原稿の向きを変えて、タブインデックスが左端または右端になるようにセットしてください。

なお、原稿の搬送中にタブインデックスが引っかかり、傾いて読み取られたり、原稿が破損したりするおそれがあります。タブインデックスをあらかじめ平らにならしてから原稿をセットし、サイドガイドを原稿の幅にしっかり合わせてください。

用紙搬送

マルチフィード検出

制御

原稿の重なりを検出するかどうかを設定します。

工場出荷設定：検出する

「検出する」にした場合は、次の項目も設定します。

条件

原稿の重なりを検出する方法を設定します。

工場出荷設定：重なり

- 重なり

スキャナーの超音波センサーを使って搬送される原稿を監視し、超音波の変化によって原稿の重なりを検出します。

重要

同じサイズの原稿をまとめて読み取るときに、原稿に付箋紙、伝票、写真などの紙片が貼り付けてある場合は、「重なり」を選択すると、紙片が貼ってある部分を重なりと検出することがあります。このような場合は、「長さ」を選択すると原稿の重なりを検出しません。

- 長さ

搬送される原稿の長さを監視し、長さの変化によって原稿の重なりを検出します。

重要

- 原稿の長さの差が 10mm 以下の場合、原稿の重なりを検出しません。
- 長さの異なる原稿を混載して読み取らないでください。原稿の重なりが誤検出されます。
長さの異なる原稿を読み取る場合は、「重なり」を選択してください。

- 重なりと長さ
「重なり」と「長さ」によって、原稿の重なりを検出します。

ペーパープロテクション

原稿の搬送中に、原稿の異常な傾きを検知した時点で、搬送を停止します。
薄紙のような、搬送性の悪い原稿の破損を防げます。
工場出荷設定：有効

重要

次の場合、ペーパープロテクションは無効になります。

- キャリアシートを有効にしているとき
- 手差し・単送モードのとき

バッチ

継続読み取り

スキャナーにセットした原稿がすべて読み取られたあとに、原稿を追加して読み取りを継続するかどうかを設定します。
工場出荷設定：無効

バーコード検出

画像にあるバーコードの値をインデックスファイルに出力するかどうかを設定します。
バーコードは最大 20 個まで検出できます。
工場出荷設定：無効
「有効」にした場合は、「種類」で、検出するバーコードの種類を選択します。
検出できるバーコードの詳細は、[バーコードの仕様 \(297 ページ\)](#)を参照してください。
インデックスファイルの詳細は、[インデックスファイルの仕様 \(303 ページ\)](#)を参照してください。

メンテナンス

「読み取り設定」で設定した内容を初期値に戻す場合、[初期値に戻す] ボタンをクリックします。

ファイル設定

ファイル形式

画像のファイル形式を設定します。

工場出荷設定：PDF

ファイル名

画像のファイル名の形式を設定します。

名前規則

ファイル名のつけ方を選択します。

工場出荷設定：スキャン日時 (yyyyMMddHHmmss)

「先頭に{シリアル番号}を追加する」チェックボックス

ファイル名の先頭に次の文字列を付加します。

"SP-"+スキャナーのシリアル番号

工場出荷設定はチェックが外れています。

ヒント

スキャナーのシリアル番号は装置ラベルで確認できます。

→ [装置ラベルの確認 \(190 ページ\)](#)

「名前規則」で{プレフィックス}および{カウンター}を含む形式を設定した場合は、次の項目も設定します。

プレフィックス

ファイル名に付加する文字列を 40 文字以内で入力します。

先頭と末尾のスペースは削除されます。

使用できる記号は「-」「_」です。

半角スペースは使用できません。

カウンター (桁)

ファイル名にカウンターを付加するときに、カウンターの桁数を 0～6 の範囲で設定します。

「0」を指定した場合は、「_」+ {カウンター} はファイル名に付加されません。

工場出荷設定：3

ヒント

保存先に同名のファイルがある場合は、次のようにファイル名が付けられます。

- カウンターを付加しないとき

ファイル名の末尾に「(数字)」が付加されます。

例) 保存先に AAA.jpg がある場合、同名で複数のファイルを保存すると、ファイル名は AAA(1).jpg、AAA(2).jpg、AAA(3).jpg のようになります。

- カウンターを付加するとき

カウンターの初期値は、同名のカウンターの最大値の次の値になります。
 例) 保存先に AAA_001.jpg、AAA_005.jpg がある場合、同名で複数のファイルを保存すると、カウンターは「006」から始まり、AAA_006.jpg、AAA_007.jpg、AAA_008.jpg のようになります。

重要

複数のスキャナーで DirectScan をする場合は、スキャナーごとに異なるファイル名になるようにしてください。

PDF オプション

圧縮率

ファイルサイズの圧縮率を設定します。
 1～7 の範囲で指定できます。

サーチャブル PDF

画像に含まれる文字を認識し、検索可能な PDF を作成するかどうかを設定します。

「検索可能な PDF を作成する」チェックボックス

「言語」で設定した言語でテキスト認識して、検索可能な PDF を作成する場合にチェックを付けます。
 工場出荷設定はチェックが外れています。

言語

原稿に含まれる文字を、どの言語として認識するかを選択します。

TIFF オプション

圧縮率

ファイルサイズの圧縮率を設定します。
 1～7 の範囲で指定できます。

JPEG オプション

圧縮率

ファイルサイズの圧縮率を設定します。
 1～7 の範囲で指定できます。

出力先設定

スキャナーで原稿を読み取るときの読み取り設定を設定します。

出力先設定

出力先種別

保存先の種別を設定します。

出力先種別によって、設定する設定項目が異なります。

● **ネットワーク共有フォルダー (SMB) / ファイル転送 (FTP) / SSH ファイル送信 (SFTP) の場合**

設定項目	ネットワーク共有 フォルダー (SMB)	ファイル転送 (FTP)	SSH ファイル送信 (SFTP)
ホスト鍵 (260 ページ)	-	-	✓
ホスト名/IP アドレ ス (260 ページ)	✓	✓	✓
SSL/TLS 暗号の使用 (260 ページ)	-	✓	-
「サーバー証明書の 検証を行う」チェッ クボックス (260 ページ)	-	✓	-
ポート番号 (260 ページ)	-	✓	✓
FTP 通信モード (261 ページ)	-	✓	-
保存先の共有パス 名 (261 ページ)	✓	✓	✓
認証方式 (261 ページ)	-	-	✓
認証用公開鍵 (261 ページ)	-	-	✓
認証用秘密鍵 (261 ページ)	-	-	✓
パスフレーズ (261 ページ)	-	-	✓
ユーザー名 (261 ページ)	✓	✓	✓
パスワード (261 ページ)	✓	✓	✓
「入力文字を表示す る」チェックボック ス (261 ページ)	✓	✓	✓
ドメイン名 (262 ページ)	✓	-	-

- ✓ : 設定する
 -: 設定しない

ホスト鍵

接続するサーバーを認証するためのホスト鍵を 512 文字以内で入力します。

ホスト名/IP アドレス

ホスト名、FQDN、または IP アドレスで設定できます。
 先頭と末尾のスペースは削除されます。

重要

ホスト名を入力する場合は、DNS サーバーが設定されている必要があります。
 → [有線 LAN \(241 ページ\)](#)

ヒント

IP アドレスは、「出力先種別」によって、次の手段で確認できます。

- 「ネットワーク共有フォルダー (SMB)」の場合
 - NAS (ネットワークハードディスク) 専用のユーティリティソフト
 - オペレーティングシステムのシステム設定
 - コマンドラインインターフェイス
- 「ファイル転送 (FTP)」の場合
 - オペレーティングシステムのシステム設定
 - コマンドラインインターフェイス

SSL/TLS 暗号の使用

通信を暗号化して安全に送信するための SSL/TLS 暗号を使用するかどうかを設定します。

工場出荷設定：使用する (FTPES)

「サーバー証明書の検証を行う」チェックボックス

スキャナーに登録した CA 証明書を使用して、サーバー証明書の検証を実施するかどうかを設定します。

CA 証明書の詳細は、[CA 証明書 \(243 ページ\)](#)を参照してください。

工場出荷設定はチェックが付いています。

ポート番号

1~65535 の範囲で指定します。

次のように、初期値が異なります。

- 「SSL/TLS 暗号の使用」が「使用する (FTPES)」、「使用しない (FTP)」の場合：21
- 「SSL/TLS 暗号の使用」が「使用する (FTPS)」の場合:990
- 「出力先種別」が「SSH ファイル送信 (SFTP)」の場合：22

FTP 通信モード

FTP サーバーと接続するときの接続モードを設定します。

工場出荷設定：パッシブモード

FTPS/FTPES サーバーと接続するときの接続モードは「パッシブモード」固定です。

保存先の共有パス名

パス名を 200 文字以内で入力します。

先頭と末尾のスペース、および先頭の「/」は削除されます。

「#」は「/」に変換されます。先頭が「#」の場合は「/」に変換されたあと、先頭の「/」が削除されます。

認証方式

認証方式を設定します。

工場出荷設定：パスワード認証

認証用公開鍵

サーバー側でユーザーを認証するための公開鍵を 512 文字以内で入力します。

認証用秘密鍵

ユーザー認証に使用する秘密鍵を 2,048 文字以内で入力します。

パスフレーズ

秘密鍵を保護するためのパスフレーズを 1,024 文字以内で入力します。

パスフレーズを設定していない環境の場合、任意のパスフレーズを入力しても動作します。

ユーザー名

保存先に接続するときのユーザー名を 64 文字以内で設定します。

「ユーザー名@ドメイン」、「ドメイン#ユーザー名」の形式でも設定できます。

先頭と末尾のスペースは削除されます。

パスワード

保存先に接続するときのユーザー名に対するパスワードを入力します。

先頭と末尾のスペースは削除されません。

「入力文字を表示する」チェックボックス

パスワードの文字を表示する場合は、チェックボックスにチェックを付けます。

工場出荷設定はチェックが外れています。

ドメイン名

接続先のサーバーのドメイン名を入力します。

●メール送信 (SMTP)の場合

送信するメールを設定します。

【サーバー設定】 ボタン

DirectScan のメールの送信に使用する SMTP サーバーを設定します。
設定項目は、[SMTP \(265 ページ\)](#)と同じです。

宛先

送信先のメールアドレスを設定します。

25 件まで設定できます。

複数指定する場合、改行で区切ります。

先頭と末尾のスペースは削除されます。

件名

送信するメールの件名を 998 文字以内で入力します。

先頭と末尾のスペースは削除されます。

本文

送信するメールの本文を 1,000 文字以内で入力します。

インデックスファイル

「インデックスファイルを出力する」チェックボックス

原稿を読み取るときに、読み取り開始日時などの情報を記録し、インデックスファイルとして保存する場合にチェックを付けます。

インデックスファイルの詳細は、[インデックスファイルの仕様 \(303 ページ\)](#)を参照してください。

工場出荷設定はチェックが外れています。

【スキャナーに反映】 ボタン

「ボタン割り当て」および「ジョブの編集」の画面で設定した内容を反映します。

バッチログ

「DirectScan」 → 「バッチログ」 をクリックして画面を表示します。

DirectScan で実行したジョブの履歴が一覧で表示されます。

一覧にはジョブごとに、スキャン日時、ジョブ名、ステータス、出力先種別、説明が表示されます。

実行中のジョブのバッチログは、状況に応じて更新されます。

例えば、読み取り中にエラーが発生した場合は、ステータスに「エラー」が表示され、その内容と対処方法が表示されます。

ジョブが完了すると、ステータスに「完了」が表示されます。

ステータスが「エラー」の場合、表示された内容を確認して、エラーを解消してください。

ステータス

表示するバッチログを絞り込む場合、ジョブの状態（ステータス）を選択します。

期間

表示するバッチログを絞り込む場合、表示範囲の開始日時と終了日時を指定します。

【検索】 ボタン

「ステータス」と「期間」の設定内容に従って、バッチログを表示します。

DirectScan の初期化

DirectScan の設定を初期化して、工場出荷設定に戻します。

「DirectScan」 → 「DirectScan の初期化」 をクリックして画面を表示します。

【DirectScan の初期化】 ボタン

DirectScan の次の設定内容を、工場出荷設定に戻します。

- ボタン割り当て (ジョブ、読み取り設定、保存先を含む)
- バッチログ
- SMTP

SMTP

DirectScan のメールの送信に使用する SMTP サーバーを設定します。

「DirectScan」 → 「外部サーバー連携」 → 「SMTP」 をクリックして画面を表示します。

認証方式

メールを送信するときの認証方式を設定します。

工場出荷設定：基本認証

認証状態

「認証方式」を「Exchange Online OAuth 2.0 認証」にした場合、認証状態が表示されます。

認証が完了すると、「完了」と表示されます。

工場出荷設定：未完了

【認証開始】 ボタン

Exchange Online OAuth 2.0 認証を行います。

「Exchange Online OAuth 2.0 認証」画面が表示されます。画面に表示されている手順に従って、認証を完了してください。

アクセス許可コードが使用できない場合や、新しいアクセス許可コードが必要な場合は、

「Exchange Online OAuth 2.0 認証」画面を閉じてから、【認証開始】 ボタンをクリックして、再度認証してください。

SMTP サーバー

ホスト名、FQDN、または IP アドレスで設定できます。

先頭と末尾のスペースは削除されます。

「認証方式」が「Exchange Online OAuth 2.0 認証」の場合、「smtp.office365.com」が表示されません。

重要

ホスト名を入力する場合は、DNS サーバーが設定されている必要があります。

→ [有線 LAN \(241 ページ\)](#)

暗号化方式

メールを送信するときの通信を暗号化するかどうかを設定します。

工場出荷設定：使用する (SMTPS)

「認証方式」が「Exchange Online OAuth 2.0 認証」の場合、「使用する (STARTTLS)」固定になります。

「使用する (SMTPS)」または「使用する (STARTTLS)」にした場合は、次の項目も設定します。

【サーバー証明書の検証を行う】 チェックボックス

スキャナーに登録した CA 証明書を使用して、サーバー証明書の検証を実施するかどうかを設定します。

CA 証明書の詳細は、[CA 証明書 \(243 ページ\)](#)を参照してください。

工場出荷設定はチェックが付いています。

ポート番号

1～65535 の範囲で指定します。

「暗号化方式」によって、次のように初期値が異なります。

- 「暗号化方式」が「使用する (STARTTLS)」の場合は「587」です。
- 「暗号化方式」が「使用する (SMTPS)」の場合は「465」です。
- 「暗号化方式」が「使用しない (SMTP)」の場合は「25」です。

工場出荷設定：465

なお、「認証方式」が「Exchange Online OAuth 2.0 認証」の場合、「587」固定になります。

差出人

送信するメールの差出人のメールアドレスを設定します。

先頭と末尾のスペースは削除されます。

「認証方式」を「Exchange Online OAuth 2.0 認証」にした場合、認証が完了すると、認証したメールアドレスが自動で入力されます。

ユーザー名

「認証方式」を「基本認証」にした場合、認証用のユーザー名を設定します。

先頭と末尾のスペースは削除されます。

パスワード

「認証方式」を「基本認証」にした場合、認証用のパスワードを設定します。

先頭と末尾のスペースは削除されません。

「入力文字を表示する」チェックボックス

パスワードの文字を表示する場合は、チェックボックスにチェックを付けます。

工場出荷設定はチェックが外れています。

メールサイズ上限 (MB)

送信するメールのメールサイズの上限を 1～20 の範囲で設定します。

メールサイズには、画像ファイルのほかに、メール本文およびインデックスファイルも含まれます。

工場出荷設定：5

読み取り中に画像ファイルのサイズが、ここで設定した上限値に達した場合、読み取りを停止してエラーメッセージを表示します。この場合、メールは送信されません。

ヒント

メールサイズが上限に達していない場合でも、SMTP サーバーによっては、SMTP サーバーが受信できるメールサイズの上限を超える場合があります。

メール送信がエラーになる場合は、SMTP サーバーが受信できるメールサイズの上限よりも小さい値を設定してください。

【スキャナーに反映】 ボタン

設定した内容を反映します。

メンテナンス

管理者パスワード

管理者パスワードを変更します。

管理者以外による設定の変更を防止するために、管理者パスワードを変更してください。

管理者パスワードは、定期的に見直してください。

「メンテナンス」→「管理者パスワード」をクリックして画面を表示します。

現在のパスワード

現在のパスワードを入力します。

工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルで確認できます。

ラベルの詳細は、[装置ラベルの確認 \(190 ページ\)](#)を参照してください。

新しいパスワード

パスワードを変更する場合に、新しいパスワードを 16 文字以内で入力します。

新しいパスワードに使用できる文字は、次のとおりです。

- 半角英数字
- 半角スペース
- 半角記号

-/:()!%&@".,?!#%^*+=_~<>\$[]`{

先頭と末尾のスペースは削除されません。

確認パスワード

パスワードを変更する場合に、「新しいパスワード」に入力したパスワードを再度入力します。

「入力文字を表示する」チェックボックス

パスワードの文字を表示する場合は、チェックボックスにチェックを付けます。

工場出荷設定はチェックが外れています。

【スキャナーに反映】 ボタン

設定した内容を反映します。

スキャナー設定情報の移出

スキャナーの設定情報をファイルに移出します。

スキャナー設定情報の用途は、次のとおりです。

- 同じ機種のほかのスキャナーに移入して、同じ設定を適用する
- PaperStream Central Admin から配信して、複数台のスキャナーを一括して設定する
「メンテナンス」 → 「スキャナー設定情報の移出」 をクリックして画面を表示します。

版数/識別名

スキャナーの設定情報を識別するための名前を、31 文字以内で入力します。

「版数/識別名」は、ファイル名に使用されます。

使用できない文字は、次のとおりです。

- 半角記号
"*/:<>?#|~

【移出】 ボタン

スキャナーの設定情報をファイルに移出します。

ファイルは、「版数/識別名」で入力した文字列を含むファイル名で出力されます。

例：ScannerSettings_ [版数/識別名] .cab

関連項目

[スキャナー設定情報の移出の留意事項 \(293 ページ\)](#)

[PaperStream Central Admin からアップデートモジュールを適用するときの留意事項 \(294 ページ\)](#)

スキャナー設定情報の移入

スキャナーの設定情報を移入します。

「メンテナンス」 → 「スキャナー設定情報の移入」 をクリックして画面を表示します。

【ファイル選択】 ボタン

[スキャナー設定情報の移出 \(268 ページ\)](#) で出力したファイルを選択します。

【移入】 ボタン

ファイルを選択した場合に有効になります。

スキャナーの設定情報を移入します。

スキャナーが再起動します。

工場出荷設定に戻す

スキャナーの設定を、工場出荷設定に戻します。
「メンテナンス」 → 「工場出荷設定に戻す」 をクリックして画面を表示します。

【工場出荷設定に戻す】 ボタン

工場出荷設定に戻します。

ライセンス

ライセンス情報が表示されます。

「メンテナンス」 → 「ライセンス」 をクリックして画面を表示します。

付録

スキャナー基本仕様

項目		仕様
スキャナータイプ		ADF（自動給紙機構） 手差し（単送）可能
イメージセンサー		モノクロ CIS×2（表面×1、裏面×1）
光源		RGB LED 3 色光源切り替え（表面、裏面）
読み取り可能原稿サイズ（幅×長さ）	最小サイズ	50.8×50.8mm
	最大サイズ（*1）	210×297mm
原稿の厚さ		27～413g/m ² （23～355kg/連） A8 サイズは 128～209g/m ² （110～180kg/連） プラスチックカードは 1.4mm 以下（エンボス付き可（ISO7810 ID-1 タイプ準拠））（*2）
読み取り速度（A4、縦、300dpi）（*3）	バイナリー（二値白黒）	片面 40 枚/分、両面 80 面/分
	グレースケール	
	カラー	
原稿搭載容量（*4）		80 枚 厚さ 80g/m ² （69kg/連）の原稿 原稿の総厚みが 8mm 以下
光学解像度		600dpi
出力解像度	バイナリー（二値白黒）	50～600dpi（1dpi ごとに設定可能） 1200dpi はスキャナードライバーで設定可能 DirectScan をする場合は、150dpi、200dpi、240dpi、300dpi
	グレースケール	
	カラー	
多値レベル		カラー：24bit グレースケール：8bit バイナリー（二値白黒）：1bit
読み取り階調		65,536 階調（16bit）
インターフェイス	USB	USB3.2 Gen 1x1/USB3.0/USB2.0/USB1.1（*5） タイプ C
	有線 LAN	IEEE802.3 Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T RJ-45type8-pole connector

項目	仕様
ネットワークプロトコル (有線 LAN)	TCP/IP(IPv4)、DHCP、HTTP/HTTPS (*6)、DNS、UDP、DDNS、SMTP/SMTPS (*6)、SMTP-AUTH、NTP、SMB (*7)、FTP/FTPS (*6)、SFTP

- *1：最大サイズの詳細は、[原稿のサイズ \(58 ページ\)](#)を参照してください。
- *2：プラスチックカードの詳細は、[プラスチックカードの注意 \(60 ページ\)](#)を参照してください。
- *3：読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。
USB 接続したときと有線 LAN 接続したときの読み取り速度は同じです。
読み取り速度の測定環境は、次のとおりです。

オペレーティングシステム	Windows 11
CPU	Intel® Core™ i3-13100 最大 4.5GHz
メモリー容量	8GB
ストレージ	SSD

- *4：最大枚数は原稿の厚さによって変わります。
→ [読み取りできる原稿 \(58 ページ\)](#)
- *5：添付の USB ケーブルを使用してください。
USB ハブに接続する場合、必ずコンピューターの USB ポートに接続されている USB ハブに接続してください。
USB3.2 Gen 1x1/USB3.0/USB2.0/USB1.1 で接続する場合、USB ポートおよびハブが USB3.2 Gen 1x1/USB3.0/USB2.0 に対応している必要があります。
また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなります。
- *6：TLS 1.2/TLS 1.3 をサポートしています。
- *7：SMB 2.0～SMB 3.1.1 をサポートしています。

設置諸元

項目		仕様
外形寸法（幅×奥行き×高さ）（*1）		292×163×150mm
設置スペース（幅×奥行き×高さ）（*2）		392×829×426mm
質量		3.3kg
入力電源	電圧範囲	AC100～240V ±10%
	相	単相
	周波数範囲	50/60Hz ±3Hz
消費電力	動作時	15W 以下
	省電力時	有線 LAN 接続時：1.4W 以下 USB 接続時：1.0W 以下
	電源切断時	0.1W 以下
操作環境	温度	動作時：5～35℃ 非使用時：-20～60℃
	湿度	動作時：15～80% 非使用時：8～95%
発熱量	動作時	12.9kcal/h 以下
	省電力時	有線 LAN 接続時：1.20kcal/h 以下 USB 接続時：0.86kcal/h 以下
	電源切断時	0.09kcal/h 以下
出荷時質量（*3）		4.7kg
サポート期間		5年

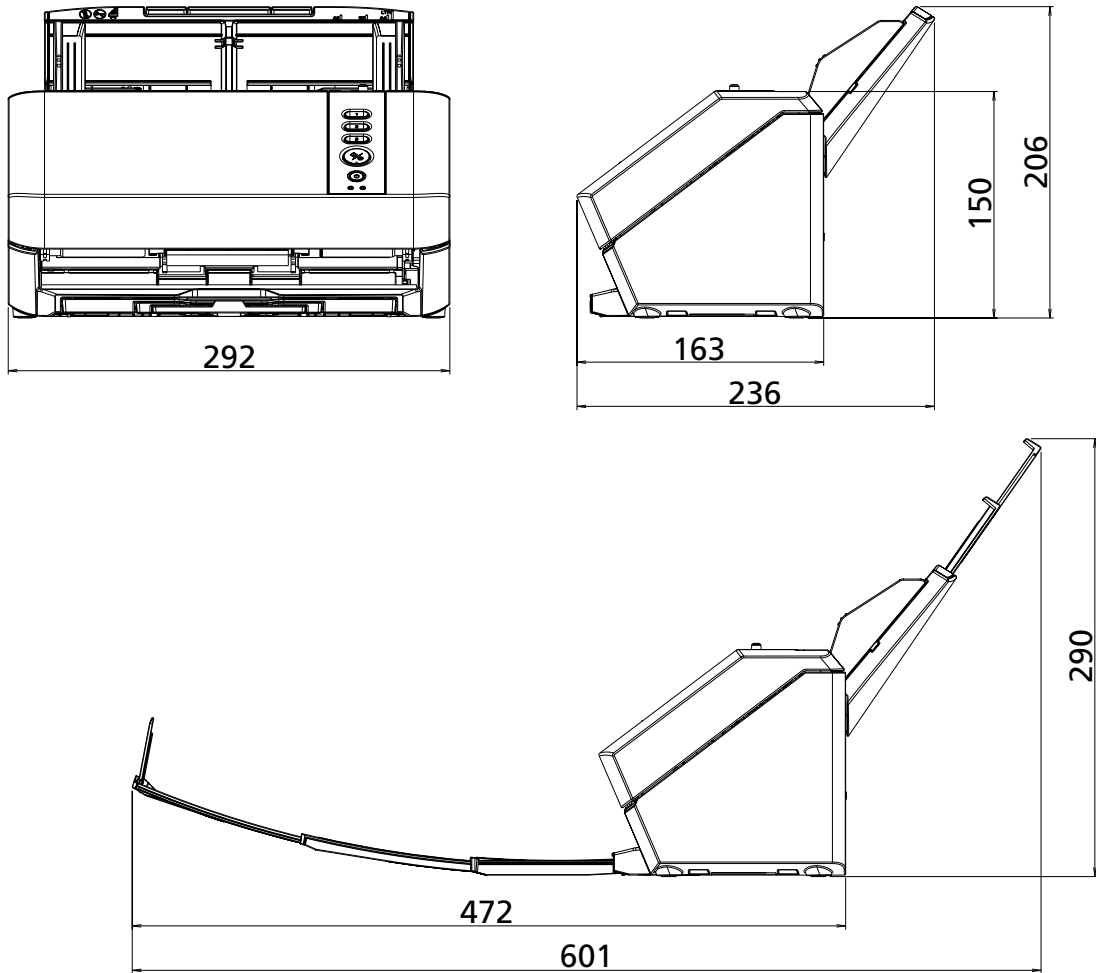
*1：奥行き、高さは、ADF 給紙シュート（フィーダー）およびスタッカーを除きます。

*2：設置スペースの値は、A4 原稿を読み取る場合に必要設置スペースの参考値です。

*3：梱包品を含めた質量です。

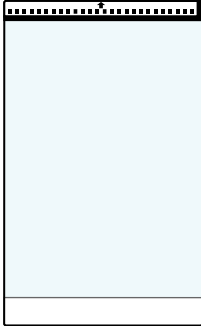

外形寸法

外形寸法は次のとおりです。



(単位：mm)

スキャナーのオプション


品名	型名	説明
AC アダプター	FI-224ACJ	スキャナーに電源を供給する電源装置です。
AC ケーブル	FI-224ACC	スキャナーに電源を供給するケーブルです。
USB ケーブル	FI-224USC	スキャナーとコンピューターを接続するケーブルです。
シューター	FI-224CHT	読み取る原稿をセットするための台です。 本書では、「ADF 給紙シュート (フィーダー)」と呼んでいます。
スタッカー	FI-224STC	排出された原稿が積み重ねられる台です。
スタッカーSTOPパー	FI-224STP	スタッカーに排出される原稿が、原稿の長さ方向にバラバラにならないようにするとき使用する部品です。
A3 キャリアシート 	FI-X15ES	A3 キャリアシートは、原稿を保護する原稿搬送用シートです。 A3 や B4 などの A4 サイズより大きい原稿や、切り抜きなどの原稿を、傷つけずに読み取りできます。 A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。 ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。
写真キャリアシート 	FI-X15CP	写真キャリアシートは、原稿を保護する原稿搬送用シートです。 写真や切り抜きなどの原稿を、傷つけずに読み取りできます。 写真キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。 ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。
ScanAid	FI-224SA	ScanAid は、スキャナーに必要な消耗品・清掃用品 (ローラー、クリーナーなど) をまとめたオプションです。 ScanAid を購入すると、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。 ScanAid の梱包品については、 ScanAid の梱包品 (277 ページ) を参照してください。

スキャナーのオプションの購入については、[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(311 ページ\)](#)にお問い合わせください。

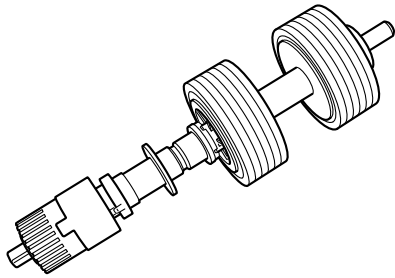
スキャナーのオプションの詳細は、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(310 ページ\)](#)にお問い合わせください。

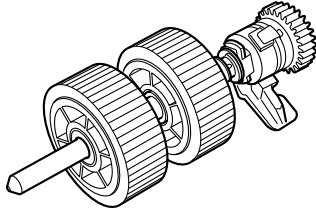
● ScanAid の梱包品

● 清掃用品

品名	備考
クリーナ F1 (1 本) 	容量：50ml
クリーニングペーパー (1 パック) 	10 枚入り/1 パック
クリーニングクロス (1 パック) 	20 枚入り/1 パック
綿棒 (2 パック) 	50 本入り/1 パック

● 消耗品

品名	備考
ブレーキローラ (1 個) 	200,000 枚ごとに交換

品名	備考
<p data-bbox="248 282 496 315">ピックローラ (1 個)</p> 	<p data-bbox="663 282 928 315">200,000 枚ごとに交換</p>

スキャナーのオプションの交換

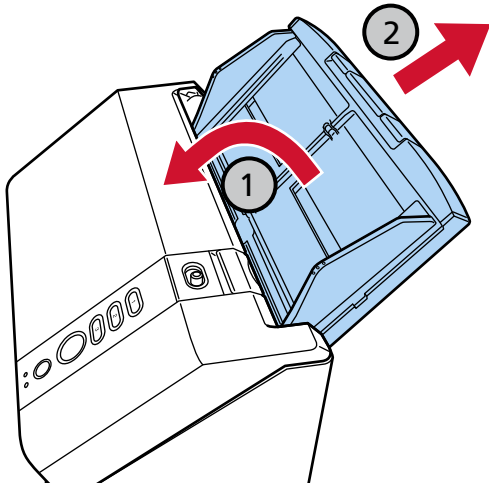
次のスキャナーのオプションを交換する手順について説明します。

- ADF 給紙シュート（フィーダー）
- スタッカー
- スタッカーストッパー

ADF 給紙シュート（フィーダー）の交換

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。
- 2 ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外します。

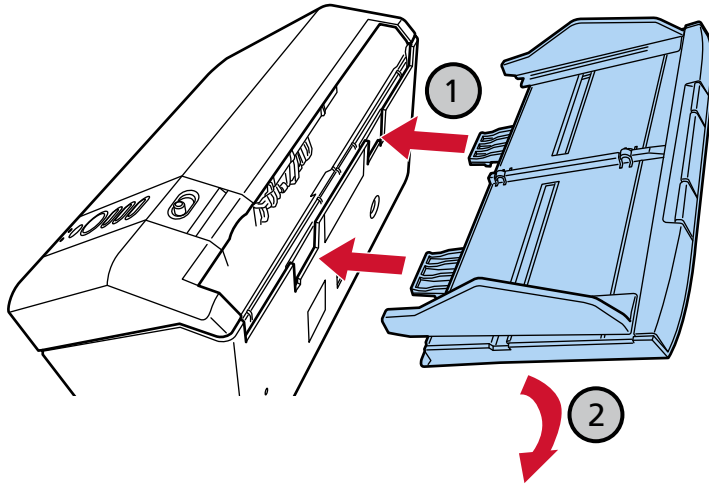
ADF 給紙シュート（フィーダー）の両端を持って、①の矢印方向に持ち上げながら、②の矢印方向に引き上げます。



- 3 新しい ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り付けます。

スキャナー背面にある穴に ADF 給紙シュート（フィーダー）のツメが入るように、①の矢印方向に差し込み、②の矢印方向に引き下げてしっかり固定します。

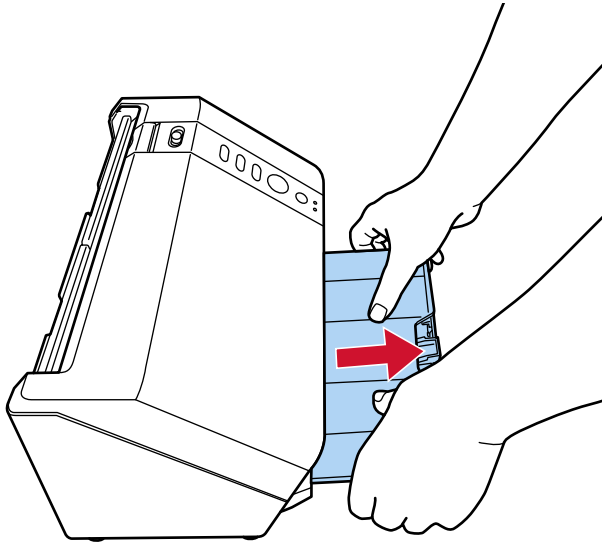
サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。

**重要**

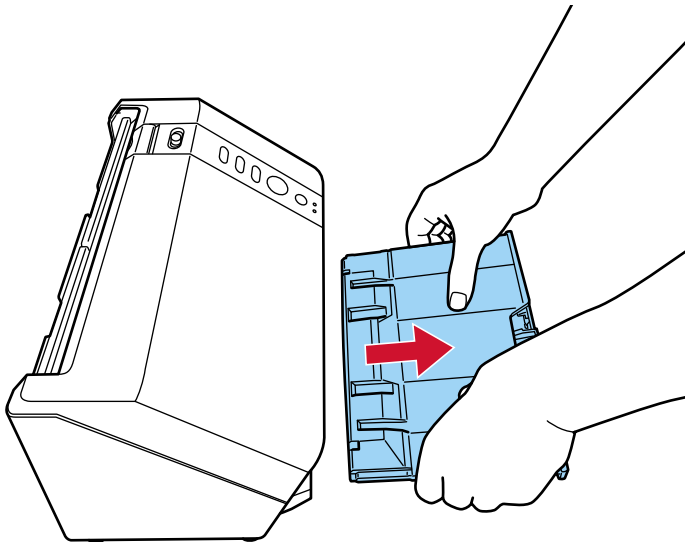
ADF 給紙シュート（フィーダー）はスキャナーとの隙間がないようにしっかり差し込んでください。

スタッカーの交換

- 1 スタッカーを手前に引き出します。



- 2 スタッカーをスキャナーから取り外します。
スタッカーの中央部分を下向きに軽く湾曲させながら、スタッカーを取り外してください。



- 3 新しいスタッカーをスキャナーに取り付けます。
取り外しと逆の手順で取り付けてください。

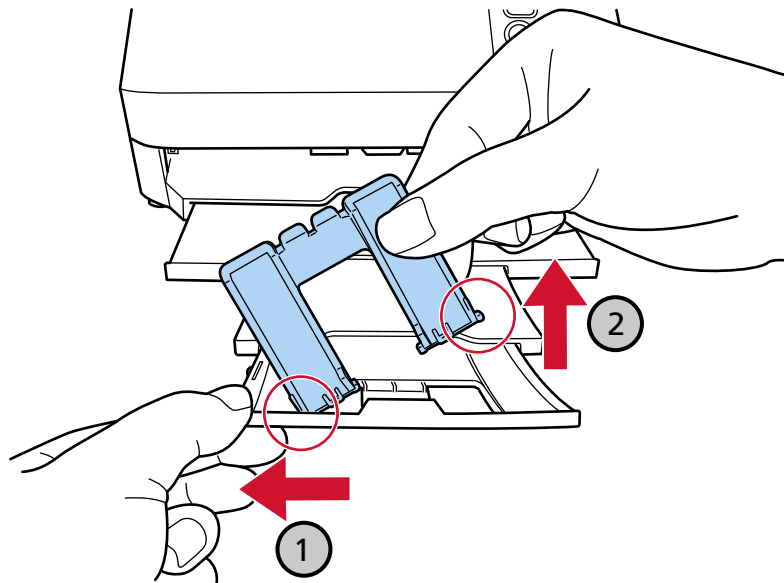
スタッカーstopperの交換

- 1 スタッカーを引き出します。

→ [スタッカーの設定 \(40 ページ\)](#)

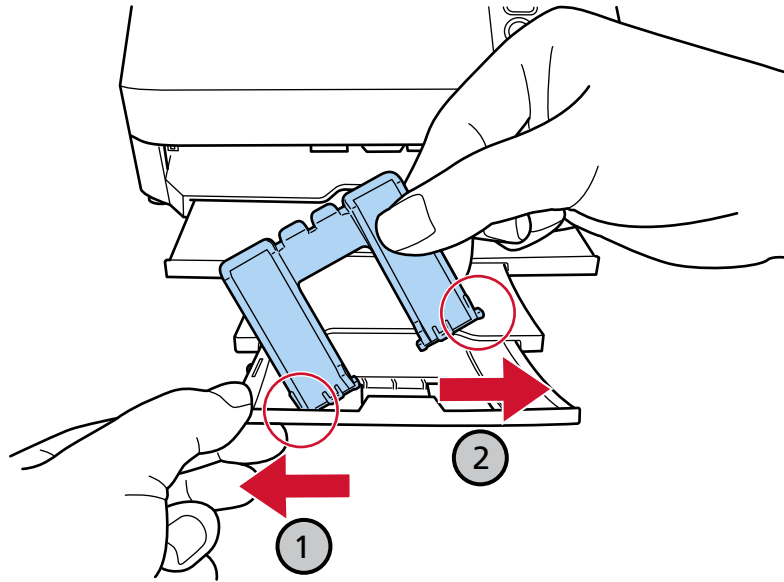
- 2 スタッカーstopperをスキャナーから取り外します。

スタッカーstopperの突起を①の矢印方向に押し込んで、反対側の突起を②の矢印方向に持ち上げるようにして取り外してください。



- 3 新しいスタッカーstopperをスキャナーに取り付けます。

スタッカーstopperが取り付けられていた箇所にある穴に、スタッカーstopperの片方の突起を①の矢印方向に差し込んでから、もう一方の突起も同じように、②の矢印方向に差し込んで取り付けてください。



ソフトウェアのインストール方法（オフラインの環境）

スキャナーを接続するコンピューターがインターネットに接続できない場合に、必要なソフトウェアをインストールする方法を説明します。

この場合、インターネットに接続できるコンピューターで、ダウンロードサイトからオフラインインストーラークリエイターを入手し、オフラインインストーラー（ISO ファイル）を作成します。

スキャナーを接続するコンピューターで、オフラインインストーラー（ISO ファイル）を実行してソフトウェアをインストールします。

重要

- 旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。
→ [ソフトウェアのアンインストール手順 \(290 ページ\)](#)
- 本インストーラーに同梱している Network Setup Tool は、Network Setup Tool for fi Series の後継製品になります。Network Setup Tool for fi Series がすでにインストールされている場合は、Network Setup Tool をインストールする前にアンインストールしてください。

- インターネットに接続できるコンピューターで、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで Windows にサインインします。
- ダウンロードサイトに接続します。
<https://www.pfu.ricoh.com/sp/d/>
- 「インターネットに接続できないコンピューターにインストールする場合はこちら」の「こちら」をクリックします。



- インストールの流れを説明した画面で、「オフラインインストーラークリエイター」をクリックします。
- 使用許諾契約の画面で、内容を確認して【同意してダウンロード】ボタンをクリックします。

オフラインインストーラークリエイターのダウンロードが開始されます。

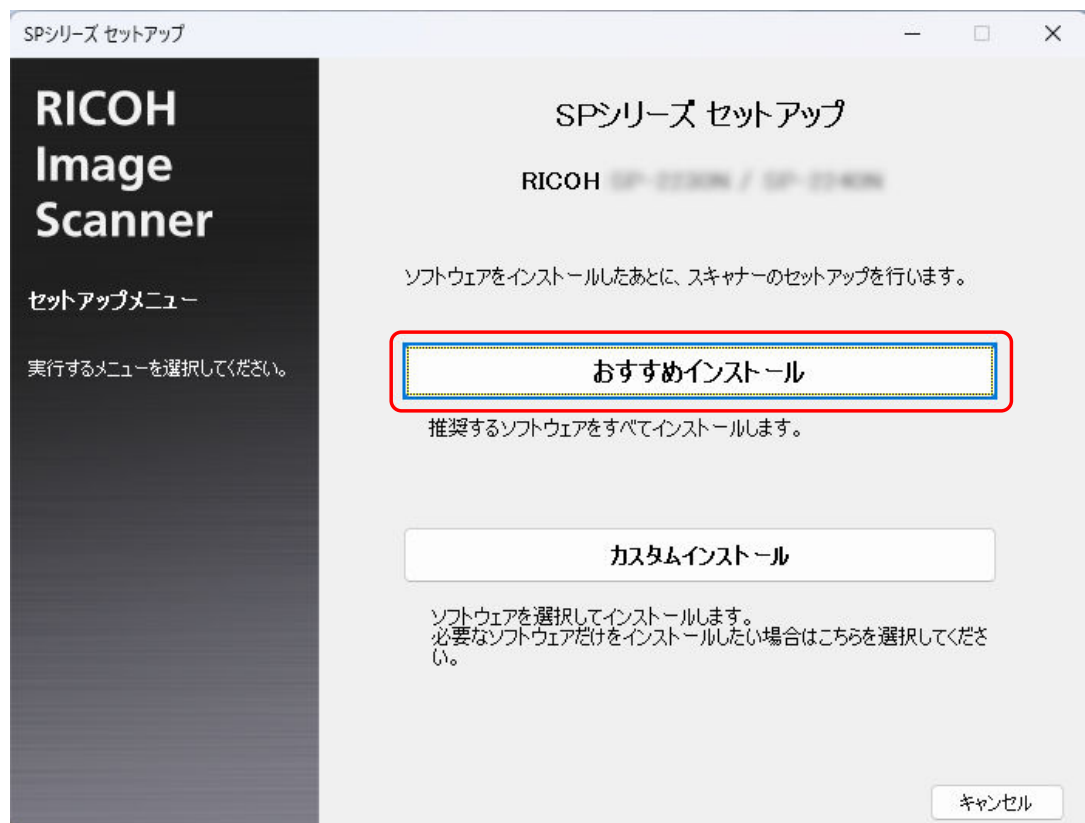
6 ダウンロードしたオフラインインストーラークリエイター「Offline Installer Creator SP Series.exe」をダブルクリックします。

7 おすすめインストールまたはカスタムインストールのどちらかを選択します。

ここで選択した内容に従って、最新のソフトウェアを含むオフラインインストーラー（ISO ファイル）が作成されます。

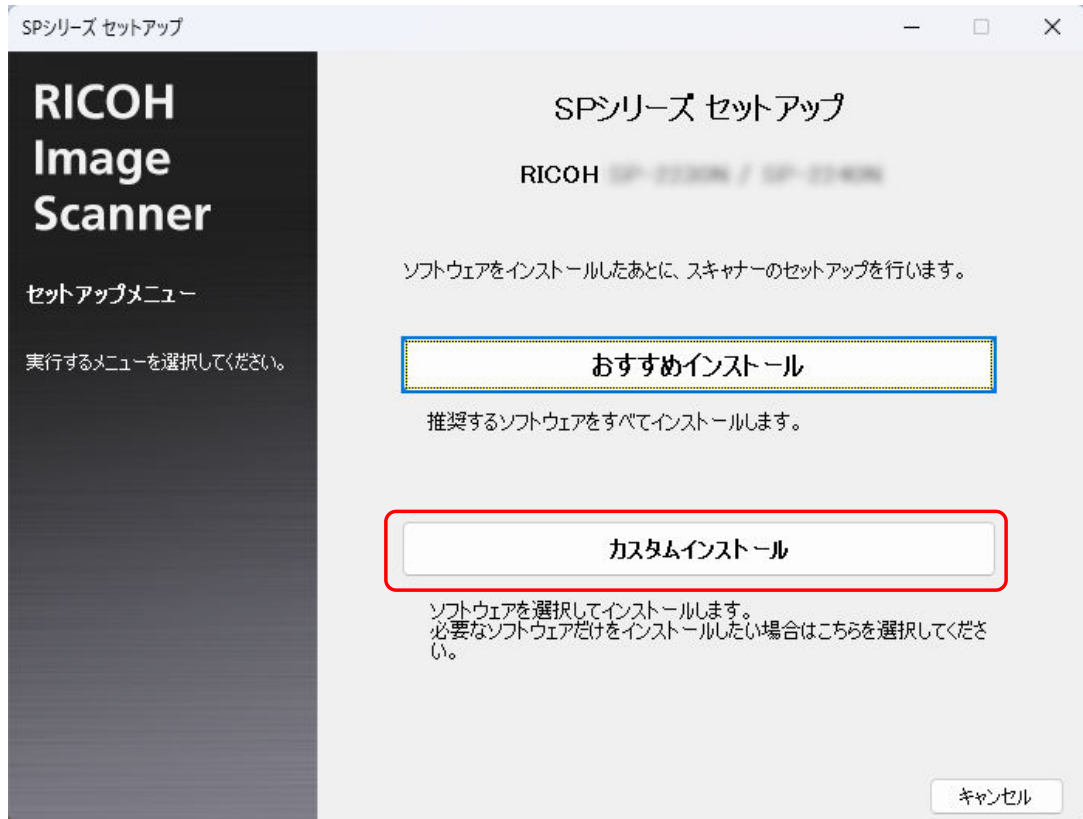
- おすすめインストール
次のソフトウェアがインストールされます。
 - PaperStream IP (TWAIN) SP Series
次も同時にインストールされます。
 - Software Operation Panel
 - Error Recovery Guide
 - PaperStream Capture
 - PaperStream ClickScan
 - Network Setup Tool
 - Error Recovery Guide（マニュアル）
 - SP Series Online Update
 - マニュアル（安全上のご注意、オペレーターガイド）

a [おすすめインストール] ボタンをクリックします。



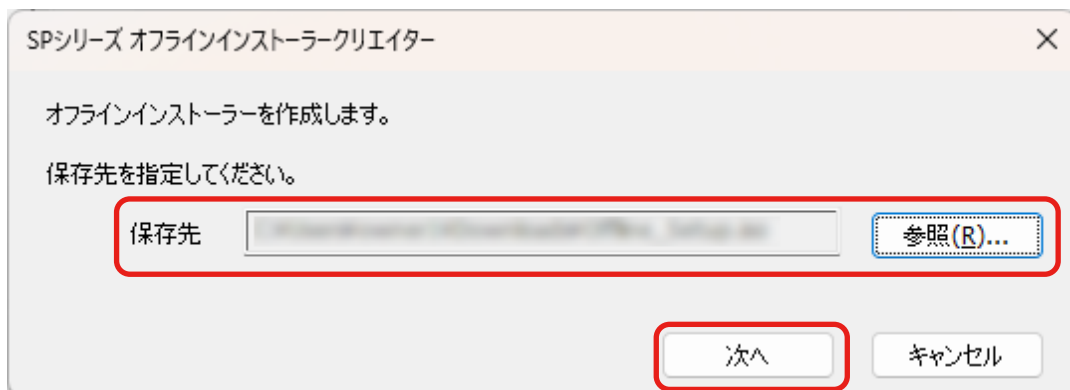
- カスタムインストール
必要なソフトウェアを選択します。

a [カスタムインストール] ボタンをクリックします。

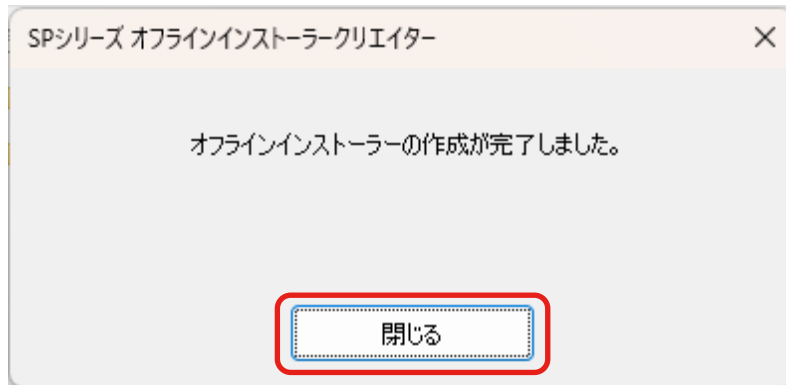


- b インストールするソフトウェアのチェックボックスにチェックを付けて、[次へ] ボタンをクリックします。
スキャナーをネットワークに接続する場合、Network Setup Tool のチェックボックスにチェックを付けてください。

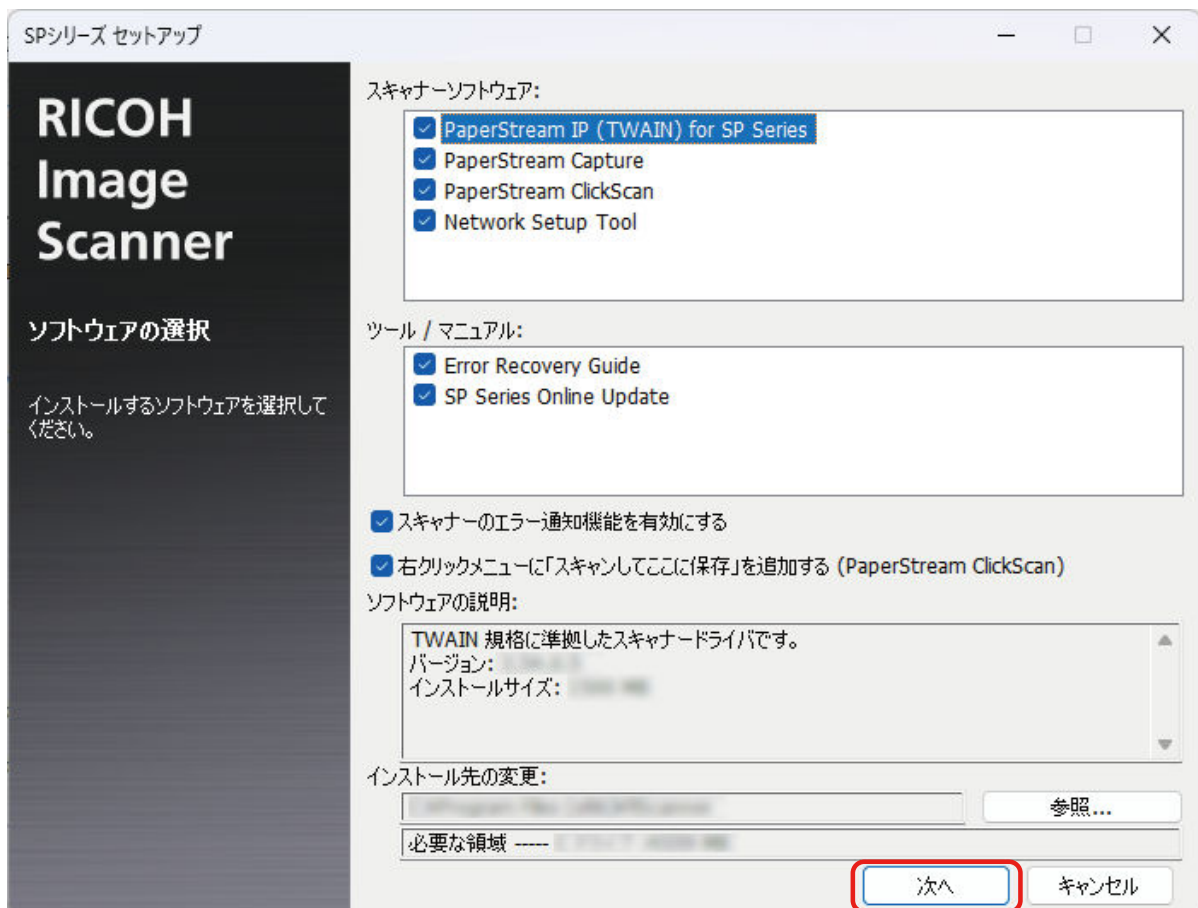
8 ISO ファイルの保存先を指定して、[次へ] ボタンをクリックします。



- 9 **【閉じる】** ボタンをクリックします。



- 10 スキャナーを接続するコンピューターに、作成した ISO ファイルを保存します。
- 11 保存した ISO ファイルを右クリックして「マウント」をクリックします。
- 12 表示されたフォルダー内の「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 13 **【次へ】** ボタンをクリックします。



- 14 表示される画面の指示に従ってインストールします。
- 15 スキャナーの接続方法を選択する画面が表示されたら、接続方法を選択し、画面の指示に従って操作を進めます。

詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
「スタート」メニュー→「Network Setup Tool」→「Network Setup Tool ヘルプ」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Network Setup Tool」→「Network Setup Tool ヘルプ」をクリックします。

スキャナーのネットワーク接続を確認する方法

スキャナーを有線 LAN で接続した場合、ネットワークへの接続状態を確認します。コンピュータでコマンド プロンプトを起動し、ping コマンドでコンピュータとの接続確認をします。

- 1 コンピューターでコマンド プロンプトを起動します。
- 2 ping コマンドで、スキャナーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

重要

ホスト名を入力する場合は、事前に次の設定が必要です。

- DNS サーバーの設定
 - DNS サーバーへのスキャナー名（ホスト名）の登録
- [有線 LAN \(241 ページ\)](#)

- 3 「Enter」 キーを押します。
接続確認結果が表示されます。
スキャナーと接続できる場合は、次のような通知が表示されます。

```
xxx.xxx.xxx.xxx からの応答: バイト数 =32 時間 =59ms TTL=246
```

スキャナーと接続できない場合は、IP アドレスまたはホスト名が正しく指定されているかを確認してください。

それでも接続できない場合は、[スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない \(145 ページ\)](#)を参照して対処してください。

ソフトウェアのアンインストール手順

- 1 コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にサインインします。
- 2 動作しているソフトウェアをすべて終了させます。
- 3 Windows の「コントロール パネル」画面を表示します。
- 4 「プログラムのアンインストール」をクリックします。
「プログラムと機能」画面が表示され、インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。
- 5 削除するソフトウェアをクリックします。
 - PaperStream IP ドライバーを削除する場合
次のどれかをクリックしてください。
 - PaperStream IP (TWAIN) for SP Series
 - PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series
 - PaperStream IP (ISIS) for SP Series
 - Network Setup Tool を削除する場合
「Network Setup Tool」をクリックしてください。
 - Software Operation Panel/Error Recovery Guide を削除する場合
「Software Operation Panel」をクリックしてください。
 - Error Recovery Guide (マニュアル) を削除する場合
「Error Recovery Guide for SP Series」をクリックしてください。
 - PaperStream ClickScan を削除する場合
「PaperStream ClickScan」をクリックしてください。
 - PaperStream ClickScan Searchable PDF Option を削除する場合
「PaperStream ClickScan Searchable PDF Option」をクリックしてください。
 - PaperStream Capture を削除する場合
「PaperStream Capture」をクリックしてください。
 - マニュアルを削除する場合
「SP Series manuals for SP-2240N」をクリックしてください。
 - SP Series Online Update を削除する場合
「SP Series Online Update」をクリックしてください。
- 6 【アンインストール】 ボタン/ 【アンインストールと変更】 ボタンをクリックします。
- 7 アンインストールの確認画面が表示される場合は、【OK】 ボタン/ 【はい】 ボタンをクリックします。
アンインストールが実行されます。

e-文書法に適合した電子文書の作成

これまで企業活動で発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、e-文書法（*1）の施行により、これらの紙文書を本製品で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減できます（紙による原本保存が不要になります）。

次に、本製品を使用して e-文書法に適合した電子文書を作成する方法をまとめます。

重要

- 画像の原本再現性および画質確認（文章の判読不能のないことなど）は、お客様の責任で実施してください。
- A4 サイズより大きい原稿を A3 キャリアシートを使用して読み取る場合や両面印刷された原稿を読み取って表裏の画像を合成する場合は、文書の種類によって次の点に注意してください。
 - 国税関係書類の場合
表裏の画像を合成することは、推奨しません。
 - 国税関係書類以外の場合
表裏の画像を合成した場合、折り目にある情報が欠けていないかを確認してください。情報が欠けていた場合は、次の対処をしてから、再度原稿を読み取ってください。
 - 文字などの情報がない部分に折り目を変更する
 - 原稿をしっかりと折り曲げる

*1：e-文書法（通称）とは、民間事業者などに対して、法令により紙での原本保存が義務付けられていた文書を、スキャナーで電子化し、原本の保存に代えて画像での保存を容認する法律です。

e-文書法の正式名称は、「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。

● e-文書法に対応する要件

e-文書法に対応した読み取り設定で原稿を読み取ると、次の法令要件に対応した画像を作成できます。

財務省の省令（電子帳簿保存法）に定められた要件

解像度：200dpi（8 ドット/mm）以上

カラー：24bit カラー（RGB 各色 256 階調）以上またはグレー（256 階調以上）（*1）

非可逆圧縮での画質規定：JIS X6933 または ISO12653 テストチャートの 4 ポイントの文字が認識できること

*1：国税関係書類の文書でグレー（256 階調以上）での保存が認められるのは、資金や物の移動に関連しない国税関係書類や定型的な約款が定められた契約申込書などの文書です。

例：見積書控、注文書控、定型的な約款が定められた保険契約申込書

厚生労働省の省令に定められた要件

診療等の用途に差し支えない精度

重要

- 電子帳簿保存法に対応するには、次の読み取り設定で「e-文書モード」を設定して、原稿を読み取ってください。
 - スキャナードライバー
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
 - DirectScan のジョブ (PaperStream Scanner Admin)
 - ➔ ボタン割り当て (247 ページ)
- 本製品は、各省令に合った読み取りを行う機能を持っていますが、それだけでは、紙原本に代えて画像で保存することはできません。各省庁より出される省令、およびガイドラインに従い、場合によっては、電子署名・タイムスタンプを画像に付与し、管理および運用していく必要があります。詳細は、当社にお問い合わせください。
<https://www.pfu.ricoh.com/rm/anshinrm/>
- レシート、見積書などの国税関係書類は、税法で確実な保存が規定されている重要な文書です。これらの文書を画像として保存し、紙原本を廃棄するためには、電子帳簿保存法の要件に対応したシステム、業務規程の作成、および運用管理などの法定要件を満たして、所轄税務署長の承認が必要です。詳細は、省令を必ず参照してください。

● **原稿を読み取ったあとの検証**

紙文書を電子化する場合、原稿を読み取ったあとに原稿の情報が正しく読み取られているかどうかを、次の観点で検証しなければなりません。

- ページの抜けがないか
- 文字がつぶれて読めない箇所がないか
- ごみ、筋などで不鮮明な箇所がないか
- 割り印などの、原稿の端にある情報が欠けていないか

画像の検証で問題があった場合、再度原稿を読み取って検証します。

検証で問題なければ、画像を登録、保存します。

重要

画像は、一切の修正を行ってはいけません。

スキャナー設定情報の移出の留意事項

ネットワークに接続しているスキャナーは、PaperStream Central Admin で管理できます。

また、PaperStream Central Admin からスキャナーに、スキャナーの設定情報を配信して、一括してスキャナーの設定を行うことができます。

PaperStream Central Admin からスキャナーにスキャナーの設定情報を適用する方法は、PaperStream Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

ヒント

スキャナーの設定情報は、PaperStream Scanner Admin の「スキャナー設定情報の移入」で、同じ機種のスキャナーに適用することもできます。

→ [スキャナー設定情報の移入 \(269 ページ\)](#)

ここでは、スキャナーに適用するスキャナーの設定情報を、スキャナー設定のひな形となるスキャナーから移出する方法について説明します。

スキャナーの設定情報の内容と移出手順を次に示します。

● スキャナー設定情報の内容

スキャナー設定情報には、次の情報が含まれます。

● PaperStream Scanner Admin で設定した情報

→ [ネットワーク設定 \(PaperStream Scanner Admin\) \(230 ページ\)](#)

ただし、次に示す設定項目の情報は対象外です。

- 「基本設定」の「スキャナー名」

- 「ネットワーク」の「有線 LAN」の「IP アドレス」

● Software Operation Panel の退避内容

● スキャナー設定情報の移出手順

1 PaperStream Scanner Admin および Software Operation Panel で、スキャナーを設定します。

→ [ネットワーク設定 \(PaperStream Scanner Admin\) \(230 ページ\)](#)

→ [スキャナー設定 \(Software Operation Panel\) \(191 ページ\)](#)

2 PaperStream Scanner Admin の「メンテナンス」→「スキャナー設定情報の移出」でスキャナー設定情報を移出します。

→ [スキャナー設定情報の移出 \(268 ページ\)](#)

PaperStream Central Admin からアップデートモジュールを適用するときの留意事項

PaperStream Central Admin から、ネットワークに接続しているスキャナーに、スキャナーの設定情報やファームウェアなどのアップデートモジュールを適用するときの留意事項について説明します。

PaperStream Central Admin からスキャナーにアップデートモジュールを適用する方法は、PaperStream Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

- ネットワーク環境によっては、ネットワーク負荷により PaperStream Central Admin と、スキャナーの間の通信に失敗する場合があります。
この場合は、PaperStream Central Admin で、適用するスキャナーの台数や同時に接続できるスキャナーの最大台数などの調整をしてください。
- PaperStream Central Admin と直接連携しているスキャナーの場合、スキャナーの設定情報やファームウェアなどのアップデートモジュールは、スキャナーの電源を投入したときに適用されます。
なお、アップデートモジュールの適用に時間がかかる場合があるため、業務に影響がない時間帯にアップデートモジュールを適用することを推奨します。

ジョブの設定項目の仕様 (DirectScan)

ジョブの設定項目の条件と制限

DirectScan のジョブの設定項目によっては、設定や動作に条件や制限があります。各項目の設定できる条件と制限を、以下に示します。

● 読み取り設定

設定項目	各項目	設定できる条件	制限
基本設定	e-文書モード	画像タイプ：カラー、グレースケール	-
	解像度 (dpi)	-	「e-文書モード」を「有効」にした場合、150dpi は選択できません。
	キャリアシート	-	「見開き」にした場合、「給紙」が「両面」に変更されます。
画像	二値化の方法 (iDTC)	画像タイプ：二値白黒、カラー/モノクロ自動判別	-
	カラー調整	e-文書モード：無効 キャリアシート：無効 画像タイプ：カラー、カラー/モノクロ自動判別	-
	クリーンアップ	画像タイプ：二値白黒、カラー/モノクロ自動判別	-
	ドロップアウトカラー	画像タイプ：二値白黒、グレースケール、カラー/モノクロ自動判別	-
ページ	エッジ補正 - エッジ補修	キャリアシート：無効	-
用紙搬送	マルチフィード検出	-	手差し単送モードの場合は無効になります。
	ペーパープロテクション	-	手差し単送モードの場合は無効になります。

● ファイル設定

設定項目	各項目	設定できる条件	制限
ファイル形式	PDF	-	「画像タイプ」を「二値白黒」または「カラー/モノクロ自動判別」にした場合、「JPEG」

設定項目	各項目	設定できる条件	制限
			を選択しているときは「PDF」に変更されます。
	JPEG	画像タイプ：カラー、グレースケール	-
PDF オプション	サーチャブル PDF	-	「読み取り設定」の「用紙サイズ」を「自動(長尺帳票)」にすると、「検索可能な PDF を作成する」チェックボックスのチェックが外れます。そのあと、「自動(長尺帳票)」以外に変更しても、チェックは外れたままになります。

● インデックスファイル

設定項目	各項目	設定できる条件	制限
インデックスファイルを出力する	PDF	-	「読み取り設定」の「バーコード検出」を「有効」にすると、「インデックスファイルを出力する」チェックボックスにチェックが付きます。そのあと、「バーコード検出」を「無効」に変更してもチェックは付いたままになります。

関連項目

[ボタン割り当て \(247 ページ\)](#)

バーコードの仕様

DirectScan で検出できるバーコードの種類と検出条件を示します。

● 1次元バーコード



例：Code 3 of 9

コード	キャラクターセット	チェックデジット	桁数
UPC-A	数字 (0~9)	チェックデジットは検証され、誤りとなった場合は出力されない。	12 (チェックデジットを含む)
EAN 8 (JAN 8) EAN 13 (JAN 13)	数字 (0~9)	チェックデジットは検証され、誤りとなった場合は出力されない。	8 または 13 (チェックデジットを含む)
Code 3 of 9	<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベット (A~Z) ● 数字 (0~9) ● 記号 (-.*\$/+%) ● スペース 	チェックデジットは検証されず、チェックデジットを含んで出力される。	1~32 (スタート・ストップコードを含まない) (*1)
Code 128 (EAN 128)	<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベット (a~z, A~Z) ● 数字 (0~9) ● 記号 (!"#\$%&'()*+,-./:;<=>@[#\]^_`{ }~) ● スペース ● 制御コード (すべてスペースに変換される) ● ファンクションコード (<FNC1>~<FNC4>) <ul style="list-style-type: none"> - 先頭が<FNC1>から始まるバーコードの場合 (EAN128) 先頭の FNC1 は出力しない。それ以降のファンクションコードは「」 	チェックデジットは検証され、誤りとなった場合は出力されない。	1~32 (チェックキャラクターを含まない) (*1)

コード	キャラクターセット	チェックデジット	桁数
	(アンダーバー)に変換して出力する。 - 先頭が<FNC1>から始まるバーコードではない場合 <FNC1>～<FNC4>は出力しない。 ● スタート・ストップキャラクター (CODE-A、CODE-B、CODE-C) ● コードセットキャラクター (CODE-A、CODE-B、CODE-C)		
Codabar (NW-7)	● スタート・ストップキャラクター (ABCD) ● 数字 (0～9) ● 記号 (-\$/.+:)	チェックデジットは検証されず、チェックデジットを含んで出力される。	1～32 (スタート・ストップコードを含まない) (*1)
ITF	数字 (0～9)	チェックデジットは検証されず、チェックデジットを含んで出力される。	2～32 (必ず偶数桁) (*1)

*1：32 桁を超えるバーコードを読み取る場合は、事前にバーコードが正しく認識されることを確認してください。

● 2次元コード



例：QR Code



例：PDF417



例：Data Matrix

コード	キャラクターセット	桁数
PDF417	ASCII データ、 バイナリーデータ (マルチバイト文字)、 上記の混在	英数字：最大 1850 字 数字：最大 2710 桁 バイナリーデータ：最大 1108 バイト
QR Code	数字、英字、記号、 バイナリーデータ (マルチバイト文字)、 制御コード、 上記の混在	英数字：最大 395 字 数字：最大 652 桁 全角文字：最大 167 字
Data Matrix	ASCII データ、 バイナリーデータ (マルチバイト文字)、 上記の混在	英数字：最大 2335 字 数字：最大 3116 桁 バイナリーデータ：最大 1555 バイト

ヒント

- 各コードの詳細については、それぞれの規格を確認してください。
- 2次元コード (PDF417/QR Code/Data Matrix) のマルチバイト文字は、UTF-8 として扱われます。

● 1次元バーコードの検出条件

項目	条件
バーコードの縦幅	10~30mm
バーコードの横幅 (長さ)	300mm 以下
バーコードの余白	バーコードの周囲 5mm 以上 (文字列が印字されている場合は、文字列も含めた領域から、周囲 5mm 以上) (ITF の左端および右端は、5mm 以上か、細エレメント幅の 6 倍以上のどちらか大きい方)
バーコードの色	黒色 (バーコードの色が黒以外の場合でも、認識できる場合がある)
バーコードの下地色	白色 (バーコードの下地色が白以外の場合でも、認識できる場合がある)
解像度	200~300dpi

項目	条件
バーコードの角度	水平、垂直
細エレメント幅/モジュール幅	<ul style="list-style-type: none"> ● UPC-A/EAN 8 (JAN 8)/EAN13 (JAN 13) 300dpi 以上の場合：0.264mm 以上 300dpi 未満の場合：0.30mm 以上 ● Code 3 of 9/Code 128 (EAN 128)/Codabar (NW-7) 300dpi 以上の場合：0.20mm 以上 300dpi 未満の場合：0.30mm 以上 ● ITF 300dpi 以上の場合：0.254mm 以上 300dpi 未満の場合：0.30mm 以上
太エレメント幅	14.0mm 以下 (UPC-A/EAN 8 (JAN 8)/EAN13 (JAN 13)/Code 128 (EAN 128)では、最も太い (4モジュール相当の) エレメント幅)
キャラクター間ギャップ	<ul style="list-style-type: none"> ● UPC-A/EAN 8 (JAN 8)/EAN13 (JAN 13)/Code 128 (EAN 128)/ITF キャラクター間ギャップは存在しない ● Code 3 of 9/Codabar (NW-7) 細エレメント幅以上で、1.52mm または細エレメント幅の 3 倍のどちらか大きい方以下

● QR Code の検出条件

項目	条件
モデル	モデル 2 ただし、ECI モード、FNC1 モードは未対応
情報の種類	数字、英字、記号、マルチバイト文字、制御コード、上記の混在
バージョン	2～10
セルサイズ	0.28mm 以上 (0.40mm 以上を推奨)
バーコードの余白	上下左右 4 セル以上
バーコードの色	黒色 (バーコードの色が黒以外の場合でも、認識できる場合がある)
バーコードの下地色	白色 (バーコードの下地色が白の場合でも、認識できる場合がある)
解像度	300dpi
バーコードの角度	水平、垂直
エラー訂正レベル	L/M/Q/H

● PDF417 の検出条件

項目	条件
モジュールの横幅	0.3～2.0mm
モジュールの縦幅（高さ）	モジュールの幅の3倍以上推奨 （モジュールの幅の2倍未満でも認識される場合がある）
バーコードの横幅（全体幅）	25.5～170.0mm
バーコードの縦幅（高さ）	10.0～30.0mm
バーコードの余白	バーコードの周囲 5mm 以上
バーコードの色	黒色（バーコードの色が黒以外の場合でも、認識できる場合がある）
バーコードの下地色	白色（バーコードの下地色が白の場合でも、認識できる場合がある）
解像度	200dpi
バーコードの角度	水平、垂直
エラー訂正レベル	0/2/3/4/5/6/7

● Data Matrix の検出条件

項目	条件
バージョン	ECC200 ただし、FNC1 モード（GS1）は未対応
セルサイズ	0.50mm 以上
バーコードの余白	上下左右 2 セル以上
バーコードの色	黒色
バーコードの下地色	白色
解像度	300dpi
バーコードの角度	水平、垂直

ヒント

- バーコードが傾いている場合は正しく認識されない場合があります。
- 同一の原稿を複数回使用すると、紙がよごれて認識精度が低下する場合があります。正しく認識しない場合や、紙がよごれた場合は、再度、新しい原稿に交換して使用してください。
- 読み取り原稿が傾いている場合やバーコードの印刷状態によっては、正しく認識できない場合があります。事前に正しく認識されることを確認したあと、運用してください。
- 複数のバーコードが存在する場合、どのバーコードが検出されるかは不定です。
- 複数のバーコードが存在する場合、バーコードが検出される順番は不定です。

- バーコードの下地色や色が、白または黒以外の色の場合でも、認識できる場合があります。カラーのバーコードを認識させる場合には、事前にカラー原稿の読み取り設定を調整して正しく認識されることを確認したあと、運用してください。
- バーコードが小さい場合は、バーコードの値に誤りが発生する場合があります。
- 条件を満たしているバーコードをうまく読み取れない場合は、次の対処をすると改善することがあります。
 - 読み取り設定の解像度を高くする
 - バーコードの印刷解像度を上げる（バーコードの印刷品質を上げる）
 - バーコードのサイズを大きくする
 - バーコードを印刷する原稿を、白色度の高い紙に変更する
- チェックデジットをチェックしないバーコード種別について、チェックデジットありで運用したい場合は、認識した結果から、お客様自身で計算して検証してください。
- チェックデジットをチェックするバーコード種別では、チェックデジットの検証で誤りとなった場合は出力されません。バーコードが認識されない場合は、チェックデジットが正しいかご確認ください。

インデックスファイルの仕様

DirectScan で作成されるインデックスファイルについて説明します。

- 1つの画像ファイルにつき、1つのインデックスファイルが出力されます。
ファイル形式が PDF の場合は、読み取ったすべてのページで検出されたバーコード情報が1つのファイルにまとめられます。
- ファイル名の形式は、次のとおりです。
生成されるファイル名+.index.xml
- 出力される項目は、次のとおりです。

項目名	説明	XML 項目名
ストリーム No.	画像を出力したストリームの番号 常に「1」が出力されます。	Stream No.
ドキュメント No.	ドキュメント番号 常に「1」が出力されます。	Document No.
ドキュメント内総ページ数	ドキュメント内の総ページ数 ただし、シングルページ形式のファイル の場合は、常に「1」が出力されます。	Total pages in current document
ドキュメント内ページ番号	ドキュメント内のページ番号 ただし、シングルページ形式のファイル の場合は、常に「1」が出力されます。	Page Number in Document
ページ番号	送信する画像のページ番号	Actual page number
日付と時刻	読み取りを開始した日付と時刻 時刻の形式は環境設定に従う yyyy/MM/dd HH:mm:ss MM/dd/yyyy HH:mm:ss dd/MM/yyyy HH:mm:ss	Date&Time
スキャナー名	読み取りを実行したスキャナー名	Scanner name
ユーザー名	送信先に接続するためのユーザー名	User name
ファイル名 (フルパス)	ファイル名 (フルパス)	Full Path
ファイル名	ファイル名	File name
装置名	読み取りを実行したスキャナーの装置名 常に「SP-2240N」が出力されます。	Device name
検出バーコード数	検出したバーコードの数	Barcode size
バーコード情報を示すタグ	認識したバーコードの情報であることを 示すタグ	Barcode
バーコード種類	認識したバーコードの種類	Kind
バーコード認識結果	バーコード認識文字列	Value

キャリアシートを使用したときの画像

DirectScan でキャリアシートを使用したときの画像の切り出し方法について説明します。

● A3 キャリアシート

「見開き」を指定した場合

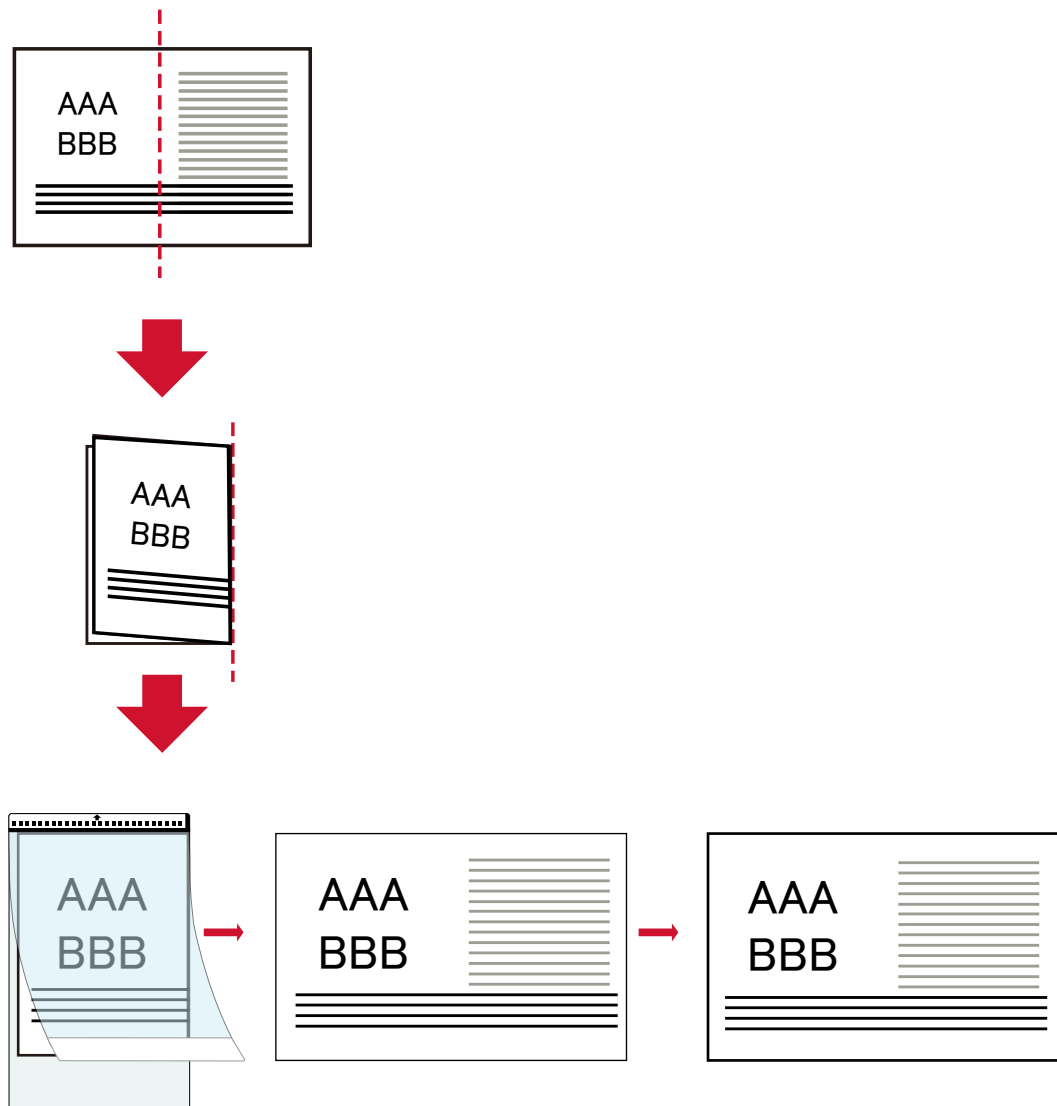
2つ折りにした原稿の表面と裏面の画像を見開きに合成し、白い画像の上に、上揃えかつ左右中央になるように貼り付けて出力します。

白い画像のサイズは、「用紙サイズ」で指定します。

→ ボタン割り当て (247 ページ) の「用紙サイズ」

「用紙サイズ」が「自動」の場合は、次の定型サイズから、原稿の画像に最も近いサイズが選択されます。

- A3
- B4 (JIS)
- ダブルレター



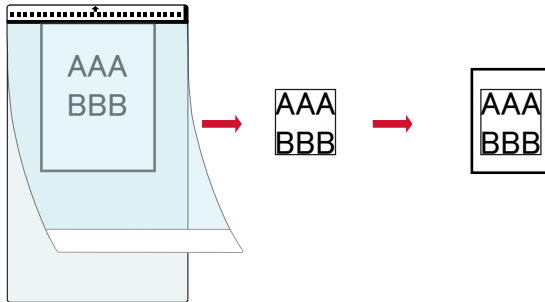
「切り出し（表面）」、「切り出し（裏面）」、または「切り出し（両面）」を指定した場合

原稿の印刷されている部分の画像を切り出し、白い画像の上に、上下左右が中央になるように貼り付けて出力します。

白い画像のサイズは、「用紙サイズ」で指定します。

→ ボタン割り当て (247 ページ)の「用紙サイズ」

「用紙サイズ」が「自動」の場合は、切り出した画像に最も近い定形サイズが選択されます。



「用紙サイズ」を「A3 キャリアシートサイズ」にした場合は、A3 キャリアシートの透明な部分も含めた画像を切り出し、そのまま出力します。

● 写真キャリアシート

「見開き」を指定した場合

「切り出し（表面）」を指定したときと同じ画像を出力します。

「切り出し（表面）」、「切り出し（裏面）」、または「切り出し（両面）」を指定した場合

写真の画像を切り出し、白い画像の上に、上下左右が中央になるように貼り付けて出力します。

白い画像のサイズは、「用紙サイズ」で指定します。

→ ボタン割り当て (247 ページ)の「用紙サイズ」

「用紙サイズ」が「自動」の場合は、写真の画像を切り出し、そのまま出力します。

Network Setup Tool の起動方法

スキャナー選択ツールの起動方法

ネットワークに接続しているスキャナーをコンピューターで使用するには、スキャナー選択ツールでスキャナーを選択する必要があります。

スキャナー選択ツールの詳細は、Network Setup Tool ヘルプを参照してください。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
「スタート」メニュー→「Network Setup Tool」→「スキャナー選択ツール」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Network Setup Tool」→「スキャナー選択ツール」をクリックします。


IP アドレス設定ツールの起動方法

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
「スタート」メニュー→「Network Setup Tool」→「IP アドレス設定ツール」をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Network Setup Tool」→「IP アドレス設定ツール」をクリックします。

Button Event Manager の起動方法

1 次のどちらかの操作をします

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 の場合
「スタート」メニュー → 「Network Setup Tool」 → 「Button Event Manager」 をクリックします。
- Windows 11/Windows Server 2025 の場合
「スタート」メニュー → 「すべてのアプリ」 → 「Network Setup Tool」 → 「Button Event Manager」 をクリックします。

Button Event Manager を起動すると、コンピューターのタスクバーの通知領域に  が表示されます。

- 2 ボタンの設定に関するヘルプを参照する場合は、 を右クリックし、表示されたメニューで「ヘルプ」をクリックします。

修理・お問い合わせ

トラブル対処

原稿づまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- 困ったときには (128 ページ)
- サポート & サービスのホームページ
(<https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html>)

また、お客様から寄せられた主なご質問とその回答を、次のホームページに掲載しています。該当する項目がないか、確認してください。原稿づまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- よくあるご質問
(https://faq.pfu.jp/?site_domain=fi)

修理サービスのご案内

当社では、お客様に安心して業務用 イメージ スキャナー SP シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制によって、お客様を強力にバックアップいたします。

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。

保証期間については、保証書を参照してください。

製品保証のほか、有償保守サービスをご用意しております。

詳細は、次のホームページをご覧ください。株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。

<https://www.pfu.ricoh.com/fi/support/maintenance-service/>

重要

- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は販売終了後 5 年間です。

お問い合わせ窓口

お客様からの業務用 イメージ スキャナー SP シリーズ全般に関する操作や故障・トラブルのお問い合わせに迅速に対応いたします。

故障・トラブルのお問い合わせのときは、[お問い合わせの前に確認すること \(188 ページ\)](#)を参考に必要事項を確認してください。

- **株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター**

お問い合わせ先

次のホームページをご覧ください。

<https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html>

サプライ用品の購入先

スキャナーの清掃方法と消耗品の交換方法については、[日常のお手入れ \(105 ページ\)](#)および[消耗品の交換 \(118 ページ\)](#)を参照してください。

清掃用品や消耗品のお問い合わせやご購入については、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。

- **株式会社 PFU PFU ダイレクト**

お問い合わせ先

ホームページ

<https://www.pfu.ricoh.com/direct/>